

容量市場業務マニュアル 実需給 2026 年度向け 6 編の策定・公表について（案）

容量確保契約を締結した容量提供事業者、容量拠出金の対象となる小売電気事業者等が実需給期間に対応すべき業務の手順や要件等を定めた以下の業務マニュアル6編を業務規程第32条の5の規定に基づき策定及び公表する。公表日は2025年12月25日とする。

- (1) 実需給期間中 リクワイアメント対応（安定電源）編
- (2) 実需給期間中 リクワイアメント対応（変動電源（単独））編
- (3) 実需給期間中 リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編
- (4) 実需給期間中 リクワイアメント対応（発動指令電源）編
- (5) 実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編
- (6) 容量拠出金対応編

なお、本マニュアルの策定にあたっては、業務規程第6条第1項の規定に基づき、2025年10月8日（水）から2025年10月22日（水）までの15日間で意見募集を実施し、事業者からの意見を反映した。

＜参考 業務規程＞

（容量市場業務マニュアルの策定）

第32条の5 本機関は、容量市場に関連する手続、提出資料その他容量市場を円滑に運営するために必要となる事項を定めたマニュアル（以下「容量市場業務マニュアル」という。）を策定し、本機関のウェブサイトへの掲載等の方法によって公表する。（以下略）

以上

【添付資料】

- 別紙１：容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（安定電源）編
- 別紙２：容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（変動電源（単独））編
- 別紙３：容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編
- 別紙４：容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（発動指令電源）編
- 別紙５：容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編
- 別紙６：容量市場 業務マニュアル 容量拠出金対応編
- 別紙７：各業務マニュアルに関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

容量市場
業務マニュアル
実需給期間中
リクワイアメント対応
(安定電源) 編
(対象実需給年度：2026 年度)

2025 年 12 月 25 日 第 1 版 発行

電力広域的運営推進機関

（変更履歴）

	変更点		日付
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025 年 12 月 25 日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章 はじめに	4
1.1 本業務マニュアルの対象事業者.....	7
1.2 本業務マニュアルの構成.....	9
1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧.....	10
1.4 安定電源に係るリクワイアメントの概要説明.....	11
第2章 算定諸元登録（容量停止計画）	17
2.1 実需給期間中の容量停止計画登録の概要.....	18
2.2 容量停止計画の登録.....	19
2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応.....	43
2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応.....	46
2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応.....	48
第3章 算定諸元登録（発電計画・発電上限）	53
3.1 発電計画・発電上限に関する対応.....	54
3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応.....	77
第4章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）	79
4.1 発電量調整受電電力量の登録.....	80
4.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応.....	106
4.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応.....	109
第5章 算定諸元登録（市場応札量）	111
5.1 市場応札量の登録.....	112
第6章 アセスメント結果への対応（容量停止計画）	132
6.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き.....	135
第7章 アセスメント結果への対応（市場応札）	146
7.1 市場応札に係るアセスメント結果の確認手続き.....	149
第8章 アセスメント結果への対応（供給指示）	157
8.1 供給指示に係るアセスメント結果の確認手続き.....	159
第9章 アセスメント結果への対応（稼働抑制）	168
9.1 稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続き.....	175
Appendix.1 図表一覧.....	192
Appendix.2 業務手順全体図.....	198
Appendix.3 実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集.....	199

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（安定電源）編（以下、本業務マニュアル）は、電力広域的運営推進機関（以下、本機関）の業務規程（第 32 条の 5）の規定に基づき作成された文書です。

本業務マニュアルは実需給期間の直前から実需給期間にかけて実施する業務のうち、リクワイアメント・アセスメントに係る容量提供事業者が実施すべき業務手順やシステム¹の操作方法²が記載されています（図 1-1 参照）。

なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、『Appendix.2 業務手順全体図』に記載をしております。

容量提供事業者が提供する電源の電源等区分によって課せられるリクワイアメントの種類は異なるため、業務マニュアルは電源等区分ごとに作成しています。

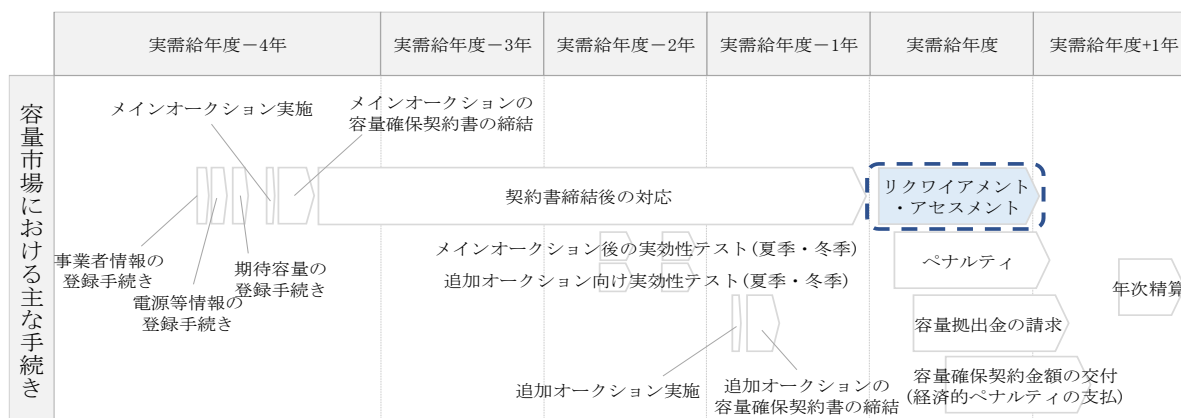


図 1-1 本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ

- 1.1 本業務マニュアルの対象事業者
- 1.2 本業務マニュアルの構成
- 1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

¹ 容量市場システムは、容量市場における容量オークション等への参加を希望する本機関会員、その他電気供給事業者の情報を適切に把握し、円滑な市場運営を行うために必要な機能を備えた情報処理システムです。

² 本業務マニュアルに記載している容量市場システムの機能は一部であり、その他の機能は必要に応じて容量市場システムマニュアルを参照してください。

対象実需給月をN月とした場合の、リクワイアメント対応（安定電源）業務のスケジュールは、以下の通りとなります。

表 1-1 リクワイアメント対応（安定電源）業務の主なスケジュール

項目（参照箇所）	時期	概要
容量停止計画の登録（『2.2.1 容量停止計画の登録』 『2.2.2 差替先の容量停止計画の登録』）	都度	容量停止計画に追加・変更があった都度、すみやかに登録・修正を行っていただきます。 （電源等差替を実施している場合は差替先を含む）
発電計画・発電上限の修正・提出（『3.1.2 発電計画・発電上限の修正』、『3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』）	～N+1 月 最終営業日	発電計画・発電上限の修正・提出を行っていただきます。（電源等差替を実施している場合は差替先を含む）
市場応札量の登録（『5.1.1 市場応札量の登録』、『5.1.2 差替先に係る市場応札量の登録』）	N+1 月 最終営業日	市場応札量の登録を行っていただきます。 （電源等差替を実施している場合

		は差替先を含む)
発電量調整受電電力量の登録（『4. 1. 1 発電量調整受電電力量の登録』、『4. 1. 2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録』）	～N+2 月 第 10 営業 日	発電量調整 受電電力量 の登録を行 っていただ きます。 （電源等差 替を実施し ている場合 は差替先を 含む）
アセスメント結果仮確定に対する異議申立（『6. 1. 2 異議申立』、『7. 1. 2 異議申立』、『8. 1. 2 異議申立』、『9. 1. 6 異議申立』）	アセスメ ント結果 の受領日 を含む 7 営業日	アセスメ ント結果仮確 定に異議が ある場合 に、異議申 立を行って いただきます。 す。
アセスメント結果の確定（『6. 1. 4 確定したアセスメント結果の受領』、『7. 1. 4 確定したアセスメント結果の受領』、『8. 1. 4 確定したアセスメント結果の受領』、『9. 1. 8 確定したアセスメント結果の受領』）	稼働抑制 以外のリ クワイア メント：N +4 月 中 旬頃 稼働抑制 のリクワ イアメン ト：実需 給翌年度 7 月中旬頃	本機関に て、アセス メント結果 が確定した 旨のメール を送付しま す。

1.1 本業務マニュアルの対象事業者

本業務マニュアルの対象事業者は、実需給 2026 年度向けの容量オークションに落札した安定電源を提供する容量提供事業者、若しくは電源等差替により安定電源に対する差替先となった電源を提供する事業者です。電源等差替を実施していない容量提供事業者を対象としたマニュアル、電源等差替を実施している差替先・差替元の事業者を対象としたマニュアルをそれぞれ一覧化しておりますので、ご確認ください（図 1-2、図 1-3 参照）。電源等差替により安定電源に対する差替先となった電源を提供する事業者が確認すべき具体的な箇所は、第 2 章『算定諸元登録（容量停止計画）』、第 3 章『算定諸元登録（発電計画・発電上限）』、第 4 章『算定諸元登録（発電量調整受電電力量）』、第 5 章『算定諸元登録（市場応札量）』です。

なお、安定電源の差替先電源等提供者が容量確保契約を締結していない場合は、差替元電源区分に係る業務マニュアルを確認していただく必要があります。

○：確認が必要

電源等区分	業務マニュアル			
	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 （安定電源）編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 （変動電源（単独））編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 （変動電源（アグリゲート））編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 （発動指令電源）編
安定電源	○	－	－	－
変動電源（単独）	－	○	－	－
変動電源（アグリゲート）	－	－	○	－
発動指令電源	－	－	－	○

図 1-2 電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル

○：全編確認が必要
△：一部確認が必要

事業者 区分	差替先電源の 電源等区分	差替元電源の 電源等区分	業務マニュアル			
			業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (安定電源)編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(単独))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(アグリゲート))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (発動指令電源)編
差替元 事業者	-	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	-	○
差替先 事業者	安定電源	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	○	△	-	-
		変動電源(アグリゲート)	○	-	△	-
		発動指令電源	○	-	-	△
	変動電源 (単独)	安定電源	△	○	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	○	△	-
		発動指令電源	-	○	-	△
	変動電源 (アグリゲート)	安定電源	△	-	○	-
		変動電源(単独)	-	△	○	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	○	△
	発動指令電源	安定電源	△	-	-	○
		変動電源(単独)	-	△	-	○
		変動電源(アグリゲート)	-	-	△	○
		発動指令電源	-	-	-	○

図 1-3 電源等差替を実施している事業者が確認すべきマニュアル

1.2 本業務マニュアルの構成

本業務マニュアルにおける章の構成は以下の通りです（図 1-4 参照）。

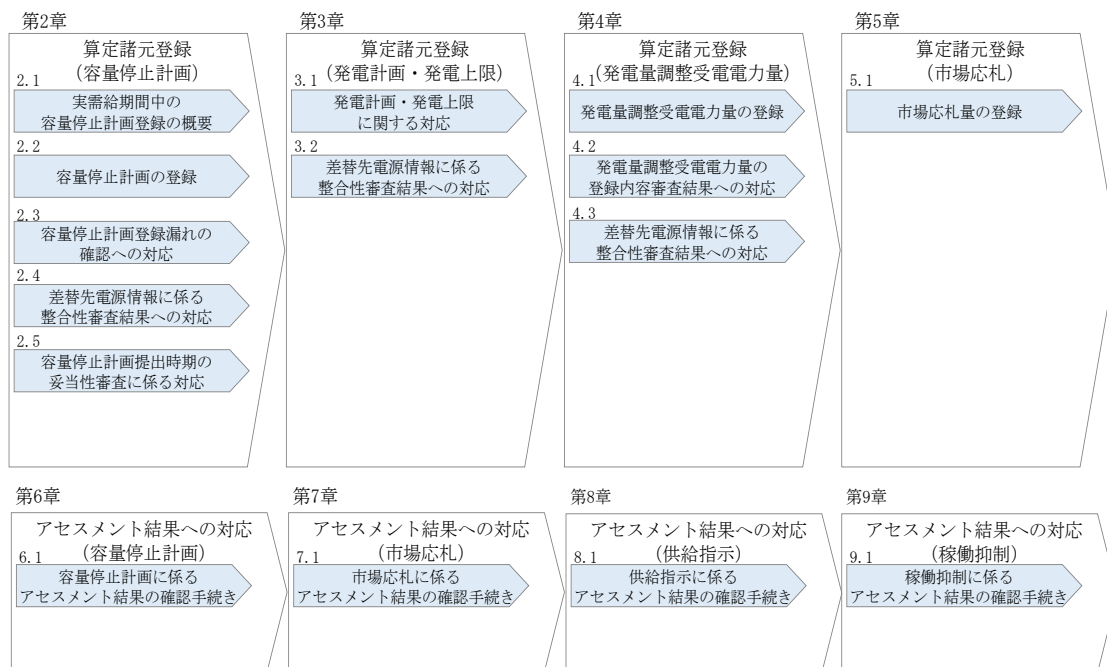


図 1-4 本業務マニュアルの構成（第1章除く）

アセスメントに必要となる算定諸元の登録手続きは第2章から第5章、アセスメントに係る異議申立等の手順は第6章から第9章を参照してください。

1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

安定電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたり、容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元について、一覧化しておりますのでご確認ください（図 1-5 参照³⁾）。

容量提供事業者が電源等差替を行っていない場合

登録主体	容量停止計画	発電計画・発電上限	発電量調整受電電力量	市場応札量
容量提供事業者	・ 契約電源の容量停止計画	・ 契約電源の全量	・ 契約電源の全量	・ 契約電源の全量

容量提供事業者が電源等差替を行った場合

登録主体	容量停止計画 ³⁾	発電計画・発電上限	発電量調整受電電力量	市場応札量
差替元電源等提供者	部分差替の場合	・ 差替元電源の全量 ・ 差替先電源から差替元電源に配分された量	・ 差替元電源の全量 ・ 差替先電源から差替元電源に配分された量	・ 差替元電源の全量 ・ 差替先電源から差替元電源に配分された量
	全量差替の場合	・ 差替先電源から差替元電源に配分された量	・ 差替先電源から差替元電源に配分された量	・ 差替先電源から差替元電源に配分された量

電源等差替により差替先電源等提供者となった場合

登録主体	容量停止計画 ^{3,4)}	発電計画・発電上限	発電量調整受電電力量	市場応札量 ⁴⁾
差替先電源等提供者	・ 差替先電源の容量停止計画	・ 差替先電源の全量	・ 差替先電源の全量	・ 差替先電源のアセスメント分

図 1-5 安定電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧^{4,5)}

注1：容量市場システムの稼働時間は原則、平日及び休日にあたる火曜日9時～18時となっております。

注2：本機関は必要に応じて、登録・提出された情報の内容について容量提供事業者等に確認することがあります。

³⁾ 差替元電源等提供者と差替先電源等提供者が同一事業者の場合も、同様に差替元電源および差替先電源の容量停止計画を提出してください。

⁴⁾ 容量確保契約を締結していない差替先電源等提供者については、容量停止計画と市場応札量の提出は不要です

⁵⁾ 本業務マニュアルでは、事業者が容量市場システム上にアップロードする算定諸元については「算定諸元の登録」、事業者がメールにて本機関に送付する算定諸元については「算定諸元の提出」と表記をしています。

1.4 安定電源に係るリクワイアメントの概要説明

本節では、安定電源に係る実需給期間中のリクワイアメント概要を説明します。

1.4.1 供給力の維持

1.4.2 発電余力の卸電力取引所等への入札（市場応札）

1.4.3 電気の供給指示への対応

1.4.4 稼働抑制

1.4.1 供給力の維持

本項では、供給力の維持について説明します。

1.4.1.1 供給力の維持

1.4.1.2 容量停止計画の提出

1.4.1.1 供給力の維持

実需給年度において、契約電源をアセスメント対象容量以上の供給力を提供できる状態を維持してください。

1.4.1.2 容量停止計画の提出

容量停止計画を提出する場合は、年間 8,640 コマ（180 日相当）を上限に、契約電源の停止又はアセスメント対象容量以下の出力が認められます。

容量停止計画の提出は、第2章『算定諸元登録（容量停止計画）』を参照して実施してください。

注：実需給期間における容量停止計画の対象は、「電源等の維持・運営に必要な作業」、および、「その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）」による電源等の停止又は出力低下となります。

なお、実需給年度2年前に行った容量停止計画の調整業務の際に提出いただいた容量停止計画は、各エリア・各月の供給信頼度の確保を目的としておりましたが、実需給期間においては供給力の維持に係るリクワイアメントを満たしているかを確認する目的で、容量停止計画を提出いただきます。したがって、事故による供給力の低下、日数が短く休日等の軽負荷時に実施される作業等を含む電源等の停止・出力低下についても、容量停止計画を提出してください。発電機等の突発的な故障等は、事後のコマを含め遅滞なく容量停止計画を提出してください⁶。

⁶ 広域機関システムに登録する発電計画・発電上限についてはGC以前のコマについては発電機等の突発的な故障等を踏まえ、修正していただく必要がありますが、GC以降に再提出はできません。

なお、アセスメント対象容量以上の供給力が提供できる場合は、容量停止計画の提出は不要です。

1.4.2 発電余力の卸電力取引所等への入札（市場応札）

本項では、発電余力の卸電力取引所等への入札（市場応札）について説明します。

1.4.2.1 リクワイアメントの対象となる余力

1.4.2.2 市場応札の実施

1.4.2.3 揚水発電・蓄電池の市場応札

1.4.2.4 バランス停止中の電源の市場応札

1.4.2.5 市場応札結果の報告

1.4.2.1 リクワイアメントの対象となる余力

容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していない範囲のコマにおいて、小売電気事業者等が活用しない余力がリクワイアメント対象となります。

このリクワイアメント対象となる余力を把握するために、広域機関システムに提出されている発電販売計画から発電計画・発電上限を、本機関にて容量市場システム内に登録します。その後の発電計画・発電上限に関して実施していただく内容については第3章『算定諸元登録（発電計画・発電上限）』を参照して実施してください。

1.4.2.2 市場応札の実施

容量提供事業者は、小売電気事業者等が活用しない余力を卸電力取引所⁷又は需給調整市場（以下「卸電力市場等」という）へ売り入札してください。ただし、これらの市場で約定させることがリクワイアメント達成の要件ではありません。

なお、以下の場合は市場応札の容量を減少させることができます。

- ・ 容量市場システム上の電源等情報に登録した「相対契約上の計画変更締切時間」以降において、卸電力市場等が閉場しており余力を入札する市場が存在しない場合
- ・ 火力発電において、燃料制約により入札できる容量が減少する場合（ただし、前日以降の需給バランス評価で広域予備率低下に伴う供給力提供の周知⁸対象となったコマ（以下「低予備率アセスメント対象コマ」という）は除きます⁹）

⁷ 一日前市場（スポット市場）、当日市場（時間前市場）をいう。

⁸ 前日計画公表断面（前日 17 時 30 分頃）に周知し、実需給当日においては当日計画公表断面（30 分ごと）に周知いたします。広域予備率 Web 公表システム広域予備率に関する通知情報【容量市場向け】で周知し、広域予備率 8%未満を判定の都度、web 上に表示するとともに、容量確保契約の契約事業者を確認支援のためメールを送付します。

⁹ 燃料制約により入札できる容量が限られ、全ての低予備率アセスメント対象コマに入札ができない場合、可能な限り広域予備率が低い低予備率アセスメント対象コマから入札してください。なお、燃料制約により入札できなかった低予備率アセスメント対象コマについては市場応札のリクワイアメントは未達成となります。

- ・ 水力発電において、渇水等に伴う貯水量の減少により入札できる容量が減少する場合（ただし、広域予備率低下に伴う供給力提供通知が出された場合は除きます）
- ・ 水力発電において、大規模な出水や台風による影響等を受け、河川法にもとづく河川管理者からの指示等に従い、洪水による災害の発生を防止し、又は災害を軽減するために必要な措置を講じた結果、入札できる容量が減少する場合
- ・ 段差制約により、入札できる容量が減少する場合（ただし、ブロック入札により解決できる場合は除きます）
- ・ 前日以降の需給バランス評価で平常時と判断された時間帯において、バランス停止（出力抑制を含む）からの起動が不経済となる場合
- ・ 非効率石炭火力電源について、実需給期間中に年間設備利用率の範囲内を見込むにあたり、供給計画・発電販売計画等の事前の運転計画に沿っている場合（ただし、低予備率アセスメント対象コマは除く）
- ・ その他やむを得ない理由があり、本機関が合理的と認めた場合

また、低予備率アセスメント対象コマに対し、入札可能な市場が存在する場合、未約定に伴う余力およびその後に増加した余力はリクワイアメント対象となります。

1.4.2.3 揚水発電・蓄電池の市場応札

広域予備率低下に伴う供給力提供通知が出され、低予備率アセスメント対象コマが存在する場合、運転継続時間¹⁰が限られる揚水発電・蓄電池に関して、本機関は当該コマに対して市場応札が実施されているかを優先的にアセスメントします。揚水発電・蓄電池は、小売電気事業者等が活用しない余力の入札準備が完了した段階で当該コマの広域予備率が低いコマから順に、運転継続時間のコマ数を上限として卸電力市場等へ入札を実施してください。広域予備率が同率の場合は、その中から任意のコマを選択して入札を実施してください。それでもなお、余力がある場合は、低予備率アセスメント対象コマ以外へ入札を実施してください。

広域予備率低下に伴う供給力提供通知が出されていない場合、任意のコマに運転継続時間のコマ数まで卸電力市場等へ入札を実施してください。

¹⁰ 揚水発電・蓄電池における運転継続時間は期待容量等算定諸元一覧にて「各月の運転継続時間（応札容量算出用）」に記載した時間数です。

1.4.2.4 バランス停止中の電源の市場応札

バランス停止中の電源に関して、広域予備率低下のおそれに伴う供給力提供準備通知¹¹が出された場合、容量提供事業者は起動準備をしてください。広域予備率低下に伴う供給力提供通知が出された場合は、卸電力市場等に市場応札してください（卸電力市場等における約定結果が確定する以前にバランス停止から起動する必要はありません。なお、市場応札の結果、約定した場合は当該コマに対し、適切に供給力を提供してください）。

卸電力市場等へ入札する場合、低予備率アセスメント対象コマに間に合うように起動カーブを作成し、その量を入札してください。時間前市場からの札の取り下げは、当該起動カーブ通りに電源を起動ができなくなるタイミングで実施してください。

注：本機関は、時間前市場からの札の取り下げに関して問合せることがあります。電源等情報に登録された『電源の起動時間』の情報を勘案し、札の取り下げのタイミングが適切でないと思われる場合は、その理由を確認し、取り下げ理由が合理的でない場合は、市場応札していなかったものとみなします。

1.4.2.5 市場応札結果の報告

容量提供事業者は、第5章『算定諸元登録（市場応札量）』を参照し、市場応札の結果を容量市場システムに登録してください。

注：低予備率アセスメント対象コマに対する登録値は、需給調整市場では約定分となり、時間前市場では、当該コマが発生した（翌日計画公表以降に広域予備率が低下したと判断された）以降に入札したが約定しなかった分を容量市場システムに登録してください。なお、スポット市場に対して、入札したが約定しなかった分は考慮しません。

1.4.3 電気の供給指示への対応

本項では、電気の供給指示への対応について説明します。

1.4.3.1 供給指示の対象

1.4.3.2 供給力の提供

1.4.3.3 エリアをまたがる差替実施時の対応

1.4.3.4 供給指示への対応結果の報告

¹¹ 週間計画公表断面から前日計画公表前までに周知いたします。なお、周知方法は広域予備率低下に伴う供給力提供通知と同様です。

1.4.3.1 供給指示の対象

属地一般送配電事業者と給電申合書等を締結している電源で、容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していないコマが供給指示の対象となります。

1.4.3.2 供給力の提供

実需給期間中において、広域予備率低下に伴う供給力提供通知が出された場合に、属地一般送配電事業者からの供給指示に応じて、容量提供事業者はゲートクローズ以降の発電余力を提供してください。ただし、広域予備率低下に伴う供給力提供通知が発令されていないコマで供給指示が発令されている場合は、アセスメントの対象外となります。供給指示の発令方法、実施内容、解除等については給電申合書等にしてください。

なお、供給指示に応じた場合においても、当日の計画提出期限を過ぎているコマについては、広域機関システムに登録する発電計画・発電上限の事後的な修正は不要です。一方で、当日の計画提出が可能なコマについては、『1.4.2 発電余力の卸電力取引所等への入札（市場応札）』のリクワイアメントのとおり、発電余力を卸電力市場等へ売り入札していただいたうえで、広域機関システムに登録する発電計画・発電上限に、その入札の結果を反映していただくことが必要です¹²。

ただし、供給指示が発令された電源において、属地一般送配電事業者からの供給指示が発令された時間帯（コマ）と需給調整市場で約定している時間帯（コマ）が一部でも重複している場合、当該重複コマに対して、当該電源は需給調整市場における調整力指令に従ってください。その結果、発電実績がアセスメント対象容量を下回った要因について、調整力指令の影響であることが合理的に説明でき、需給調整市場のリクワイアメントを達成した場合は、当該重複コマに関してアセスメント結果の仮確定時においてはペナルティ対象と判定するものの、異議申立を行っていただく事で、ペナルティ対象から除きます。

バランス停止している電源に関しては、当該コマに向けての『電源の起動時間』を考慮し、供給指示の対象時間帯に間に合う場合には、起動を行ってください。供給指示の対象時間に起動が間に合わない場合であっても、可能な限り、一般送配電事業者からの供給指示に従っていただけますようお願いいたします。なお、電気の供給ができないやむを得ない理由（バランス停止からの起動が供給指示の対象時間帯に間に合わない場合も含む）があり、本機関が合理的と認めた場合については、アセスメント結

¹² 広域機関システムに登録する発電計画・発電上限に関しては、『2024 年度以降の発電計画値・発電上限値に関する事業者説明会資料』（https://www.occto.or.jp/occtosystem2/oshirase/2023/230428_oshirase.html）を参照してください。

果の仮確定時においてはペナルティ対象と判定するものの、異議申立を行っていただく事で、ペナルティ対象から除きます。

1.4.3.3 エリアをまたがる差替実施時の対応

エリアをまたがる電源等差替を実施した場合、差替先電源等のエリアの一般送配電事業者からの供給指示に従ってください。

1.4.3.4 供給指示への対応結果の報告

容量提供事業者は、第4章『算定諸元登録（発電量調整受電電力量）』を参照し、供給指示への対応の結果を容量市場システムに登録してください。

1.4.4 稼働抑制

本項では、稼働抑制について説明します。

1.4.4.1 稼働抑制の対象

1.4.4.2 稼働抑制の対応

1.4.4.3 稼働抑制の対応結果の報告

1.4.4.1 稼働抑制の対象

電源等区分が安定電源で、かつ主燃料が石炭の電源のうち、建設時の設計効率が高位発熱量（HHV：Higher Heating Value）・発電端において42%以上であることを確認できない電源（以下「非効率石炭火力電源」という）が稼働抑制の対象となります。

注：電源等差替によって非効率石炭火力電源に差替える場合、差替元電源が非効率石炭火力電源かどうかに関わらず、差替先電源は稼働抑制のリクワイアメントの対象となります。

非効率石炭火力電源をそれ以外の電源に差替える場合、差替先電源は稼働抑制のリクワイアメントの対象外となります。

1.4.4.2 稼働抑制の対応

非効率石炭火力電源については実需給期間中における年間設備利用率を50%以下とし、たうえて、アセスメント対象容量以上の供給力を提供してください。

1.4.4.3 稼働抑制の対応結果の報告

容量提供事業者は、第4章『算定諸元登録（発電量調整受電電力量）』を参照し、稼働抑制の対応の結果を容量市場システムに登録してください。

第2章 算定諸元登録（容量停止計画）

本章では、算定諸元登録（容量停止計画）に関する以下の内容について説明します
（図 2-1 参照）。

- 2.1 実需給期間中の容量停止計画登録の概要
- 2.2 容量停止計画の登録
- 2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応
- 2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応
- 2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応

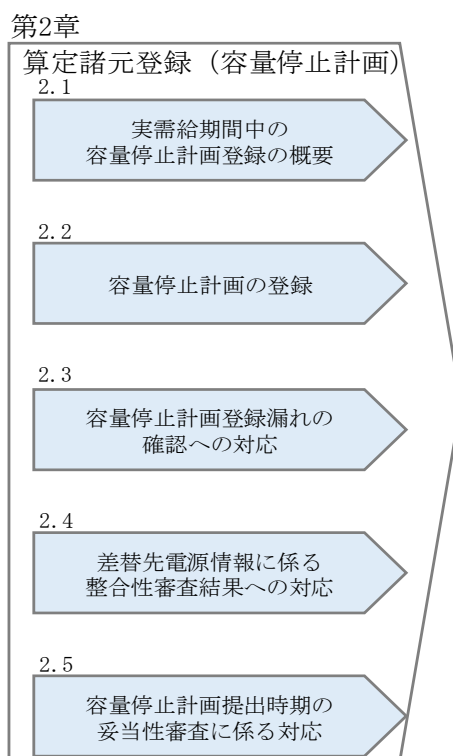


図 2-1 第2章の構成

2.1 実需給期間中の容量停止計画登録の概要

実需給期間中の容量停止計画登録の概要は表 2-1 の通りとなります。

表 2-1 容量停止計画登録作業の概要

実需給 2 年度前に登録された容量停止計画の取込			
項目	作業時期	実施主体	概要
実需給 2 年度前に登録された容量停止計画の変換	実需給年度 前年度の 3 月	本機関	実需給 2 年度前に登録された容量停止計画を、本機関にて実需給期間向けに変換し、容量市場システムに登録します。
容量提供事業者による容量停止計画の登録			
項目	作業時期	実施主体	概要
容量市場システムでの容量停止計画の登録	都度 ¹³	容量提供事業者	容量停止計画に追加・変更があった際に、容量市場システム上で登録・修正してください（『2.2 容量停止計画の登録』参照）。

¹³ 提出タイミングとペナルティ倍率の関係については、第 6 章を参照してください。

2.2 容量停止計画の登録

本節では容量停止計画の登録について説明します（図 2-2 参照）。

2.2.1 容量停止計画の登録

2.2.2 差替先の容量停止計画の登録

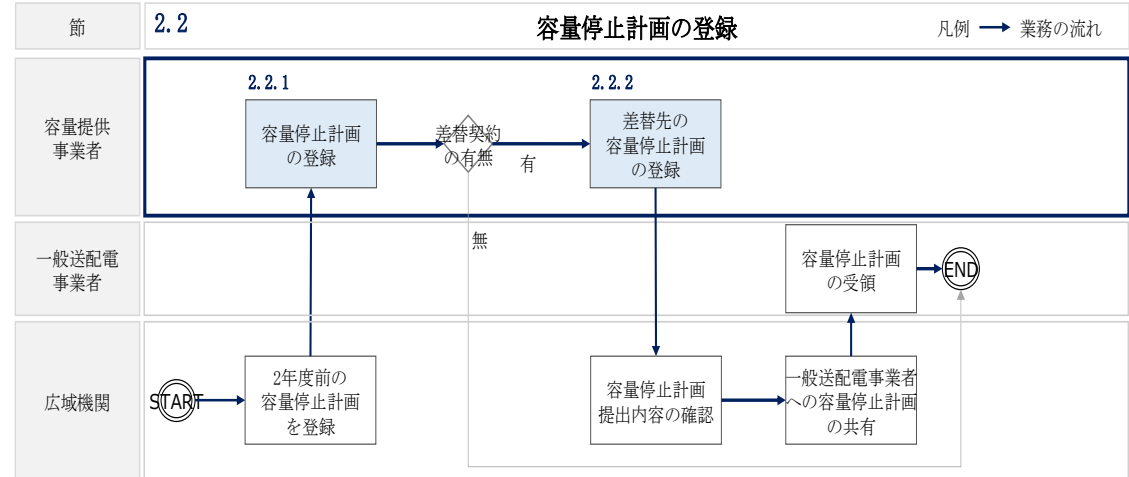


図 2-2 容量停止計画の登録手順

2.2.1 容量停止計画の登録

本項では容量停止計画の登録について説明します（図 2-3 参照）。

2.2.1.1 容量停止計画の確認

2.2.1.2 容量停止計画の登録（CSV一括登録）

2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）

2.2.1.4 容量停止計画の登録結果の確認

2.2.1 容量停止計画の登録

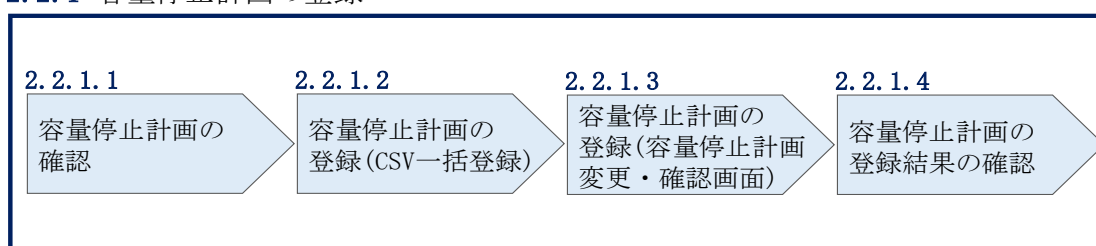


図 2-3 容量停止計画の登録手順

2.2.1.1 容量停止計画の確認

容量市場システムに登録されている容量停止計画を確認してください。

注1：実需給2年度前に登録された容量停止計画を、本機関にて実需給期間向けに変換し容量市場システムに登録する際の変換後の登録状況は、回次1で登録（初回登録）されています。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から、「アセスメント管理（共通）」、「容量停止計画一覧画面」リンクを順にクリックして、「容量停止計画一覧画面」へ進んでください。

「実需給年度」を入力し、「最新回次¹⁴切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、「検索」ボタンをクリックしてください。

「容量停止計画一覧」（検索結果）に条件に合致する結果が表示されますので、「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、「容量停止計画確認・変更画面」へ進んでください（図 2-4、図 2-5 参照）。

¹⁴ 本マニュアル末尾に掲載されている Appendix3 を参照。

≡ | 容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00

ログアウト

容量停止計画一覧画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧

実需給年度 *
YYYY

計画提出事業者コード
XXXX

計画提出事業者名
XXXXX

容量停止計画ID

計画提出日
YYYY/MM/DD

~
YYYY/MM/DD

電源等識別番号

電源等の名称

校番

容量停止期間
YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD

容量停止計画区分
☐ 容量停止計画（広域提出）
☐ 容量停止計画（事業者提出）

最新回次切替
☐ 最新回次のみ表示

検索

容量停止計画一覧

「計画提出事業者コード」
リンクをクリックして「容
量停止計画確認・変更画
面」へ進んでください。

実需給年度	計画提出 事業者コード▲	計画 事業者	日時▲	容量停止計画区分▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲			
YYYY	XXXX	XX	13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 1			
YYYY	XXXX	XX	13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 1			
YYYY	XXXX	XX	13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 1			
YYYY	XXXX	XX	13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 1			
YYYY	XXXX	XX	13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1			
YYYY	XXXX	XX	13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1			
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000007	XX	2024/3/5 12:00	2024/3/5 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000008	XX	2024/3/2 12:00	2024/3/2 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000009	XX	2024/2/28 12:00	2024/2/28 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000010	XX	2024/2/25 12:00	2024/2/25 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000011	XX	2024/2/22 12:00	2024/2/22 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000012	XX	2024/2/19 12:00	2024/2/19 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000013	XX	2024/2/16 12:00	2024/2/16 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000014	XX	2024/2/13 12:00	2024/2/13 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000015	XX	2024/2/10 12:00	2024/2/10 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 4

1-15件 (全XX件)

<< 最初 < 前 1 / X 次へ 最後へ

一覧出力

21

容量市場システム

容量停止計画確認・変更画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧 > 容量停止計画確認・変更

実需給年度2024

容量停止計画ID

電源等識別番号

容量停止期間YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD

計画提出事業者コードXXXX

計画提出日YYYY

電源等の名称

計画(事業者提出)

容量提供事業者が登録した容量停止計画を確認してください。

検索

容量停止計画 (最新)

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX

変更情報入力欄

選択	実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

1-4件 (全4件) << 最初 < 前 XX / YY 次へ 最後へ

編集開始 キャンセル 更新

一括出力

図 2-5 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ

2.2.1.2 容量停止計画の登録（CSV一括登録）

本手順では、CSV 一括登録により容量停止計画を登録・修正する場合の手順を説明します。

容量市場システムに登録（初回登録）された容量停止計画の追加・変更があった場合には、判明の都度すみやかに容量市場システム上で登録・修正してください。

容量停止計画の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryoussystem/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 2-6、表 2-2 参照）。

広域受付番号、出力可能容量 (kW) については、カンマで区切る形 (「,」) で入力してください。

図 2-6 容量停止計画 CSV イメージ

表 2-2 容量停止計画 CSV の記載項目

【*】印の項目は、CSV の入力必須項目です。入力漏れのないようご注意ください。

No	項目	留意点
①	容量停止計画 ID	容量停止計画 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください ※新規登録（登録区分：4）の場合は空白（スペース入力不可）にしてください。
②	実需給年度*	yyyy 形式の半角数字で入力してください 例：実需給 2024 年度の場合「2024」と入力
③	電源等識別番号*	停止対象の電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
④	電源等の名称*	電源等の名称（50 桁以内）を全角で入力してください
⑤	電源等差替 ID	電源等差替を実施している場合には電源等差替 ID（10 桁）を半角数字で入力してください ※電源等差替を実施していない場合も、CSV データ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください。
⑥	差替元電源等識別番号	差替元電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください ※電源等差替を実施していない場合も、CSV データ読み込み上の項目としては必要となりますので

No	項目	留意点
		で、カンマで区切る形（「,」）で入力してください。
⑦	受電地点特定番号	受電地点特定番号（22桁）を半角英数字で入力してください
⑧	枝番*	枝番を半角英数字で入力してください ※複数号機ある場合の、号機の判別に使用します。電源等情報詳細画面の詳細情報一覧の枝番に合わせて入力してください。
⑨	停止設備（号機単位）の名称	停止設備（号機単位）の名称（50桁）を全角で入力してください
⑩	系統コード（号機単位）	系統コード（号機単位（5桁））を半角英数字で入力してください
⑪	作業開始年月日*	yyyymmdd（8桁）を半角数字で入力してください 例：2024年10月3日に作業開始の場合 「20241003」と入力
⑫	作業開始時分*	hhmm（4桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05に作業開始の場合「0905」と入力、 PM9:05に作業開始の場合「2105」と入力
⑬	作業終了年月日*	yyyymmdd（8桁）を半角数字で入力してください 例：2024年10月3日に作業終了の場合 「20241003」と入力
⑭	作業終了時分*	hhmm（4桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05に作業終了の場合「0905」と入力、 PM9:05に作業終了の場合「2105」と入力 ※24:00に作業終了の場合「2359」と入力
⑮	広域受付番号	容量停止計画を直接容量市場システムに登録する場合も、CSVデータ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑯	出力可能容量（kW）	実需給期間中の容量停止計画の登録時には使用いたしません、CSVデータの読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑰	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、又は入力済みの値のまま）
⑱	登録区分*	2:変更（2回目以降）

No	項目	留意点
		3:取消 4:新規登録

容量停止計画 CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。なお、月を跨ぐ停止計画がある場合、月ごとに分割せず、まとめて容量停止計画を登録することも可能です。

注1：容量停止計画 CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1行目のヘッダ部分（”容量停止計画 ID”～ ”登録区分”の部分）各項目には「”」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けしないでください。

注3：CSV 一括登録により容量停止計画を変更する場合、登録済みの情報との差分のみが更新されるため、登録済みの内容の記載は不要です。ただし、新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの期間より短い場合は、システムの仕様上、期間の長い計画が最新と判別されるため、登録済みの情報の取消が必要です。なお、その場合、追加登録のタイミングが算定諸元の登録日となるため、アセスメント結果に影響がある点にご注意ください。

注4：新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの容量停止計画と重複している期間は登録済みの容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。一方で、登録済みの容量停止計画を取消した後に、新たに別の容量停止計画として追加で登録した場合は、新たに別の容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。このため、新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する場合は登録後に、登録済みの容量停止計画を取消してください。

(例)10月1日から10月10日までの容量停止計画Aが登録済みの場合に、電源等の維持・運営に必要な作業の期間延長により、10月1日から10月15日までの容量停止計画Bを新たに登録する場合は、容量停止計画Bの登録後に容量停止計画Aを取消してください。この場合、10月11日から10月15日の期間については、容量停止計画Bの登録タイミングが算定諸元の登録日となりますが、10月1日から10月10日までの期間については容量停止計画Aの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。一方

で、容量停止計画 A の取消後に容量停止計画 B を登録してしまうと、10 月 1 日から 10 月 15 日について、容量停止計画 B の登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注 5：既に登録済みの容量停止計画の期間中の一部を削除しようとする場合は CSV 一括登録にて、新たに別の容量停止計画を登録した後に、登録済みの容量停止計画の取消していただく必要があります。CSV 一括登録にて登録済みの容量停止計画の修正や、『2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）』での修正を行うと、別の容量停止計画の登録タイミングが算定諸元の登録日となってしまう期間が発生しますので、ご注意ください。

(例)10 月 1 日から 10 月 5 日までの容量停止計画 A を登録済みであるが、10 月 3 日のみ稼働できるため容量停止計画の変更を行う場合、10 月 1 日から 10 月 2 日までの容量停止計画 B と 10 月 4 日から 10 月 5 日までの容量停止計画 C を登録後に、容量停止計画 A を取消してください。この場合、容量停止計画 B と容量停止計画 C については、容量停止計画 A の登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

一方で、容量停止計画 A について期間を 10 月 1 日から 10 月 2 日に変更したうえで、10 月 4 日から 10 月 5 日までの容量停止計画 C を別の容量停止計画として登録してしまうと、10 月 4 日から 10 月 5 日までの期間は、容量停止計画 C の登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注 6：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS (MS932)】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

注 7：1 レコードに複数月分の停止期間を含む本ファイルについて、新規分・変更分の停止期間の月ごとに登録可能かチェックを行いますが、ひと月でも登録不可の月が存在すれば、エラーとし登録処理は実施しません。

注 8：1 度にアップロードできる上限レコード数はヘッダ行含め 100 レコードです。上限レコード数を超える場合は、ファイル分割を行い、複数回に分けてアップロードしてください。

注 9：同一電源に対する容量停止計画の数が多い場合、登録・削除に時間がかかります。新規の計画が多い場合だけでなく、既存の計画が多い場合も同様の事象が発生し

ます。また、停止期間が長い（停止コマ数が多い）場合も、登録時間が長くなります。

注10：前週火曜日の17時までに容量停止計画の登録を開始した場合、登録完了（OK）が後日になったとしても、前週火曜日の17時までに登録されたものとしてシステムでは認識され、それに基づきアセスメントも実施されます。登録時のフォーマットに誤りが存在した場合や、容量市場システムの上限レコード数（100レコード）を超える場合は、登録結果「NG」となりますので、システムマニュアルの登録用CSV作成時の例・注意事項等を参照のうえ、適切にご登録をお願いします。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_電源等識別番号_A枝番.csv」としてください¹⁷。また、容量停止計画を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_容量停止計画_電源等識別番号_A枝番_R更新回数.csv」としてください¹⁸。なお、複数の電源を一括して登録する場合、ファイル名に記載する電源等識別番号はCSVファイルの先頭行の電源等識別番号を記載してください。月を跨ぐ停止計画の容量停止計画を提出する場合は、作業開始年月をファイル名に記載してください。なお、容量停止計画の登録・修正は対象実需給月+1月の第16営業日までに実施していただく必要があります。

例）初回の登録の場合

202410_容量停止計画_0123456789_A1.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号 A枝番

1回目の更新の場合

202410_容量停止計画_0123456789_A1_R1.csv

R更新回数

2回目の更新の場合

202410_容量停止計画_0123456789_A1_R2.csv

¹⁷ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

¹⁸ 1つあたりのアップロードファイルサイズの上限は20MBとなりますので、20MBを超える場合は、ファイルを分割してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい容量停止計画の CSV ファイルを選択してください（表 2-3 参照）。容量停止計画の CSV ファイルが容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 2-7 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

図 2-7 一括登録・変更画面のイメージ

表 2-3 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「容量停止計画」を選択

2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）

本手順では、容量停止計画一覧画面上から容量停止計画を登録・修正する場合の手順を説明します。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「容量停止計画一覧画面」リンクをクリックして、「容量停止計画一覧画面」へ進んでください。

「容量停止計画 ID」に該当の容量停止計画 ID を入力し、「実需給年度」に該当の実需給年度を入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。

「容量停止計画一覧（検索結果）」に条件に合致する結果が表示されますので、「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、「容量停止計画確認・変更画面」へ進んでください（図 2-8 参照）。

新規登録の場合、「容量停止計画確認・変更画面」にて、「追加情報入力欄」の「編集開始」ボタンをクリックしてください。「電源等識別番号」（差替先電源の登録時は差替先の「電源等識別番号」）、「枝番」、「作業開始日時」、および「作業終了日時」を直接入力してください。差替先電源の登録時は「差替 ID」も入力してください。容量停止計画の入力後に、「表示」ボタンをクリックし、「電源等の名称」等が表示されるため内容を確認後、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください（図 2-9 参照）。

変更の場合、「容量停止計画確認・変更画面」にて、「変更情報入力欄」の「選択」から変更対象にチェックをいれて「編集開始」ボタンをクリックしてください。「登録区分」プルダウンから「変更」を選択し、「作業開始日時」、および「作業終了日時」を直接更新し修正してください¹⁹。容量停止計画の修正後に、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください（図 2-10、図 2-11 参照）。

取消の場合、「容量停止計画確認・変更画面」にて、「変更情報入力欄」の「選択」から変更対象にチェックをいれて「編集開始」ボタンをクリックしてください。「登録区分」プルダウンから「取消」を選択し、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください（図 2-10、図 2-11 参照）。

また、その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止又は出力低下する場合、必要に応じ報告フォーマット及びエビデンスとなる添付資料を翌月末までに提出してください。

報告フォーマットは https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html

からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

「容量停止計画確認・変更画面」下部にある「添付資料」の「ファイル選択」ボタンをクリックし、ファイルを選択した後、「アップロード」ボタンをクリックすることで、添付資料を提出することができます。

注：容量停止計画確認・変更画面において、添付ファイルとしてアップロード可能なファイル数は、1 年度 1 事業者につき最大 50 件です。

¹⁹ 容量市場システムの容量停止計画確認・変更画面から直接、容量停止計画を修正する場合、「作業開始日時」、および「作業終了日時」のみ修正可能です。

三 | 容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00 [ログアウト](#)

容量停止計画一覧画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧

実需給年度*

YYYY

計画提出事業者コード

XXXX

計画提出事業者名

XXXXX

容量停止計画ID

計画提出日

YYYY/MM/DD

~

YYYY/MM/DD

電源等識別番号

電源等の名称

枝番

容量停止期間

YYYY/MM/DD

~

YYYY/MM/DD

容量停止計画区分

☐ 容量停止計画（広域提出）

☐ 容量停止計画（事業者提出）

最新回次切替

☐ 最新回次のみ表示

[検索](#)

容量停止計画一覧

実需給年度	計画提出事業者コード▲	計画提出事業者名▲	容量停止計画ID▲	回次▲	計画提出日時▲	メール送信日時▲	容量停止計画区分▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000008	XX	2024/3/2 12:00	2024/3/2 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000009	XX	2024/2/28 12:00	2024/2/28 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000010	XX	2024/2/25 12:00	2024/2/25 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000011	XX	2024/2/22 12:00	2024/2/22 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000012	XX	2024/2/19 12:00	2024/2/19 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000013	XX	2024/2/16 12:00	2024/2/16 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000014	XX	2024/2/13 12:00	2024/2/13 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000015	XX	2024/2/10 12:00	2024/2/10 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 4

1-15件（全XX件）

<<最初<前1/X次へ最後へ

[一覧出力](#)

「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、容量停止計画確認・変更画面へ進んでください。

図 2-8 容量停止計画一覧画面 画面イメージ

追加情報入力欄

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
2024	-	-	-	<input type="text" value="XXXXXXXXXX"/>		<input type="text" value="XXXXXXXXXX"/>			<input checked="" type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="checkbox"/>

「編集開始」ボタンをクリックしてください。
入力後に「表示」ボタンをクリック後、「更新」ボタンをクリックしてください。

[編集開始](#)[キャンセル](#)[表示](#)[更新](#)

図 2-9 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(1)

容量市場システム

容量停止計画確認・変更画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧 > 容量停止計画確認・変更

実需給年度*	2024	計画提出事業者コードXXXX	計画提出事業者名	XXXX
容量停止計画ID		計画提出日	YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD	
電源等識別番号		電源等の名称		枝番
容量停止期間	YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD	容量停止計画区分	<input type="checkbox"/> 容量停止計画（広域提出） <input type="checkbox"/> 容量停止計画（事業者提出）	

検索

容量停止計画（最新）

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XX

1-4件（全4件） <<最初 <前 XX / YY 次へ 最後へ

編集開始

キャンセル

更新

一覧出力

変更情報入力欄

選択	実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

1-4件（全4件） <<最初 <前 XX / YY 次へ 最後へ

編集開始

キャンセル

更新

一覧出力

「選択」で対象にチェックをいれた上で「編集開始」ボタンをクリックしてください。入力後に「更新」ボタンをクリックしてください。

図 2-10 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(2)

変更情報入力欄

停止設備	系統コード	登録区分
1号機	XXXX	<div>取消</div>
2号機	XXXX	<div>変更</div>
3号機	XXXX	<div>変更</div>
4号機	XXXX	<div>変更</div>

1-4件（全4件） <<最初 <前 XX / YY 次へ 最後へ

変更の場合「登録区分」プルダウンから「変更」を選択し、作業開始日時と作業終了日時を変更してください。
取消の場合は「登録区分」プルダウンから「取消」を選択してください。

図 2-11 変更情報入力欄 登録区分 画面イメージ

31

2.2.1.4 容量停止計画の登録結果の確認

容量停止計画を修正し、CSV ファイルをアップロードした場合は、登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「容量停止計画」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致する容量停止計画が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、

「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 2-12、図 2-13 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

容量停止計画の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 2-14 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して容量停止計画の CSV ファイルを修正し、「一括登録・変更画面」から再登録してください。

≡ | 容量市場システム
ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザ名: 広域 太郎
ログアウト

一括登録・変更結果確認画面

[TOP](#) > [その他共通](#) > [一括登録・変更結果確認画面](#)

ファイル種別

事業者コード

登録日時

「登録結果」（一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）参照）に「OK」と表示されている容量停止計画は正しく登録できています。「NG」と表示されているものは正しく登録できておりませんので、原因を確認して再登録してください。

検索

一括登録・変更結果確認一覧

一括登録・変更管理	登録日時	ファイル種別	登録ファイル名	事業者コード	事業者名	ユーザ名
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/14 20:33	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力.csv	5678	事業者 1	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/13 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R1.csv	5678	事業者 1	広域 x x
...						
XXXXXXXXXX	2024/2/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R2.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/14 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/13 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/12 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R1.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R2.csv	1234	広域	広域 x x

1-15件 (全25件)

<<最初へ
<前へ
1 / 2
次へ>
最後へ>>

一括出力

図 2-12 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 2-13 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

*エラー情報.csv - メモ帳				
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)				
"一括登録・変更管理ID","行番号","項目名","項目値,エラー内容"				
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","99","コードマスタに当該区分がない"				
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","98","コードマスタに当該区分がない"				
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","97","コードマスタに当該区分がない"				

図 2-14 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、容量停止計画のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが送付されます（表 2-4 参照）。登録した容量停止計画の内容を確認してください。

表 2-4 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 容量停止計画</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

2.2.2 差替先の容量停止計画の登録

本項では、電源等差替を実施している場合の、差替先の容量停止計画の登録について説明します（図 2-15 参照）。

2.2.2.1 差替先の容量停止計画の登録

2.2.2.2 差替先の容量停止計画の登録結果の確認

2.2.2 差替先の容量停止計画の登録

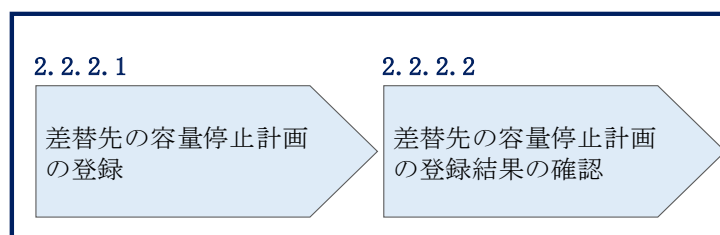


図 2-15 差替先の容量停止計画の登録手順

2.2.2.1 差替先の容量停止計画の登録

電源等差替を実施している容量提供事業者は、差替先の容量停止計画の登録をしてください。

電源等差替を実施している場合の、登録対象範囲については、登録主体に基づき登録範囲を確認してください（表 2-5 参照）。

表 2-5 電源等差替を実施している場合の容量停止計画の登録対象²⁰

登録主体		電源等差替を実施している場合の容量停止計画の登録対象
差替元電源等提供者	部分差替	差替元電源の容量停止計画 差替先電源の容量停止計画 ²¹
	全量差替	差替先電源の容量停止計画 ²¹
差替先電源等提供者		差替先電源の容量停止計画

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が安定電源で、差替先電源も安定電源であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は差替元電源の

²⁰ 容量確保契約を締結していない差替先電源等提供者については、容量停止計画の提出は不要です。

²¹ 電源等差替 ID と差替元電源等識別番号を記入してください。

容量停止計画と、差替先電源の容量停止計画を登録してください。また、差替先電源等提供者は差替先電源の容量停止計画を登録してください。

容量停止計画の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryoussystem/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 2-16、表 2-6 参照）。

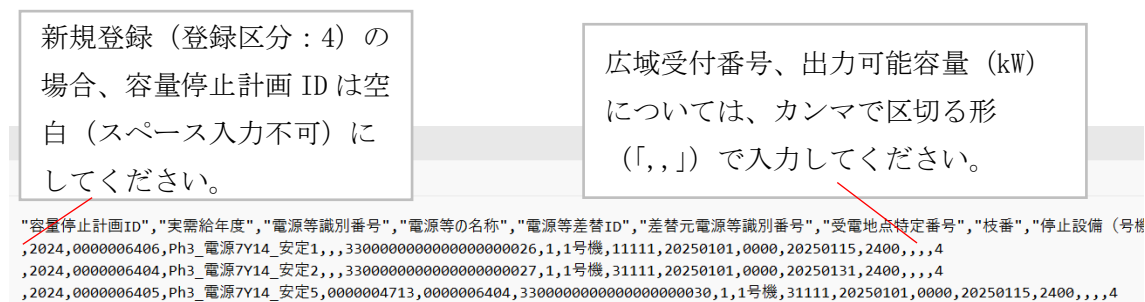


図 2-16 容量停止計画 CSV イメージ

表 2-6 容量停止計画 CSV の記載項目

【*】印の項目は、CSV の入力必須項目です。入力漏れのないようご注意ください。

No	項目	留意点
①	容量停止計画 ID	容量停止計画 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください ※新規登録（登録区分：4）の場合は空白（スペース入力不可）にしてください。
②	実需給年度*	yyyy 形式の半角数字で入力してください 例：実需給 2024 年度の場合「2024」と入力
③	電源等識別番号*	停止対象の電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
④	電源等の名称*	電源等の名称（50 桁以内）を全角で入力してください
⑤	電源等差替 ID	電源等差替を実施している場合には電源等差替 ID（10 桁）を半角数字で入力してください
⑥	差替元電源等識別番号	差替元電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
⑦	受電地点特定番号	受電地点番号（22 桁）を半角英数字で入力してください
⑧	枝番*	枝番を半角数字で入力してください
⑨	停止設備（号機単位）の名称	停止設備（号機単位）の名称（50 桁）を全角で入力してください
⑩	系統コード（号機単位）	系統コード（号機単位（5 桁））を半角英数字で入力してください
⑪	作業開始年月日*	yyyymmdd（8 桁）を半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 3 日に作業開始の場合 「20241003」と入力
⑫	作業開始時分*	hhmm（4 桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05 に作業開始の場合「0905」と入力、 PM9:05 に作業開始の場合「2105」と入力
⑬	作業終了年月日*	yyyymmdd（8 桁）を半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 3 日に作業終了の場合 「20241003」と入力
⑭	作業終了時分*	hh:mm（4 桁）を半角数字で入力してください 例：9:05 に作業終了の場合「0905」と入力

No	項目	留意点
		※24:00 に作業終了の場合「2359」と入力
⑮	広域受付番号	容量停止計画を直接容量市場システムに登録する場合も、CSV データ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑯	出力可能容量（kW）	実需給期間中の容量停止計画の登録時には使用いたしません、CSV データの読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑰	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、又は入力済みの値のまま）
⑱	登録区分*	2:変更（2回目以降） 3:取消 4:新規登録

注1：容量停止計画 CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「"」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1行目のヘッダ部分（"容量停止計画 ID"～"登録区分"の部分）各項目には「"」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「"」を付けないでください。

注3：CSV 一括登録により容量停止計画を変更する場合、登録済みの情報との差分のみが更新されるため、登録済みの内容の記載は不要です。ただし、新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの期間より短い場合は、システムの仕様上、期間の長い計画が最新と判別されるため、登録済みの情報の取消が必要です。なお、その場合、追加登録のタイミングが算定諸元の登録日となるため、アセスメント結果に影響がある点にご注意ください。

注4：新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの容量停止計画と重複している期間は登録済みの容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。一方で、登録済みの容量停止計画を取消した後に、新たに別の容量停止計画として追加で登録した場合は、新たに別の容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。このため、新たに別の容量停止計画と

して追加で容量停止計画を登録する場合は登録後に、登録済みの容量停止計画を取消してください。

(例)10月1日から10月10日までの容量停止計画Aが登録済みの場合に、電源等の維持・運営に必要な作業の期間延長により、10月1日から10月15日までの容量停止計画Bを新たに登録する場合は、容量停止計画Bの登録後に容量停止計画Aを取消してください。この場合、10月11日から10月15日の期間については、容量停止計画Bの登録タイミングが算定諸元の登録日となりますが、10月1日から10月10日までの期間については容量停止計画Aの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。一方で、容量停止計画Aの取消後に容量停止計画Bを登録してしまうと、10月1日から10月15日について、容量停止計画Bの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注5：既に登録済みの容量停止計画の期間中の一部を削除しようとする場合はCSV一括登録にて、新たに別の容量停止計画を登録した後に、登録済みの容量停止計画の取消していただく必要があります。CSV一括登録にて登録済みの容量停止計画の修正や、『2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）』での修正を行うと、別の容量停止計画の登録タイミングが算定諸元の登録日となってしまう期間が発生しますので、ご注意ください。

(例)10月1日から10月5日までの容量停止計画Aを登録済みであるが、10月3日のみ稼働できるため容量停止計画の変更を行う場合、10月1日から10月2日までの容量停止計画Bと10月4日から10月5日までの容量停止計画Cを登録後に、容量停止計画Aを取消してください。この場合、容量停止計画Bと容量停止計画Cについては、容量停止計画Aの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

一方で、容量停止計画Aについて期間を10月1日から10月2日に変更したうえで、10月4日から10月5日までの容量停止計画Cを別の容量停止計画として登録してしまうと、10月4日から10月5日までの期間は、容量停止計画Cの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注6：誤った文字コードのCSVファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS (MS932)】です。テキストエディタでCSVを作成、保存する場合は文字コードANSIを選択してください。UTF-8等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

注7：1レコードに複数月分の停止期間を含む本ファイルについて、新規分・変更分の停止期間の月ごとに登録可能かチェックを行いますが、ひと月でも登録不可の月が存在すれば、エラーとし登録処理は実施しません。

注8：1度にアップロードできる上限レコード数はヘッダ行含め100レコードです。上限レコード数を超える場合は、ファイル分割を行い、複数回に分けてアップロードしてください。

注9：同一電源に対する容量停止計画の数が多い場合、登録・削除に時間がかかります。新規の計画が多い場合だけでなく、既存の計画が多い場合も同様の事象が発生します。また、停止期間が長い（停止コマ数が多い）場合も、登録時間が長くなります。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい容量停止計画のCSVファイルを選択してください（表2-7参照）。容量停止計画のCSVファイルが容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図2-17参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

図 2-17 一括登録・変更画面のイメージ

表 2-7 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「容量停止計画」を選択

2.2.2.2 差替先の容量停止計画の登録結果の確認

差替先の容量停止計画 CSV ファイルをアップロードした場合は、登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「容量停止計画」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致する容量停止計画が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 2-18、図 2-19 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

容量停止計画の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 2-20 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して容量停止計画 CSV ファイルを修正し、「一括登録・変更画面」から再登録してください。

「登録結果」（一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）参照）に「OK」と表示されている容量停止計画は正しく登録できています。「NG」と表示されているものは正しく登録できておりませんので、原因を確認して再登録してください。

一括登録・変更管理	登録日時	ファイル種別	登録ファイル名	事業者コード	事業者名	ユーザ名
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/14 20:33	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力.csv	5678	事業者 1	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/13 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R1.csv	5678	事業者 1	広域 x x
...
XXXXXXXXXX	2024/2/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R2.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/14 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/13 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/12 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R1.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R2.csv	1234	広域	広域 x x

1-15件 (全25件) << 最初へ < 前へ 1 / 2 次へ > 最後へ >> 一括出力

図 2-18 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 2-19 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

*エラー情報.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

"一括登録・変更管理ID"	"行番号"	"項目名"	"項目値"	エラー内容
"XXXXXXXXXX"	"XXXX"	"アセスメント算定諸元区分"	"99"	"コードマスタに当該区分がない"
"XXXXXXXXXX"	"XXXX"	"アセスメント算定諸元区分"	"98"	"コードマスタに当該区分がない"
"XXXXXXXXXX"	"XXXX"	"アセスメント算定諸元区分"	"97"	"コードマスタに当該区分がない"

図 2-20 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、容量停止計画のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが送付されます(表 2-4 参照)。登録した容量停止計画の内容を確認してください。

2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応

本節では、本機関が実施する容量停止計画登録漏れの確認²⁴への対応について以下の流れで説明します（図 2-21 参照）。

2.3.1 容量停止計画の修正

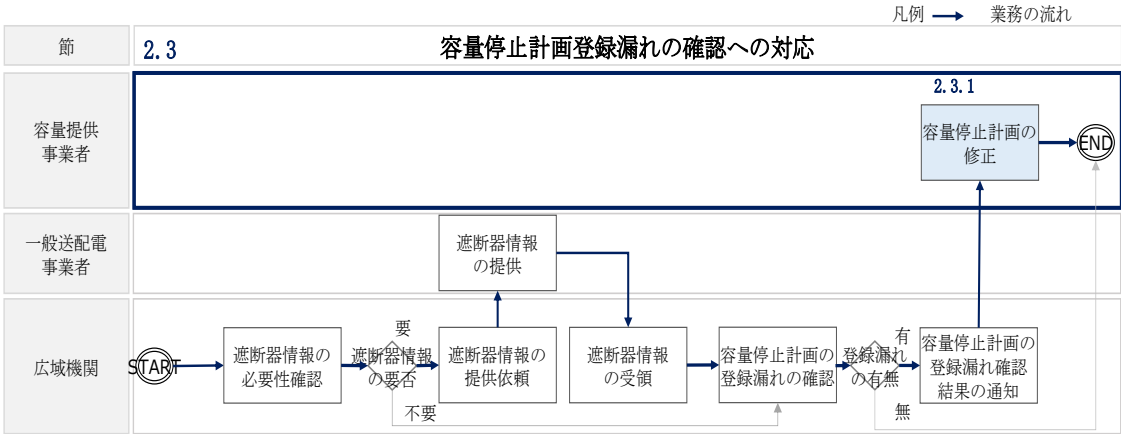


図 2-21 容量停止計画登録漏れの確認の詳細構成

2.3.1 容量停止計画の修正

本項では、容量停止計画の修正登録について説明します（図 2-22 参照）。

2.3.1.1 容量停止計画の修正

2.3.1 容量停止計画の修正

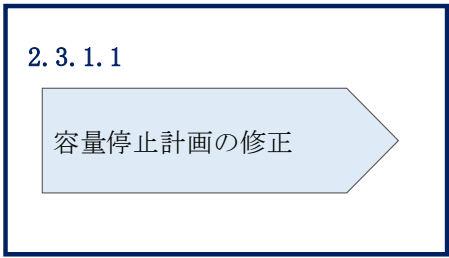


図 2-22 容量停止計画の修正の手順

²⁴ 遮断器情報等を確認し、容量停止計画の登録漏れがないことを、本機関が確認します。

2.3.1.1 容量停止計画の修正

本機関が実施する容量停止計画登録漏れ確認結果が不合格の場合は、対象実需給月＋1月の月上旬頃に、その旨がメールにて容量市場システム登録のメールアドレス宛に送付されますので、内容を確認ください。修正が必要な場合は『2.2 容量停止計画の登録』を参照して容量停止計画を修正登録してください(表 2-8 参照)。容量停止計画の修正・登録期限は通知日から第5営業日となります。

表 2-8 容量停止計画登録漏れ確認結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】容量停止計画登録漏れ確認結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>以下の電源において、容量停止計画の登録漏れがある可能性があります。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【実需給年度】 YYYY</p> <p>【実需給年月】 YYYY/MM</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】 XXXX</p> <p>後続業務の対応方法、対応期日につきましては、容量市場業務マニュアルをご参照ください。</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

ただし、容量停止計画登録漏れ審査不合格の場合においても、未登録に正当な理由がある場合には、「未登録の正当な理由²⁵」をメールにて申告してください(表 2-9 参照)。本機関で内容を確認し、「未登録の正当な理由」が認められる場合には、容量停止計画の修正登録は不要となります。申告の期限日は通知日から第5営業日となります。

表 2-9 容量停止計画未登録の正当な理由の提出メール記載事項

項目	内容
件名	容量停止計画未登録の正当な理由の提出
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実需給年度 ・ 実需給月 ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称 ・ 未登録の正当な理由
添付ファイル	停止理由の根拠となる資料（必要に応じて）

注：本機関からの依頼があったにもかかわらず、期限までに容量停止計画の修正・登録がされない場合や、容量停止計画未登録の正当な理由のメールが無い場合は、容量停止計画の登録漏れがあったものとして容量停止計画を本機関にて登録し、アセスメントを実施する場合があります。

²⁵ 未登録の正当な理由の代表例：バランス停止中の電源

2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

本節では、差替先電源情報に係る整合性審査²⁶結果への対応について以下の流れで説明します（図 2-23 参照）。

2.4.1 差替先の容量停止計画の修正登録

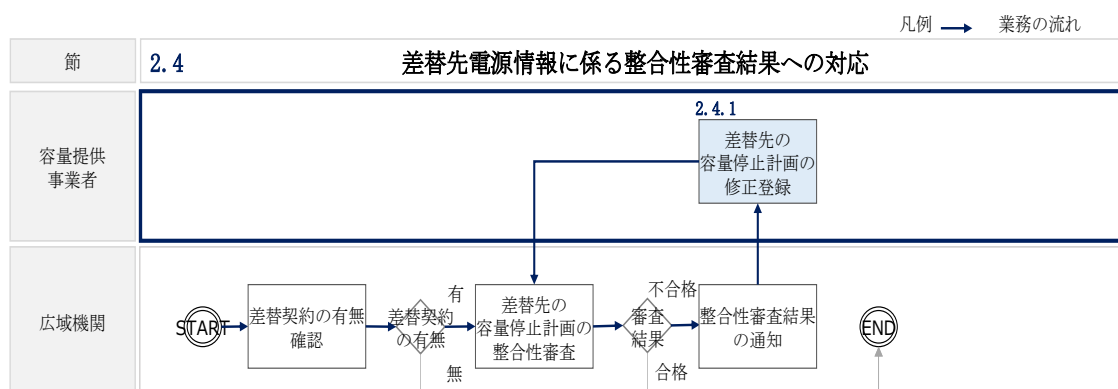


図 2-23 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成

2.4.1 差替先の容量停止計画の修正登録

本項では、差替先の容量停止計画の修正登録について説明します（図 2-24 参照）。

2.4.1.1 差替先の容量停止計画の整合性審査結果の受領

2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録

2.4.1 差替先の容量停止計画の修正登録

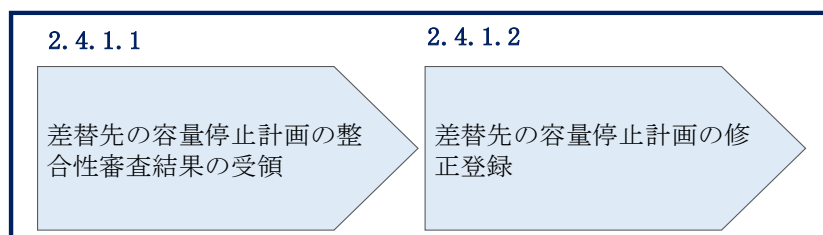


図 2-24 差替先の容量停止計画の修正登録の手順

²⁶ 差替元が登録した差替先の容量停止計画と差替先が登録した容量停止計画が整合しているかを、本機関が審査します。

2.4.1.1 差替先の容量停止計画の整合性審査結果の受領

差替先の容量停止計画の整合性審査結果が不合格の場合は、その旨が差替元電源等提供者へメールにて送付されますので、内容を確認し『2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録』を参照して容量停止計画を修正登録してください。

2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録

差替元電源等提供者にて差替先の容量停止計画を修正し、容量市場システムに再登録してください。登録方法については『2.2 容量停止計画の登録』を参照してください。差替先の容量停止計画の修正・登録期限は通知日から第5営業日となります。

注：本機関からの依頼があったにもかかわらず、期限までに容量停止計画の修正・登録がされない場合、当月の全てのコマについて容量停止計画を本機関にて登録し、アセスメントを実施する場合があります。

2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応

本節では、容量停止計画提出時期の妥当性審査²⁷に係る対応について以下の流れで説明します（図 2-25 参照）。

- 2.5.1 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出
- 2.5.2 提出時期の妥当性審査結果の受領
- 2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立

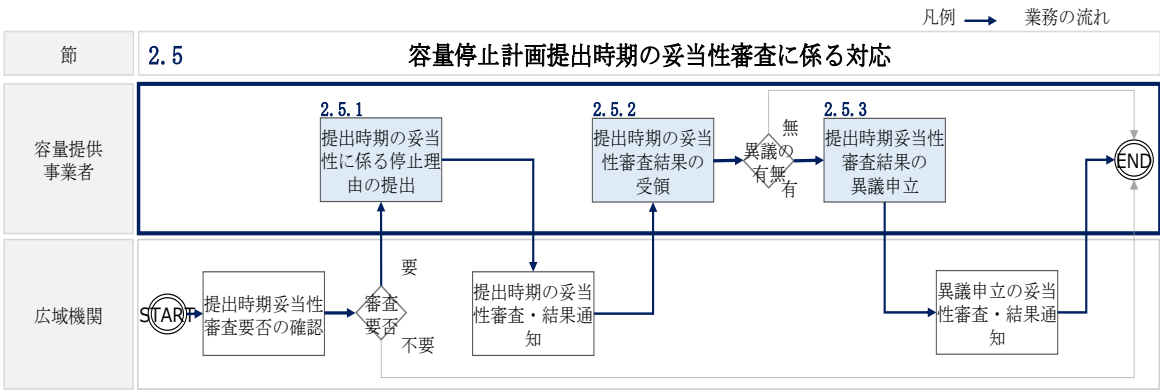


図 2-25 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応の詳細構成

²⁷ 登録されている容量停止計画を確認し、容量停止計画の提出時期が妥当かどうかを、本機関が審査します。

2.5.1 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出

本項では、提出時期の妥当性に係る停止理由（電源の出力が停止又は抑制される理由）の提出について説明します（図 2-26 参照）。

2.5.1.1 停止理由の提出依頼受領

2.5.1.2 停止理由の提出

2.5.1 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出

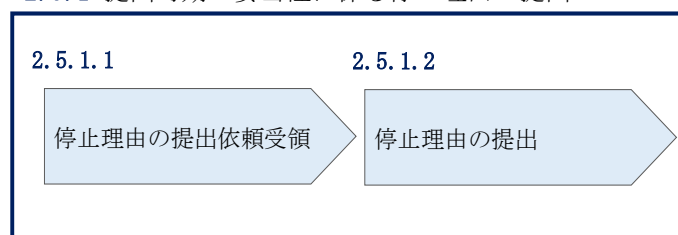


図 2-26 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出の手順

2.5.1.1 停止理由の提出依頼受領

対象実需給月+2月の月上旬頃に容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出依頼が本機関より容量市場システム登録のメールアドレス宛にメールにて通知された場合、その内容を確認してください。

2.5.1.2 停止理由の提出

当該容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由についてまとめ、本機関へメールにて提出してください（表 2-10 参照）。

提出時期の妥当性に係る停止理由の提出期限は通知日から第5営業日となります。

表 2-10 容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出メール記載事項

項目	内容
件名	容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実需給年度 ・ 実需給月 ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称 ・ 提出時期が遅れた理由、停止理由、等
添付ファイル	提出時期の妥当性の根拠となる資料（必要に応じて）

2.5.2 提出時期の妥当性審査結果の受領

本項では、提出時期の妥当性審査結果の受領について説明します（図 2-27 参照）。

2.5.2.1 提出時期の妥当性審査結果の受領

2.5.2.2 提出時期の妥当性審査結果の確認

2.5.2 提出時期の妥当性審査結果の受領

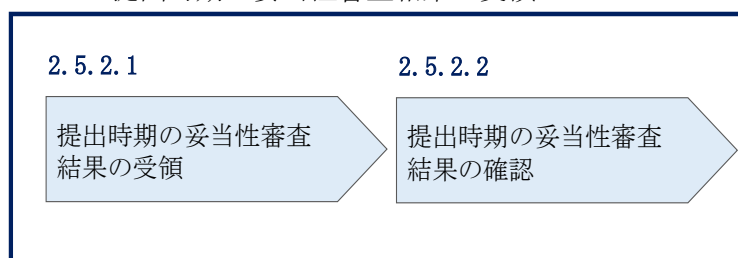


図 2-27 提出時期の妥当性審査結果の受領の手順

2.5.2.1 提出時期の妥当性審査結果の受領

容量停止計画の提出時期の妥当性審査結果が本機関より容量市場システム登録のメールアドレス宛にメールにて通知されますので、内容を確認してください。

2.5.2.2 提出時期の妥当性審査結果の確認

内容を確認のうえ、審査結果に異議がある場合は、『2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立』を参照し、異議申立を行ってください。

2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立

本項では、容量停止計画の提出時期の妥当性審査結果の異議申立について説明します（図 2-28 参照）。

2.5.3.1 異議申立メールの送付

2.5.3.2 異議申立審査結果の確認

2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立

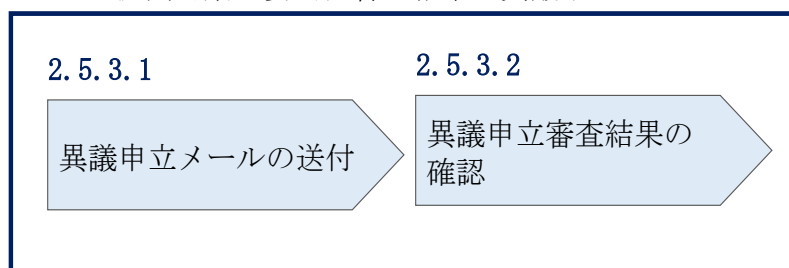


図 2-28 提出時期の妥当性審査結果の確認の手順

2.5.3.1 異議申立メールの送付

提出時期の妥当性審査結果に異議がある場合、審査結果通知を受領した日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立をする場合、新規メールに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-11 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月7日（月）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-11 提出時期の妥当性審査結果に対する異議申立メールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象)【XXXX（事業者コード） ²⁸ 】提出時期の妥当性審査結果に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議申立の内容およびその根拠を具体的に文章で記載 <p>容量停止計画に係る提出時期の妥当性審査結果の異議申立対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者コード ・事業者名称および担当者名 ・電源等識別番号 ・電源等の名称 ・容量停止計画 ID
添付資料	異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

2.5.3.2 異議申立審査結果の確認

提出時期の妥当性審査結果に対して異議申立を行った場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果が合格の場合、対応は不要です。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：rikuase@youryou2.occto.or.jp

²⁸件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

第3章 算定諸元登録（発電計画・発電上限）

本章では、算定諸元登録（発電計画・発電上限）に関する以下の内容について説明します（図 3-1 参照）。

- 3.1 発電計画・発電上限に関する対応
- 3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

第3章

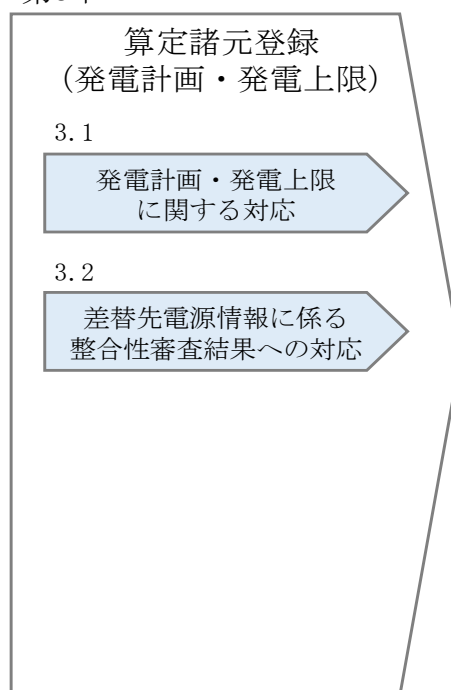


図 3-1 第3章の構成

3.1 発電計画・発電上限に関する対応

本節では、発電計画・発電上限に関する対応について説明します（図 3-2 参照）。

- 3.1.1 発電計画・発電上限の確認
- 3.1.2 発電計画・発電上限の修正
- 3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

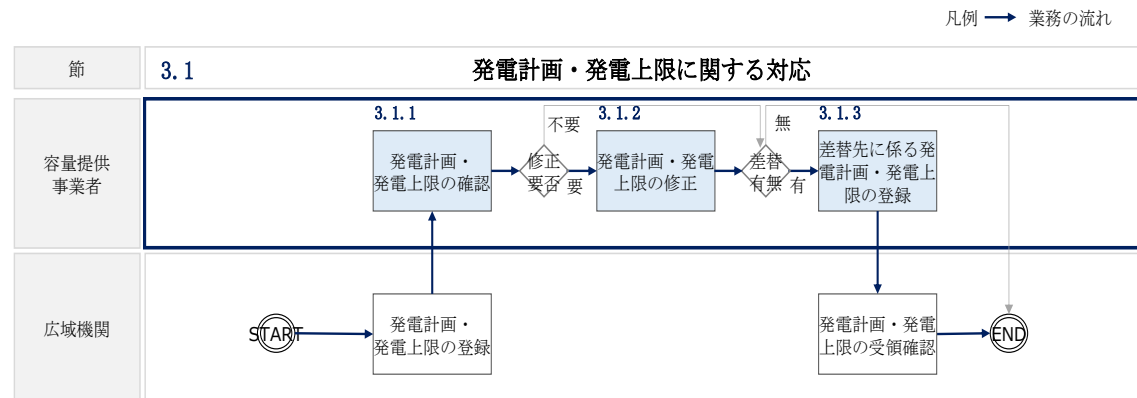


図 3-2 発電計画・発電上限に関する対応の詳細構成

3.1.1 発電計画・発電上限の確認

本項では、発電計画・発電上限の確認について説明します（図 3-3 参照）。

3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認

3.1.1 発電計画・発電上限の確認

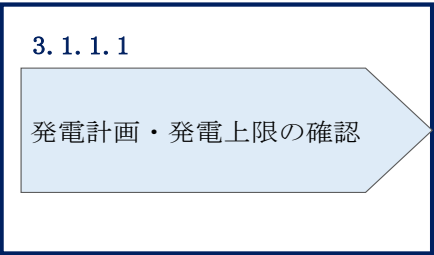


図 3-3 発電計画・発電上限の確認の手順

3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認

本機関にて、広域機関システムに登録されているゲートクローズ直前に提出された発電計画値・発電上限値を、対象実需給月の翌月第5営業日までに容量市場システムに登録します²⁹。

以下の手順で容量市場システムに登録された発電計画・発電上限の登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「実需給年月」を入力し、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択したうえで「検索」ボタンをクリックしてください。

「アセスメント算定諸元一覧」に条件に合致する結果が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください（図 3-4 参照）。

「アセスメント算定諸元詳細画面」にて、登録された発電計画・発電上限をご確認ください。登録された発電計画・発電上限の修正の必要があるか判断してください（図 3-5 参照）。修正の必要がある場合は、『3.1.2 発電計画・発電上限の修正』へ進んでください。

²⁹ 容量市場システムでの「電源等情報詳細画面」上の「詳細情報」に記載された号機単位の系統コードを紐づけ情報として利用し、広域機関システムのデータを容量市場システムへ登録します。同一系統コードの電源が容量市場システム上に複数ある場合は、発電計画値・発電上限値を設備容量比で按分したうえで登録します。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00
ユーザー名 日立 太郎

ログアウト

アセスメント算定諸元一覧画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面

実需給年月*

YYYY/MM

電源等識別番号

電源等の名称

電源等の区分

提出元エリア

提出元事業者コード

XXXX

提出元事業者名

XXXXXXXX

供給指示対象

回次

最新回次切替

☐ 最新回次のみ表示

検索

アセスメント算定諸元一覧

選択	実需給年度▲	実需給年月▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲	電源等の区分▲	提出元 エリア▲	提出元 事業者コード▲	提出元 事業者名▲	回次▲	供給指示対象▲
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—

1-15件（全XX件）<<最初<前1/X次へ最後へ

確認依頼メール送信一覧出力

図 3-4 アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ

図 3-5 アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ

3.1.2 発電計画・発電上限の修正

本項では、発電計画・発電上限の修正について説明します（図 3-6 参照）。

3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録

3.1.2.2 発電計画・発電上限の取込確認

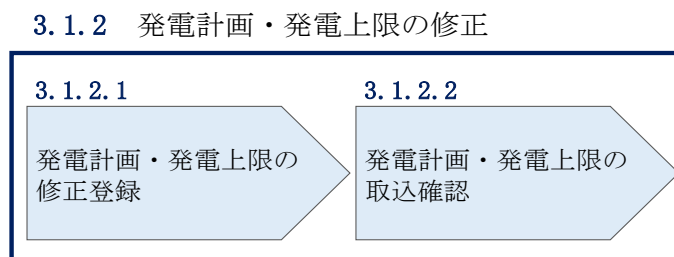


図 3-6 発電計画・発電上限の登録の手順

3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録

本機関が容量市場システムへ登録した発電計画・発電上限の修正が必要と判断した場合、発電計画・発電上限を修正のうえ登録してください。

発電計画・発電上限の修正・登録期限は対象実需給月+1月の最終営業日となります。

注1：容量市場システムに登録する発電計画・発電上限は容量市場における容量停止計画・市場応札等のアセスメントを実施するために使用します。ここで、広域機関システムに登録する発電計画・発電上限は系統コード単位で登録されていますが、本機関が容量市場システムへ登録する発電計画・発電上限は、設備の停止状況等に関わらず設備容量比で按分して容量市場システムへ登録します。したがって、広域機関システムに登録している発電計画・発電上限と容量市場システムに登録する発電計画・発電上限は異なる場合があります。

また、以下の事例等では容量停止計画のアセスメントを実施するために、本機関が広域機関システムから容量市場システムに登録した発電計画・発電上限を容量提供事業者にて修正する必要があります。

（例1）同一系統コードの電源が容量市場システム上に複数ある場合

本機関が容量市場システムへ登録する発電計画・発電上限は設備の停止状況等に関わらず設備容量比で按分して容量市場システムへ登録します。そのため、設備の停止状況等を踏まえ、発電計画・発電上限を修正してください。

（例2）揚水発電所・蓄電池において、発電所単位（複数ユニット）で容量市場に落札し、運転継続時間の範囲外で1ユニットのみが作業停止して容量停止計画を登録している場合³⁰

運転継続時間の範囲外において、広域機関システムに登録した発電上限は0となりますが、容量停止計画のアセスメントを実施するために、運転継続時間の範囲外で1ユニットのみが作業停止して容量停止計画を登録しているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値³¹に修正してください。

（例3）自流水水力発電所において、容量停止計画を提出し出力低下している期間に渇水等が発生し広域機関システムに登録した発電上限が、電源が提供できる供給力の最大値を下回っている場合

広域機関システムに登録した発電上限は、安定供給に必要な予備率の確保可否の確認に使用しているため、容量停止計画による出力低下に加え、渇水等の影響を考慮した値となっています。したがって、容量市場システムに登録する発電上限につい

³⁰ 揚水発電所・蓄電池において、発電所単位（複数ユニット）で容量市場に落札しており、運転継続時間の範囲外で1ユニットのみが作業停止して容量停止計画を登録しているコマについては、市場応札のリクワイアメントの対象外となりますが、容量停止計画のリクワイアメントの対象となります。

³¹ 本マニュアル末尾に掲載されている Appendix3 を参照。

ては、適切な容量停止計画のアセスメント実施のために、広域機関システムに登録した発電上限を電源が提供できる供給力の最大値に修正してください。

（例4）非効率石炭火力電源において、容量停止計画を提出し出力低下している期間に、実需給期間中に年間設備利用率の範囲内を見込むにあたり、広域機関システムに登録した発電上限が、電源が提供できる供給力の最大値を下回っている場合（平常時のみ）

広域機関システムに登録した発電上限は、安定供給に必要な予備率の確保可否の確認に使用しているため、容量停止計画による出力低下に加え、稼働抑制のリクワイアメントを遵守するための出力低下を考慮した値となっています。したがって、容量市場システムに登録する発電上限については、適切な容量停止計画のアセスメント実施のために、広域機関システムに登録した発電上限を電源が提供できる供給力の最大値に修正してください。

（例5）低予備率アセスメント対象コマ³²において、発電上限値が電源の提供できる供給力の最大値を下回っている場合

広域機関システムに登録した発電上限は、安定供給に必要な予備率の確保可否の確認に使用しているため、燃料制約や渇水、バランス停止による起動時間の制約等による減少を考慮した値となっている場合があります。容量市場システムに登録する低予備率アセスメント対象コマの発電上限については、適切な市場応札のアセスメント実施のために、広域機関システムに登録した発電上限を電源が提供できる供給力の最大値に修正してください。なお、適切に修正されていない場合は、提出された起動時間報告フォーマットを加味し、広域機関にて発電上限を修正いたします。

注2：本機関にて、広域機関システムに登録されている発電計画値・発電上限値を、容量市場システムでの「電源等情報詳細画面」上の「詳細情報」に記載された号機単位の系統コードを紐づけ情報として利用し、容量市場システムへ登録しますが、系統コードが誤っている場合等においては、本機関での移行ができません。容量提供事業者にて容量市場システムに発電計画・発電上限を登録してください。

注3：発電計画がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを0として取り扱う場合があります。また、発電上限がアセスメント算定までに提出

³²広域予備率低下のコマを確認したい場合は、容量市場システムに関する利用規約・システムマニュアルの (https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html) の『B80_容量市場システムマニュアル_需給ひっ迫のおそれコマ』を参照してください。

注4：誤った文字コードのCSVファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS (MS932)】です。テキストエディタでCSVを作成、保存する場合は文字コードANSIを選択してください。UTF-8等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

[illegible]

図 3-7 アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）の CSV イメージ

表 3-1 アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV の記載項目³³

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	01 若しくは 02 を入力してください 01：発電計画 02：発電上限
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電計画（単位：[kW] ³⁴ ，整数部最大 12 桁）・発電上限（単位：[kW]，整数部最大 12 桁）を半角数字で入力してください
6	0:30	〃
7	1:00	〃
8	1:30	〃
9	2:00	〃
...		
48	21:30	〃
49	22:00	〃
50	22:30	〃
51	23:00	〃
52	23:30	〃

アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

³³ アセスメント算定諸元 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 03 に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換することができます）。

³⁴ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

注1：アセスメント算定諸元 CSV（発電計画・発電上限）ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「” ”（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1行目のヘッダ部分（”実需給年月日”～“23:30”の部分）各項目には「” ”」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「” ”」を付けないでください。

注3：アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください。（発電計画・発電上限が零でも、0を入力してください）。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv」としてください³⁵。また、発電計画・発電上限を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R 更新回数.csv」としてください。

例）初回の登録の場合

202410_アセスメント算定諸元.csv
実需給年度・対象月 ファイル種別

1 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R1.csv
R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「一括登録・変更画面」の「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたいアセスメント算定諸元（発電計画・

³⁵ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

発電上限）CSV を選択してください。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 3-8 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

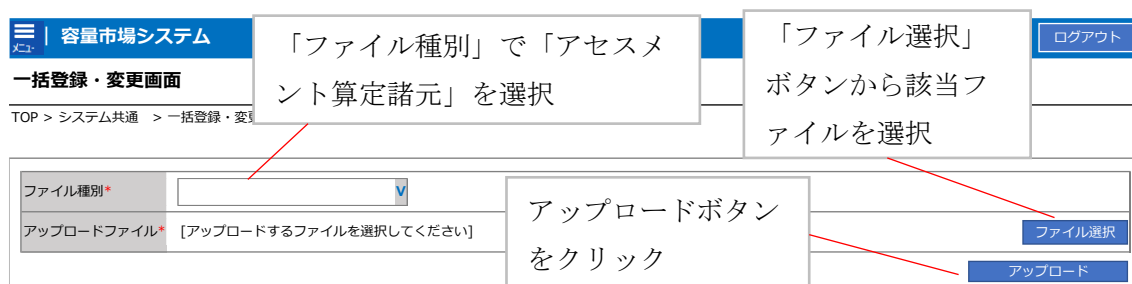


図 3-8 一括登録・変更画面 画面イメージ

3.1.2.2 発電計画・発電上限の取込確認

アップロードした発電計画・発電上限の取込確認をしてください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、登録日時を入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧」（検索結果）に条件に合致するアセスメント算定諸元が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 3-9、図 3-10 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

容量停止計画の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 3-11 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認してアセスメント算定諸元の

CSV ファイルを修正し、『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』を参照して再登録してください。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザ名 広域 太郎

ログアウト

一括登録・変更結果確認画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更結果確認画面

ファイル種別	<input type="text" value="V"/>	登録ファイル名	<input type="text"/>
事業者コード	<input type="text"/>	事業者名	<input type="text"/>
登録日時	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/> <input type="text" value="HH:MM"/> ~ <input type="text" value="YYYY/MM/DD"/> <input type="text" value="HH:MM"/>	登録結果NGのみ表示	<input type="checkbox"/>

検索

一括登録・変更管理ID▲

XXXXXXXXXX	2
XXXXXXXXXX	2
XXXXXXXXXX	2
XXXXXXXXXX	2
...	
XXXXXXXXXX	2
XXXXXXXXXX	2
XXXXXXXXXX	2
XXXXXXXXXX	2

ユーザID▲

KOUIKI0001
KOUIKI0001
JIGYO00001
JIGYO00002
USER00001
USER00001
USER00001
USER00001
USER00001

「登録結果」（一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）参照）に「OK」と表示されている発電計画・発電上限は正しく登録できています。「NG」と表示されているものは正しく登録できておりませんので、原因を確認して再登録してください。

XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	事業者別年間ピーク実績	アップロードファイルXXXXX.csv	1234	広域	USER00001
------------	-----------------	-------------	---------------------	------	----	-----------

1-15件 (全25件)

<<最初へ

<前

1 / 2

次へ

最後へ

一括出力

図 3-9 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 3-10 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）

*エラー情報.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

"一括登録・変更管理ID","行番号","項目名","項目値","エラー内容"
 "XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","99","コードマスタに当該区分がない"
 "XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","98","コードマスタに当該区分がない"
 "XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","97","コードマスタに当該区分がない"

図 3-11 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、発電計画・発電上限のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されます（表 3-2 参照）。『3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認』を参照し、登録内容を確認してください。

発電計画・発電上限を誤った内容で登録してしまった場合は、『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』を参照して、発電計画・発電上限を再登録してください。

表 3-2 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 アセスメント算定諸元³⁶</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「アセスメント算定諸元詳細画面」の登録結果と、取り込んだアセスメント算定諸元

³⁶ 差替配分供給力 CSV を登録した場合は、“差替配分供給力”と表示されます。

（発電計画・発電上限）CSV ファイルの値のうち、少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「安定電源」を選択のうえ、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「電源等識別番号」をクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください。「一括登録・変更画面」で取り込んだアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV ファイルと「アセスメント算定諸元詳細画面」に表示される「発電計画・発電上限情報」のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図3-12 参照）。

発電計画・発電上限を誤った内容で登録してしまった場合は、『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』を参照して発電計画・発電上限を再登録してください。

[illegible]

“実需給年月日”，“情報区分”，“提出事業者”

[illegible]

CSV ファイルの比較イメージ

3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

本項では、差替元電源等提供者が実施する差替先に係る発電計画・発電上限の登録について説明します（図 3-13 参照）。

3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

3.1.3.2 差替先に係る発電計画・発電上限の取込確認

3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

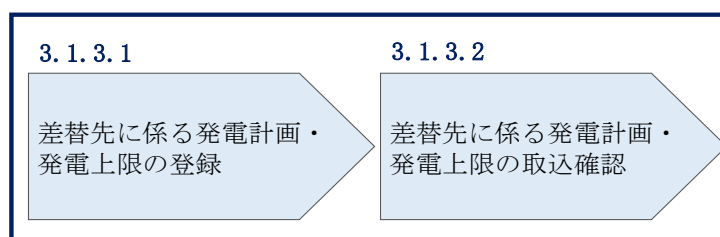


図 3-13 差替先に係る発電計画・発電上限の登録の手順

3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

電源等差替を実施している場合は、差替元電源等提供者にて差替先の発電計画・発電上限を登録・修正してください。

差替先に係る発電計画・発電上限の修正・登録期限は対象実需給月+1月の最終営業日となります。

登録主体から登録対象を確認し、登録対象ごとに下記手順を参照してください（表 3-3 参照）。

表 3-3 電源等差替を実施している場合の発電計画・発電上限の登録対象

登録主体		電源等差替を実施している場合の発電計画・発電上限の登録対象
差替元電源等提供者	部分差替	差替元電源の全量 差替先電源から差替元電源に配分された量
	全量差替	差替先電源から差替元電源に配分された量
差替先電源等提供者		差替先電源の全量

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が安定電源で、差替先電源も安定電源であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は差替元電源の全量の発電計画・発電上限と、差替先電源から差替元電源に配分された量の発電計

画・発電上限を登録してください。また、差替先電源等提供者は差替先電源の全量の発電計画・発電上限を登録してください。

注：発電計画がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを0として取り扱います。また、発電上限がアセスメント算定までに提出されない場合、月別の差替容量を発電上限として取り扱います。

<差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV>

差替元電源等提供者は差替配分供給力（発電計画・発電上限）を登録してください（表 3-4 参照）。

差替配分供給力（発電計画・発電上限）の登録は https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 3-14 参照）。

図 3-14 差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV イメージ

実需給年月日	情報区分	提出事業者コード	電源等識別番号	差替先電源等識別番号	差替ID	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00
20240401.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240401.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240402.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240402.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240403.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240403.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240404.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240404.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240405.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240405.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240406.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240406.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240407.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240407.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240408.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240408.02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240409.01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000	1000

図 3-14 差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV イメージ

表 3-4 差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV の記載項目³⁷

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	01 若しくは 02 を入力してください 01：発電計画 02：発電上限
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
6	電源等差替 ID	電源等差替 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電計画（単位：[kW] ³⁸ ，整数部最大 12 桁）・発電上限（単位：[kW]，整数部最大 12 桁）を半角数字で入力してください
8	0:30	〃
9	1:00	〃
10	1:30	〃
11	2:00	〃
...		
50	21:30	〃
51	22:00	〃
52	22:30	〃
53	23:00	〃
54	23:30	〃

³⁷ 差替配分供給力 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 03 に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換することができます）。

³⁸ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

差替配分供給力 CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注1：差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（” 実需給年月日”～”23:30”の部分）各項目には「”」を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：差替配分供給力（発電計画・発電上限）の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電計画・発電上限が零でも、0を入力してください）。

注4：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A 枝番.csv」としてください³⁹。
また、差替配分供給力（発電計画・発電上限）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_ A 枝番_R 更新回数.csv」としてください。

例）初回の登録の場合

202410_差替配分供給力_A1.csv
実需給年度・対象月 ファイル種別 A 枝番

1 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_A1_R1.csv
R 更新回数

³⁹ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

2 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_A1_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい差替配分供給力ファイルを選択してください。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックしてアップロードを完了してください（図 3-15 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

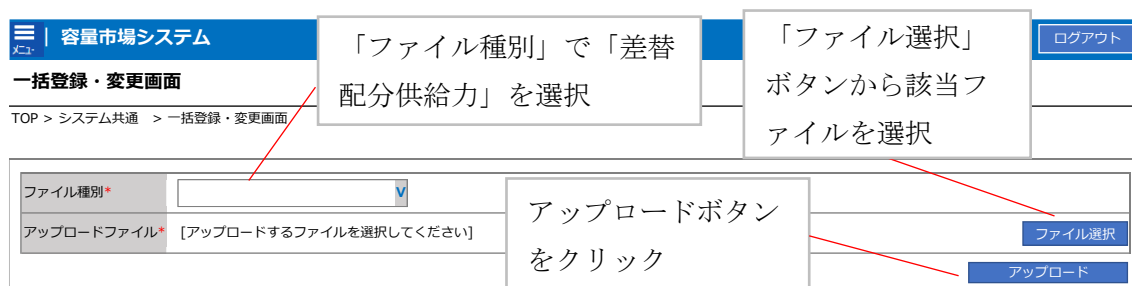


図 3-15 一括登録・変更画面 画面イメージ

3.1.3.2 差替先に係る発電計画・発電上限の取込確認

アップロードした発電計画・発電上限の取込確認をしてください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧」（検索結果）に条件に合致する差替配分供給力が表示されます。ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認

してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 3-16、図 3-17 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

差替配分供給力の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 3-18 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して差替配分供給力 CSV ファイルを修正し、『3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』を参照して再登録してください。

「登録結果」（一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）参照）に「OK」と表示されている差替配分供給力は正しく登録できています。「NG」と表示されているものは正しく登録できておりませんので、原因を確認して再登録してください。

一括登録・変更管理	登録日時	ファイル種別	登録ファイル名	事業者コード	事業者名	ユーザ名
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/14 20:33	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力.csv	5678	事業者 1	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/13 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R1.csv	5678	事業者 1	広域 x x
...						
XXXXXXXXXX	2024/2/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R2.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/14 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/13 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/12 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R1.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R2.csv	1234	広域	広域 x x

1-15件 (全25件) <<最初へ <前へ 1 / 2 次へ >最後へ>> 一括出力

図 3-16 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 3-17 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）

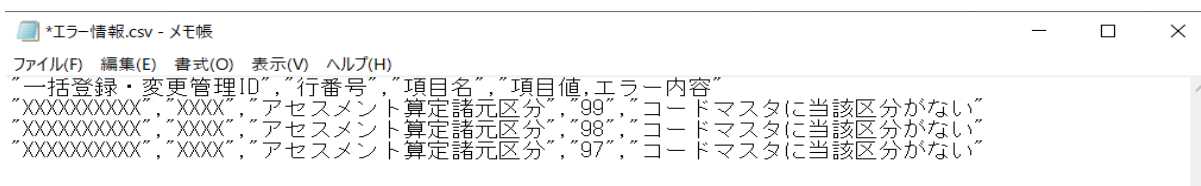


図 3-18 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システム登録のメールアドレス宛に送付されます（表 3-2 参照）。『3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認』を参照し、登録内容を確認してください。

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「差替配分供給力詳細画面」の登録結果と、取り込んだ差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルの値のうち、少なくとも 1 日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「差替配分供給力一覧画面」の順にリンクをクリックして、「差替配分供給力一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「安定電源」を選択のうえ、「最新回次⁴⁰切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「差替元電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「差替元電源等識別番号」をクリックし、「差替配分供給力詳細画面」へ進んでください。「一括登録・変更画面」で取り込んだ差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルと「差替配分供給力詳細画面」に表示される「発電計画・発電上限情報」のうち少なくとも 1 日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図 3-19 参照）。

⁴⁰ 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix. 3 を参照。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00
ユーザ名：日立 太郎

ログアウト

差替配分供給力詳細画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 差替配分供給力一覧画面 > 差替配分供給力詳細画面

差替情報

差替対象年月2024/4
差替IDXXXXXXXXXX
最新諸元更新日時YYYY/MM/DD hh:mm

差替元情報

差替元事業者コードXXXXXXXXXX
差替元事業者名XXXXXXXXXX
差替元電源等識別番号XXXXXXXXXX
差替元電源等の名称XXXXXXXXXX

差替先情報

差替先事業者コードXXXXXXXXXX
差替先電源等の名称XXXXXXXXXX

更新情報

発電計画・発電上限最終更新日時YYYY/MM/DD hh:mm
回次XX

詳細選択

確認登録種別● 発電計画・発電上限

差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルと「差替配分供給力詳細画面」の発電計画・発電上限の値のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

発電計画・発電上限情報

差替元電源等識別番号	差替ID	差替先電源等識別番号	差替対象年月日	登録種別	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	2024/04/01	発電計画	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
				発電上限	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	2024/04/02	発電計画	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
				発電上限	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX

202404_差替配分供給力.csv - メモ帳

ファイル名 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

“実需給年月日”、“情報区分”、“提出事業者コード”、“電源等識別番号”、“差替先電源等識別番号”、“差替ID”、“0:00”、“0:30”、“1:00”、“1:30”、“2:00”、“2:30”
20240401, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240402, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240403, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240404, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240405, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240406, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240407, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240408, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240409, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240410, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240411, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240412, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240413, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240414, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240415, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240416, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240417, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000, 1000
20240418, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240419, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240420, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240421, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240422, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240423, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240424, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240425, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240426, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240427, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240428, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240429, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500
20240430, 03, H001, 0000000004, 0000000009, 1111111111, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500, 1500

図 3-19 差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルの比較イメージ

3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

本節では、差替先電源情報に係る整合性審査⁴¹結果への対応について説明します（図3-20 参照）。

3.2.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

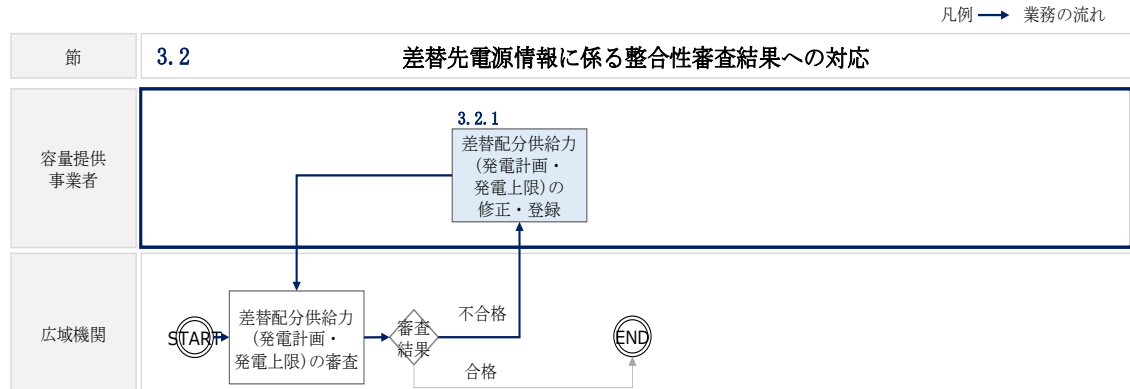


図 3-20 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成

⁴¹ 差替元が登録した差替配分供給力（発電計画・発電上限）と差替先が登録した発電計画・発電上限が整合しているかを、本機関が審査します。

3.2.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

本項では、差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録について説明します（図 3-21 参照）。

3.2.1.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の審査結果の受領

3.2.1.2 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

3.2.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

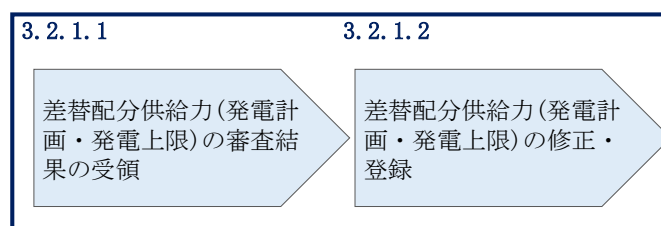


図 3-21 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録の手順

3.2.1.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の審査結果の受領

差替配分供給力（発電計画・発電上限）審査結果が不合格の場合は、その旨が本機関よりメールにて差替元電源等提供者へ送付されますので、内容を確認し、『3.2.1.2 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録』にて差替配分供給力（発電計画・発電上限）を修正し、登録してください。

3.2.1.2 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

差替先電源等提供者が提出している算定諸元を確認のうえ、『3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』を参照して差替配分供給力（発電計画・発電上限）を登録してください。

差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・提出期限は対象実需給月+2月の第13営業日となります。

注：上記の修正登録期限若しくは、本機関が指定する修正登録期限を過ぎても発電計画・発電上限がアセスメント算定までに修正登録されない場合、発電計画・発電上限が未登録だった場合と同様に取り扱います。

第4章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

本章では、算定諸元登録（発電量調整受電電力量）に関する以下の内容について説明します（図 4-1 参照）。

- 4.1 発電量調整受電電力量の登録
- 4.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応
- 4.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

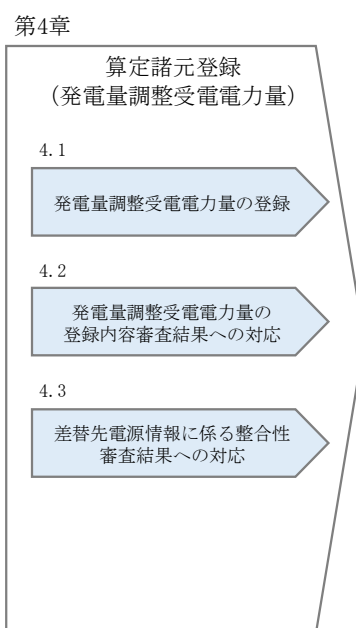


図 4-1 第4章の構成

4.1 発電量調整受電電力量の登録

本節では、発電量調整受電電力量の登録について以下の流れで説明します（図 4-2 参照）。

4.1.1 発電量調整受電電力量の登録

4.1.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録

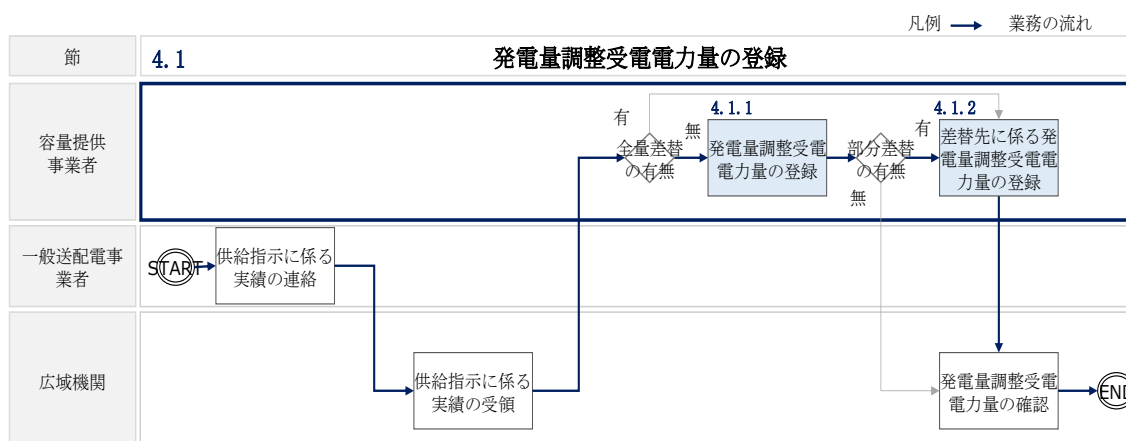


図 4-2 発電量調整受電電力量の登録の詳細構成

4.1.1 発電量調整受電電力量の登録

本項では、発電量調整受電電力量の登録について説明します（図 4-3 参照）。

4.1.1.1 発電量調整受電電力量の登録

4.1.1.2 発電量調整受電電力量の登録結果の確認

4.1.1.3 発電端計量値（ユニット単位）の登録

4.1.1 発電量調整受電電力量の登録

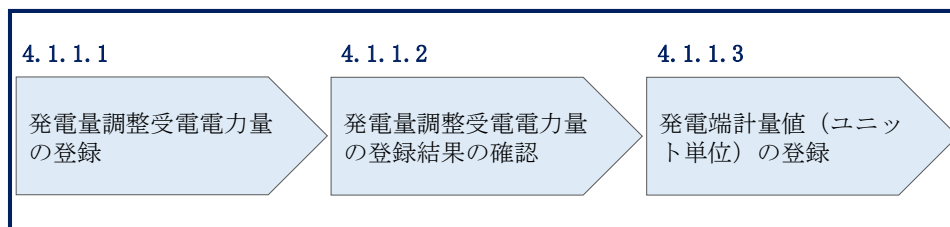


図 4-3 発電量調整受電電力量の登録の手順

実需給年度に稼働抑制の対象とならない電源は、一般送配電事業者から供給指示を受令した場合、当該月に係る発電量調整受電電力量の提出が必要です。一方、実需給年

度に稼働抑制の対象となる電源は、供給指示の受令の有無にかかわらず、毎月の発電量調整受電電力量の提出が必要です。なお、1 計量単位内に、非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合のみ発電端計量値（ユニット単位）の提出が必要となります（表 4-1 参照）。

表 4-1 発電量調整受電電力量の登録・提出範囲

電源	登録・提出する 算定諸元	提出対象月	参照手順
実需給年度に稼働抑制の対象とならない電源	発電量調整受電電力量	供給指示を受令した月	『4.1.1.1 発電量調整受電電力量の登録』
実需給年度に稼働抑制の対象となる電源	発電量調整受電電力量	毎月	『4.1.1.1 発電量調整受電電力量の登録』
	発電端計量値 （ユニット単位） ※1 計量単位内に、非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合のみ。	毎月	『4.1.1.3 発電端計量値（ユニット単位）の』

4.1.1.1 発電量調整受電電力量の登録

実需給年度に稼働抑制の対象とならない電源については、一般送配電事業者から供給指示を受令した月のみ、当該月の全電源の発電量調整受電電力量の登録が必要です。

また、実需給年度に稼働抑制の対象となる電源は、供給指示の受令の有無にかかわらず、発電量調整受電電力量の登録が必要です。

発電量調整受電電力量の登録期限は対象実需給月＋2月の第10営業日となります。

発電量調整受電電力量の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 4-4、表 4-2 参照）。

図 4-4 アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV イメージ

表 4-2 アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV の記載項目⁴²

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03 を入力してください 03：発電量調整受電電力量
3	提出事業者コード	事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量（単位：[kW] ⁴³ ，整数部最大 12 桁、小数部最大 3 桁）を半角数字で入力してください
6	0:30	〃
7	1:00	〃
8	1:30	〃
9	2:00	〃
...		
48	21:30	〃
49	22:00	〃
50	22:30	〃
51	23:00	〃
52	23:30	〃

アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注 1：アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載

⁴² アセスメント算定諸元 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 03 に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換することができます。）。

⁴³ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録するCSVファイルについて、1行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）各項目には「”」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量が零でも、0を入力してください）。

注4：発電量調整受電電力量がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の低予備率アセスメント対象コマを0とし、平常時のコマを契約容量として取り扱います。

注5：誤った文字コードのCSVファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタでCSVを作成、保存する場合は文字コードANSIを選択してください。UTF-8等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv」としてください⁴⁴。また、発電量調整受電電力量を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R更新回数.csv」としてください。

⁴⁴ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

例）初回の提出の場合

202410_アセスメント算定諸元.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別

1 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R1.csv

更新回数

2 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV を選択してください。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV ファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録を行ってください（図 4-5、表 4-3 参照）。

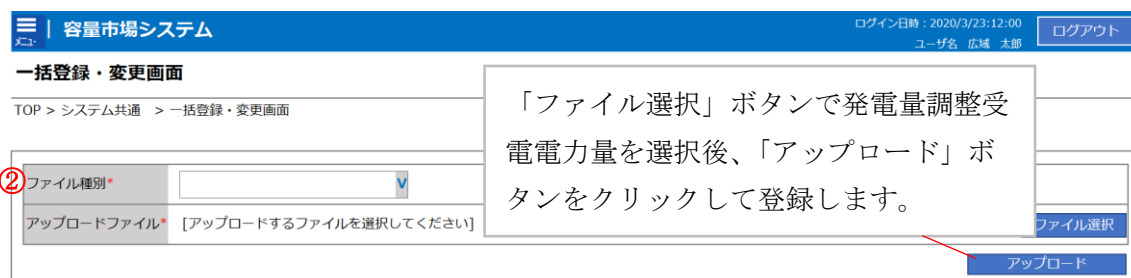


図 4-5 一括登録・変更の画面イメージ

表 4-3 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「アセスメント算定諸元」を選択

4.1.1.2 発電量調整受電電力量の登録結果の確認

登録したアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV ファイルが正常に容量市場システムに取り込まれているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、ユーザ名と登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧」（検索結果）に条件に合致する発電量調整受電電力量が表示されます。検索結果から、ユーザ ID、ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」を確認してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば登録が正常にされていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 4-6、図 4-7 参照）。

なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

発電量調整受電電力量の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 4-8 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認してアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV ファイルを修正し、『4.1.1 発電量調整受電電力量の登録』を参照して再登録してください。

4.1 発電量調整受電電力量の登録

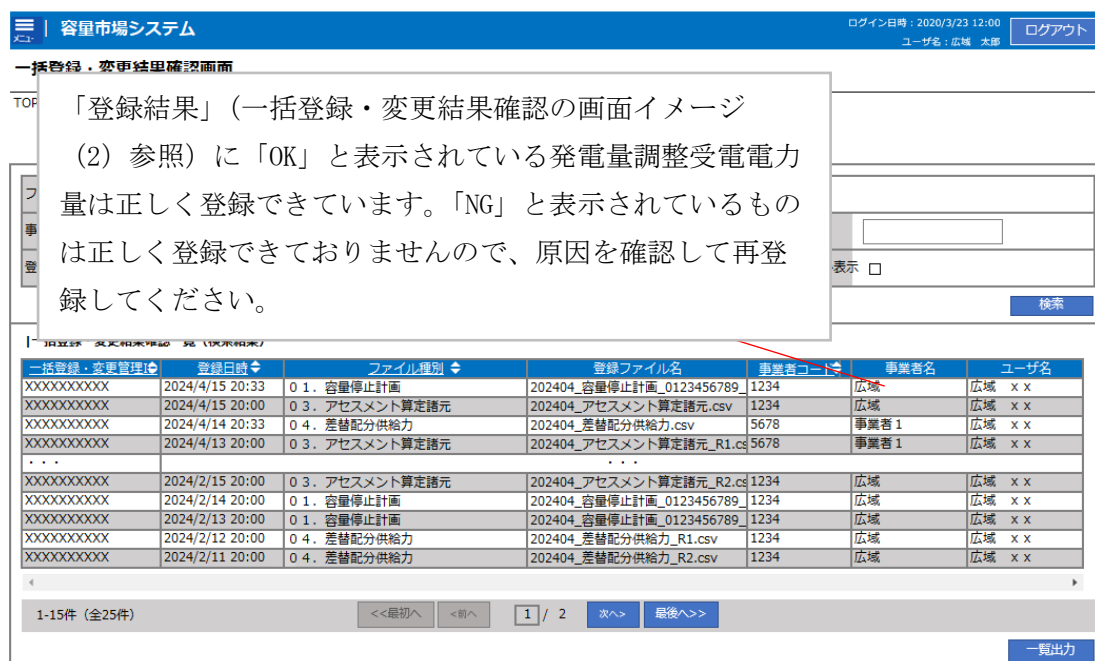


図 4-6 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)



図 4-7 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

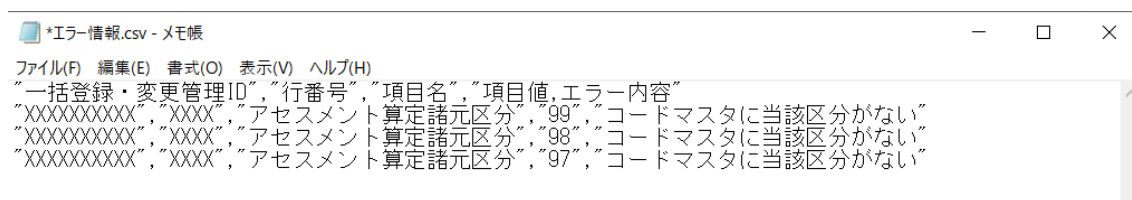


図 4-8 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、発電量調整受電電力量のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されます（表 4-4 参照）。

表 4-4 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 アセスメント算定諸元⁴⁵</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量市場システムに登録された発電量調整受電電力量の登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「実需給年月」を入力し、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択したうえで「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「電源等識別番号」をクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください（図 4-9 参照）。「発電量調整受電電力量」ラジオボタンをクリックすると、登録されている電量調整受電電力量が表示されます。

⁴⁵ 差替配分供給力 CSV を登録した場合は、“差替配分供給力”と表示されます。

「アセスメント算定諸元詳細画面」にて、登録された発電量調整受電電力量をご確認ください。登録された発電量調整受電電力量の修正の必要があるか判断してください（図 4-10 参照）。修正の必要がある場合は、『4.1.1.1 発電量調整受電電力量の登録』を参照してください。

≡ | 容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント算定諸元一覧画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面

実需給年月*
YYYY/MM

電源等識別番号

電源等の名称

電源等の区分
▼

提出元エリア
▼

提出元事業者コード
XXXX

提出元事業者名
XXXXXXXX

供給指示対象
▼

回次

最新回次切替
☐ 最新回次のみ表示

検索

≡ | アセスメント算定諸元一覧

選択	実需給年度▲	実需給年月▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲	電源等の区分▲	提出元 エリア▲	提出元 事業者コード▲	提出元 事業者名▲	回次▲	供給指示対象▲
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—

1-15件 (全XX件)

<<最初 <前 1 / X 次へ 最後へ

確認依頼メール送信

一覧出力

図 4-9 アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ

容量市場システム

ログイン日時:
2020/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント算定諸元詳細画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面 > アセスメント算定諸元詳細画面

登録情報

対象年度/月	2024/4	電源等識別番号	XXXXXXXXXX	電源等の名称	XXXXXXXXXX
電源等の区分	XXXXXXXXXX	提出元事業者コード	XXXXXXXXXX	提出元事業者名	XXXXXXXXXX

更新情報

発電計画・発電上限 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	発電量調整受電電力量 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	市場応札量 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm
回次	XXXX				

詳細選択

確認登録種別

☒ 発電計画・発電上限

☐ 発電量調整受電電力量

☐ 市場応札量

表示

発電計画・発電上限情報

実需給年度	実需給年月日	登録種別	電源等識別番号	コマ毎登録実績 [kW]																		
				01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2024	2024/04/01	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/02	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/03	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/04	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/05	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/06	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/07	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/08	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/09	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
2024	2024/04/10	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	

図 4-10 アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ

4.1.1.3 発電端計量値（ユニット単位）の登録

実需給年度に稼働抑制の対象となる電源において、1 計量単位内に非効率石炭火力電源対象ユニットと非効率石炭火力電源以外の対象外ユニットが混在する場合は、発電量調整受電電力量の登録に加えて、ユニット単位の発電端計量値⁴⁶を登録してください。

⁴⁶ 1 計量単位内に非効率石炭火力電源対象ユニットと非効率石炭火力電源以外の対象外ユニットが混在する場合、1 計量単位内のすべてのユニットの計量値（発電端）に応じた按分により非効率石炭火力電源の計量値（送電端）相当を算定する必要があるため提出が必要です。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント

算定対象年度を選択してください。

算定対象年度

YYYY

事業者コード

事業者名

エリア

NNN

電源等識別番号

XXXXXXXXXX

電源等の名称

NNNNNNNNNN

稼働抑制ペナルティ

NNN

承認状況

NNN

最新回次切替

最新回次のみ表示

検索

アセスメント一覧（事業者毎）（非効率石炭火力電源の稼働抑制）（検索結果）

選択	算定対象年度	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	稼働抑制ペナルティ	承認状況	承認者	承認日時	発電実績提出依頼日時
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXX1	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXX2	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	東京	XXXXXXXXX3	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	東京	XXXXXXXXX4	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	中部	XXXXXXXXX6	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	中部	XXXXXXXXX7	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN	中部	XXXXXXXXX8	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM		

発電端計量値（ユニット単位）の登録を行うユニットの「電源等識別番号」を選択してください。

図 4-11 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制 > アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

算定対象年度	YYYY	事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN
エリア	NNN	電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	NNNNNNNNNA
適用年月日	YYYY/MM/DD	稼働抑制ペナルティ	対象外	承認回次	XX
承認状況	承認済	審査者	XXXXXXXXXX	審査日時	YYYY/MM/DD hh:mm
承認者	XXXXXXXXXX	承認日時	YYYY/MM/DD hh:mm	発電実績提出依頼日時	YYYY/MM/DD hh:mm

添付資料

ファイル選択

アップロード

登録する発電端計量値（ユニット単位）のファイルを選択した後、「アップロード」ボタンをクリックしてください。

図 4-12 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ

4.1.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録

本項では、差替先に係る発電量調整受電電力量の登録について説明します（図 4-13 参照）。

4.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録

4.1.2.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録結果の確認

4.1.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録

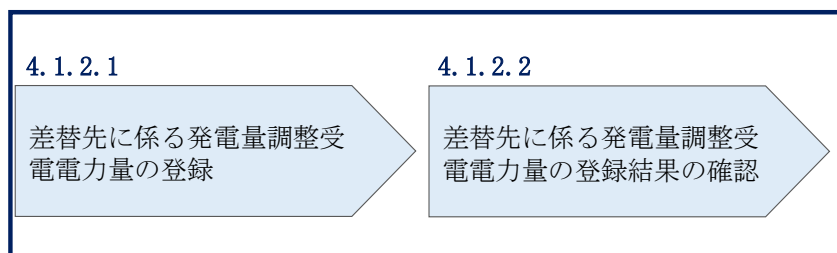


図 4-13 差替先の発電量調整受電電力量の登録の手順

4.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録

電源等差替を実施しており、差替先電源等が実需給年度に稼働抑制の対象とならない電源の場合、一般送配電事業者から供給指示を受令した月のみ、当該月分の発電量調整受電電力量の登録が必要です。差替元電源等提供者は、差替先電源等から配分された発電量調整受電電力量を容量市場システムに登録してください。

登録主体から登録対象を確認し、登録対象ごとに下記手順を参照してください（表4-5 参照）。

表 4-5 差替先に係る発電量調整受電電力量の提出範囲（差替先電源等が稼働抑制の対象とならない場合）

登録主体		電源等差替を実施している場合の発電量調整受電電力量の登録対象	提出対象月
差替元電源等提供者	部分差替	差替元電源の発電量調整受電電力量	毎月（差替元電源が稼働抑制の対象とならない場合は供給指示を受令した月）
		差替元電源の発電端計量値（ユニット単位） ※差替元電源において1計量単位内に、非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合のみ。	毎月
		差替配分供給力（発電量調整受電電力量） ⁴⁸	供給指示を受令した月
	全量差替	差替配分供給力（発電量調整受電電力量）	
差替先電源等提供者		差替先電源の発電量調整受電電力量	

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が安定電源（稼働抑制の対象）で、差替先電源も安定電源（稼働抑制の対象外）であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は毎月の差替元電源の全量の発電量調整受電電力量と、供給指示を受令した月の差替先電源から差替元電源に配分された量の発電量調整受電電

⁴⁸ 差替先から配分された発電量調整受電電力量

力量を登録してください。また、差替先電源等提供者は供給指示を受令した月の差替先電源の全量の発電量調整受電電力量を登録してください。

電源等差替を実施しており、差替先電源等が実需給年度に稼働抑制の対象となる電源の場合、供給指示の受令の有無にかかわらず、毎月の発電量調整受電電力量の提出が必要です。なお、1計量単位内に、非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合のみ発電端計量値（ユニット単位）の提出が必要となります。差替元電源等提供者は、差替先電源等から配分された発電量調整受電電力量を容量市場システムに登録してください。登録主体から登録対象を確認し、登録対象ごとに下記手順を参照してください（表 4-6 参照）。

注：電源等差替によって非効率石炭火力電源に差替える場合、差替元電源が非効率石炭火力電源かどうかに関わらず、差替先電源は稼働抑制のリクワイアメントの対象となります。

非効率石炭火力電源をそれ以外の電源に差替える場合、差替先電源は稼働抑制のリクワイアメントの対象外となります。

表 4-6 差替先に係る発電量調整受電電力量の提出範囲（差替先電源等が稼働抑制の対象となる場合）

登録主体		電源等差替を実施している場合の発電量調整受電電力量の登録対象	提出対象月
差替元電源等提供者	部分差替	差替元電源の発電量調整受電電力量	毎月（差替元電源が稼働抑制の対象とならない場合は供給指示を受令した月）
		差替元電源の発電端計量値（ユニット単位） ※差替元電源において1計量単位内に、非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合のみ。	毎月
		差替配分供給力（発電量調整受電電力量）	
	全量差替	差替配分供給力（発電量調整受電電力量）	
差替先電源等提供者		差替先電源の発電量調整受電電力量	
		差替先電源の発電端計量値（ユニット単位） ※差替先電源において1計量単位内に、非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合のみ。	

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が安定電源（稼働抑制の対象外）で、差替先電源も安定電源（稼働抑制の対象）であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は供給指示を受令した月の差替元電源の全量の発電量調整受電電力量と、毎月の差替先電源から差替元電源に配分された量の発電量調整受電電力量を登録してください。また、差替先電源等提供者は毎月の差替先電源の全量の発電量調整受電電力量を登録してください。

差替先の発電量調整受電電力量の登録期限は対象実需給月＋2月の第10営業日となります。

差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の登録は、

[https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-](https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html)

[system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html) からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 4-14、表 4-7 参照）。

図 4-14 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）CSV イメージ

表 4-7 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）CSV の記載項目⁴⁹

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03 を入力してください 03：発電量調整受電電力量
3	提出事業者コード	事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください

⁴⁹ 差替配分供給力 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 03 に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換することができます）。

No	項目	留意点
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
6	電源等差替 ID	電源等差替 ID（10桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量（単位：[kW] ⁵⁰ ，整数部最大 12 桁、小数部最大 3 桁）を半角数字で入力してください
8	0:30	〃
9	1:00	〃
10	1:30	〃
11	2:00	〃
...		
50	21:30	〃
51	22:00	〃
52	22:30	〃
53	23:00	〃
54	23:30	〃

差替配分供給力（発電量調整受電電力量）CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注1：差替配分供給力（発電量調整受電電力量）CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）や先頭の 0 が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（”実需給年月日”～”23:30”の部分）各項目には「”」を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：差替配分供給力（発電量調整受電電力量）CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の 1 ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが

⁵⁰ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量が零でも、0を入力してください）。

注4：発電量調整受電電力量がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の低予備率アセスメント対象コマを0とし、平常時のコマを契約容量として取り扱います。

注5：誤った文字コードのCSVファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタでCSVを作成、保存する場合は文字コードANSIを選択してください。UTF-8等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

ファイル名は「実需給年度・対象月（YYYYMM）_ファイル種別.csv」としてください⁵¹。また、差替配分供給力を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R更新回数.csv」としてください。

例）初回の提出の場合

202410_差替配分供給力.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別

1回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_R1.csv

R更新回数

2回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイルを選択してください。差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイル名が容量市場システム

⁵¹ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

上に表示されたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録を行ってください
 （図 4-15、表 4-8 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

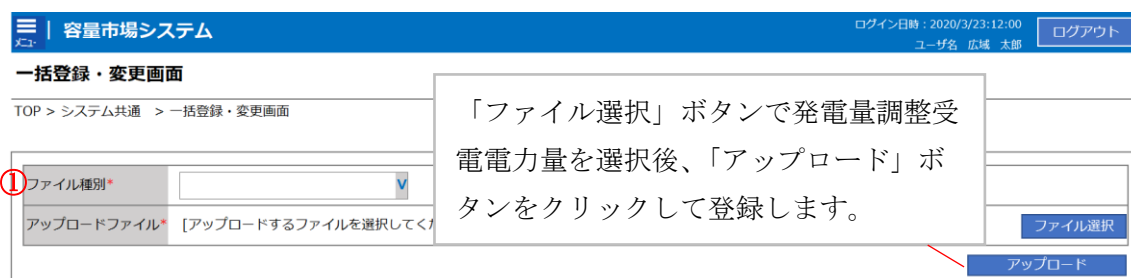


図 4-15 一括登録・変更の画面イメージ

表 4-8 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「差替配分供給力」を選択

4.1.2.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録結果の確認

登録した差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の CSV ファイルが正常に容量市場システムに取り込まれているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧」（検索結果）に条件に合致する差替配分供給力が表示されます。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば登録が正常にされていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は登録が正常にされていないため、再登録する必要があります（図 4-16、図 4-17 参照）。

なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

4.1 発電量調整受電電力量の登録

差替配分供給力の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードします（図 4-18 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して差替配分供給力の CSV ファイルを修正し、『4.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録』を参照して再登録してください。

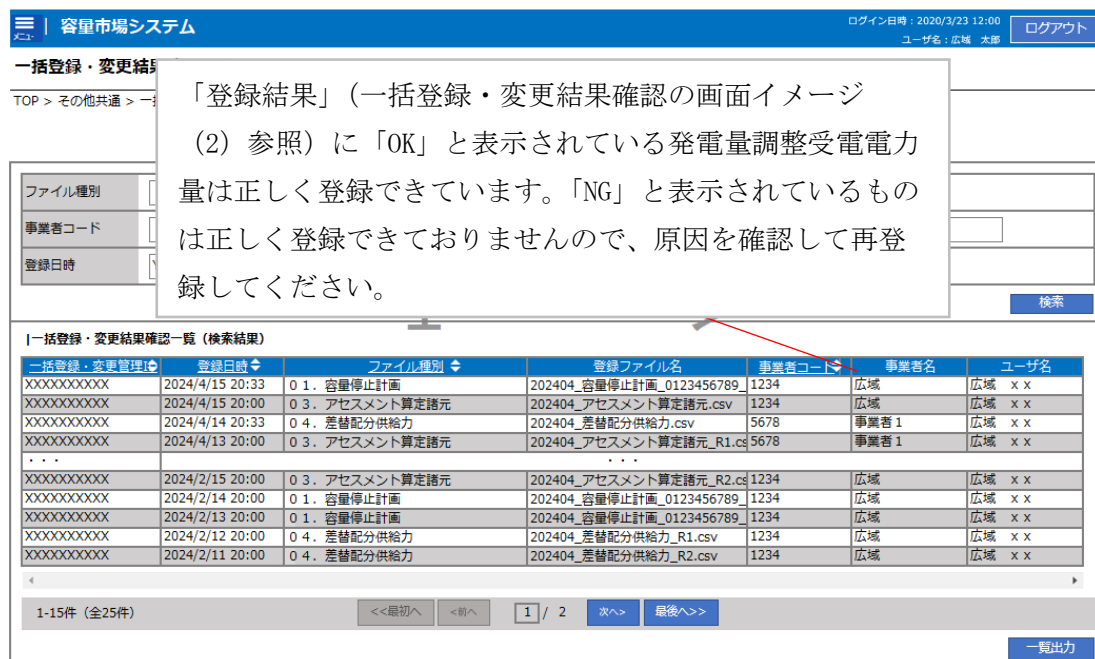


図 4-16 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)



図 4-17 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

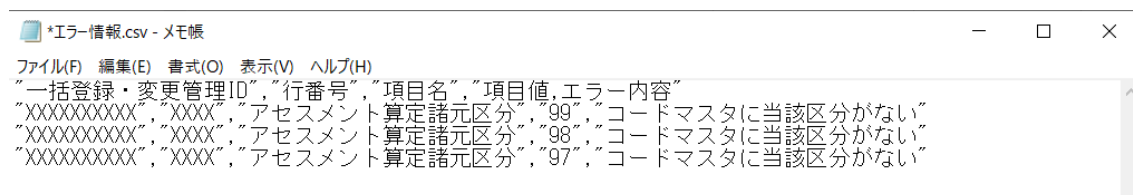


図 4-18 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されます（表 4-4 参照）。

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「差替配分供給力詳細画面」の登録結果と、取り込んだ差替配分供給力（発電量調整受電電力量） CSV ファイルの値のうち、少なくとも 1 日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「差替配分供給力一覧画面」の順にリンクをクリックして、「差替配分供給力一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「安定電源」を選択のうえ、「最新回次⁵²切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「差替元電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「差替元電源等識別番号」をクリックし、「差替配分供給力詳細画面」へ進んでください。「一括登録・変更画面」で取り込んだ差替配分供給力（発電量調整受電電力量） CSV ファイルと「差替配分供給力詳細画面」に表示される「発電量調整受電電力量情報」のうち少なくとも 1 日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図 4-19 参照）。

⁵² 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix. 3 を参照。

図 4-19 差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイル
の比較イメージ

103

4.1.2.3 差替先に係る発電端計量値（ユニット単位）の登録

電源等差替を実施し、実需給年度に稼働抑制の対象となる差替先電源において、1計量単位内に非効率石炭火力電源対象ユニットと非効率石炭火力電源以外の対象外ユニットが混在する場合、差替先電源等提供者は差替先電源自身の発電量調整受電電力量の登録に加えて、発電端計量値（ユニット単位）を登録してください。

差替先の発電端計量値（ユニット単位）の登録期限は対象実需給月+2月の第10営業日となります。

発電端計量値（ユニット単位）の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

ファイル名は「実需給年度・対象月_発電端計量値（ユニット単位）_差替先電源等識別番号.xlsx」としてください。また、発電端計量値（ユニット単位）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_発電端計量値（ユニット単位）_差替先電源等識別番号_R 更新回数.xlsx」としてください⁵³。

例）初回の登録の場合

202410_発電端計量値（ユニット単位）_0123456789.xlsx

実需給年度・対象月

差替先電源等識別番号

1 回目の更新の場合

202410_発電端計量値（ユニット単位）_0123456789_R1.xlsx

R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_発電端計量値（ユニット単位）_0123456789_R2.xlsx

R 更新回数

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制」へ進んでください。

「算定対象年度」を選択し、差替元電源の「電源等識別番号」を選択し、「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」へ進んでください（図 4-20 参照）。

⁵³ 1 つあたりのアップロードファイルサイズの上限は 20MB となりますので、20MB を超える場合は、ファイルを分割してください。

「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」下部にある「添付資料」の「ファイル選択」ボタンをクリックし、登録する発電端計量値（ユニット単位）のファイルを選択した後、「アップロード」ボタンをクリックすることで、登録することができます（図 4-21 参照）。

容量市場システム ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制

算定対象年度を選択してください。

算定対象年度*	YYYY	事業者コード		事業者名	
エリア	NNN	電源等識別番号	XXXXXXXXXX	稼働抑制ペナルティ	NNN
電源等の名称	NNNNNNNNNN	最新回次切替	<input type="checkbox"/> 最新回次のみ表示		
承認状況	NNN				

検索

アセスメント一覧（事業者毎）（非効率石炭火力電源の稼働抑制）（検索結果）

選択	算定対象年度	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	承認状況	承認者	承認日時
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXXX2	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXXX3	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXXX4	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXXX6	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD		
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXXX7	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM	
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXXX8	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM	

発電端計量値（ユニット単位）の登録を行うユニットの「電源等識別番号」を選択してください。

図 4-20 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ

容量市場システム ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制 > アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

算定対象年度	YYYY	事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN
エリア	NNN	電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	NNNNNNNNNA
適用年月日	YYYY/MM/DD	稼働抑制ペナルティ	対象外	承認回次	XX
承認状況	承認済	審査者	XXXXXXXXXX	審査日時	YYYY/MM/DD hh:mm
承認者	XXXXXXXXXX	承認日時	YYYY/MM/DD hh:mm		

添付資料

ファイル選択 アップロード

登録する発電端計量値（ユニット単位）のファイルを選択した後、「アップロード」ボタンをクリックしてください。

図 4-21 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ

4.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応

本節では、発電量調整受電電力量の登録内容審査⁵⁴結果への対応について以下の流れで説明します（図 4-22 参照）。

4.2.1 発電量調整受電電力量の修正登録

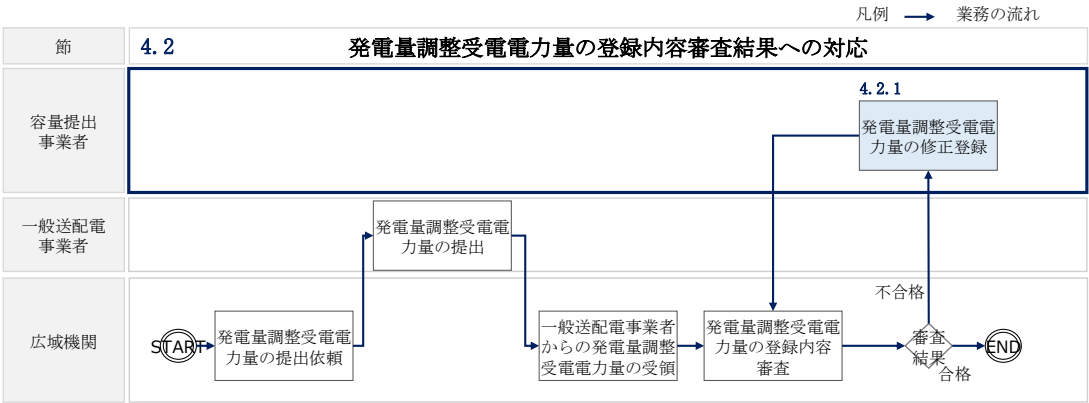


図 4-22 発電量調整受電電力量の登録内容審査の詳細構成

4.2.1 発電量調整受電電力量の修正登録

本項では、発電量調整受電電力量の修正登録について説明します（図 4-23 参照）。

4.2.1.1 発電量調整受電電力量の修正登録

4.2.1 発電量調整受電電力量の修正登録

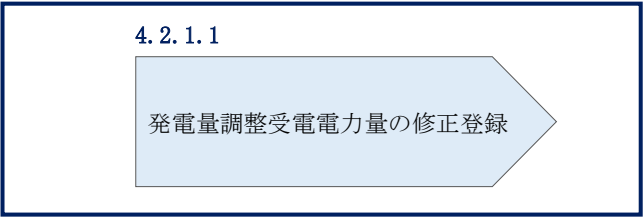


図 4-23 発電量調整受電電力量の修正登録の手順

⁵⁴ 一般送配電事業者より受領した発電量調整受電電力量と整合しているかどうかを、本機関が審査します。

4.2.1.1 発電量調整受電電力量の修正登録

対象実需給月+2月の中旬頃に、発電量調整受電電力量の登録内容審査結果が不合格だった場合、不合格通知がメールで送付されます（表 4-9 参照）。審査結果内容を確認し、発電量調整受電電力量を修正のうえ、『4.1.1 発電量調整受電電力量の登録』、『4.1.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録』を参照して発電量調整受電電力量を登録してください。

発電量調整受電電力量の修正登録期限は対象実需給月+2月の第14営業日となります。

注：上記の修正登録期限若しくは、本機関が指定する修正登録期限を過ぎても発電量調整受電電力量がアセスメント算定までに修正登録されない場合、発電量調整受電電力量が未登録だった場合と同様に取り扱います。

表 4-9 発電量調整受電電力量審査結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】発電量調整受電電力量審査結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>以下の電源等の発電量調整受電電力量の審査結果が不合格となりました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【審査対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【審査対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>【電源等識別番号】</p> <p>XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】</p>

	<p>XXXX</p> <p>後続業務の対応方法、対応期日につきましては、容量市場業務マニュアルをご参照ください。</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>
--	---

4.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

本節では、差替先電源情報に係る整合性審査⁵⁵結果への対応について以下の流れで説明します（図 4-24 参照）。

4.3.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録

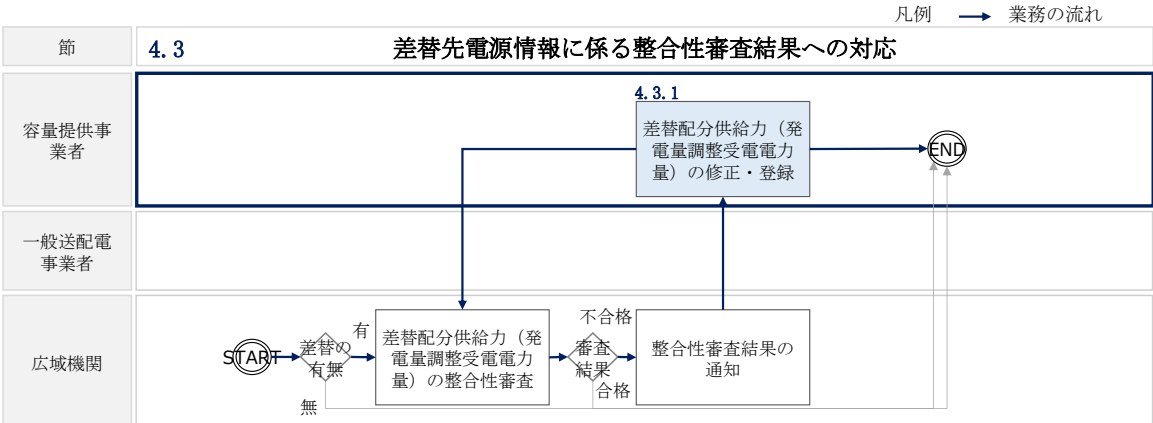


図 4-24 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成

4.3.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録

本項では、差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録について説明します（図 4-25 参照）。

4.3.1.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の審査結果の受領

4.3.1.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録

4.3.1 差替先の発電量調整受電電力量の修正登録

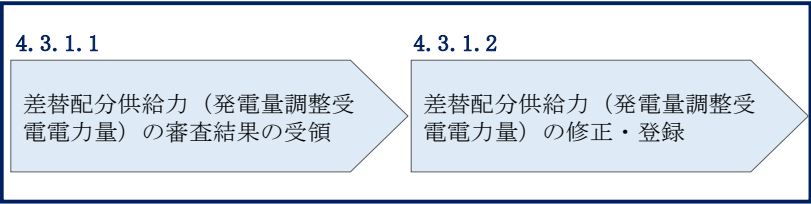


図 4-25 差替先の発電量調整受電電力量の修正登録の手順

⁵⁵ 差替元が登録した差替配分供給力（発電量調整受電電力量）と差替先が登録した発電量調整受電電力量が整合しているかを、本機関が審査します。

4.3.1.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の審査結果の受領

差替配分供給力（発電量調整受電電力量）審査結果が不合格の場合は、その旨が本機関より差替元電源等提供事業者へメールにて送付されますので、内容を確認し、

『4.3.1.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録』にて差替配分供給力（発電量調整受電電力量）を修正し、登録してください。

4.3.1.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録

差替先電源等提供者が提出している算定諸元を確認のうえ、『4.1.2 差替先に係る発電量調整受電電力量の登録』を参照して差替配分供給力（発電量調整受電電力量）を登録してください。

差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正・登録期限は対象実需給月+2月の第16営業日となります。

注：上記の修正登録期限若しくは、本機関が指定する修正登録期限を過ぎても発電量調整受電電力量がアセスメント算定までに修正登録されない場合、発電量調整受電電力量が未登録だった場合と同様に取り扱います。

第5章 算定諸元登録（市場応札量）

本章では、算定諸元登録（市場応札量）に関する以下の内容について説明します（図5-1 参照）。

5.1 市場応札量の登録

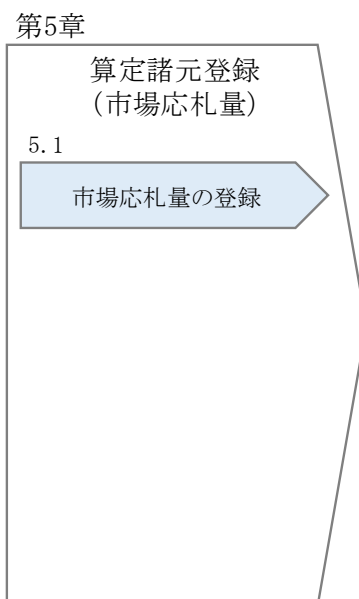


図 5-1 第5章の構成

5.1 市場応札量の登録

本節では、市場応札量の登録について以下の流れで説明します（図 5-2 参照）。

5.1.1 市場応札量の登録

5.1.2 差替先に係る市場応札量の登録

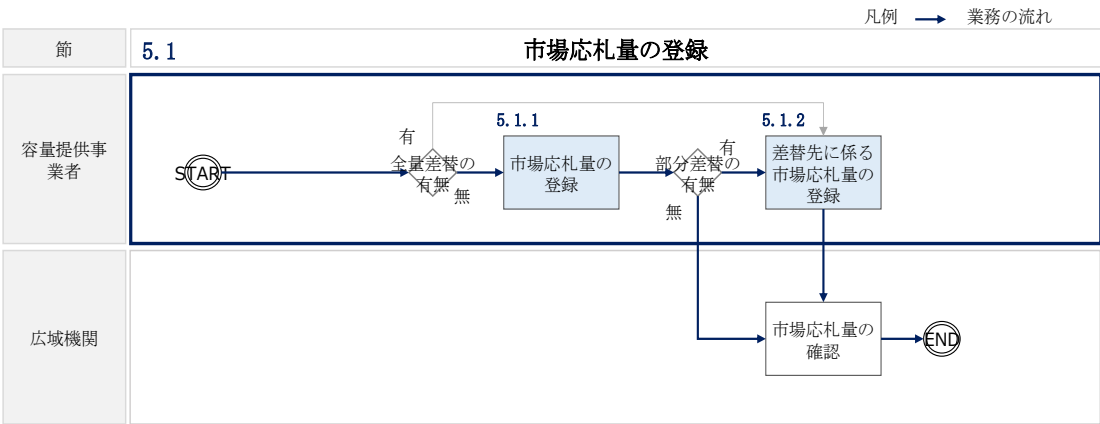


図 5-2 市場応札量の登録の詳細構成

5.1.1 市場応札量の登録

本項では、市場応札量の登録について説明します（図 5-3 参照）。

5.1.1.1 市場応札量の登録

5.1.1.2 市場応札量の登録結果の確認

5.1.1 市場応札量の登録

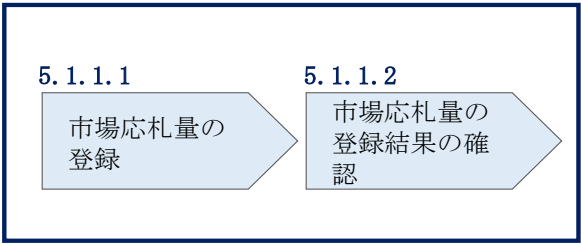


図 5-3 市場応札量の登録の手順

5.1.1.1 市場応札量の登録

本機関より、市場応札量の登録依頼の通知メールを対象実需給月＋1月の上旬頃に送付いたします。メールが送付されましたら、対象実需給月の全コマに対して市場応札

市場応札量の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 5-4、表 5-1 参照）。

[illegible]

図 5-4 アセスメント算定諸元（市場応札量）CSV イメージ

表 5-1 アセスメント算定諸元（市場応札量）CSV の記載項目⁵⁶

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	04 を入力してください 04：市場応札量
3	提出事業者コード	事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください

⁵⁶ アセスメント算定諸元 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 03 に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換することができます）。

No	項目	留意点
5	0:00	コマ別の市場応札量（単位：[kW] ⁵⁷ 、整数部最大 12 桁） ⁵⁸ を半角数字で入力してください
6	0:30	〃
7	1:00	〃
8	1:30	〃
9	2:00	〃
...		
49	21:30	〃
50	22:00	〃
51	22:30	〃
52	23:00	〃
52	23:30	〃

アセスメント算定諸元（市場応札量）CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注1：アセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の 0 が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（”実需給年月日”～ ”23:30”の部分）各項目には「”」を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：アセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の 1 ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1 ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（市場応札量が零でも、0 を入力してください）。

⁵⁷ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

⁵⁸ 市場応札の入札対象となる市場は、スポット市場、時間前市場、需給調整市場です。市場応札量の登録値は、各市場（需給調整市場を除く）に対して、入札したが約定されなかった分となり、需給調整市場では、入札分となります。なお、低予備率アセスメント対象コマに対する登録値は、需給調整市場では約定分となり、時間前市場では、当該コマが発生した（翌日計画公表以降に広域予備率が低下したと判断された）以降に入札したが約定しなかった分を容量市場システムに登録してください。なお、スポット市場に対して、入札したが約定しなかった分は考慮しません。

注4：市場応札の入札対象となる市場について

市場応札の入札対象となる市場は、スポット市場、時間前市場、需給調整市場となります。入札する市場は、電源の特性を踏まえた上で、容量提供事業者が任意に選択（複数選択も可）することが可能です。各市場への入札量は容量提供事業者にて電源ごとに配分してください。

注5：平常時のコマに対する市場応札量の登録値について

平常時のコマに対する市場応札量の登録値は、スポット市場、時間前市場では、「a. 入札したが約定されなかった分」、需給調整市場では、「b. 入札分」となります。また、余力を複数の市場へ入札した場合は、a と b の合計値を登録してください⁵⁹。

（例）余力が 40 万 kW あり、9 月 1 日の 36 コマ目（平常時）への入札履歴が下表の場合、スポット市場へ入札したが約定されなかった 35 万 kW、需給調整市場での入札分 35 万 kW、時間前市場へ入札したが約定されなかった 25 万 kW の合計値 95 万 kW を 9 月 1 日の 36 コマ目の市場応札量として登録してください。

各市場への入札履歴	入札量	約定量	非約定量
① スポット市場	40 万 kW	5 万 kW	35 万 kW
② 需給調整市場	35 万 kW	10 万 kW	25 万 kW
③ 時間前市場	25 万 kW	0 kW	25 万 kW

注6：低予備率アセスメント対象コマに対する市場応札量の登録値について

低予備率アセスメント対象コマに対する市場応札量の登録値は、時間前市場では、「a. 広域予備率低下に伴う供給力提供通知が出された後に入札していたが、約定されなかった分」、需給調整市場では「b. 約定分⁶⁰」となります。スポット市場に対して、入札したが約定されなかった分は考慮しません。なお、時間前市場と需給調整市場に入札した場合は、a と b の合計値を登録してください。

（例）余力が 40 万 kW あり、9 月 1 日の 36 コマ目（低予備率アセスメント対象コマ）への余力の入札履歴が下表の場合、需給調整市場での約定分 10 万 kW と時間前市場（④）へ入札したが約定されなかった分 20 万 kW の合計値 30 万 kW を 9 月 1 日の 36 コマ目の市場応札量として登録してください。

各市場への入札履歴	入札量	約定量	非約定量
① スポット市場	40 万 kW	5 万 kW	35 万 kW

⁵⁹ 市場応札量の登録値が電源の余力以上となる場合があります。

⁶⁰ 需給調整市場の複合商品の場合、登録週間市場商品約定単位ごとに、複合約定対象商品ごとの ΔkW 約定量のうち、最大となる ΔkW 約定量を登録してください。

116

2 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元 _R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたいアセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイルを選択してください。アセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 5-5、表 5-2 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

図 5-5 一括登録・変更の画面イメージ

表 5-2 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「アセスメント算定諸元」を選択

実需給月に広域予備率が低下したと判定されたコマに対してバランス停止していた場合、若しくは、アセスメント対象容量の応札が困難であった場合は、電源等情報として登録している『電源の起動時間』のうち、当該コマに向けての『電源の起動時間』を本機関にメールにて報告してください（表 5-3 参照）。

『電源の起動時間』の提出期限は市場応札量の登録期限と同様に対象実需給月+1月の最終営業日となります。

『電源の起動時間』の報告には、https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください（表 5-4 参照）。

なお、報告時のファイル名は「起動時間報告フォーマット_事業者コード_実需給年度・対象月.xlsx」としてください。

（例：起動時間報告フォーマット_XXXX_202404.xlsx）

表 5-3 バランス停止からの起動時の電源の起動時間の報告メール記載事項

メール項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ⁶² 】バランス停止からの起動時の電源の起動時間の報告
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> 事業者名称および担当者名 対象実需給年度 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> 電源の起動時間報告フォーマット (Excel ファイル)

表 5-4 電源の起動時間報告フォーマット記載事項

項目
<ul style="list-style-type: none"> 事業者コード 電源等識別番号 エリア名 低予備率アセスメント対象コマ及び低予備率アセスメント対象コマとなった日時 電源等情報に登録したパターン名 電源の起動時間（低予備率アセスメント対象コマの周知～フル出力） 特記事項

5.1.1.2 市場応札量の登録結果の確認

登録したアセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイルが正常に容量市場システムに取り込まれているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

⁶² 件名に事業者コード 4 桁を入力してください。

「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、ユーザ名と登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致するアセスメント算定諸元が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」を確認してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば登録が正常にされていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 5-6、図 5-7 参照）。
なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

市場応札量の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 5-8 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認してアセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイルを修正し、『5.1.1.1 市場応札量の登録』を参照して再登録してください。

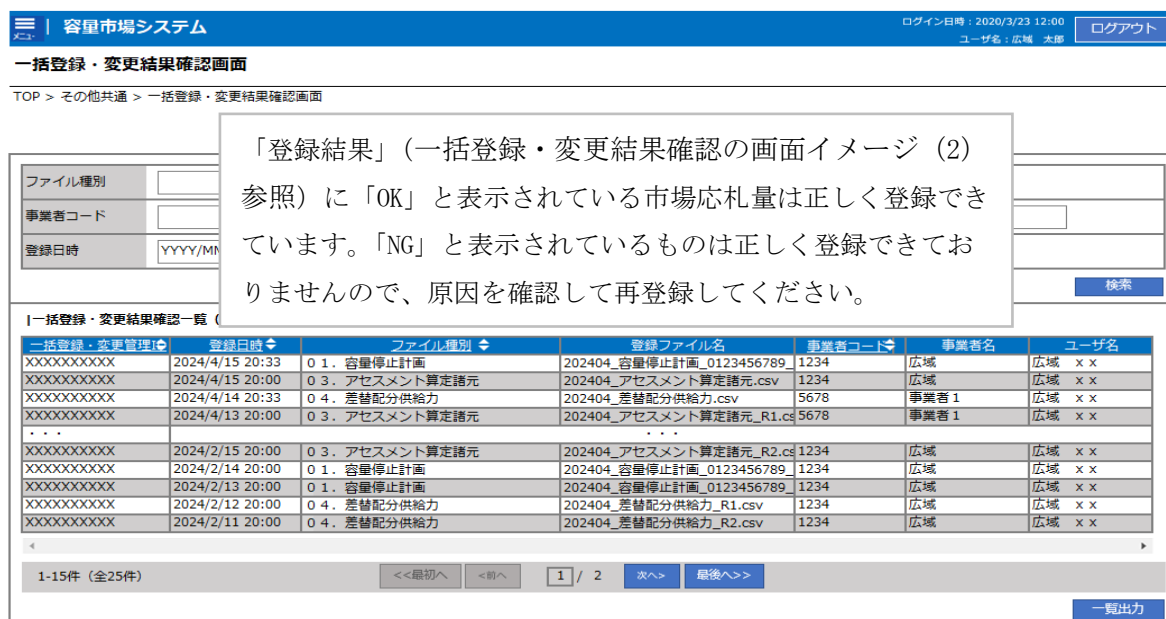


図 5-6 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）



図 5-7 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）

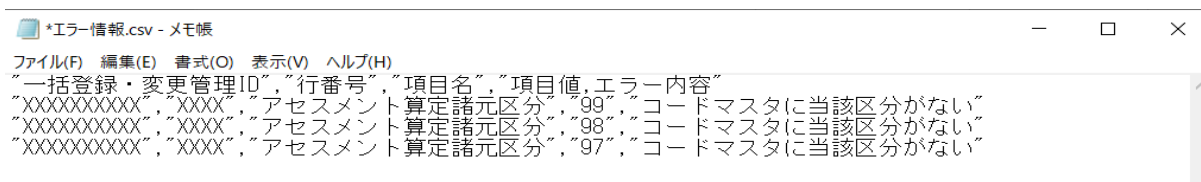


図 5-8 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、アセスメント算定諸元（市場応札量）の CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送

付されます（表 5-5 参照）。容量市場システムに登録された市場応札量の登録結果を確認してください。

表 5-5 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 アセスメント算定諸元⁶³</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「実需給年月」を入力し、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択したうえで「検索」ボタンをクリックしてください。

⁶³ 差替配分供給力 CSV を登録した場合は、“差替配分供給力”と表示されます。

「アセスメント算定諸元一覧」に条件に合致する結果が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください（図 5-9 参照）。「市場応札量」ラジオボタンをクリックすると、登録されている市場応札量が表示されます。

「アセスメント算定諸元詳細画面」にて、登録された市場応札量をご確認ください。登録された市場応札量の修正の必要があるか判断してください（図 5-10 参照）。修正の必要がある場合は、『5.1.1.1 市場応札量の登録』へ進んでください。

≡ | 容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23:12:00
ユーザー 日立 太郎

ログアウト

アセスメント算定諸元一覧画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面

実需給年月*	YYYY/MM	電源等識別番号		電源等の名称	
電源等の区分		提出元エリア		提出元事業者コード	XXXX
提出元事業者名	XXXXXXXX	供給指示対象		回次	
最新回次切替	<input type="checkbox"/> 最新回次のみ表示				

検索

≡ | アセスメント算定諸元一覧

選択	実需給年度▲	実需給年月▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲	電源等の区分▲	提出元 エリア▲	提出元 事業者コード▲	提出元 事業者名▲	回次▲	供給指示対象▲
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXXX	XX	—

1-15件 (全XX件) << 最初 < 前 1 / X 次 > 最後 >>

確認依頼メール送信

一覧出力

図 5-9 アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ

容量市場システム

ログイン日時:
2020/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント算定諸元詳細画面

TOP > アセスメント共通 > [アセスメント算定諸元一覧画面](#) > アセスメント算定諸元詳細画面

登録情報

対象年度/月	2024/4	電源等識別番号	XXXXXXXXXX	電源等の名称	XXXXXXXXXX
電源等の区分	XXXXXXXXXX	提出元事業者コード	XXXXXXXXXX	提出元事業者名	XXXXXXXXXX

更新情報

発電計画・発電上限 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	発電量調整受電電力 量更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	市場応札量 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm
回次	XXXX				

詳細選択

確認登録種別

☒ 発電計画・発電上限☐ 発電量調整受電電力☐ 市場応札量

表示

発電計画・発電上限情報

実需給年度	実需給年月日	登録種別	電源等識別番号	コマ割登録情報 [kW]																		
				01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2024	2024/04/01	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/02	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/03	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/04	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/05	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/06	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/07	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/08	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/09	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
2024	2024/04/10	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	

図 5-10 アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ

5.1.2 差替先に係る市場応札量の登録

本項では、差替先に係る市場応札量の登録について説明します（図 5-11 参照）。

5.1.2.1 差替先に係る市場応札量の登録

5.1.2.2 差替先に係る市場応札量の登録結果の確認

5.1.2 差替先に係る市場応札量の登録

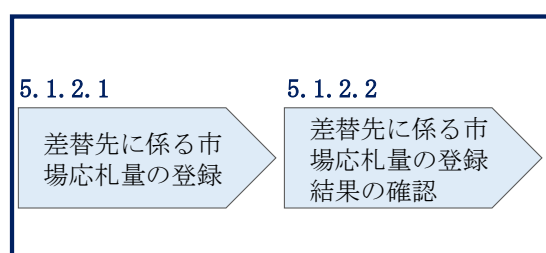


図 5-11 差替先の市場応札量の登録の手順

5.1.2.1 差替先に係る市場応札量の登録

電源等差替を実施している場合、差替元電源等提供者は、差替先電源から配分された市場応札量を容量市場システムに登録してください（表 5-6 参照）。

差替先の市場応札量の登録期限は対象実需給月+1月の最終営業日となります。

表 5-6 差替先に係る市場応札量の提出範囲⁶⁴

登録主体		電源等差替を実施している場合の市場応札量の登録対象
差替元電源等 提供者	部分差替	差替元電源の全量 差替配分供給力（市場応札量） ⁶⁵
	全量差替	差替配分供給力（市場応札量）
差替先電源等提供者		差替先電源のアセスメント分

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が安定電源で、差替先電源も安定電源であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は差替元電源の全量の市場応札量と、差替先電源から差替元電源に配分された量の市場応札量を登録してください。また、差替先電源等提供者は差替先電源自身のアセスメントに必要な分の市場応札量を登録してください。

差替配分供給力（市場応札量）の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 5-12、表 5-7 参照）。

図 5-12 差替配分供給力（市場応札量）の CSV イメージ

表 5-7 差替配分供給力（市場応札量）の CSV の記載項目⁶⁶

⁶⁴ 容量確保契約を締結していない差替先電源等提供者については、市場応札量の提出は不要です

⁶⁵ 差替先から配分された市場応札量

⁶⁶ 差替配分供給力 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 03 に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換することができます。）。

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	04 を入力してください 04：市場応札量
3	提出事業者コード	事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
6	電源等差替 ID	電源等差替 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の市場応札量（単位：[kW] ⁶⁷ 、整数部最大 12 桁）を半角数字で入力してください
8	0:30	〃
9	1:00	〃
10	1:30	〃
11	2:00	〃
...		
50	21:30	〃
51	22:00	〃
52	22:30	〃
53	23:00	〃
54	23:30	〃

差替配分供給力（市場応札量）の CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注 1：差替配分供給力（市場応札量）の CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）や先頭の 0 が欠落する可能性があります。

⁶⁷ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）各項目には“””を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には“””を付けしないでください。

注3：差替配分供給力（市場応札量）の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の 1 ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1 ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（市場応札量が零でも、0 を入力してください）。

注4：市場応札量がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを 0 として取り扱います。

注5：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

ファイル名は「実需給年度・対象月（YYYYMM）_ファイル種別_電源等識別番号.csv」としてください⁶⁸。また、差替配分供給力を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R 更新回数.csv」としてください。

例）初回の登録の場合

202410_差替配分供給力.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別

1 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_R1.csv

R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい差替配分供給力（市場応札量）の CSV ファイルを選択してください。差替配分供給力（市場応札量）の CSV ファイル名が容量市場システム上に表示されたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録を行ってください（図 5-13、表 5-8 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

⁶⁸ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

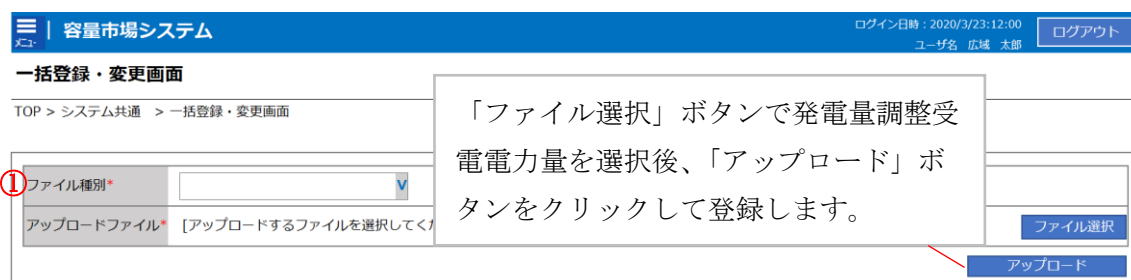


図 5-13 一括登録・変更の画面イメージ

表 5-8 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「差替配分供給力」を選択

5.1.2.2 差替先に係る市場応札量の登録結果の確認

登録した差替配分供給力（市場応札量）の CSV ファイルが正常に容量市場システムに取り込まれているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、ユーザ名と登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧」（検索結果）に条件に合致する差替配分供給力が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」を確認してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録がされていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録がされていないため、再登録する必要があります（図 5-14、図 5-15 参照）。

なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

差替配分供給力の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 5-16 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して差替配分供給力の CSV ファイルを修正し、『5.1.2.1 差替先に係る市場応札量の登録』を参照して再登録してください。

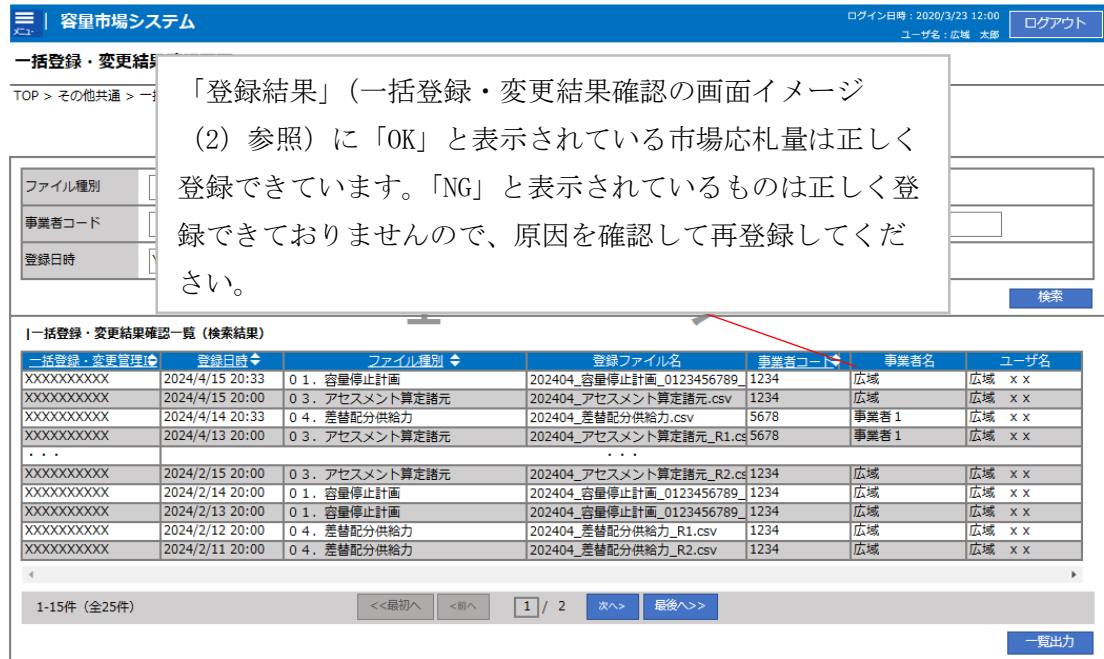


図 5-14 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)



図 5-15 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

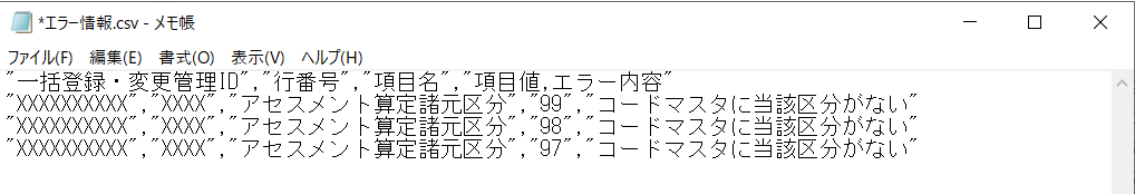


図 5-16 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、差替配分供給力の CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されます（表 5-5 参照）。『5.1.1.2 市場応札量の登録結果の確認』を参照し、内容を確認してください。差替先の市場応札量を誤った内容で登録してしまった場合は、『5.1.2.1 差替先に係る市場応札量の登録』を参照して差替先の市場応札量を再登録してください。

第6章 アセスメント結果への対応（容量停止計画）

本章では、アセスメント結果への対応（容量停止計画）に関する以下の内容について説明します（図 6-1 参照）。

6.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き

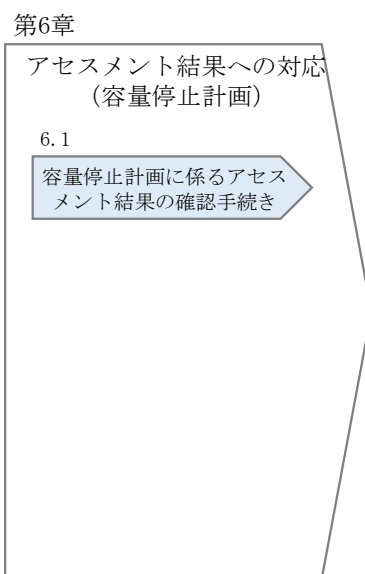


図 6-1 第6章の構成

注1：リクワイアメント対象となる電源について

容量停止計画のリクワイアメントは、安定電源・変動電源（単独）が対象となります。

注2：アセスメントの基準について

容量停止計画におけるアセスメントは、実需給期間中において、電源が供給力を提供できる状態に維持しているかが基準となります。

- ・ 容量停止計画が登録されているコマにおいて、電源が提供できる供給力の最大値が、アセスメント対象容量を下回る場合、当該コマをリクワイアメント未達成コマとします。なお、リクワイアメント未達成コマは、小数点以下第16位まで計算しています（ペナルティ倍率を乗じる前の段階で、コマごとに小数点以下第17位を四捨五入して算出）。

- ・ 容量停止計画が登録されているコマにおいて、アセスメント対象容量に対して部分的に未達となった場合、未達量に応じてリクワイアメント未達成コマをカウントします。
- ・ 容量停止計画の登録タイミングや、低予備率アセスメント対象コマ⁶⁹への該当の有無により、リクワイアメント未達成コマが5倍カウント（ペナルティ倍率）〈注3参照〉されるコマが発生する場合があります。

注3：ペナルティ倍率5倍となる容量停止計画の登録タイミング

- ・ 当該コマが「平常時」と判断された時（夜間、休日は除く）：前週の火曜日 17:00 より後に提出
- ・ 当該コマが「低予備率アセスメント対象コマ」に該当する時：前月末より後に提出

※1 上記以外は1倍カウント

※2 その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止又は出力低下する場合に提出いただく容量停止計画については、容量停止計画の変更が生じたとしてもペナルティの倍率は1倍とする場合があります。

※3 1週間の起算日は土曜日とします。

注4：アセスメントの算定方法について

容量停止計画におけるアセスメントの具体的な算定方法は、以下で表されます。

【対象の電源が電源等差替を実施していない場合】

- ・ 容量停止計画が登録されているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値を確認します。
- ・ 当該コマにおける未達成率「(アセスメント対象容量-電源が提供できる供給力の最大値) / アセスメント対象容量×ペナルティ倍率」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウント

【アセスメント対象の電源が差替元として電源等差替を実施している場合】

差替元、差替先個別に未達成コマを計算します。

＜差替元電源等＞

- ・ 容量停止計画が登録されているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値を確認します。

⁶⁹ 前日以降の需給バランス評価で広域予備率低下に伴う供給力提供の周知対象となったコマ

- ・ 提供できる供給力の最大値が、差替元電源等のアセスメント対象容量を下回る場合、当該コマにおける未達成率「 $(\text{差替元電源等のアセスメント対象容量}^{70}-\text{差替元電源等が提供できる供給力の最大値})/\text{アセスメント対象容量}^{71}\times\text{ペナルティ倍率}^{72}$ 」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

＜差替先電源等＞

- ・ 容量停止計画が登録されているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値を確認します。
- ・ 提供できる供給力の最大値が、差替先電源等のアセスメント対象容量を下回る場合、当該コマにおける未達成率「 $(\text{差替先電源等のアセスメント対象容量}^{73}-\text{差替先電源等が提供できる供給力の最大値})/\text{アセスメント対象容量}\times\text{ペナルティ倍率}^{74}$ 」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

＜差替元と差替先のリクワイアメント未達成コマの合算＞

差替元と差替先のリクワイアメント未達成コマを合算します。

＜リクワイアメント未達成コマの累積＞

- 電源のリクワイアメント未達成コマをカウントしたのち、当該実需給年度のすべての未達成コマ数を合算します。
- 合算する際は、各コマにおけるペナルティ倍率を乗じたものを合算します。

（例）

アセスメント対象月が6月の場合は、4月～6月までのリクワイアメント未達成コマを累積します。

4月：1,440 コマ

5月：2,000 コマ

6月：1,488 コマ

累積：4,928 コマ

アセスメント対象電源のリクワイアメント未達成コマ総数が8,640 コマ（180日相当）を超過した場合、超過分のリクワイアメント未達成コマに対して経済的ペナルティが科されます。

⁷⁰ 差替元のアセスメント対象容量＝（差替元電源の月別アセスメント対象容量－差替先の月別の差替容量）

⁷¹ アセスメント対象容量＝月別アセスメント対象容量

⁷² ペナルティ倍率は差替元の需給状況に応じて決定

⁷³ 差替先電源のアセスメント対象容量＝差替先電源の月別差替容量

⁷⁴ ペナルティ倍率は差替先の需給状況に応じて決定

6.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き

本節では、容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続きについて以下の流れで説明します（図 6-2 参照）。

- 6.1.1 アセスメント結果の確認
- 6.1.2 異議申立
- 6.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認
- 6.1.4 確定したアセスメント結果の受領

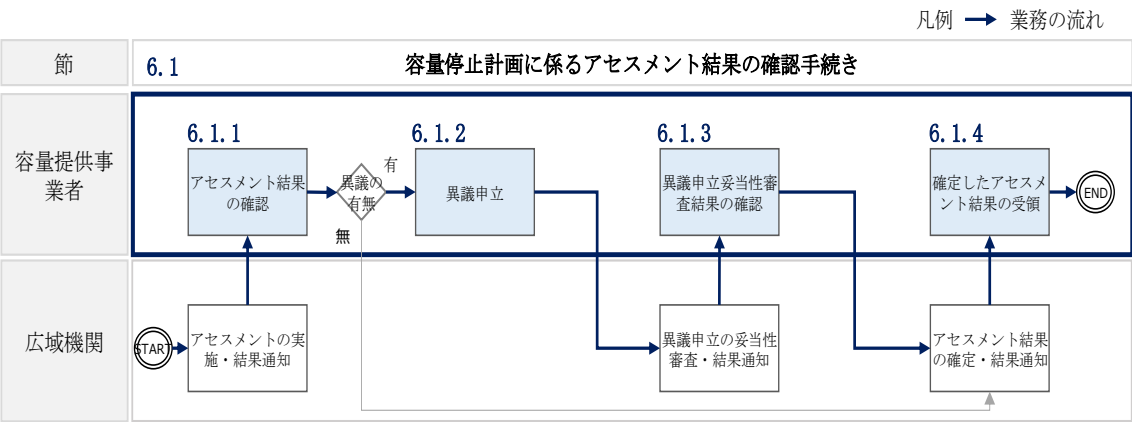


図 6-2 容量停止計画に係るアセスメント結果の確定手続きの詳細構成

6.1.1 アセスメント結果の確認

本項では、アセスメント結果の確認について説明します（図 6-3 参照）。

6.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

6.1.1 アセスメント結果の確認

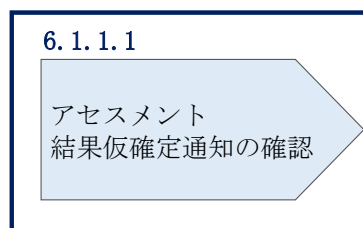


図 6-3 アセスメント結果の確認の手順

6.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください（表 6-1 参照）

⁷⁵。

注：本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したこととなりますので、「仮算定」＝「仮確定」とご理解ください。

⁷⁵ リクワイアメント未達成が発生していた場合のみメールが送付されます。

表 6-1 リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>容量停止計画（安定・変動単独）</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（事業者ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識

別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと） - 発動指令以外画面」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象年月日が表示されますので、「対象年月日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成コマを確認してください（図 6-4 参照）。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面(事業者等) - 発動指令以外 > アセスメント一覧画面(電源等識別番号等) - 発動指令以外 > アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替元/先	差替元
事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN
電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等識別番号	NNNNNNNNNN
エリア	NNN	算定回	100%

コマごとに記載されたリクワイアメント未達成コマを確認してください。

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称	容量停止計画の提出時期	容量停止計画の提出時期
差替元	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNN A	6,000	1,000
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXB	NNNNNNNN B	-	2,000
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXC	NNNNNNNN C	-	3,000

アセスメント結果詳細情報

対象年月日	差替ID	差替元/先	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	容量停止計画の提出時期	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	需給ひっ迫のおそれの有無	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	アセスメント対象容量[kW]	1,000				
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	電源が提供できる供給力の最大値[kW]	99,999,999	99,999,999	99,999,999	99,999,999	99,999,999
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	ペナルティ倍率(倍)	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成コマ[コマ]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成合計[コマ]	1.06				

図 6-4 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ

6.1.2 異議申立

本項では、異議申立について説明します（図 6-5 参照）。

6.1.2.1 異議申立

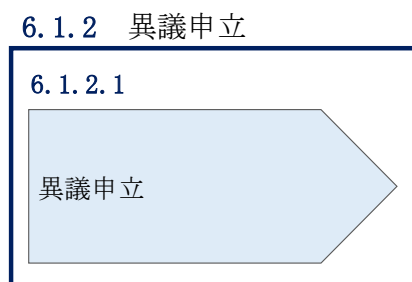


図 6-5 異議申立の手順

6.1.2.1 異議申立

アセスメント結果仮確定に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先へ新規メールに添付して送信してください（表 6-2 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。

異議申立を行わない場合は、『6.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領』へ進んでください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）23:59までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 6-2 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象)【XXXX（事業者コード） ⁷⁶ 】アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> 事業者名称および担当者名 対象実需給年度 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット (異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載) 異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

⁷⁶ 件名に事業者コード4桁を入力してください。

6.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 6-6 参照）。

6.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

6.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認

6.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

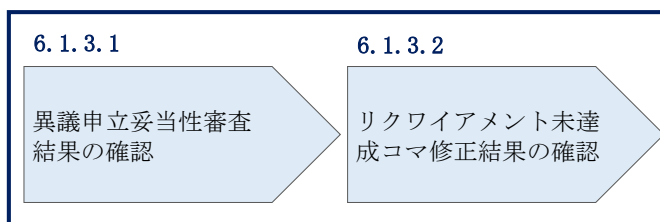


図 6-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

6.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

アセスメント結果仮確定に対して異議申立を行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果を容量市場システムに登録したメールアドレス宛にメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果の詳細を確認する場合は、『6.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照してください。

審査結果が合格の場合、『6.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認』を参照してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

6.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認

異議申立妥当性審査結果が合格の場合、本機関にて異議申立内容に基づいてリクワイアメント未達成コマを修正します。修正後に本機関より、容量市場システムに登録したメールアドレス宛に確認依頼のメールが送付されますので、内容を確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（事業者ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと） - 発動指令以外画面」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象年月日が表示されま

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成コマを確認してください（図 6-7 参照）。

コマごとに記載されたリクワイアメント未達成コマを確認してください。

図 6-7 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ

6.1.4 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します（図 6-8 参照）。

6.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

6.1.4 アセスメント結果の受領

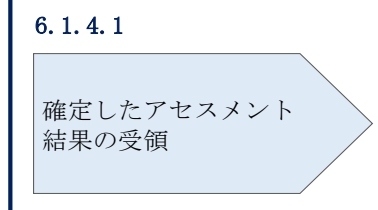


図 6-8 確定したアセスメント結果の受領の手順

6.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、対象実需給月+4月の中旬頃にアセスメント結果を確定した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、『6.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照し、内容を確認してください（表 6-3 参照）。

注：アセスメント結果に対して異議申立を行わなかった場合でも本手順を参照し、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

表 6-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の確定通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>容量停止計画（安定・変動単独）</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

第7章 アセスメント結果への対応（市場応札）

本章では、アセスメント結果への対応（市場応札）に関する以下の内容について説明します（図 7-1 参照）。

7.1 市場応札に係るアセスメント結果の確認手続き

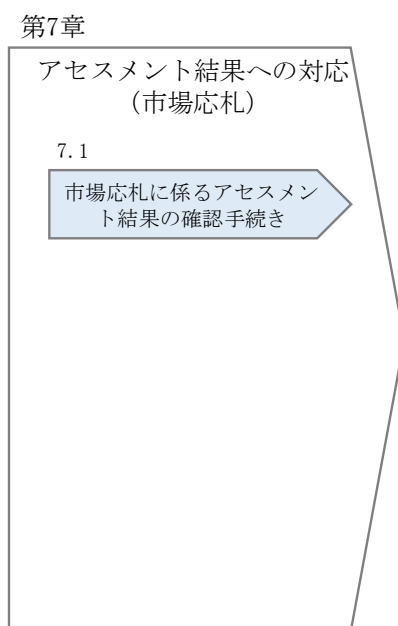


図 7-1 第7章の構成

注1：リクワイアメント対象について

市場応札のリクワイアメントは、容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していない範囲のコマが対象となります。

なお、容量停止計画が提出されているコマでも、電源等が停止せず出力低下する計画等により小売電気事業者等が活用しない余力があるコマについてはリクワイアメント対象となります。

注2：アセスメントの基準について

市場応札におけるアセスメントでは、アセスメント対象容量の範囲内において小売電気事業者等が活用しない余力から卸電力取引所又は需給調整市場に売り入札した容量を差し引いた容量をリクワイアメント未達量とします。

注3：バランス停止からの起動に係るアセスメントについて

バランス停止からの起動に係るアセスメントは、電源等登録時に登録した起動パターンに応じて実施します（卸電力市場等における約定結果が確定する以前にバランス停止から起動する必要はありません。なお、市場応札の結果、約定した場合は当該コマに対し、適切に供給力を提供してください。）。この場合、低予備率アセスメント対象コマにおいて、原則としてアセスメント対象容量から市場応札量を差し引いた容量をリクワイアメント未達量とします。（ただし、起動カーブ途中の場合はその状況を考慮する。）

注4：発電方式が揚水または蓄電池の電源におけるアセスメントの基準について

低予備率アセスメント対象コマが存在する場合、運転継続時間が限られる揚水発電にまたは蓄電池に関して、本機関は当該コマに対して市場応札が実施されているかを優先的にアセスメントします。揚水発電または蓄電池は、小売電気事業者等が活用しない余力の入札準備が完了した段階で当該コマの広域予備率が低いコマから順に、運転継続時間のコマ数を上限として卸電力市場等へ入札を実施してください⁷⁷。広域予備率が同率の場合は、その中から任意のコマを選択して入札を実施してください。それでもなお、余力がある場合は、低予備率アセスメント対象コマ以外へ入札を実施してください。

⁷⁷ 入札し続けているが未約定であるコマがある場合、入札を取り下げ、異なる低予備率アセスメント対象コマに再入札していただくことも可能です。ただし、入札を取り下げることができるコマは広域予備率が8%以上に回復したコマに限り、かつ余力を広域予備率が8%を下回るコマに再入札することを前提とします。

注5：アセスメントの算定方法について

市場応札におけるアセスメントの具体的な算定方法は、以下で表されます。なお、小売電気事業者等が活用しない発電余力については、アセスメント対象容量又は提供する供給力の最大値のいずれか低い値から発電計画値を差し引いた値となります。

- ・ 対象の電源が電源等差替を実施していない場合
 - 市場応札量が小売電気事業者等が活用しない発電余力以上であるならば、リクワイアメント未達成量=0
 - 市場応札量が小売電気事業者等が活用しない発電余力未満であるならば、リクワイアメント未達成量 (kWh) = (小売電気事業者等が活用しない発電余力 (kW) - 市場応札量 (kW)) × 1(h) / 2
- ・ 対象の電源が差替元として電源等差替を実施している場合
 - ① 差替元の市場応札量におけるリクワイアメント未達成量を算出する
 - 市場応札量が（差替元分の）小売電気事業者等が活用しない発電余力以上であるならば、リクワイアメント未達成量=0
 - 市場応札量が（差替元分の）小売電気事業者等が活用しない発電余力未満であるならば、リクワイアメント未達成量 (kWh) = (小売電気事業者等が活用しない発電余力 (kW) - 市場応札量 (kW)) × 1(h) / 2
 - ② （差替先の）市場応札量 (=差替配分供給力) におけるリクワイアメント未達成量を算出する
 - （差替先の）市場応札量が（差替元分の）小売電気事業者等が活用しない発電余力以上であるならば、リクワイアメント未達成量=0
 - （差替先の）市場応札量が（差替元分の）小売電気事業者等が活用しない発電余力未満であるならば、リクワイアメント未達成量 (kWh) = (小売電気事業者等が活用しない発電余力 (kW) - 市場応札量 (kW)) × 1(h) / 2
 - ③ リクワイアメント未達成量は、①②を合計した値とします

7.1 市場応札に係るアセスメント結果の確認手続き

本節では、市場応札に係るアセスメント結果の確認手続きについて以下の流れで説明します（図 7-2 参照）。

7.1.1 アセスメント結果の確認

7.1.2 異議申立

7.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

7.1.4 確定したアセスメント結果の受領

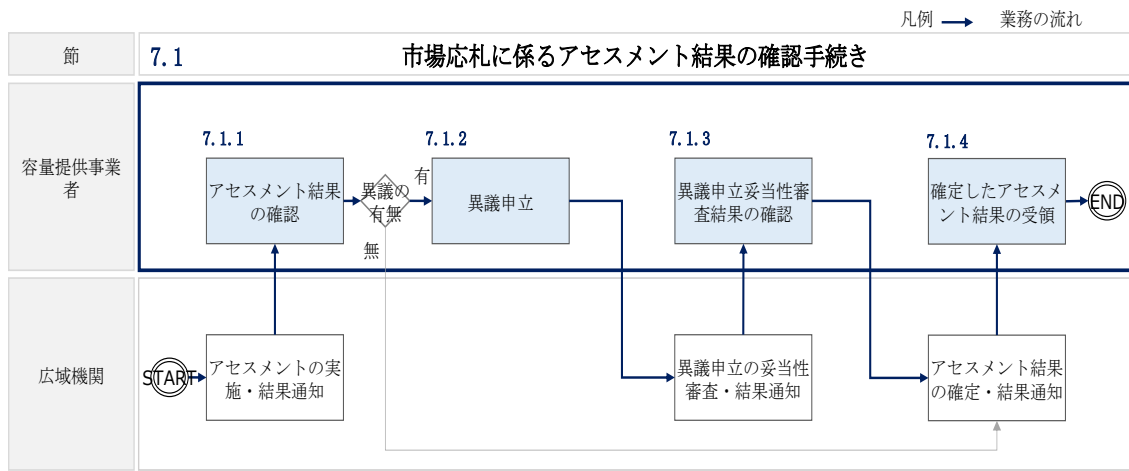


図 7-2 市場応札に係るアセスメント結果の確定手続きの詳細構成

7.1.1 アセスメント結果の確認

本項では、アセスメント結果の確認について説明します（図 7-3 参照）。

7.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

7.1.1 アセスメント結果の確認

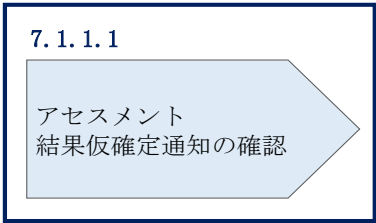


図 7-3 アセスメント結果の確認の手順

7.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください（表 7-1 参照）。

注：本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したこととなりますので、「仮算定」＝「仮確定」とご理解ください。

表 7-1 リクワイアメント未達量の仮算定完了通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達量の仮算定完了通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>市場応札</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

「アセスメント種別」にて「市場応札」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（事業者ごと）（市場応札）（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと） - 発動指令以外画面」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成量を確認してください（図 7-4 参照）。

コマごとに記載された平常時リクワイアメント未達成量やひっ迫時リクワイアメント未達成量を確認してください。

図 7-4 アセスメント結果詳細画面（市場応札）の画面イメージ

7.1.2 異議申立

本項では、異議申立について説明します（図 7-5 参照）。

7.1.2.1 異議申立

7.1.2 異議申立

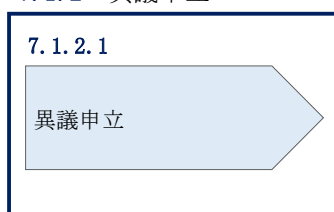


図 7-5 異議申立の手順

7.1.2.1 異議申立

アセスメント結果仮確定に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先へ新規メールに添付して送信してください（表 7-2 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

<https://www.occto.or.jp/market->

board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 7-2 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象)【XXXX (事業者コード) ⁷⁸ 】アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者名称および担当者名 ・ 対象実需給年度 ・ 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット (異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載) ・ 異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

⁷⁸ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

7.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 7-6 参照）。

7.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

7.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

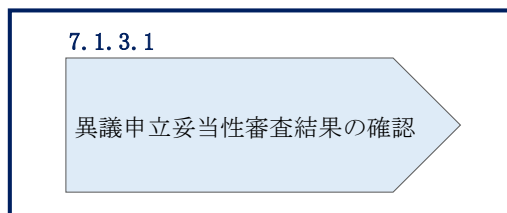


図 7-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

7.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

アセスメント結果仮確定に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を協議し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果の詳細を確認する場合は、『7.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照してください。

審査結果が合格の場合、『7.1.4 確定したアセスメント結果の受領』を参照してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

7.1.4 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します（図 7-7 参照）。

7.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

7.1.4 確定したアセスメント結果の受領

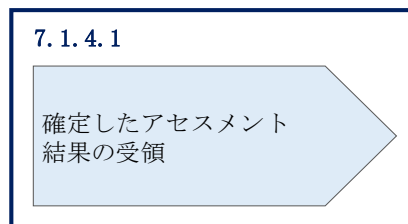


図 7-7 確定したアセスメント結果の受領の手順

7.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、対象実需給月+4月の中旬頃にアセスメント結果を確定した旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、『7.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』内容を確認してください（表 7-3 参照）。

注：アセスメント結果に対して異議申立をしなかった場合でも、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

表 7-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の確定通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>市場応札</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p>

	<p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>
--	---

第8章 アセスメント結果への対応（供給指示）

本章では、アセスメント結果への対応（供給指示）に関する以下の内容について説明します（図 8-1 第8章の構成参照）。

8.1 供給指示に係るアセスメント結果の確認手続き

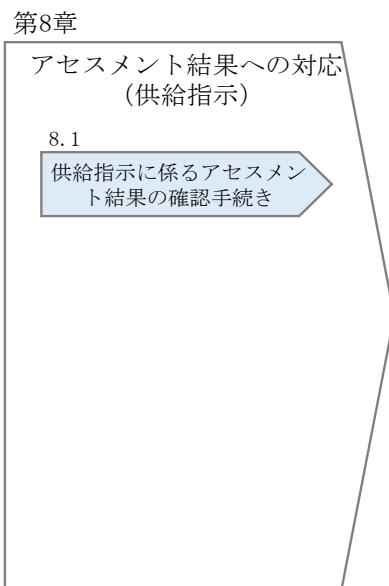


図 8-1 第8章の構成

注1：リクワイアメント対象となる電源について

供給指示のリクワイアメントは、属地一般送配電事業者と給電申合書等を締結した電源で、容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していないコマが対象となります。

注2：アセスメントの基準について

供給指示におけるアセスメントは、属地一般送配電事業者からの電気の供給指示に対して、事業者が適切に対応しているかが基準となります。⁷⁹

事業者が適切に対応している場合とは、以下のいずれかに該当する場合を指します。

⁷⁹ 電源等差替を実施しており、差替先、差替元で電源の属地一般送配電事業者が異なる場合はそれぞれの電源の属地一般送配電事業者からの供給指示に対応する必要があります。

- ・ 一般送配電事業者が出力を直接制御できる場合（専用線オンライン⁸⁰の場合）
- ・ アセスメント対象容量以上の電気の供給実績がある場合
- ・ その他、電気の供給ができないことについてやむを得ない理由があり、本機関が合理的と認めた場合

一般送配電事業者からの電気の供給指示に対して、事業者が適切に対応していないと本機関が判断した場合、アセスメント対象容量を上限として、ゲートクローズ以降の発電余力の全量をリクワイアメント未達成量とします。なお、広域予備率低下に伴う供給力提供通知が発令されていないコマで供給指示が発令されている場合は、アセスメントの対象外となります。

注3：発電方式が揚水または蓄電池の電源におけるアセスメントの基準について
 発電方式が揚水または蓄電池で、かつオフラインの場合、運転継続時間分がアセスメントの対象となります。

注4：アセスメントの算定方法について

供給指示におけるアセスメントの具体的な算定方法は、以下で表されます。

- ・ 対象の電源が電源等差替を実施していない場合
 - 発電量調整受電電力量がアセスメント対象容量以上であるならば、リクワイアメント未達成量=0
 - 発電量調整受電電力量がアセスメント対象容量を下回るならば、
 （容量停止計画が提出されていないコマ）
 $\text{リクワイアメント未達成量} = (\text{アセスメント対象容量} - \text{発電量調整受電電力量}) \times 1(\text{h}) / 2$
 （容量停止計画が提出されているコマ）
 $\text{リクワイアメント未達成量} = (\text{提供する供給力の最大値} - \text{発電量調整受電電力量}) \times 1(\text{h}) / 2$
- ・ 対象の電源が差替元として電源等差替を実施している場合
 - ① 差替元の発電量調整受電電力量におけるリクワイアメント未達成量を算出する
 - 発電量調整受電電力量が（差替元分の）アセスメント対象容量以上であるならば、リクワイアメント未達成量=0

⁸⁰ オンライン機能を持つ電源が供給指示におけるアセスメント対象コマをオフラインで運用していた場合、発電量調整受電電力量等を見て適切に対応しているかを判断します。

- 発電量調整受電電力量が（差替元分の）アセスメント対象容量を下回るならば、
 （容量停止計画が提出されていないコマ）

$$\text{リクワイアメント未達成量} = (\text{アセスメント対象容量} - \text{発電量調整受電電力量}) \times 1(\text{h}) / 2$$
 （容量停止計画が提出されているコマ）

$$\text{リクワイアメント未達成量} = (\text{提供する供給力の最大値} - \text{発電量調整受電電力量}) \times 1(\text{h}) / 2$$
- ② （差替先の）発電量調整受電電力量（=差替配分供給力）におけるリクワイアメント未達成量を算出する
 - （差替先の）発電量調整受電電力量が（差替先に割り当てられた分の）アセスメント対象容量以上であるならば、リクワイアメント未達成量=0
 - （差替先の）発電量調整受電電力量が（差替先に割り当てられた分の）アセスメント対象容量を下回るならば、
 （容量停止計画が提出されていないコマ）

$$\text{リクワイアメント未達成量} = (\text{アセスメント対象容量} - \text{発電量調整受電電力量}) \times 1(\text{h}) / 2$$
 （容量停止計画が提出されているコマ）

$$\text{リクワイアメント未達成量} = (\text{提供する供給力の最大値} - \text{発電量調整受電電力量}) \times 1(\text{h}) / 2$$
- ③ リクワイアメント未達成量は、①②を合計した値とする

8.1 供給指示に係るアセスメント結果の確認手続き

本節では、供給指示に係るアセスメント結果の確認手続きについて以下の流れで説明します（図 8-2 参照）。

8.1.1 アセスメント結果の確認

8.1.2 異議申立

8.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

8.1.4 確定したアセスメント結果の受領

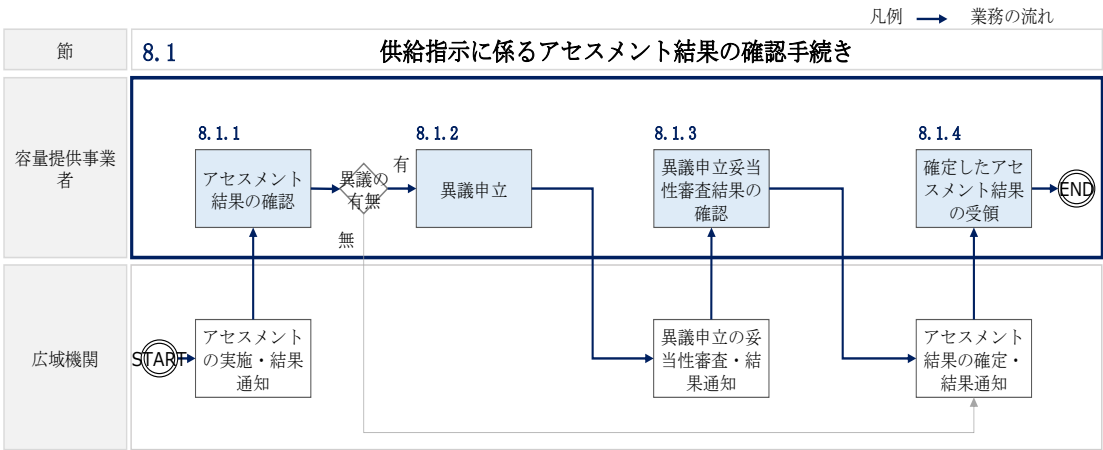


図 8-2 供給指示に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成

8.1.1 アセスメント結果の確認

本項では、アセスメント結果の確認について説明します（図 8-3 参照）。

8.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

8.1.1 アセスメント結果の確認

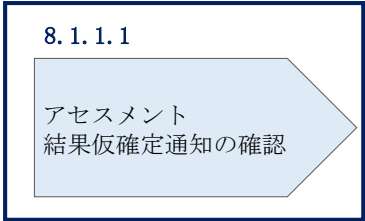


図 8-3 アセスメント結果の確認の手順

8.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください（表 8-1 参照）

⁸¹。

注：本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセ

⁸¹ リクワイアメント未達成が発生していた場合のみメールが送付されます。

スメント結果が「仮確定」したことになりますので、「仮算定」＝「仮確定」とご理解ください。

表 8-1 リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>供給指示</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「供給指示」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください

8.1.2 異議申立

本項では、異議申立について説明します（図 8-5 参照）。

8.1.2.1 異議申立

8.1.2 異議申立

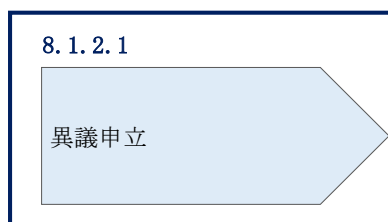


図 8-5 異議申立の手順

8.1.2.1 異議申立

アセスメント結果に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に新規メールに添付して送信してください（表 8-2 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

[https://www.occto.or.jp/market-](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html)

[board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html) からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 8-2 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象)【XXXX（事業者コード） ⁸³ 】アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者名称および担当者名 ・ 対象実需給年度 ・ 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット （異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載） ・ 異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

⁸³ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

8.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 8-6 参照）。

8.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

8.1.3.2 リクワイアメント未達成量修正結果の確認

8.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

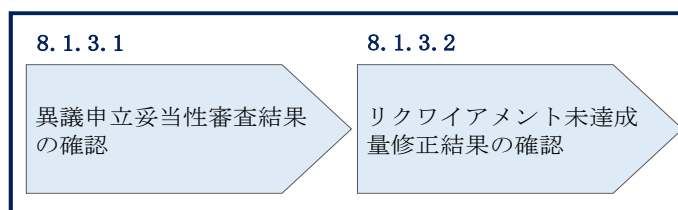


図 8-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

8.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

アセスメント結果仮確定に対して異議申立を行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果の詳細を確認する場合は、『8.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照してください。

審査結果が合格の場合、『8.1.3.2 リクワイアメント未達成量修正結果の確認』を参照してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

8.1.3.2 リクワイアメント未達成量修正結果の確認

異議申立妥当性審査結果が合格の場合、本機関にて異議申立内容に基づいてリクワイアメント未達成量を修正します。修正後に本機関より、容量市場システムに登録した

メールアドレス宛に確認依頼のメールが送付されますので、内容を確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「供給指示」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧（事業者ごと） - 発動指令以外（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「供給指示」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと）（供給指示）（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象年月日が表示されますので、「対象年月日」リンクをクリックし、「アセスメント詳細画面（供給指示）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成量を確認してください。

8.1.4 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します（図 8-7 参照）。

8.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

8.1.4 確定したアセスメント結果の受領

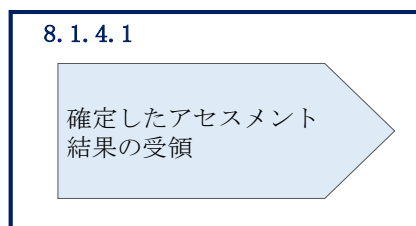


図 8-7 確定したアセスメント結果の受領の手順

8.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、対象実需給月+4月の中旬頃にアセスメント結果を確定した旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、『8.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照し、内容を確認してください（表 8-3 参照）。

注：アセスメント結果に対して異議申立をしなかった場合でも、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

表 8-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の確定通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>供給指示</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

第9章 アセスメント結果への対応（稼働抑制）

本章では、アセスメント結果への対応（稼働抑制）に関する以下の内容について説明します（図 9-1 参照）。

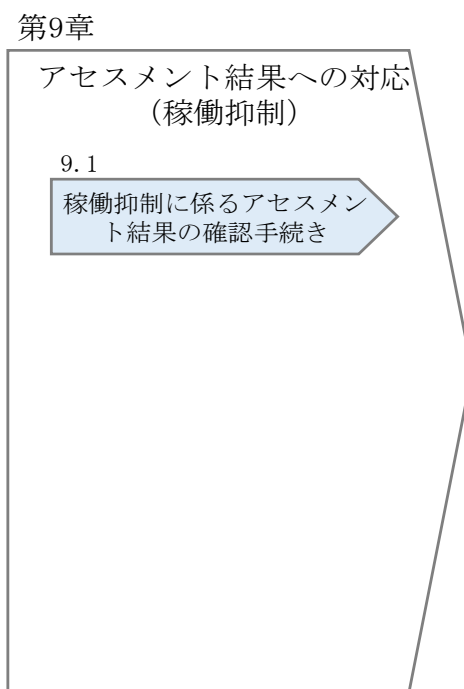


図 9-1 第9章の構成

注1：アセスメントの実施・結果通知のタイミングについて

稼働抑制のアセスメントは、実需給年度ごとに1度のみ実施します（4月から3月の1年分の計量値実績が確定次第）。このため、アセスメント結果も年次で通知されることにご留意ください。具体のスケジュールについては、『Appendix.2 業務手順全体図』を参照してください。

注2：リクワイアメント対象となる電源について

電源等区分が安定電源で、かつ主燃料が石炭の電源のうち、建設時の設計効率が高位発熱量（HHV：Higher Heating Value）・発電端において42%以上であることを確認できない電源（以下「非効率石炭火力電源」という）が稼働抑制の対象となります。電源等差替によって非効率石炭火力電源に差替える場合、差替元電源が非効率石炭火力電源かどうかに関わらず、差替先電源は稼働抑制のリクワイアメントの対象となります。

非効率石炭火力電源をそれ以外の電源に差替える場合、差替先電源は稼働抑制のリクワイアメントの対象外となります。

注3：アセスメントの基準について

稼働抑制におけるアセスメントは、非効率石炭火力電源について、実需給期間中における年間設備利用率が50%を超えていないかを確認し、超えている場合はリクワイアメント未達成とします。

注4：アセスメント(年間設備利用率)の算定方法について

年間設備利用率は、以下の手順で算定いたします。

- ・ 対象の電源が電源等差替を実施していない場合

- ① 各コマの発電量調整受電電力量と契約容量を比較し、発電量調整受電電力量が契約容量を超えているコマについては、当該コマの発電量調整受電電力量を契約容量として補正します。

なお、1計量単位内に非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合については、非効率石炭火力電源相当の発電量調整受電電力量と、非効率石炭火力電源相当の契約容量を比較し、非効率石炭火力電源相当の発電量調整受電電力量が非効率石炭火力電源相当の契約容量を超えているコマについては、当該コマの発電量調整受電電力量を非効率石炭火力電源相当の契約容量として補正します。なお、非効率石炭火力電源相当の発電量調整受電電力量と契約容量は以下の式で算定します。

非効率石炭火力電源相当の発電量調整受電電力量 (kW) = (容量市場システムに登録した発電量調整受電電力量 (kW)) × {1 計量単位内の非効率石炭火力電源の計量値 (発電端) (kW) / 1 計量単位内のすべてのユニットの計量値 (発電端) (kW)}

非効率石炭火力電源相当の契約容量 (kW) = 契約容量 × {1 計量単位内の非効率石炭火力電源の設備容量 (kW) / 1 計量単位内のすべてのユニットの設備容量 (kW)}

- ② 各コマの発電量調整受電電力量 (kW) の単位を (kWh) に変換します。
各コマの発電量調整受電電力量 (kWh) = 各コマの発電量調整受電電力量 (kW) / 2
- ③ ①、②で補正した発電量調整受電電力量 (kWh) を用いて年間設備利用率を算定します。なお、1計量単位内に非効率石炭火力電源のユニットと非効率石炭火力電源以外のユニットが混在する場合については、非効率石炭火力電源相当の発電量調整受電電力量と非効率石炭火力電源相当の契約容量 (kW) を用いて年間設備利用率を算定します。

年間設備利用率＝{全コマの発電量調整受電電力量（kWh）－需給ひっ迫時の
 発電量調整受電電力量（kWh）⁸⁴} ÷（契約容量×8,760 時間⁸⁵）

なお上記算定式における需給ひっ迫時とは、低予備率アセスメント対象コマ
 若しくは属地一般送配電事業者からの供給指示が発令されたコマを指しま
 す。

＜電源等差替を実施している場合＞

電源等差替のタイミングや、差替容量、差替元電源及び差替先電源が非効率石炭火力
 電源かどうかにより、年間設備利用率の算定方法が変わります。電源等差替を実施し
 た場合は、以下の表から該当する No を確認し設備利用率の算定方法をご確認くださ
 い。

No	電源等差替のタイミング	差替容量	差替元電源	差替先電源
1	実需給期間前	全量差替	全ての電源	非効率石炭火 力電源
2		部分差替	非効率石炭火 力電源	非効率石炭火 力電源以外
3		部分差替	非効率石炭火 力電源以外	非効率石炭火 力電源
4		部分差替	非効率石炭火 力電源	非効率石炭火 力電源
5	実需給期間中	全量差替	非効率石炭火 力電源	非効率石炭火 力電源以外
6		全量差替	非効率石炭火 力電源以外	非効率石炭火 力電源
7		全量差替	非効率石炭火 力電源	非効率石炭火 力電源
8		部分差替	非効率石炭火 力電源	非効率石炭火 力電源以外
9		部分差替	非効率石炭火 力電源以外	非効率石炭火 力電源
10		部分差替	非効率石炭火 力電源	非効率石炭火 力電源

⁸⁴ 平常時のコマであるが供給指示が発令されているコマも含む

⁸⁵ 対象実需給年度が閏年により 366 日となる場合は、8,784 時間とします。

1. 実需給期間前に非効率石炭火力電源に電源等差替を実施した場合は、差替元電源が非効率石炭火力電源かどうかに関わらず、差替先電源から配分された発電量調整受電電力量を用いて、電源等差替を実施していない場合と同様の手順で年間設備利用率を算定いたします。

年間設備利用率＝{全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）－低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×8,760時間⁸⁵）

2. 差替元電源が非効率石炭火力電源であり、非効率石炭火力電源以外の電源に実需給期間前に部分差替を実施した場合は、差替元電源の発電量調整受電電力量を用いて、電源等差替を実施していない場合と同様の手順で補正を行い、年間設備利用率を算定いたします。なお、年間設備利用率の算定に用いる契約容量については、契約容量のうち、差替元電源が占める容量を用います。

年間設備利用率＝{全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）－低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量のうち、差替元電源が占める容量×8,760時間⁸⁵）

3. 差替元電源が非効率石炭火力電源以外の電源であり、非効率石炭火力電源に実需給期間前に部分差替を実施した場合は、差替先電源から配分された発電量調整受電電力量を用いて、電源等差替を実施していない場合と同様の手順で補正を行い、年間設備利用率を算定いたします。なお、年間設備利用率の算定に用いる契約容量については、契約容量のうち、差替先電源が占める容量を用います。

年間設備利用率＝{全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）－低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量のうち、差替先電源が占める容量×8,760時間⁸⁵）

4. 差替元電源が非効率石炭火力電源であり、別の非効率石炭火力電源に実需給期間前に部分差替を実施した場合は、差替元の発電量調整受電電力量と差替先から配分された発電量調整受電電力量の合計値を用いて、電源等差替を実施していない場合と同様の手順で補正を行い、年間設備利用率を算定いたします。

年間設備利用率＝{全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）－低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）＋全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）－低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×8,760時間⁸⁵）

5. 差替元電源が非効率石炭火力電源であり、非効率石炭火力電源以外の電源に実需給期間中に全量差替を実施した場合は、差替元電源の発電量調整受電電力量を用いて、電源等差替実施前の期間の設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、発電量調整受電電力量の補正の手順は電源等差替を実施していない場合と同様となります。

設備利用率＝{実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）－実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の時間）

6. 差替元電源が非効率石炭火力電源以外の電源であり、非効率石炭火力電源に実需給期間中に全量差替を実施した場合は、差替先電源から配分された発電量調整受電電力量を用いて、電源等差替実施後の期間の設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、発電量調整受電電力量の補正の手順は電源等差替を実施していない場合と同様となります。

設備利用率＝{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）－電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×源等差替実施から実需給年度終了までの期間の時間）

7. 差替元電源が非効率石炭火力電源であり、別の非効率石炭火力電源に実需給期間中に全量差替を実施した場合は、実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の差替元電源の発電量調整受電電力量と電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の差替先電源から配分された発電量調整受電電力量を用いて年間設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、発電量調整受電電力量の補正の手順は電源等差替を実施していない場合と同様となります。

年間設備利用率＝{実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）－実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）＋電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）－電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×8,760時間⁸⁵⁾）

8. 差替元電源が非効率石炭火力電源であり、非効率石炭火力電源以外の電源に実需給期間中に部分差替を実施した場合は、差替元電源の発電量調整受電電力量を用いて、年間設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、電源等差替実施後の期間の差替元電源の発電量調整受電電力量は契約容量相当に補正したうえで、年間設備利用率を算定します。

年間設備利用率＝ $\left[\{ \text{実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量 (kWh)} - \text{実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量 (kWh)} \} + \{ \text{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量 (kWh)} - \text{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量 (kWh)} \} \times \{ \text{契約容量} / (\text{契約容量} - \text{差替容量}) \} \right] \div (\text{契約容量} \times 8,760 \text{ 時間})$

9. 差替元電源が非効率石炭火力電源以外の電源であり、非効率石炭火力電源に実需給期間中に部分差替を実施した場合は、差替先電源から配分された発電量調整受電電力量を用いて、電源等差替実施後の期間の設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、発電量調整受電電力量の補正の手順は電源等差替を実施していない場合と同様となります。また、年間設備利用率の算定に用いる契約容量については、契約容量のうち、差替先電源が占める容量を用います。

年間設備利用率＝ $\{ \text{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量 (kWh)} - \text{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量 (kWh)} \} \div (\text{契約容量のうち、差替先電源が占める容量} \times \text{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の時間})$

10. 差替元電源が非効率石炭火力電源であり、別の非効率石炭火力電源に実需給期間中に部分差替を実施した場合は、差替元電源の発電量調整受電電力量と電源等差替実施後の差替先電源から配分された発電量調整受電電力量を用いて年間設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、発電量調整受電電力量の補正の手順は電源等差替を実施していない場合と同様となります。

年間設備利用率＝ $\{ \text{全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量 (kWh)} - \text{低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量 (kWh)} + \text{電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の全コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量 (kWh)} - \text{電源等差替実施から実需給年度終了$

までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×8,760時間^{85）}

- ・ 実需給期間中に非効率石炭火力電源が市場退出した場合
 - 実需給期間中に非効率石炭火力電源の全量が市場退出した場合は市場退出前の期間の設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、発電量調整受電電力量の補正の手順は電源等差替を実施していない場合と同様となります。

設備利用率＝{実需給年度開始から市場退出までの期間の全コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）－実需給年度開始から市場退出までの期間の低予備率アセスメント対象コマの差替元電源の発電量調整受電電力量（kWh）} ÷（契約容量×実需給年度開始から市場退出までの期間の時間）

- 実需給期間中に非効率石炭火力電源の一部が市場退出した場合は年間設備利用率が50%を超えていないか確認します。なお、市場退出後の期間の発電量調整受電電力量は契約容量相当に補正したうえで、年間設備利用率を算定します。

年間設備利用率＝[{実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の全コマの発電量調整受電電力量（kWh）－実需給年度開始から電源等差替実施までの期間の低予備率アセスメント対象コマの発電量調整受電電力量（kWh）} ＋ {電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の全コマの発電量調整受電電力量（kWh）－電源等差替実施から実需給年度終了までの期間の低予備率アセスメント対象コマの発電量調整受電電力量（kWh）} × {契約容量/（契約容量－市場退出した容量）}] ÷（契約容量×8,760時間^{85）}

9.1 稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続き

本節では、稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続きについて以下の流れで説明します（図 9-2 参照）。

- 9.1.1 年間設備利用率算定結果の確認
- 9.1.2 異議申立
- 9.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認
- 9.1.4 年間設備利用率の再算定結果受領
- 9.1.5 アセスメント結果の確認
- 9.1.6 異議申立
- 9.1.7 異議申立妥当性審査結果の確認
- 9.1.8 確定したアセスメント結果の受領

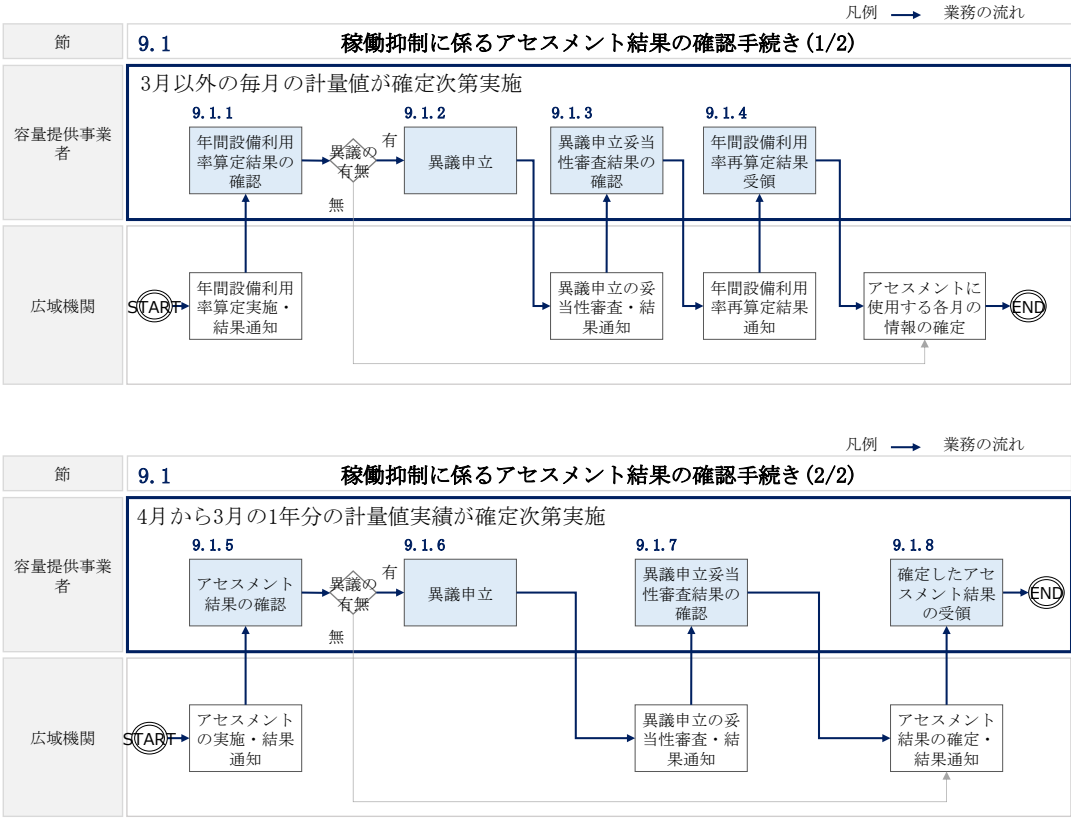


図 9-2 稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成

9.1.1 年間設備利用率算定結果の確認

本項では、年間設備利用率算定結果の確認について説明します（図 9-3 参照）。

9.1.1.1 年間設備利用率の算定結果の確認

9.1.1 年間設備利用率算定結果の確認

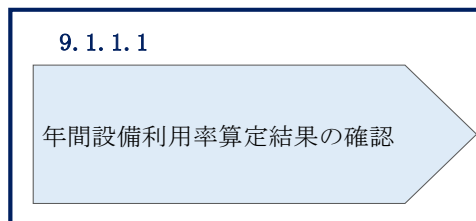


図 9-3 年間設備利用率算定結果の確認

9.1.1.1 年間設備利用率の算定結果の確認

本機関にて他リクワイアメントにおけるアセスメント結果仮確定の通知に合わせて、容量市場システムに年間設備利用率算定結果を登録いたしますので確認してください。なお、年間設備利用率算定結果の通知は、稼働抑制のリクワイアメント最終結果を通知するものではなく、年間設備利用率の算定に使用する情報の確定を目的としていますので、算定諸元等に誤りが無いかご確認をお願いいたします。

注1：年間設備利用率算定結果の確認の頻度について

年間設備利用率の算定結果は3月以外の毎月の計量値が確定次第、月次で実施いたします。

注2：容量市場システムに月次で登録いただいた発電量調整受電電力量等の情報にもとづいて年間設備利用率の算定を行なっておりますが、算定諸元等に疑義がある場合は、所定の期日までに異議申立をお願いします（『9.1.2 異議申立』参照）。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」へ進んでください。

「算定対象年度」を選択し、年間設備利用率算定結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択し、「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」へ進んでください（図 9-4 参照）。

「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」下部にある「添付資料」に、年間設備利用率算定結果が登録されておりますので、内容を確認してください（図 9-5 参照）。

容量市場システム ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント一覧画面（事業者毎）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）

算定対象年度を選択してください。

年間設備利用率算定結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択してください。

算定対象年度*	YYYY	事業者コード		事業者名	
エリア	NNN	電源等識別番号	XXXXXXXXXX	稼働抑制	
電源等の名称	NNNNNNNNNN	最新回次			
承認状況	NNN				

「アセスメント一覧（事業者毎）（非効率石炭火力電源の稼働抑制）（検索結果）」

選択	算定対象年度	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	適用年月日	発電実績提出依頼日時
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXXX2	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXXX3	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXXX4	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXXX6	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXXX7	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXXX8	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM

図 9-4 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ

容量市場システム ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制 > アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

年間設備利用率算定結果が登録されておりますので、内容を確認してください。

算定対象年度	YYYY	事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN
エリア	NNN	の名称	NNNNNNNNNA	次	XX
適用年月日	YYYY/MM/DD	時	YYYY/MM/DD hh:mm	横提出依頼日時	YYYY/MM/DD hh:mm
承認状況	承認済				
承認者	XXXXXXXXXX				

添付資料

XXXXX.pdf	200 KB	削除
XXXXX.pdf	XXX KB	削除
XXX.xlms	XXXXX KB	削除

図 9-5 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ

9.1.2 異議申立

本項では、年間設備利用率算定結果の異議申立について説明します（図 9-6 参照）。

9.1.2.1 異議申立

9.1.2 異議申立

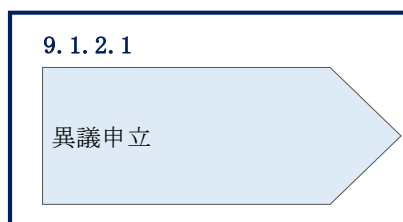


図 9-6 異議申立の手順

9.1.2.1 異議申立

年間設備利用率の算定結果に異議がある場合、年間設備利用率が算定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に新規メールに添付して送信してください（表 9-1 表 9-3 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

[https://www.occto.or.jp/market-](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html)

[board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html) からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。異議申立がない場合は対応は不要です。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 9-1 年間設備利用率算定結果に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象)【XXXX (事業者コード) ⁸⁶ 】年間設備利用率算定結果に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者名称および担当者名 ・ 対象実需給年度 ・ 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット (異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載) ・ 異議申立の根拠となる資料 (必要に応じて)

⁸⁶ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

9.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 9-7 参照）。

9.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

9.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

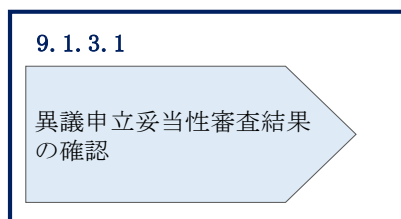


図 9-7 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

9.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

年間設備利用率算定結果に対して異議申立を行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

9.1.4 年間設備利用率の再算定結果受領

本項では、年間設備利用率の再算定結果受領について説明します（図 9-8 参照）。

9.1.4.1 年間設備利用率の再算定結果受領

9.1.4 年間設備利用率の再算定結果受領

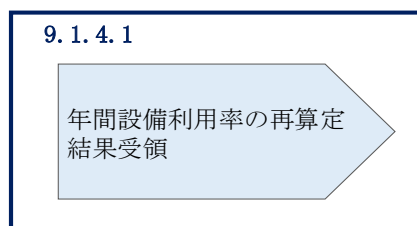


図 9-8 年間設備利用率の再算定結果受領

9.1.4.1 年間設備利用率の再算定結果受領

本機関が年間設備利用率の再算定を実施した場合は、容量市場システムに年間設備利用率の再算定結果を再登録しますので、内容を確認してください。

注1：年間設備利用率の算定結果に対して異議申立をしなかった場合は、再算定の実施はされません。

注2：年間設備利用率の再算定の実施有無は、異議申立の内容を審査した結果にあわせて連絡します。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」へ進んでください（図 9-9 参照）。

「算定対象年度」を選択し、年間設備利用率の再算定結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択し、「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」下部にある「添付資料」に、年間設備利用率の再算定結果が登録されておりますので、内容を確認してください（図 9-10 参照）。

容量市場システム

アセスメント一覧画面（事業者毎）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセス

算定対象年度を選択してください。

ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

算定対象年度*

YYYY

事業者コード

事業者名

エリア

NNN

電源等識別番号

XXXXXXXXXX

電源等の名称

NNNNNNNNNN

稼働抑制ペナルティ

NNN

承認状況

NNN

最新回

年間設備利用率算定結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択してください。

アセスメント一覧（事業者毎）（非効率石炭火力電源の稼働抑制）（検索結果）

選択	算定対象年度	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	適用年月日	光電表取 提出依頼日時
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX1	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX2	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXX3	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXX4	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX6	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX7	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX8	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM

図 9-9 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ

容量市場システム

アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制 > アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

算定対象年度

YYYY

事業者コード

XXXX

事業者名

NNNNNNNNNN

エリア

NNN

電源等の名称

NNNNNNNNNA

適用年月日

YYYY/MM/DD

回次

XX

承認状況

承認済

日時

YYYY/MM/DD hh:mm

承認者

XXXXXXXXXX

提出依頼日時

YYYY/MM/DD hh:mm

年間設備利用率の再算定結果が登録されておりますので、内容を確認してください。

添付資料

ファイル選択

アップロード

XXXXX.pdf	200 KB	削除
XXXXX.pdf	XXX KB	削除
XXX.xmlx	XXXXX KB	削除

図 9-10 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ

9.1.5 アセスメント結果の確認

本項では、アセスメント結果の確認について説明します(図 9-11 参照)。

9.1.5.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

9.1.1 アセスメント結果の確認

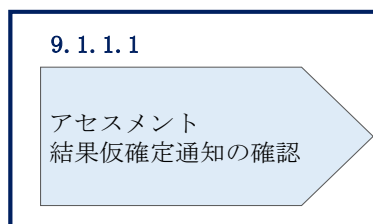


図 9-11 アセスメント結果の確認の手順

9.1.5.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、容量市場システムに登録されているアセスメント結果を確認してください(表 9-2 参照)。

注1:アセスメントの実施・結果通知の頻度について

稼働抑制のアセスメントは、実需給年度ごとに1度のみ実施します（4月から3月の1年分の計量値実績が確定次第）。このため、アセスメント結果も年次で通知されることにご留意ください。

注2:稼働抑制に係るアセスメント結果は以下のメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス: youryou_rikuase@occto.or.jp

表 9-2 アセスメント結果の仮確定完了通知メールイメージ

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード）】アセスメント結果の仮確定完了通知
送信元メールアドレス	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	XXXX 様 こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。

	リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。 【算定対象年度】 YYYY 【リクワイアメント種別】 稼働抑制 【事業者コード】 XXXX 【事業者名】 XXXX 【電源等識別番号】 XXXXXXXXXXXX 【差替先電源等識別番号（電源等差替を実施している場合）】 XXXXXXXXXXXX
--	--

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」へ進んでください。

「算定対象年度」を選択し、アセスメント結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択し、「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」へ進んでください（図 9-12 図 9-4 参照）。

「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」下部にある「添付資料」に、アセスメント結果が登録されておりますので、内容を確認してください（図 9-13 参照）。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント一覧画面（事業者ごと）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者ごと）

算定対象年度*

YYYY

事業者コード

事業者名

エリア

NNN

電源等識別番号

XXXXXXXXXX

電源等の名称

NNNNNNNNNN

稼働抑制ペナルティ

NNN

承認状況

NNN

最

アセスメント結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択してください。

アセスメント一覧（事業者毎）（非効率石炭火力電源の稼働抑制）（検索結果）

選択	算定対象年度	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	適用年月日	発電実績提出依頼日時
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX1	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	-
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX2	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	-
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXX3	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	-
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXX4	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	-
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX6	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	-
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX7	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX8	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM

図 9-12 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制 > アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

算定対象年度

YYYY

事業者名

NNNNNNNNNN

エリア

NNN

電源等の名称

NNNNNNNNNA

適用年月日

YYYY/MM/DD

承認回次

XX

承認状況

承認済

審査日時

YYYY/MM/DD hh:mm

承認者

XXXXXXXXXX

発電実績提出依頼日時

YYYY/MM/DD hh:mm

アセスメント結果が登録されておりますので、内容を確認してください。

添付資料

ファイル選択

アップロード

XXXXX.pdf	200 KB	削除
XXXXX.pdf	XXX KB	削除
XXX.xmlx	XXXXX KB	削除

図 9-13 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ

9.1.6 異議申立

本項では、アセスメント結果の確認異議申立について説明します(図 9-14 参照)。

9.1.6.1 異議申立

9.1.2 異議申立

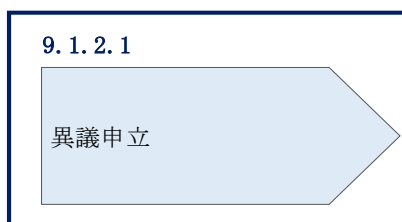


図 9-14 異議申立の手順

9.1.6.1 異議申立

アセスメント結果に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に新規メールに添付して送信してください(表 9-3 参照)。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

[https://www.occto.or.jp/market-](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html)

[board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html) からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。

異議申立がない場合は、『9.1.8.1 確定したアセスメント結果の受領』へ進んでください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 9-3 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象)【XXXX (事業者コード) ⁸⁷ 】アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者名称および担当者名 ・ 対象実需給年度 ・ 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット (異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載) ・ 異議申立の根拠となる資料 (必要に応じて)

注1：年間設備利用率の算定に使用する情報のうち、4月から2月の情報は、年間設備利用率算定結果の確認時に完了しているため、3月分を除く年間設備利用率算定に使用した情報に対する異議は受理されません。

⁸⁷ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

9.1.7 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します(図 9-15 参照)。

9.1.7.1 異議申立妥当性審査結果の確認

9.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

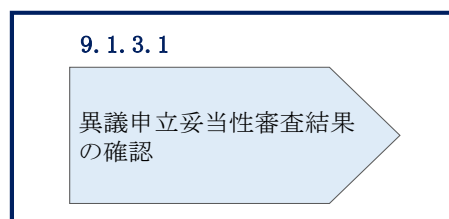


図 9-15 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

9.1.7.1 異議申立妥当性審査結果の確認

アセスメント結果仮確定に対して異議申立を行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

9.1.8 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します(図 9-16 参照)。

9.1.8.1 確定したアセスメント結果の受領

9.1.4 アセスメント結果の受領

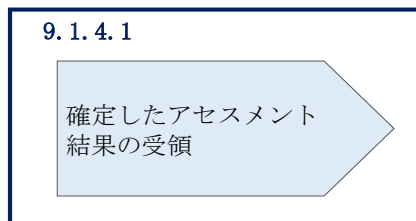


図 9-16 確定したアセスメント結果の受領の手続き

9.1.8.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、対象実需給翌年度7月中旬頃にアセスメント結果を確定した旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、容量市場システムに登録されているアセスメント結果を確認してください（表 9-4 参照）。

注1：アセスメント結果に対して異議申立をしなかった場合でも、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

注2：稼働抑制に係るアセスメント結果は以下のメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス： youryou_rikuase@occto.or.jp

表 9-4 アセスメント結果の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード）】アセスメント結果の確定通知
送信元メールアドレス	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイアメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>稼働抑制</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>【電源等識別番号】</p> <p>XXXXXXXXXX</p> <p>【差替先電源等識別番号（電源等差替を実施している場合）】</p> <p>XXXXXXXXXX</p> <p>【年間設備利用率の算定値】</p> <p>XX%</p> <p>【リクワイアメントの達成状況】</p> <p>達成/未達成</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制」へ進んでください。

「算定対象年度」を選択し、アセスメント結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択し、「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」へ進んでください（図 9-17 図 9-4 参照）。

「アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）」下部にある「添付資料」に、確定したアセスメント結果が登録されておりますので、内容を確認してください（図 9-18 参照）。

容量市場システム

アセスメント一覧画面（事業者毎）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ログアウト

算定対象年度を選択してください。

算定対象年度*

YYYY

事業者コード

事業者名

エリア

NNN

電源等識別番号

XXXXXXXXXX

電源等の名称

NNNNNNNNNN

稼働抑制ペナルティ

NNN

承認状況

NNN

最新回次

アセスメント一覧（事業者毎）（非効率石炭火力電源の稼働抑制）（検索結果）

選択	算定対象年度	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	適用年月日	近電受取 提出依頼日時
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX1	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX2	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXX3	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 東京		XXXXXXXXX4	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX6	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	—
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX7	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM
<input type="checkbox"/>	2024	XXXX	NNNNNNNNNN 中部		XXXXXXXXX8	NNNNNNNN	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD HH:MM

アセスメント結果の確認を行うユニットの「電源等識別番号」を選択してください。

図 9-17 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ

容量市場システム

アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-稼働抑制 > アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ログアウト

算定対象年度

YYYY

エリア

NNN

適用年月日

YYYY/MM/DD

承認状況

承認済

承認者

XXXXXXXXXX

名称

NNNNNNNNNN

名称

NNNNNNNNNA

XX

YYYY/MM/DD hh:mm

提出依頼日時

YYYY/MM/DD hh:mm

添付資料

ファイル選択

アップロード

XXXXX.pdf

200 KB

削除

XXXXX.pdf

XXX KB

削除

XXX.xml

XXXXX KB

削除

確定したアセスメント結果が登録されておりますので、内容を確認してください。

図 9-18 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ

Appendix.1 図表一覧

図 1-1 本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ.....	4
図 1-2 電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル.....	7
図 1-3 電源等差替を実施している事業者が確認すべきマニュアル.....	8
図 1-4 本業務マニュアルの構成（第 1 章除く）	9
図 1-5 安定電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧	10
図 2-1 第 2 章の構成.....	17
図 2-2 容量停止計画の登録手順	19
図 2-3 容量停止計画の登録手順.....	20
図 2-4 容量停止計画一覧画面 画面イメージ.....	21
図 2-5 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ.....	22
図 2-6 容量停止計画 CSV イメージ	23
図 2-7 一括登録・変更画面のイメージ.....	28
図 2-8 容量停止計画一覧画面 画面イメージ.....	30
図 2-9 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(1).....	30
図 2-10 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(2).....	31
図 2-11 変更情報入力欄 登録区分 画面イメージ.....	31
図 2-12 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)	32
図 2-13 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)	33
図 2-14 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ.....	33
図 2-15 差替先の容量停止計画の登録手順.....	35
図 2-16 容量停止計画 CSV イメージ.....	36
図 2-17 一括登録・変更画面のイメージ.....	40
図 2-18 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)	41
図 2-19 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)	42
図 2-20 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ.....	42
図 2-21 容量停止計画登録漏れの確認の詳細構成.....	43
図 2-22 容量停止計画の修正の手順.....	43
図 2-23 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成.....	46
図 2-24 差替先の容量停止計画の修正登録の手順.....	46
図 2-25 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応の詳細構成.....	48
図 2-26 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出の手順.....	49
図 2-27 提出時期の妥当性審査結果の受領の手順.....	50
図 2-28 提出時期の妥当性審査結果の確認の手順.....	51

図 3-1	第 3 章の構成.....	53
図 3-2	発電計画・発電上限に関する対応の詳細構成.....	54
図 3-3	発電計画・発電上限の確認の手順.....	54
図 3-4	アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ.....	56
図 3-5	アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ.....	57
図 3-6	発電計画・発電上限の登録の手順.....	58
図 3-7	アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）の CSV イメージ	61
図 3-8	一括登録・変更画面 画面イメージ	64
図 3-9	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	65
図 3-10	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	65
図 3-11	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ.....	65
図 3-12	アセスメント算定諸元詳細画面とアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限） CSV ファイルの比較イメージ	68
図 3-13	差替先に係る発電計画・発電上限の登録の手順.....	69
図 3-14	差替配分供給力（発電計画・発電上限） CSV イメージ	70
図 3-15	一括登録・変更画面 画面イメージ	73
図 3-16	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	74
図 3-17	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	74
図 3-18	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ.....	75
図 3-19	差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電計画・発電上限） CSV ファイルの比較イメージ.....	76
図 3-20	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成.....	77
図 3-21	差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録の手順.....	78
図 4-1	第 4 章の構成.....	79
図 4-2	発電量調整受電電力量の登録の詳細構成.....	80
図 4-3	発電量調整受電電力量の登録の手順.....	80
図 4-4	アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV イメージ.....	82
図 4-5	一括登録・変更の画面イメージ.....	85
図 4-6	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	87
図 4-7	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	87
図 4-8	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ.....	87
図 4-9	アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ.....	89
図 4-10	アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ.....	90
図 4-11	アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ.....	92
図 4-12	アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ.....	92
図 4-13	差替先の発電量調整受電電力量の登録の手順.....	93

図 4-14	差替配分供給力（発電量調整受電電力量）CSV イメージ	97
図 4-15	一括登録・変更の画面イメージ	100
図 4-16	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	101
図 4-17	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	101
図 4-18	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	101
図 4-19	差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルの比較イメージ	103
図 4-20	アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ	105
図 4-21	アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ	105
図 4-22	発電量調整受電電力量の登録内容審査の詳細構成	106
図 4-23	発電量調整受電電力量の修正登録の手順	106
図 4-24	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成	109
図 4-25	差替先の発電量調整受電電力量の修正登録の手順	109
図 5-1	第 5 章の構成	111
図 5-2	市場応札量の登録の詳細構成	112
図 5-3	市場応札量の登録の手順	112
図 5-4	アセスメント算定諸元（市場応札量）CSV イメージ	113
図 5-5	一括登録・変更の画面イメージ	117
図 5-6	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	120
図 5-7	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	120
図 5-8	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	120
図 5-9	アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ	122
図 5-10	アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ	123
図 5-11	差替先の市場応札量の登録の手順	124
図 5-12	差替配分供給力（市場応札量）の CSV イメージ	125
図 5-13	一括登録・変更の画面イメージ	129
図 5-14	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	130
図 5-15	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	130
図 5-16	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	130
図 6-1	第 6 章の構成	132
図 6-2	容量停止計画に係るアセスメント結果の確定手続きの詳細構成	135
図 6-3	アセスメント結果の確認の手順	136
図 6-4	アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ	138
図 6-5	異議申立の手順	139
図 6-6	異議申立妥当性審査結果の確認の手順	141

図 6-7 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ	143
図 6-8 確定したアセスメント結果の受領の手順.....	144
図 7-1 第7章の構成.....	146
図 7-2 市場応札に係るアセスメント結果の確定手続きの詳細構成.....	149
図 7-3 アセスメント結果の確認の手順.....	149
図 7-4 アセスメント結果詳細画面（市場応札）の画面イメージ.....	152
図 7-5 異議申立の手順.....	152
図 7-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順.....	154
図 7-7 確定したアセスメント結果の受領の手順.....	155
図 8-1 第8章の構成.....	157
図 8-2 供給指示に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成.....	160
図 8-3 アセスメント結果の確認の手順.....	160
図 8-4 アセスメント結果詳細画面（供給指示）の画面イメージ.....	162
図 8-5 異議申立の手順.....	163
図 8-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順.....	165
図 8-7 確定したアセスメント結果の受領の手順.....	166
図 9-1 第9章の構成.....	168
図 9-2 稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成.....	175
図 9-3 年間設備利用率算定結果の確認.....	176
図 9-4 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ.....	177
図 9-5 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ.....	177
図 9-6 異議申立の手順.....	178
図 9-7 異議申立妥当性審査結果の確認の手順.....	180
図 9-8 年間設備利用率の再算定結果受領.....	181
図 9-9 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ.....	182
図 9-10 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ.....	182
図 9-11 アセスメント結果の確認の手順.....	183
図 9-12 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ.....	185
図 9-13 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ.....	185
図 9-14 異議申立の手順.....	186
図 9-15 異議申立妥当性審査結果の確認の手順.....	188
図 9-16 確定したアセスメント結果の受領の手続き.....	189
図 9-17 アセスメント一覧画面（事業者ごと）-稼働抑制の画面イメージ.....	191
図 9-18 アセスメント結果詳細画面（稼働抑制）の画面イメージ.....	191

表 1-1 リクワイアメント対応（安定電源）業務の主なスケジュール.....	5
表 2-1 容量停止計画登録作業の概要.....	18
表 2-2 容量停止計画 CSV の記載項目.....	23
表 2-3 一括登録・変更画面の入力項目.....	28
表 2-4 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ.....	34
表 2-5 電源等差替を実施している場合の容量停止計画の登録対象.....	35
表 2-6 容量停止計画 CSV の記載項目.....	37
表 2-7 一括登録・変更画面の入力項目.....	40
表 2-8 容量停止計画登録漏れ確認結果通知メールイメージ.....	44
表 2-9 容量停止計画未登録の正当な理由の提出メール記載事項.....	45
表 2-10 容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出メール記載事項..	49
表 2-11 提出時期の妥当性審査結果に対する異議申立メールの記載項目.....	51
表 3-1 アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限） CSV の記載項目.....	62
表 3-2 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ.....	66
表 3-3 電源等差替を実施している場合の発電計画・発電上限の登録対象.....	69
表 3-4 差替配分供給力（発電計画・発電上限） CSV の記載項目	71
表 4-1 発電量調整受電電力量の登録・提出範囲.....	81
表 4-2 アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）の CSV の記載項目.....	83
表 4-3 一括登録・変更画面の入力項目.....	85
表 4-4 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ.....	88
表 4-5 差替先に係る発電量調整受電電力量の提出範囲(差替先電源等が稼働抑制の対 象とならない場合).....	94
表 4-6 差替先に係る発電量調整受電電力量の提出範囲(差替先電源等が稼働抑制の対 象となる場合).....	96
表 4-7 差替配分供給力（発電量調整受電電力量） CSV の記載項目	97
表 4-8 一括登録・変更画面の入力項目.....	100
表 4-9 発電量調整受電電力量審査結果通知メールイメージ.....	107
表 5-1 アセスメント算定諸元（市場応札量） CSV の記載項目	113
表 5-2 一括登録・変更画面の入力項目.....	117
表 5-3 バランス停止からの起動時の電源の起動時間の報告メール記載事項.....	118
表 5-4 電源の起動時間報告フォーマット記載事項.....	118
表 5-5 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ.....	121
表 5-6 差替先に係る市場応札量の提出範囲.....	125
表 5-7 差替配分供給力（市場応札量）の CSV の記載項目.....	125
表 5-8 一括登録・変更画面の入力項目.....	129
表 6-1 リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ.....	137

表 6-2	アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目	140
表 6-3	リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ	145
表 7-1	リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ	150
表 7-2	アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目	153
表 7-3	リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ	155
表 8-1	リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ	161
表 8-2	アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目	164
表 8-3	リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ	167
表 9-1	年間設備利用率算定結果に対する異議申立に係るメールの記載項目	179
表 9-2	アセスメント結果の仮確定完了通知メールイメージ	183
表 9-3	アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目	187
表 9-4	アセスメント結果の確定通知メールイメージ	190

Appendix.2 業務手順全体図

業務手順全体図については、別紙（「容量市場業務マニュアル_実需給期間中リクワイアメント対応（安定電源）編_Appendix_業務手順全体図」）参照のこと
なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、業務手順全体図に記載をしております。業務手順全体図では、対象実需給月をN月としております。

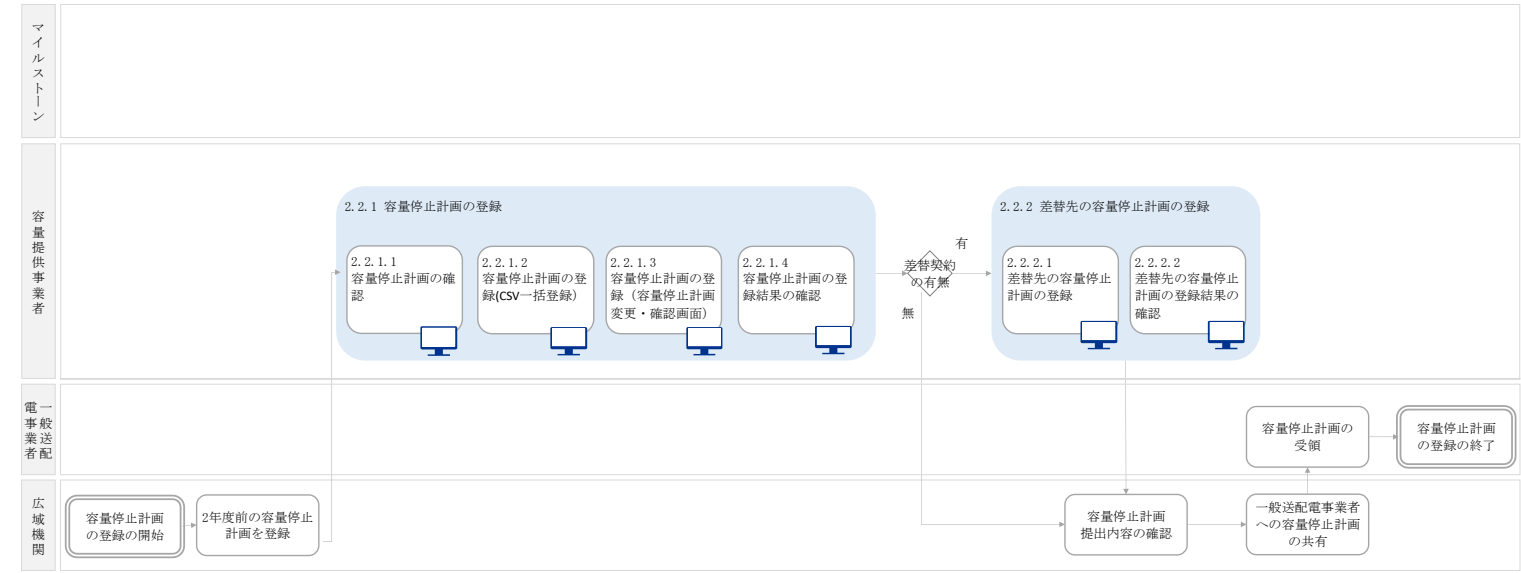
Appendix.3 実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集

No.	用語	意味	記載箇所(一例)
1	最新回次	容量市場システムに登録された算定諸元や容量市場システム内で算定されたアセスメント算定結果のうち、同一条件の範囲内で最も直近に登録又は算定されたものを意味する。 このため、同一の実需給年月に複数回の登録や算定が実施された場合は、基本的に検索画面上で最新回次を指定して検索を実施する	2.2.1.1 容量停止計画の確認
2	アセスメント算定諸元	本機関がアセスメントを実施するために必要となる諸元 例：安定電源・変動電源（単独）に対する容量停止計画のアセスメント算定においては、容量停止計画、発電計画、発電上限等が該当する。また、変動電源（アグリゲート）に対する容量停止計画のアセスメント算定においては、発電量調整受電電力量が該当する。	2.2.1.1 容量停止計画の確認
3	発電量調整受電電力量	受電地点において、一般送配電事業者が発電契約者から受電する発電量調整供給に係る電気の電力量	4.1.1.1 発電量調整受電電力量の登録
4	差替配分供給力	差替先電源から差替元電源に対して配分された供給力	3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録
5	アセスメント種別	容量を提供する電源等の区分に応じて課せられるリクワイアメント・アセスメントの種類 例：容量停止計画（安定・変動単独）、容量停止計画（変動アグリ）、市場応札、供給指示	6.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認
6	電源が提供できる供給力の最大値	「電源等の維持・運営に必要な作業」および「その他要因（発電設備自体の作	3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録

		業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等)」による電源等の停止又は出力低下のみを考慮した発電設備として供給可能な上限値であり、容量市場におけるアセスメントを実施するために容量市場システムに登録する発電上限のことを指します。なお、安定電源に関しては、広域機関システムに登録する発電販売計画での発電上限とは異なる場合があります。	
7	（アセスメント結果の）仮確定	アセスメントの算定結果を容量提供事業者へ通知するため、本機関にてアセスメント結果を暫定的に決定すること	6.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認
8	（アセスメント結果の）確定	アセスメントの後続業務となるペナルティ算定に進むため、容量提供事業者の確認結果を踏まえて本機関にてアセスメント結果を確定すること	6.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.2 容量停止計画の登録



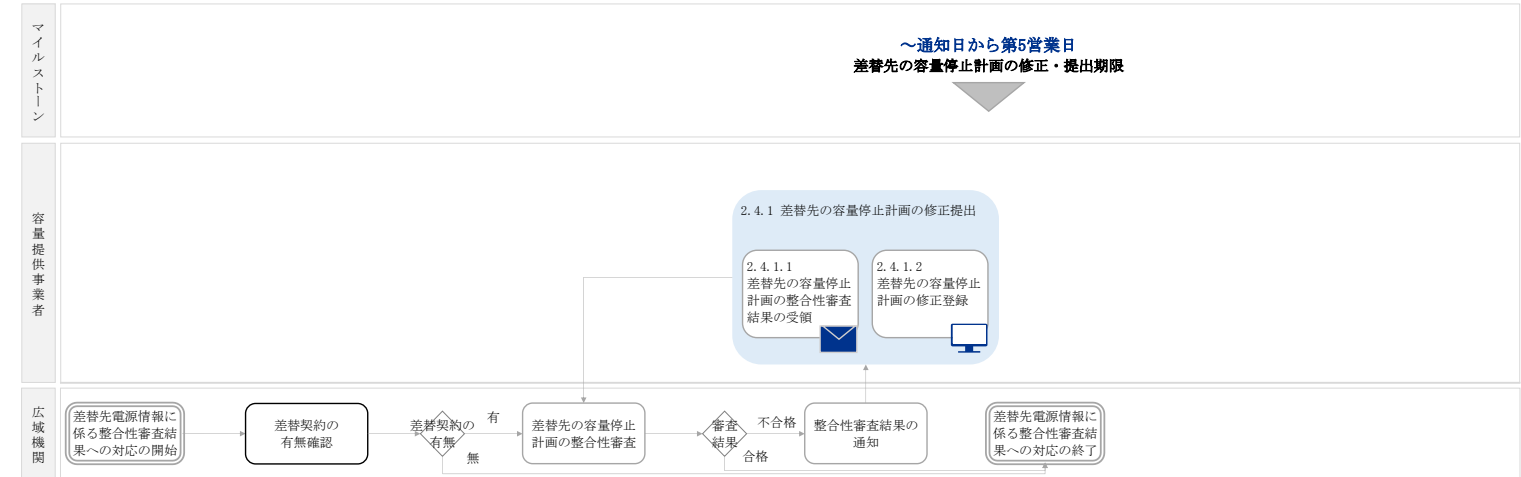
第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応



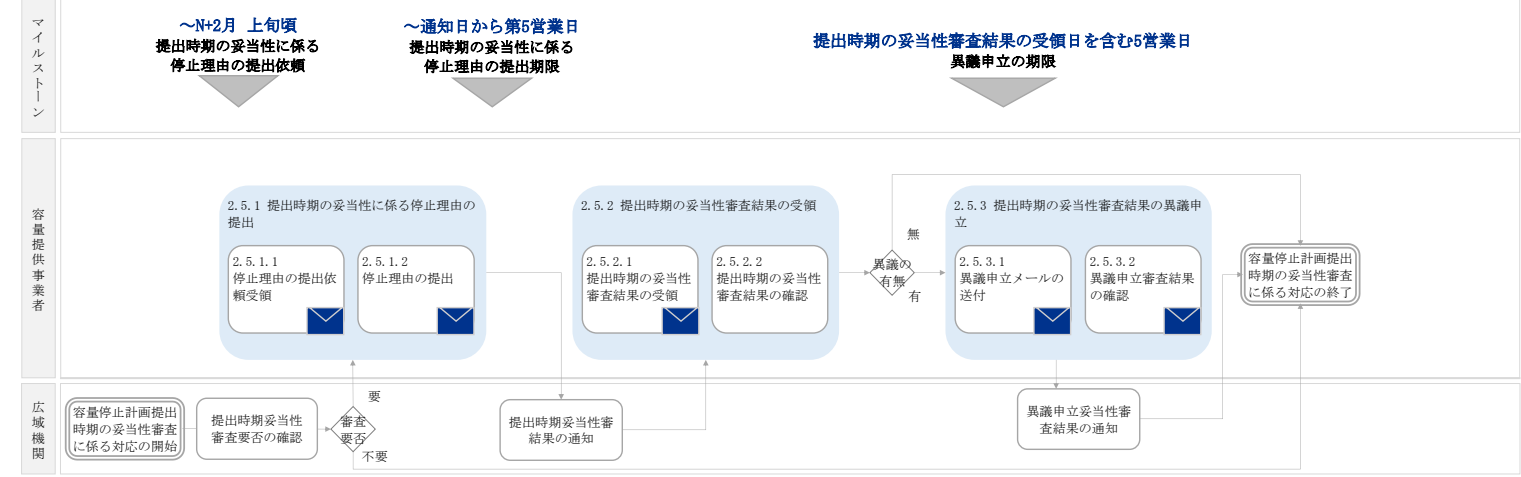
第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応



第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応



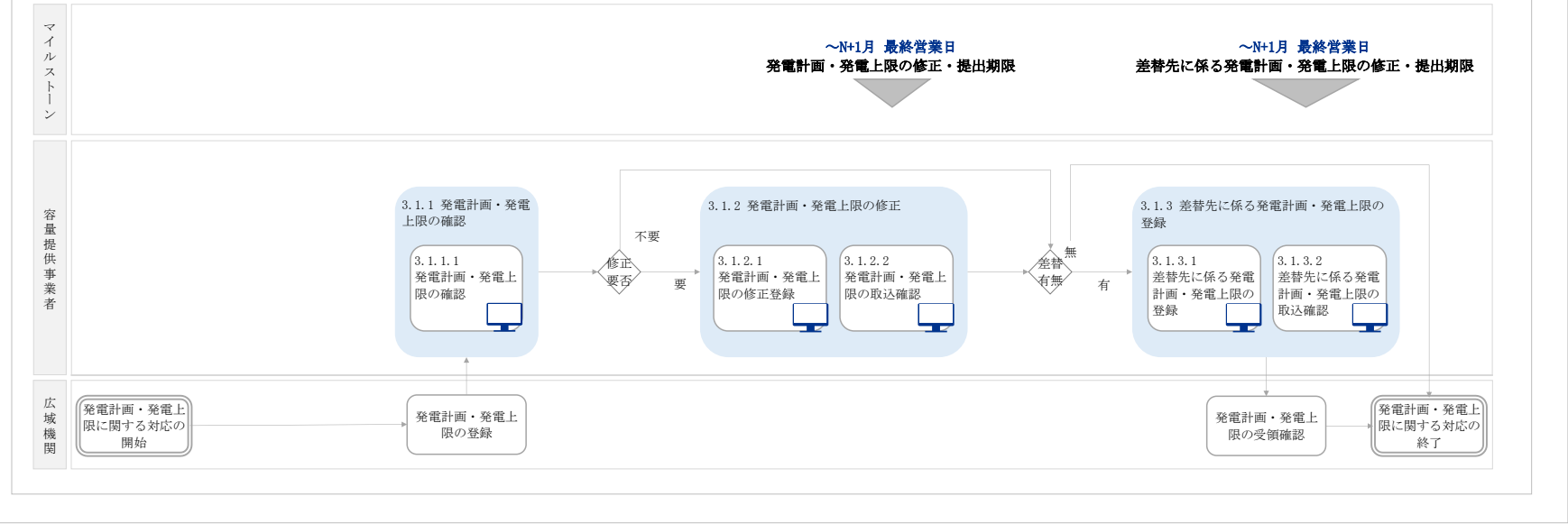
凡例

容量市場システム操作

メール通知

第3章：算定諸元登録（発電計画・発電上限）

3.1 発電計画・発電上限に関する対応

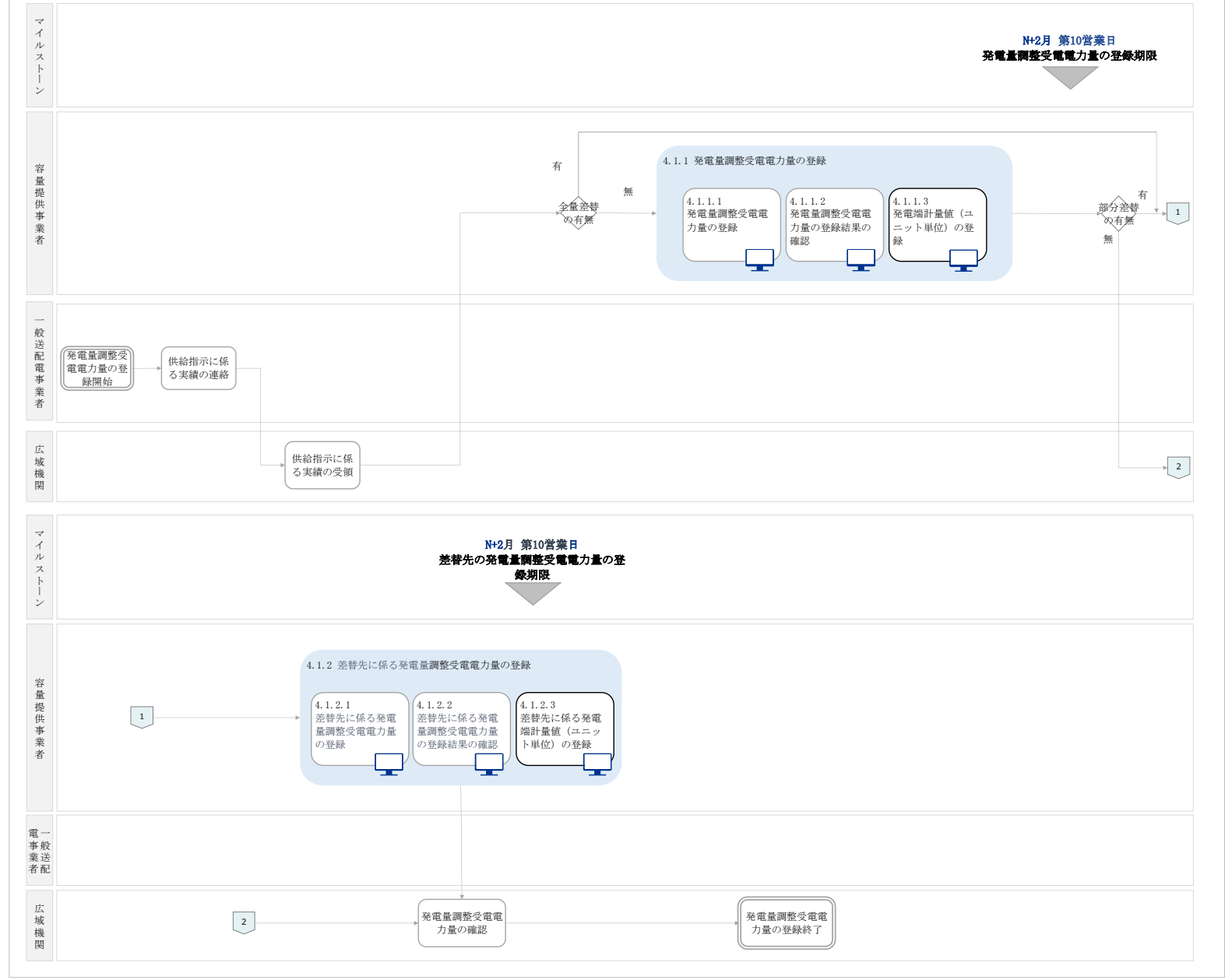


3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応



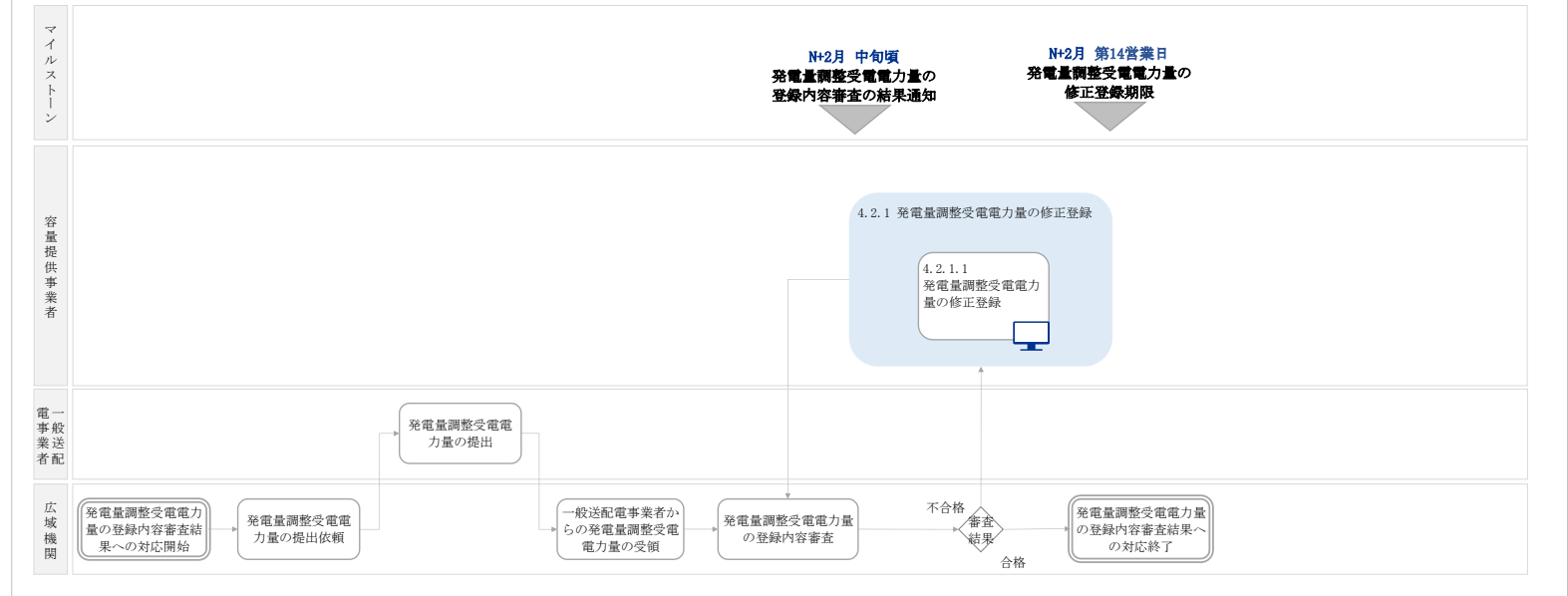
第4章：算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

4.1 発電量調整受電電力量の登録



第4章：算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

4.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応



第4章：算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

4.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応



凡例

容量市場システム操作

メール通知

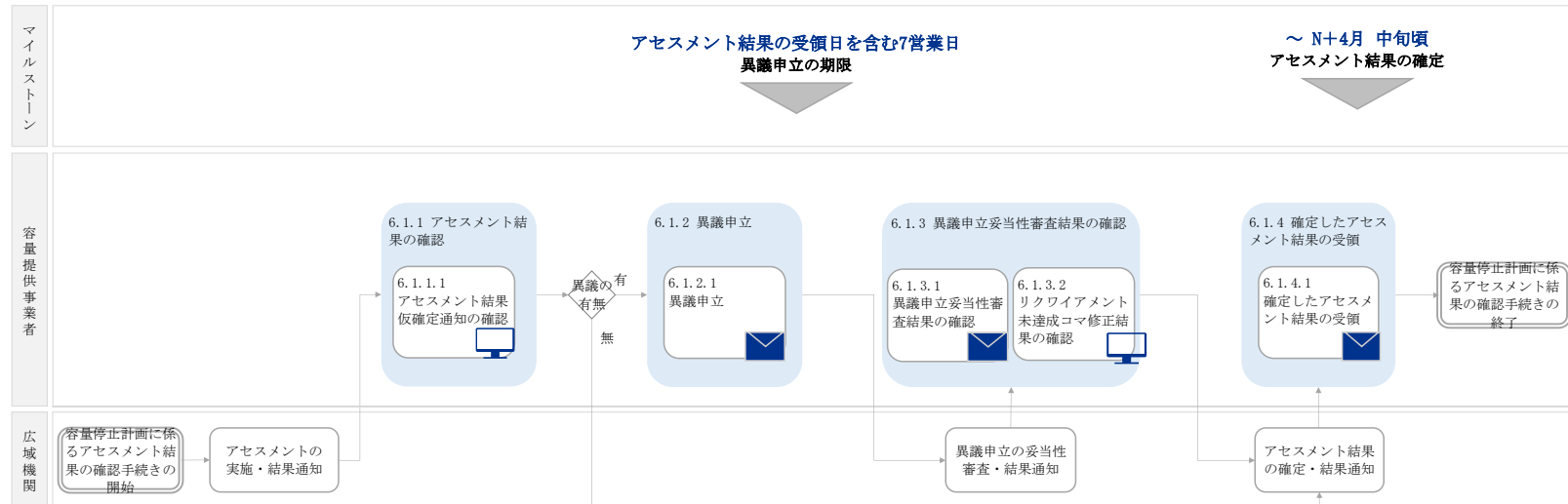
第5章：算定諸元登録（市場応札量）





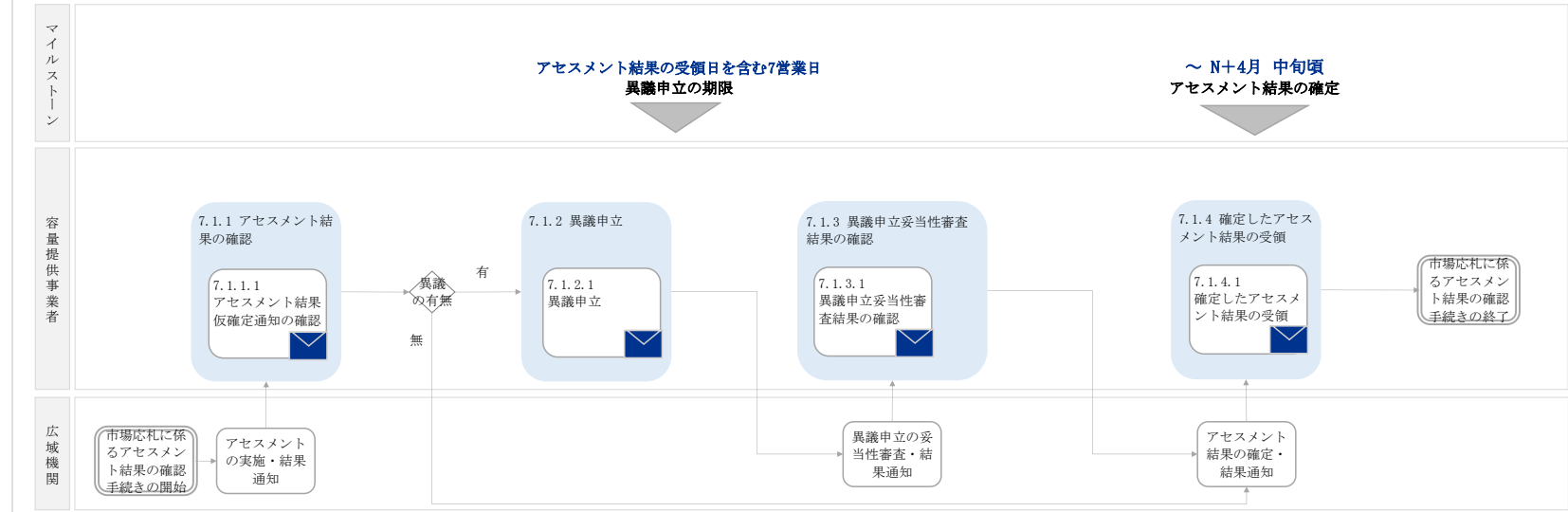
第6章：アセスメント結果への対応（容量停止計画）

6.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き



第7章：アセスメント結果への対応（市場応札）

7.1 市場応札に係るアセスメント結果の確認手続き



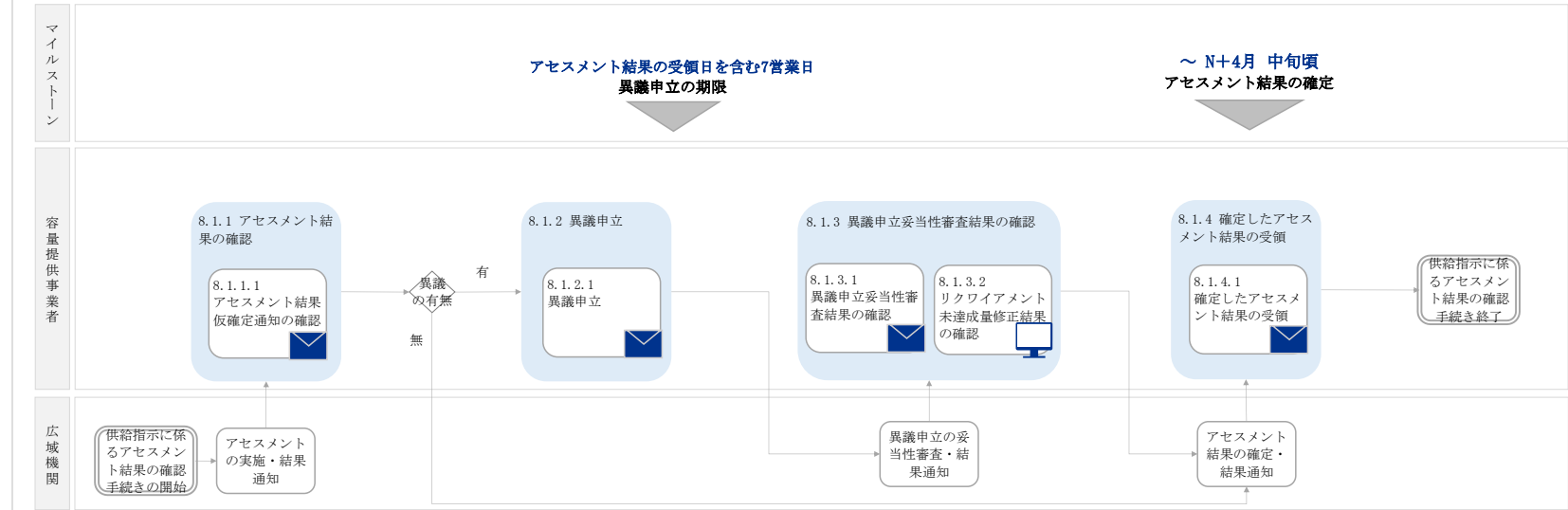
凡例

 容量市場システム操作

 メール通知

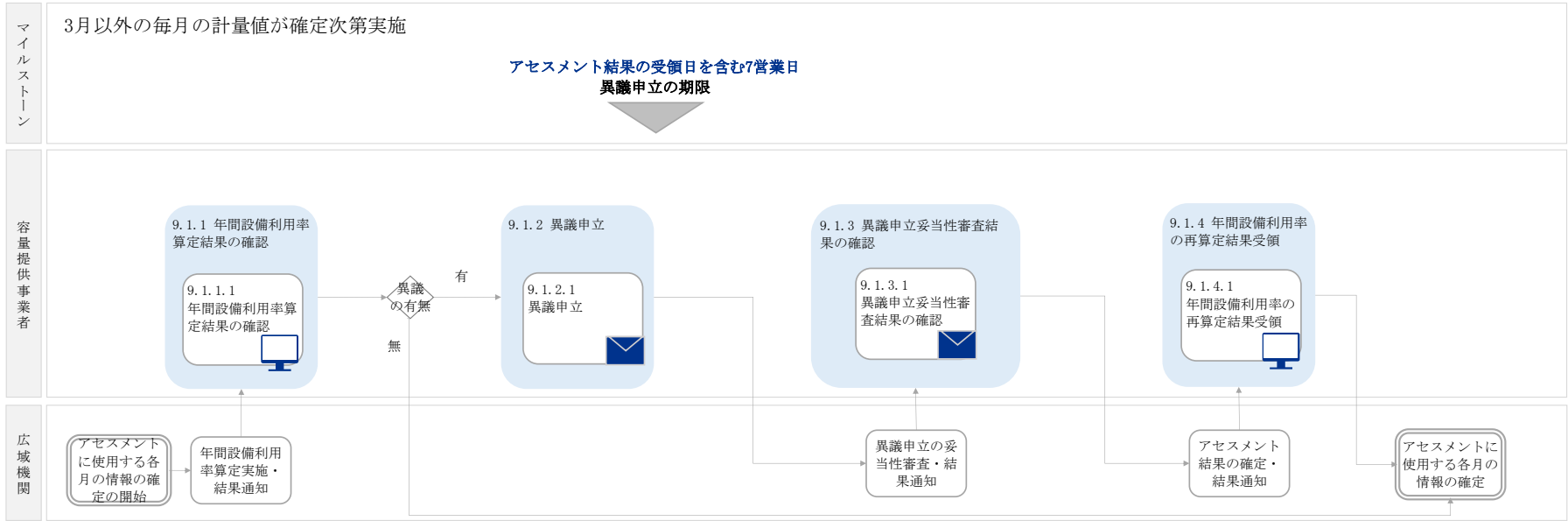
第8章：アセスメント結果への対応（供給指示）

8.1 供給指示に係るアセスメント結果の確認手続き



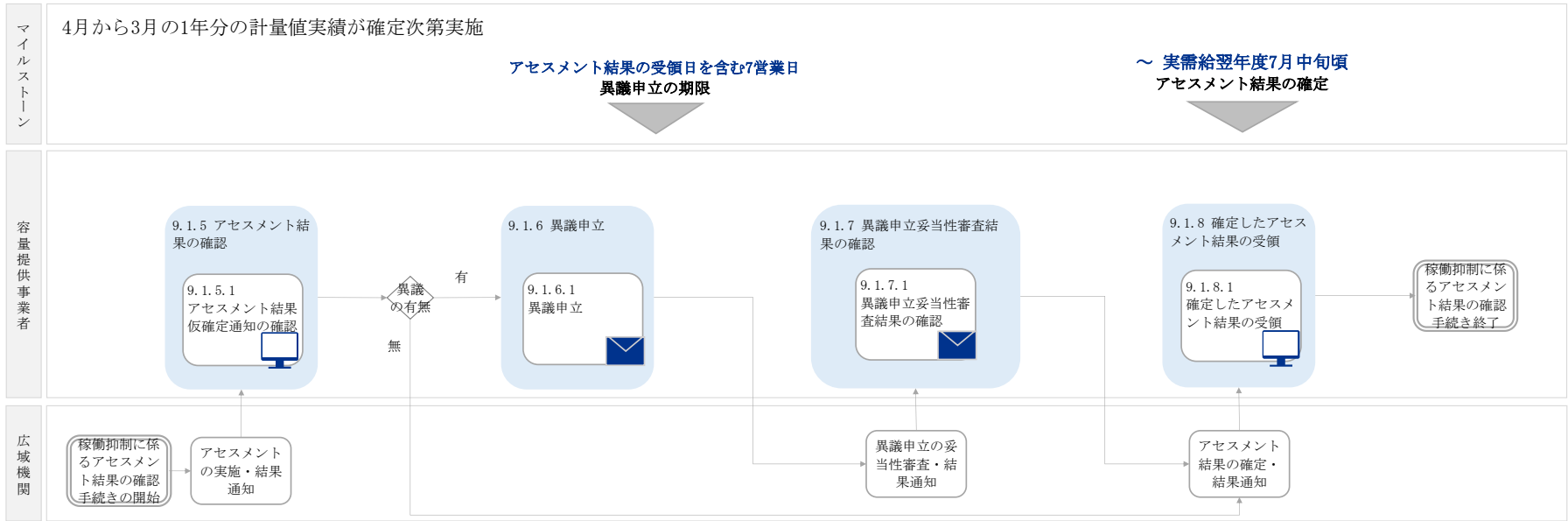
第9章：アセスメント結果への対応（稼働抑制）

9.1 稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続き



第9章：アセスメント結果への対応（稼働抑制）

9.1 稼働抑制に係るアセスメント結果の確認手続き



容量市場
業務マニュアル
実需給期間中
リクワイアメント対応
(変動電源（単独）） 編
(対象実需給年度：2026 年度)

2025 年 12 月 25 日 第 1 版 発行

電力広域的運営推進機関

(変更履歴)

	変更点		日付
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025 年 12 月 25 日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章	はじめに	4
1.1	本業務マニュアルの対象事業者.....	6
1.2	本業務マニュアルの構成.....	8
1.3	容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧.....	9
1.4	変動電源（単独）に係るリクワイアメントの概要説明.....	10
第2章	算定諸元登録（容量停止計画）	11
2.1	実需給期間中の容量停止計画登録の概要.....	12
2.2	容量停止計画の登録.....	13
2.3	容量停止計画登録漏れの確認への対応.....	38
2.4	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応.....	41
2.5	容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応.....	43
第3章	算定諸元登録（発電計画・発電上限）	48
3.1	発電計画・発電上限に関する対応.....	49
3.2	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応.....	70
第4章	アセスメント結果への対応（容量停止計画）	72
4.1	容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き.....	75
Appendix.1	図表一覧.....	85
Appendix.2	業務手順全体図.....	88
Appendix.3	実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集.....	89

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編（以下、本業務マニュアル）は、電力広域的運営推進機関（以下、本機関）の業務規程（第32条の5）の規定に基づき作成された文書です。

本業務マニュアルは実需給期間の直前から実需給期間にかけて実施する業務のうち、リクワイアメント・アセスメントに係る容量提供事業者が実施すべき業務手順やシステム¹の操作方法²が記載されています(図1-1 参照)。

なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、『Appendix.2 業務手順全体図』に記載をしております。

容量提供事業者が提供する電源の電源等区分によって課せられるリクワイアメント・アセスメントの種類が異なるため、業務マニュアルは電源等区分ごとに作成しています。

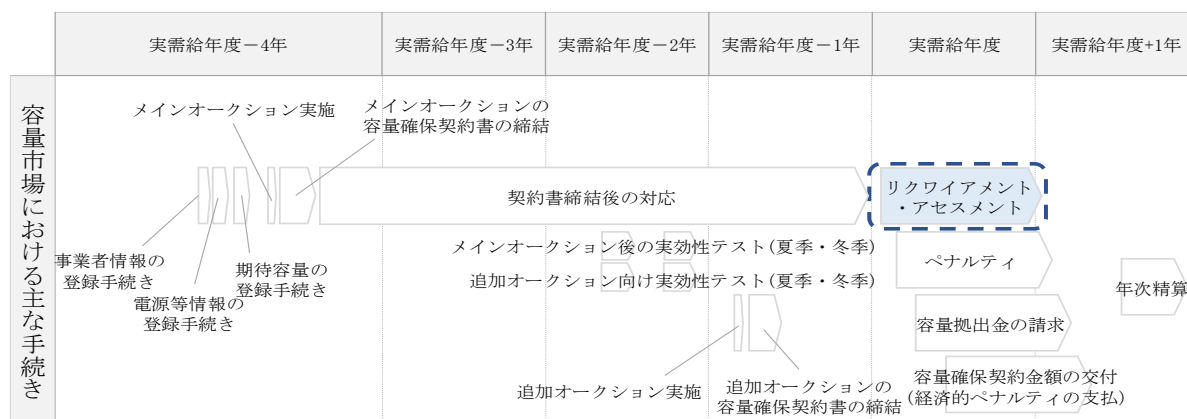


図1-1 本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ

- 1.1 本業務マニュアルの対象事業者
- 1.2 本業務マニュアルの構成
- 1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

¹ 容量市場システムは、容量市場における容量オークション等への参加を希望する本機関会員、その他電気供給事業者の情報を適切に把握し、円滑な市場運営を行うために必要な機能を備えた情報処理システムです。

² 本業務マニュアルに記載している容量市場システムの機能は一部であり、その他の機能は必要に応じて容量市場システムマニュアルを参照してください。

対象実需給月をN月とした場合の、リクワイアメント対応（変動電源（単独））業務のスケジュールは、以下の通りとなります。

表 1-1 リクワイアメント対応（変動電源（単独））業務の主なスケジュール

項目（参照箇所）	時期	概要
容量停止計画の登録 （『2.2.1 容量停止計画の登録』、『2.2.2 差替先の容量停止計画の登録』）	都度	容量停止計画に追加・変更があった都度、すみやかに登録・修正を行っていただきます。（電源等差替を実施している場合は差替先を含む）
発電計画・発電上限の修正・提出（『3.1.2 発電計画・発電上限の修正』、『3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』）	～N+1 月 最終営業日	発電計画・発電上限の修正・提出を行っていただきます。（電源等差替を実施している場合は差替先を含む）
アセスメント結果仮確定に対する異議申立 （『4.1.2 異議申立』）	アセスメント結果の受領日を含む7営業日	アセスメント結果仮確定に異議がある場合に、異議申立を行っていただきます。
アセスメント結果の確定 （『4.1.4 確定したアセスメント結果の受領』）	N+4 月 中旬頃	本機関にて、アセスメント結果が確定した旨のメールを送付します。

1.1 本業務マニュアルの対象事業者

本業務マニュアルの対象事業者は、実需給 2026 年度向けの容量オークションに落札した変動電源（単独）を提供する容量提供事業者、若しくは電源等差替により変動電源（単独）に対する差替先となった電源を提供する事業者です。電源等差替を実施していない容量提供事業者を対象としたマニュアル、電源等差替を実施している差替先・差替元の事業者を対象としたマニュアルをそれぞれ一覧化しておりますので、ご確認ください（図 1-2、図 1-3 参照）。電源等差替により変動電源（単独）に対する差替先となった電源を提供する事業者の具体的な参照箇所は、第 2 章『算定諸元登録（容量停止計画）』、第 3 章『算定諸元登録（発電計画・発電上限）』です。

なお、変動電源（単独）の差替先電源等提供者が容量確保契約を締結していない場合は、差替元電源区分に係る業務マニュアルを確認していただく必要があります。

○：確認が必要

電源等区分	業務マニュアル			
	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 （安定電源）編	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 （変動電源（単独））編	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 （変動電源（アグリゲート））編	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 （発動指令電源）編
安定電源	○	－	－	－
変動電源（単独）	－	○	－	－
変動電源（アグリゲート）	－	－	○	－
発動指令電源	－	－	－	○

図 1-2 電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル

○：全編確認が必要
△：一部確認が必要

事業者 区分	差替先電源の 電源等区分	差替元電源の 電源等区分	業務マニュアル			
			業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 (安定電源)編	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 (変動電源(単独))編	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 (変動電源(アグリゲート))編	業務マニュアル 実需給期間向け リクワイアメント対応 (発動指令電源)編
差替元 事業者	-	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	-	○
差替先 事業者	安定電源	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	○	△	-	-
		変動電源(アグリゲート)	○	-	△	-
		発動指令電源	○	-	-	△
	変動電源(単独)	安定電源	△	○	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	○	△	-
		発動指令電源	-	○	-	△
	変動電源 (アグリゲート)	安定電源	△	-	○	-
		変動電源(単独)	-	△	○	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	○	△
	発動指令電源	安定電源	△	-	-	○
		変動電源(単独)	-	△	-	○
		変動電源(アグリゲート)	-	-	△	○
		発動指令電源	-	-	-	○

図 1-3 電源等差替を実施している容量提供事業者が確認すべきマニュアル

1.2 本業務マニュアルの構成

本業務マニュアルにおける章の構成は以下の通りです（図 1-4 参照）。

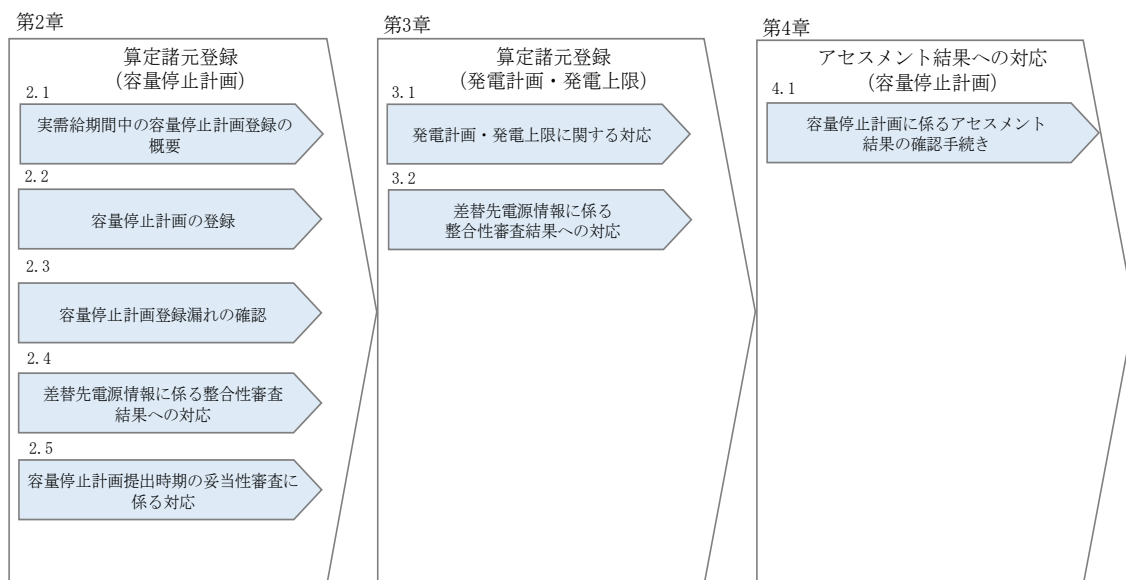


図 1-4 本業務マニュアルの構成（第1章除く）

アセスメントに必要となる算定諸元の登録手続きは第2章から第3章、アセスメントに係る異議申立等の手順は第4章を参照してください。

1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

変動電源（単独）に係るリクワイアメントを遵守するにあたり、容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元について、一覧化しておりますのでご確認ください（図1-5 参照³⁾）。

容量提供事業者が電源等差替を行っていない場合

登録主体	容量停止計画	発電計画・発電上限
容量提供事業者	・ 契約電源の容量停止計画	・ 契約電源の全量

容量提供事業者が電源等差替を行った場合

登録主体		容量停止計画 ³⁾	発電計画・発電上限
差替元電源等提供者	部分差替の場合	・ 差替元電源の容量停止計画 ・ 差替先電源の容量停止計画	・ 差替元電源の全量 ・ 差替先電源から差替元電源に配分された量
	全量差替の場合	・ 差替先電源の容量停止計画	・ 差替先電源から差替元電源に配分された量

電源等差替により差替先電源等提供者となった場合

登録主体	容量停止計画 ^{3), 4)}	発電計画・発電上限
差替先電源等提供者	・ 差替先電源の容量停止計画	・ 差替先電源の全量

図 1-5 変動電源（単独）に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧^{4), 5)}

注 1：容量市場システムの稼働時間は原則、平日及び休日に当たる火曜日 9 時～18 時となっております。

注 2：本機関は必要に応じて、登録・提出された情報の内容について容量提供事業者等に確認することがあります。

³⁾ 差替元電源等提供者と差替先電源等提供者が同一事業者の場合も、同様に差替元電源及び差替先電源の容量停止計画を提出してください。

⁴⁾ 容量確保契約を締結していない差替先電源等提供者については、容量停止計画の提出は不要です。

⁵⁾ 本業務マニュアルでは、事業者が容量市場システム上にアップロードする算定諸元については「算定諸元の登録」、事業者がメールにて本機関に送付する算定諸元については「算定諸元の提出」と表記をしています。

1.4 変動電源（単独）に係るリクワイアメントの概要説明

本節では、変動電源（単独）に係る実需給期間中のリクワイアメント概要を説明します。

1.4.1 供給力の維持

1.4.1 供給力の維持

本項では、供給力の維持について説明します。

1.4.1.1 供給力の維持

1.4.1.2 容量停止計画の提出

1.4.1.1 供給力の維持

実需給年度において、契約電源をアセスメント対象容量以上の供給力を提供できる状態を維持してください。

1.4.1.2 容量停止計画の提出

容量停止計画を提出する場合は、年間 8,640 コマ(180 日相当)を上限に、契約電源の停止又はアセスメント対象容量以下の出力が認められます。

ただし、自然影響により電源等の出力が停止又は出力低下する場合、容量停止計画の提出は不要です。

容量停止計画の提出は、第2章『算定諸元登録（容量停止計画）』を参照して実施してください。

注：実需給期間における容量停止計画の対象は、「電源等の維持・運営に必要な作業」、及び、「その他要因(発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等)」による電源等の停止又は出力低下となります。

なお、実需給年度2年前に行った容量停止計画の調整業務の際に提出いただいた容量停止計画は、各エリア・各月の供給信頼度の確保を目的としておりましたが、実需給期間においては供給力の維持に係るリクワイアメントを満たしているかを確認する目的で、容量停止計画を提出いただきます。したがって、事故による供給力の低下、日数が短く休日等の軽負荷時に実施される作業等を含む電源等の停止・出力低下についても、容量停止計画を提出してください。発電機等の突発的な故障等は、事後のコマを含め遅滞なく容量停止計画を提出してください⁶。

なお、アセスメント対象容量以上の供給力が提供できる場合は、容量停止計画の提出は不要です。

⁶ 広域機関システムに登録する発電計画・発電上限についてはGC以前のコマについては発電機等の突発的な故障等を踏まえ、修正していただく必要がありますが、GC以降に再提出はできません。

第2章 算定諸元登録（容量停止計画）

本章では、算定諸元登録（容量停止計画）に関する以下の内容について説明します
（図 2-1 参照）。

- 2.1 実需給期間中の容量停止計画登録の概要
- 2.2 容量停止計画の登録
- 2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応
- 2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応
- 2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応

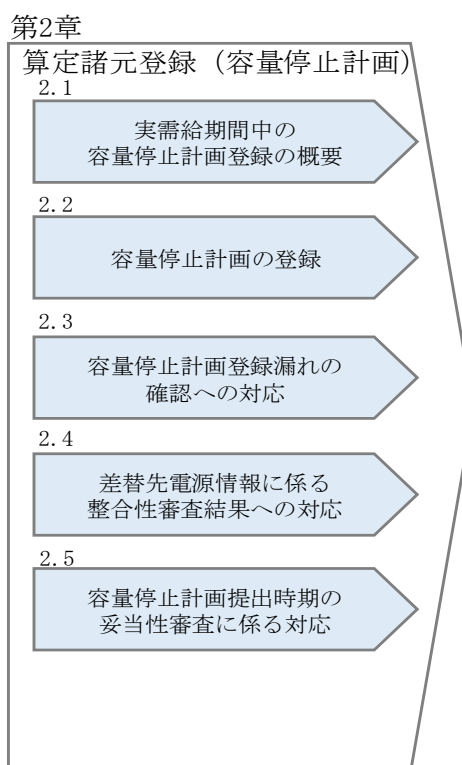


図 2-1 第2章の構成

2.1 実需給期間中の容量停止計画登録の概要

実需給期間中の容量停止計画登録の概要は表 2-1 の通りとなります。

表 2-1 容量停止計画登録作業の概要

実需給 2 年度前に登録された容量停止計画の取込			
項目	作業時期	実施主体	概要
実需給 2 年度前に登録された容量停止計画の変換	実需給年度前年度の 3 月	本機関	実需給 2 年度前に登録された容量停止計画を、本機関にて実需給期間向けに変換し、容量市場システムに登録します。
容量提供事業者による容量停止計画の登録			
項目	作業時期	実施主体	概要
容量市場システムでの容量停止計画の登録	都度 ⁷	容量提供事業者	容量停止計画に追加・変更があった際に、容量市場システム上で登録・修正してください（『2.2 容量停止計画の登録』参照）。

⁷ 提出タイミングとペナルティ倍率の関係については、第 4 章を参照してください。

2.2 容量停止計画の登録

本節では容量停止計画の登録について説明します（図 2-2 参照）。

- 2.2.1 容量停止計画の登録
- 2.2.2 差替先の容量停止計画の登録

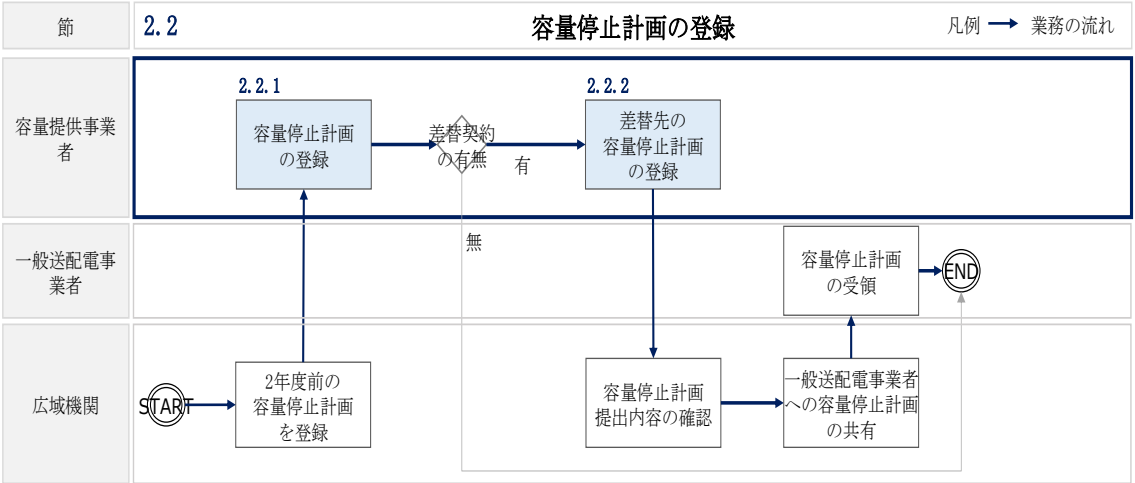


図 2-2 容量停止計画の登録

2.2.1 容量停止計画の登録

本項では容量停止計画の登録について説明します（図 2-3 参照）。

2.2.1.1 容量停止計画の確認

2.2.1.2 容量停止計画の登録（CSV 一括登録）

2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）

2.2.1.4 容量停止計画の登録結果の確認

2.2.1 容量停止計画の登録

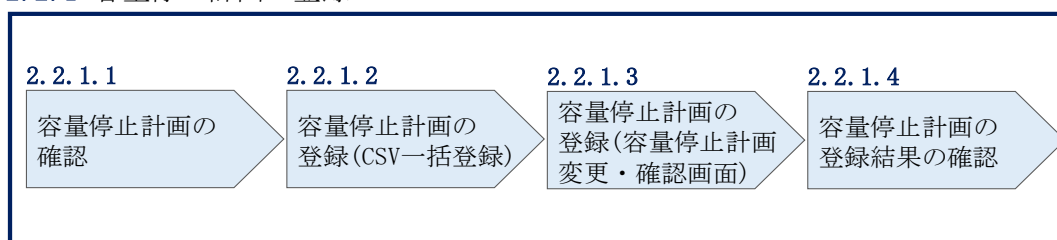


図 2-3 容量停止計画の登録手順

2.2.1.1 容量停止計画の確認

容量市場システムに登録されている容量停止計画を確認してください。

注1：実需給2年度前に登録された容量停止計画を、本機関にて実需給期間向けに変換し容量市場システムに登録する際の変換後の登録状況は、回次1で登録（初回登録）されています。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から、「アセスメント管理（共通）」、「容量停止計画一覧画面」リンクを順にクリックして、「容量停止計画一覧画面」へ進んでください。

「実需給年度」を入力し、「最新回次⁸切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、「検索」ボタンをクリックしてください。

「容量停止計画一覧」（検索結果）に条件に合致する結果が表示されますので、「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、「容量停止計画確認・変更画面」へ進んでください（図 2-4 図 2-5 参照）。

「容量停止計画確認・変更画面」にて、登録された容量停止計画を事業者ご自身で確認ください。

⁸ 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix3 を参照。

三 | 容量市場システム

ログイン日時 : 2020/3/23 12:00 [ログアウト](#)

容量停止計画一覧画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧

実需給年度 *
容量停止計画ID
電源等識別番号
容量停止期間
最新回次切替

~
 ~
☐ 最新回次のみ表示

計画提出事業者コード
計画提出日
電源等の名称
容量停止計画区分
容量停止計画 (広域提出)
容量停止計画 (事業者提出)

☐ 容量停止計画 (広域提出)
☐ 容量停止計画 (事業者提出)

☐

検索

容量停止計画一覧

「計画提出事業者コード」
リンクをクリックして「容
量停止計画確認・変更画
面」へ進んでください。

実需給年度	計画提出 事業者コード ▲	計画 事業者	容量停止計画区分 ▲	電源等識別番号 ▲	電源等の名称 ▲
YYYY	XXXX	XX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XX	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	電源 4

1-15件 (全XX件)

<< 最初 < 前 1 / X 次へ 最後へ

一覧出力

図 2-4 容量停止計画一覧画面 画面イメージ

容量市場システム

容量停止計画確認・変更画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧 > 容量停止計画確認・変更

実需給年度2024

容量停止計画ID

電源等識別番号

容量停止期間YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD

計画提出事業者コードXXXX

計画提出日YYYY

電源等の名称

計画(事業者提出)

容量提供事業者が登録した容量停止計画を確認してください。

検索

容量停止計画 (最新)

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX

変更情報入力欄

選択	実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (事業者提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画 (広域提出)	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

1-4件 (全4件) << 最初 < 前 XX / YY 次へ 最後へ

編集開始 キャンセル 更新

一覧出力

図 2-5 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ

2.2.1.2 容量停止計画の登録（CSV一括登録）

本手順では、CSV 一括登録により容量停止計画を登録・修正する場合の手順を説明します。

容量市場システムに登録（初回登録）された容量停止計画の追加・変更があった場合には、判明の都度すみやかに容量市場システム上で登録・修正してください。

容量停止計画の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 2-6、表 2-2 参照）。

電源等差替を実施していない場合、電源等差替 ID、差替元電源等識別番号はカンマで区切る形（「,」）で入力してください。

容量停止計画ID,"実需給年度","電源等識別番号","電源等の名称","電源等差替ID","差替元電源等識別番号","受電地点特定番号","枝番","停止設備(号機)"
 ,2024,0000006406,Ph3_電源7Y14_安定1,,3300000000000000000026,1,1号機,11111,20250101,0000,20250115,2400,,,4
 ,2024,0000006404,Ph3_電源7Y14_安定2,,3300000000000000000027,1,1号機,31111,20250101,0000,20250131,2400,,,4
 ,2024,0000006405,Ph3_電源7Y14_安定5,0000004713,0000006404,3300000000000000000030,1,1号機,31111,20250101,0000,20250115,2400,,,4

広域受付番号、出力可能容量 (kW) については、カンマで区切る形 (「,」) で入力してください。

図 2-6 容量停止計画 CSV イメージ

表 2-2 容量停止計画 CSV の記載項目

【*】印の項目は、CSV の入力必須項目です。入力漏れのないようご注意ください。

No	項目	留意点
①	容量停止計画 ID	容量停止計画 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください ※新規登録（登録区分：4）の場合は空白（スペース入力不可）にしてください。
②	実需給年度*	yyyy 形式の半角数字で入力してください 例：実需給 2024 年度の場合「2024」と入力
③	電源等識別番号*	停止対象の電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
④	電源等の名称*	電源等の名称（50 桁以内）を全角で入力してください
⑤	電源等差替 ID	電源等差替を実施している場合には電源等差替 ID（10 桁）を半角数字で入力してください ※電源等差替を実施していない場合も、CSV データ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください。
⑥	差替元電源等識別番号	差替元電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください ※電源等差替を実施していない場合も、CSV データ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください。

No	項目	留意点
		で、カンマで区切る形（「,」）で入力してください。
⑦	受電地点特定番号	受電地点特定番号（22桁）を半角英数字で入力してください
⑧	枝番*	枝番を半角英数字で入力してください ※複数号機ある場合の、号機の判別に使用します。電源等情報詳細画面の詳細情報一覧の枝番に合わせて入力してください。
⑨	停止設備（号機単位）の名称	停止設備（号機単位）の名称（50桁）を全角で入力してください
⑩	系統コード（号機単位）	系統コード（号機単位（5桁））を半角英数字で入力してください
⑪	作業開始年月日*	yyyymmdd（8桁）を半角数字で入力してください 例：2024年10月3日に作業開始の場合 「20241003」と入力
⑫	作業開始時分*	hhmm（4桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05に作業開始の場合「0905」と入力、 PM9:05に作業開始の場合「2105」と入力
⑬	作業終了年月日*	yyyymmdd（8桁）を半角数字で入力してください 例：2024年10月3日に作業終了の場合 「20241003」と入力
⑭	作業終了時分*	hhmm（4桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05に作業終了の場合「0905」と入力、 PM9:05に作業終了の場合「2105」と入力 ※24:00に作業終了の場合「2359」と入力
⑮	広域受付番号	容量停止計画を直接容量市場システムに登録する場合も、CSVデータ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑯	出力可能容量（kW）	実需給期間中の容量停止計画の登録時には使用いたしません、CSVデータの読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑰	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、又は入力済みの値のまま）
⑱	登録区分*	2:変更（2回目以降）

No	項目	留意点
		3:取消 4:新規登録

容量停止計画 CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。なお、月を跨ぐ停止計画がある場合、月ごとに分割せず、まとめて容量停止計画を登録することも可能です。

注1：容量停止計画 CSV ファイルは、テキストエディタ等で編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1行目のヘッダ部分（“容量停止計画 ID”～“登録区分”の部分）各項目には「”」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：CSV 一括登録により容量停止計画を変更する場合、登録済みの情報との差分のみが更新されるため、登録済みの内容の記載は不要です。ただし、新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの期間より短い場合は、システムの仕様上、期間の長い計画が最新と判別されるため、登録済みの情報の取消が必要です。なお、その場合、追加登録のタイミングが算定諸元の登録日となるため、アセスメント結果に影響がある点にご注意ください。

注4：新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの容量停止計画と重複している期間は登録済みの容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。一方で、登録済みの容量停止計画を取消した後に、新たに別の容量停止計画として追加で登録した場合は、新たに別の容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。このため、新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する場合は登録後に、登録済みの容量停止計画を取消してください。

(例)10月1日から10月10日までの容量停止計画Aが登録済みの場合に、電源等の維持・運営に必要な作業の期間延長により、10月1日から10月15日までの容量停止計画Bを新たに登録する場合は、容量停止計画Bの登録後に容量停止計画Aを取消してください。この場合、10月11日から10月15日の期間については、容量停止計画Bの登録タイミングが算定諸元の登録日となりますが、10月1日から10月10日までの期間については容量停止計画Aの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。一方

で、容量停止計画 A の取消後に容量停止計画 B を登録してしまうと、10 月 1 日から 10 月 15 日について、容量停止計画 B の登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注 5：既に登録済みの容量停止計画の期間中の一部を削除しようとする場合は CSV 一括登録にて、新たに別の容量停止計画を登録した後に、登録済みの容量停止計画の取消していただく必要があります。CSV 一括登録にて登録済みの容量停止計画の修正や、『2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）』での修正を行うと、別の容量停止計画の登録タイミングが算定諸元の登録日となってしまう期間が発生しますので、ご注意ください。

(例)10 月 1 日から 10 月 5 日までの容量停止計画 A を登録済みであるが、10 月 3 日のみ稼働できるため容量停止計画の変更を行う場合、10 月 1 日から 10 月 2 日までの容量停止計画 B と 10 月 4 日から 10 月 5 日までの容量停止計画 C を登録後に、容量停止計画 A を取消してください。この場合、容量停止計画 B と容量停止計画 C については、容量停止計画 A の登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

一方で、容量停止計画 A について期間を 10 月 1 日から 10 月 2 日に変更したうえで、10 月 4 日から 10 月 5 日までの容量停止計画 C を別の容量停止計画として登録してしまうと、10 月 4 日から 10 月 5 日までの期間は、容量停止計画 C の登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注 6：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS (MS932)】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

注 7：1 レコードに複数月分の停止期間を含む本ファイルについて、新規分・変更分の停止期間の月ごとに登録可能かチェックを行いますが、ひと月でも登録不可の月が存在すれば、エラーとし登録処理は実施しません。

注 8：1 度にアップロードできる上限レコード数はヘッダ行含め 100 レコードです。上限レコード数を超える場合は、ファイル分割を行い、複数回に分けてアップロードしてください。

注 9：同一電源に対する容量停止計画の数が多い場合、登録・削除に時間がかかります。新規の計画が多い場合だけでなく、既存の計画が多い場合も同様の事象が発生し

ます。また、停止期間が長い（停止コマ数が多い）場合も、登録時間が長くなります。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_電源等識別番号_A 枝番.csv」としてください¹¹。また、容量停止計画を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_容量停止計画_電源等識別番号_A 枝番_R 更新回数.csv」としてください¹²。なお、複数の電源を一括して登録する場合、ファイル名に記載する電源等識別番号はCSV ファイルの先頭行の電源等識別番号を記載してください。月を跨ぐ停止計画の容量停止計画を提出する場合は、作業開始年月をファイル名に記載してください。なお、容量停止計画の登録・修正は対象実需給月+1月の第16営業日までに実施していただく必要があります。

例) 初回の登録の場合

202410_容量停止計画_0123456789_A1.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号 A 枝番

1 回目の更新の場合

202410_容量停止計画_0123456789_A1_R1.csv

R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_容量停止計画_0123456789_A1_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい容量停止計画のCSV ファイルを選択してください（表 2-3 参照）。容量停止計画のCSV ファイルが容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 2-7 参照）。

¹¹ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

¹² 1つあたりのアップロードファイルサイズの上限は20MBとなりますので、20MBを超える場合は、ファイルを分割してください。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

図 2-7 一括登録・変更画面のイメージ

表 2-3 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「容量停止計画」を選択

2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）

容量停止計画一覧画面上から容量停止計画を登録・修正する場合の手順を説明します。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「容量停止計画一覧画面」リンクをクリックして、「容量停止計画一覧画面」へ進んでください。

「容量停止計画 ID」に該当の容量停止計画 ID を入力し、「実需給年度」に該当の実需給年度を入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。

「容量停止計画一覧（検索結果）」に条件に合致する結果が表示されますので、「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、「容量停止計画確認・変更画面」へ進んでください（図 2-8 参照）。

新規登録の場合、「容量停止計画確認・変更画面」にて、「追加情報入力欄」の「編集開始」ボタンをクリックしてください。「電源等識別番号」（差替先電源の登録時は差替先の「電源等識別番号」）、「枝番」、「作業開始日時」、及び「作業終了日時」を直接入力してください。差替先電源の登録時は「差替 ID」も入力してください。容量停止計画の入力後に、「表示」ボタンをクリックし、「電源等の名称」等が表示されるため内容を確認後、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください。（図 2-9 参照）

変更の場合、「容量停止計画確認・変更画面」にて、「変更情報入力欄」の「選択」から変更対象にチェックをいれて「編集開始」ボタンをクリックしてください。「登録区分」プルダウンから「変更」を選択し、「作業開始日時」、及び「作業終了日時」を直接更新し修正してください¹³。容量停止計画の修正後に、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください（図 2-10、図 2-11 参照）。

取消の場合、「容量停止計画確認・変更画面」にて、「変更情報入力欄」の「選択」から変更対象にチェックをいれて「編集開始」ボタンをクリックしてください。「登録区分」プルダウンから「取消」を選択し、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください（図 2-10、図 2-11 参照）。

また、その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止又は出力低下する場合、必要に応じ報告フォーマット及びエビデンスとなる添付資料を翌月末までに提出してください。

報告フォーマットは https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

「容量停止計画確認・変更画面」下部にある「添付資料」の「ファイル選択」ボタンをクリックし、ファイルを選択した後、「アップロード」ボタンをクリックすることで、添付資料を提出することができます。

注：容量停止計画確認・変更画面において、添付ファイルとしてアップロード可能なファイル数は、1 年度 1 事業者につき最大 50 件です。

¹³ 容量市場システムの容量停止計画確認・変更画面から直接、容量停止計画を修正する場合、「作業開始日時」、及び「作業終了日時」のみ修正可能です。

三 | 容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00 [ログアウト](#)

容量停止計画一覧画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧

実需給年度*

YYYY

計画提出事業者コード

XXXX

計画提出事業者名

XXXXX

容量停止計画ID

計画提出日

YYYY/MM/DD

~

YYYY/MM/DD

電源等識別番号

電源等の名称

枝番

容量停止期間

YYYY/MM/DD

~

YYYY/MM/DD

容量停止計画区分

☐ 容量停止計画（広域提出）

☐ 容量停止計画（事業者提出）

最新回次切替

☐ 最新回次のみ表示

検索

容量停止計画一覧

実需給年度	計画提出 事業者コード▲	計画提出 事業者名▲	容量停止計画ID▲	回次	計画提出日時▲	メール送信日時▲	容量停止計画区分▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000008	XX	2024/3/2 12:00	2024/3/2 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000009	XX	2024/2/28 12:00	2024/2/28 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000010	XX	2024/2/25 12:00	2024/2/25 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000011	XX	2024/2/22 12:00	2024/2/22 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000012	XX	2024/2/19 12:00	2024/2/19 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000013	XX	2024/2/16 12:00	2024/2/16 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000014	XX	2024/2/13 12:00	2024/2/13 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000015	XX	2024/2/10 12:00	2024/2/10 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 4

1-15件（全XX件） << 最初 < 前 1 / X 次へ 最後まで 一覧出力

「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、容量停止計画確認・変更画面へ進んでください。

図 2-8 容量停止計画一覧画面 画面イメージ

追加情報入力欄

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号*	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番*
2024	-	-	-	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX			<input checked="" type="checkbox"/> X
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>
2024	-	-	-						<input type="checkbox"/>

編集開始 キャンセル 表示 更新

「選択」で対象にチェックをいれた上で「編集開始」ボタンをクリックしてください。入力後に「表示」ボタンをクリック後、「更新」ボタンをクリックしてください。

図 2-9 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(1)

容量市場システム

容量停止計画確認・変更画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧 > 容量停止計画確認・変更

実需給年度*	2024	計画提出事業者コード	XXXX	計画提出事業者名	XXXX
容量停止計画ID		計画提出日	YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD		
電源等識別番号		電源等の名称		枝番	
容量停止期間	YYYY/MM/DD ~ YYYY/MM/DD	容量停止計画区分	<input type="checkbox"/> 容量停止計画（広域提出） <input type="checkbox"/> 容量停止計画（事業者提出）		

検索

容量停止計画（最新）

「選択」で対象にチェックをいれた上で「編集開始」ボタンをクリックしてください。入力後に「更新」ボタンをクリックしてください。

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）

元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX

変更情報入力欄

選択	実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

1-4件（全4件） << 最初 < 前 XX / YY 次へ 最後へ

編集開始

キャンセル

更新

一覧出力

図 2-10 容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(2)

変更情報入力欄

停止設備	系統コード	作業開始日時	作業終了日時	登録区分
1号機	XXXX	2024/07/31 00:00	2024/08/31 12:00	取消 <input type="button" value="V"/>
2号機	XXXX	2024/07/31 00:00	2024/08/31 12:00	変更 <input type="button" value="V"/>
3号機	XXXX	2024/07/31 00:00	2024/08/31 12:00	変更 <input type="button" value="V"/>
4号機	XXXX	2024/07/31 00:00	2024/08/31 12:00	変更 <input type="button" value="V"/>

1-4件（全4件） << 最初 < 前 XX / YY 次へ 最後へ

変更の場合「登録区分」プルダウンから「変更」を選択し、作業開始日時と作業終了日時を変更してください。
取消の場合は「登録区分」プルダウンから「取消」を選択してください。

図 2-11 変更情報入力欄 登録区分 画面イメージ

2.2.1.4 容量停止計画の登録結果の確認

容量停止計画を修正し、CSV ファイルをアップロードした場合は、登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「容量停止計画」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致する容量停止計画が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、

「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 2-12、図 2-13 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

容量停止計画の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 2-14 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して容量停止計画の CSV ファイルを修正し、「一括登録・変更画面」から再登録してください。

≡

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00

ログアウト

一括登録・変更結果確認画面

TOP > その他共通 > 一括登録・変更結果確認画面

ファイル種別

登録ファイル名

事業者コード

事業者名

ユーザ名

登録日時

YYYY/MM/DD HH:MM ~ YYYY/MM/DD HH:MM

登録結果NGのみ表示

☐

検索

一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）

一括登録・変更管理	登録日時	ファイル種別	登録ファイル名	事業者コード	事業者名	ユーザ名
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/14 20:33	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力.csv	5678	事業者 1	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/13 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R1.csv	5678	事業者 1	広域 x x
...						
XXXXXXXXXX	2024/2/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R2.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/14 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/13 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/12 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R1.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R2.csv	1234	広域	広域 x x

1-15件（全25件）

<<最初へ

<前へ

1 / 2

次へ>

最後へ>>

一括出力

図 2-12 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 2-13 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

*エラー情報.csv - メモ帳	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
"一括登録・変更管理ID","行番号","項目名","項目値,エラー内容"	
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","99","コードマスタに当該区分がない"	
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","98","コードマスタに当該区分がない"	
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","97","コードマスタに当該区分がない"	

図 2-14 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、容量停止計画のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが送付されます（表 2-4 参照）。登録した容量停止計画の内容を確認してください。

表 2-4 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 容量停止計画</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

2.2.2 差替先の容量停止計画の登録

本項では、電源等差替を実施している場合の、差替先の容量停止計画の登録について説明します（図 2-15 参照）。

2.2.2.1 差替先の容量停止計画の登録

2.2.2.2 差替先の容量停止計画の登録結果の確認

2.2.2 差替先の容量停止計画の登録

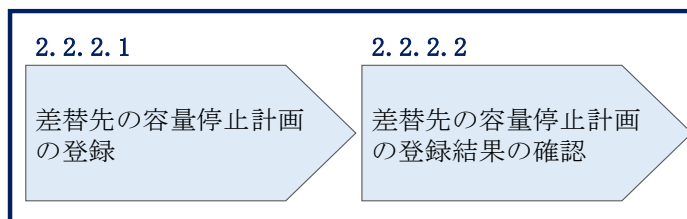


図 2-15 差替先の容量停止計画の登録手順

2.2.2.1 差替先の容量停止計画の登録

電源等差替を実施している容量提供事業者は、差替先の容量停止計画の登録をしてください。

電源等差替を実施している場合の、登録対象範囲については、登録主体に基づき登録範囲を確認してください（表 2-5 参照）。

表 2-5 電源等差替を実施している場合の容量停止計画の登録対象¹⁴

登録主体		電源等差替を実施している場合の容量停止計画の登録対象
差替元電源等提供者	部分差替	差替元電源の容量停止計画 差替先電源の容量停止計画 ¹⁵
	全量差替	差替先電源の容量停止計画 ¹⁵
差替先電源等提供者		差替先電源の容量停止計画

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が変動電源（単独）で、差替先電源も変動電源（単独）であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供

¹⁴ 容量確保契約を締結していない差替先電源等提供者については、容量停止計画の提出は不要です。

¹⁵ 電源等差替 ID と差替元電源等識別番号を記入してください。

また、差替先電源等提供者は差替先電源の容量停止計画を登録してください。

ルを用いてください（図 2-16、表 2-6 参照）。

新規登録（登録区分：4）の場合、容量停止計画 ID は空白（スペース入力不可）にしてください。

広域受付番号、出力可能容量 (kW)
については、カンマで区切る形
(「, ,」) で入力してください。

[illegible]

図 2-16 容量停止計画 CSV イメージ

表 2-6 容量停止計画 CSV の記載項目

【*】印の項目は、CSV の入力必須項目です。入力漏れのないようご注意ください。

No	項目	留意点
①	容量停止計画 ID	容量停止計画 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください ※新規登録（登録区分：4）の場合は空白（スペース入力不可）にしてください。
②	実需給年度*	yyyy 形式の半角数字で入力してください 例：実需給 2024 年度の場合「2024」と入力
③	電源等識別番号*	停止対象の電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
④	電源等の名称*	電源等の名称（50 桁以内）を全角で入力してください
⑤	電源等差替 ID	電源等差替を実施している場合には電源等差替 ID（10 桁）を半角数字で入力してください
⑥	差替元電源等識別番号	差替元電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
⑦	受電地点特定番号	受電地点番号（22 桁）を半角英数字で入力してください
⑧	枝番*	枝番を半角数字で入力してください
⑨	停止設備（号機単位）の名称	停止設備（号機単位）の名称（50 桁）を全角で入力してください
⑩	系統コード（号機単位）	系統コード（号機単位（5 桁））を半角英数字で入力してください
⑪	作業開始年月日*	yyyymmdd（8 桁）を半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 3 日に作業開始の場合 「20241003」と入力
⑫	作業開始時分*	hhmm（4 桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05 に作業開始の場合「0905」と入力、 PM9:05 に作業開始の場合「2105」と入力
⑬	作業終了年月日*	yyyymmdd（8 桁）を半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 3 日に作業終了の場合 「20241003」と入力
⑭	作業終了時分*	hh:mm（4 桁）を半角数字で入力してください 例：9:05 に作業終了の場合「0905」と入力

No	項目	留意点
		※24:00 に作業終了の場合「2359」と入力
⑮	広域受付番号	容量停止計画を直接容量市場システムに登録する場合も、CSV データ読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑯	出力可能容量（kW）	実需給期間中の容量停止計画の登録時には使用いたしません。CSV データの読み込み上の項目としては必要となりますので、カンマで区切る形（「,」）で入力してください
⑰	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、又は入力済みの値のまま）
⑱	登録区分*	2:変更（2回目以降） 3:取消 4:新規登録

注1：容量停止計画 CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「"」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1行目のヘッダ部分（"容量停止計画 ID"～"登録区分"の部分）各項目には「"」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「"」を付けないでください。

注3：CSV 一括登録により容量停止計画を変更する場合、登録済みの情報との差分のみが更新されるため、登録済みの内容の記載は不要です。ただし、新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの期間より短い場合は、システムの仕様上、期間の長い計画が最新と判別されるため、登録済みの情報の取消が必要です。なお、その場合、追加登録のタイミングが算定諸元の登録日となるため、アセスメント結果に影響がある点にご注意ください。

注4：新たに別の容量停止計画として追加で容量停止計画を登録する際、登録済みの容量停止計画と重複している期間は登録済みの容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。一方で、登録済みの容量停止計画を取消した後に、新たに別の容量停止計画として追加で登録した場合は、新たに別の容量停止計画を登録したタイミングが算定諸元の登録日となります。このため、新たに別の容量停止計画と

して追加で容量停止計画を登録する場合は登録後に、登録済みの容量停止計画を取消してください。

(例)10月1日から10月10日までの容量停止計画Aが登録済みの場合に、電源等の維持・運営に必要な作業の期間延長により、10月1日から10月15日までの容量停止計画Bを新たに登録する場合は、容量停止計画Bの登録後に容量停止計画Aを取消してください。この場合、10月11日から10月15日の期間については、容量停止計画Bの登録タイミングが算定諸元の登録日となりますが、10月1日から10月10日までの期間については容量停止計画Aの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。一方で、容量停止計画Aの取消後に容量停止計画Bを登録してしまうと、10月1日から10月15日について、容量停止計画Bの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注5：既に登録済みの容量停止計画の期間中の一部を削除しようとする場合はCSV一括登録にて、新たに別の容量停止計画を登録した後に、登録済みの容量停止計画の取消していただく必要があります。CSV一括登録にて登録済みの容量停止計画の修正や、『2.2.1.3 容量停止計画の登録（容量停止計画変更・確認画面）』での修正を行うと、別の容量停止計画の登録タイミングが算定諸元の登録日となってしまう期間が発生しますので、ご注意ください。

(例)10月1日から10月5日までの容量停止計画Aを登録済みであるが、10月3日のみ稼働できるため容量停止計画の変更を行う場合、10月1日から10月2日までの容量停止計画Bと10月4日から10月5日までの容量停止計画Cを登録後に、容量停止計画Aを取消してください。この場合、容量停止計画Bと容量停止計画Cについては、容量停止計画Aの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

一方で、容量停止計画Aについて期間を10月1日から10月2日に変更したうえで、10月4日から10月5日までの容量停止計画Cを別の容量停止計画として登録してしまうと、10月4日から10月5日までの期間は、容量停止計画Cの登録タイミングが算定諸元の登録日となります。

注6：誤った文字コードのCSVファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS (MS932)】です。テキストエディタでCSVを作成、保存する場合は文字コードANSIを選択してください。UTF-8等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

注7：1レコードに複数月分の停止期間を含む本ファイルについて、新規分・変更分の停止期間の月ごとに登録可能かチェックを行いますが、ひと月でも登録不可の月が存在すれば、エラーとし登録処理は実施しません。

注8：1度にアップロードできる上限レコード数はヘッダ行含め100レコードです。上限レコード数を超える場合は、ファイル分割を行い、複数回に分けてアップロードしてください。

注9：同一電源に対する容量停止計画の数が多い場合、登録・削除に時間がかかります。新規の計画が多い場合だけでなく、既存の計画が多い場合も同様の事象が発生します。また、停止期間が長い（停止コマ数が多い）場合も、登録時間が長くなります。

注10：前週火曜日の17時までに容量停止計画の登録を開始した場合、登録完了（OK）が後日になったとしても、前週火曜日の17時までに登録されたものとしてシステムでは認識され、それに基づきアセスメントも実施されます）。一方で、前週火曜日までに登録を開始したものの、システム処理に時間がかかった後に提出した計画がNGとなり、前週火曜日までに登録できなかった場合については、その後に再度容量停止計画を登録してもシステムの仕様上、ペナルティ倍率が5倍となります。このため、修正後の容量停止計画を再度登録のうえ、以下の窓口まで必要情報をメールにて送付してください。登録開始が前週火曜日であったことが確認でき次第、本機関にてペナルティ倍率を修正いたします。なお、異議申立期間中に修正されていることを必ずご確認ください、修正されていない場合は異議申立をお願いいたします。

表 2-7 容量停止計画の登録処理に関する情報メール記載事項

メール項目	内容
件名	【XXXX ¹⁶ （事業者コード）・〇〇株式会社 ¹⁷ （事業者名）】容量停止計画の登録処理に関する情報
To	容量市場リクワイアメント対応窓口 youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	・対象となる容量停止計画の「一括登録・変更管理ID」
添付資料	・一定の期日（前月末、前週火曜日）までに登録を試みたがNGとなった容量停止計画CSV ・（可能であれば）「一括登録・変更結果確認画面」の画面キャプチャ

¹⁶ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

¹⁷ 件名に自身の事業者名を入力してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい容量停止計画の CSV ファイルを選択してください（表 2-8 参照）。容量停止計画の CSV ファイルが容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 2-17 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の 2 グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

図 2-17 一括登録・変更画面のイメージ

表 2-8 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「容量停止計画」を選択

2.2.2.2 差替先の容量停止計画の登録結果の確認

差替先の容量停止計画 CSV ファイルをアップロードした場合は、登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「容量停止計画」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致する容量停止計画が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録

日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 2-18、図 2-19 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

容量停止計画の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 2-20 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して容量停止計画 CSV ファイルを修正し、「一括登録・変更画面」から再登録してください。

「登録結果」（一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）参照）に「OK」と表示されている容量停止計画は正しく登録できています。「NG」と表示されているものは正しく登録できておりませんので、原因を確認して再登録してください。

一括登録・変更管理	登録日時	ファイル種別	登録ファイル名	事業者コード	事業者名	ユーザ名
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/14 20:33	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力.csv	5678	事業者 1	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/4/13 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R1.cs	5678	事業者 1	広域 x x
...
XXXXXXXXXX	2024/2/15 20:00	0 3. アセスメント算定諸元	202404_アセスメント算定諸元_R2.cs	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/14 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/13 20:00	0 1. 容量停止計画	202404_容量停止計画_0123456789	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/12 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R1.csv	1234	広域	広域 x x
XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	0 4. 差替配分供給力	202404_差替配分供給力_R2.csv	1234	広域	広域 x x

1-15件 (全25件) <<最初へ <前へ 1 / 2 次へ> 最後へ>> 一括出力

図 2-18 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 2-19 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

*エラー情報.csv - メモ帳	
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
"一括登録・変更管理ID","行番号","項目名","項目値,エラー内容"	
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","99","コードマスタに当該区分がない"	
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","98","コードマスタに当該区分がない"	
"XXXXXXXXXX","XXXX","アセスメント算定諸元区分","97","コードマスタに当該区分がない"	

図 2-20 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、容量停止計画のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが送付されます(表 2-4 参照)。登録した容量停止計画の内容を確認してください。

2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応

本節では、本機関が実施する容量停止計画登録漏れの確認¹⁸への対応について以下の流れで説明します（図 2-21 参照）。

2.3.1 容量停止計画の修正

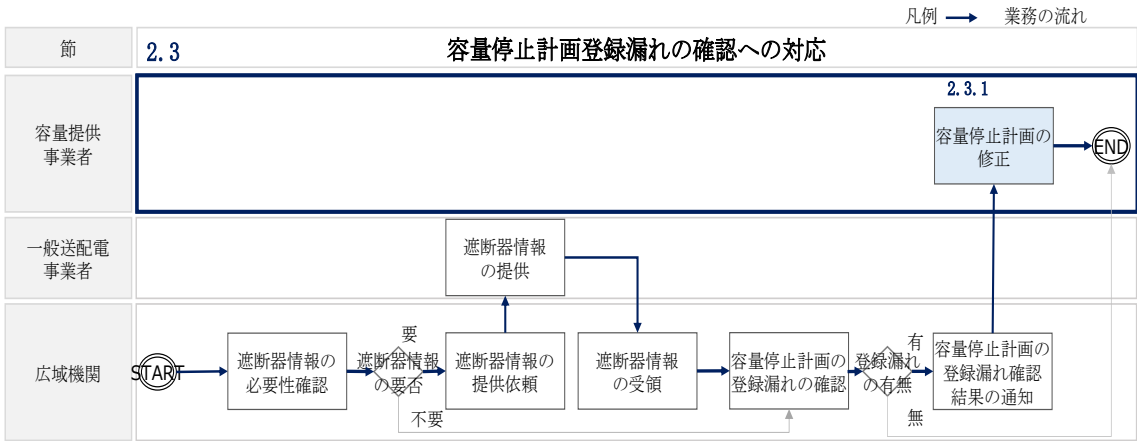


図 2-21 容量停止計画登録漏れの確認の詳細構成

2.3.1 容量停止計画の修正

本項では、容量停止計画の修正登録について説明します（図 2-22 参照）。

2.3.1.1 容量停止計画の修正

2.3.1 容量停止計画の修正

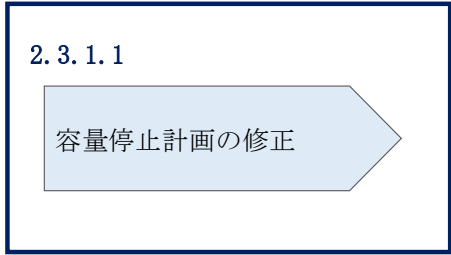


図 2-22 容量停止計画の修正の手順

¹⁸ 遮断器情報等を確認し、容量停止計画の登録漏れがないことを、本機関が確認します。

2.3.1.1 容量停止計画の修正

本機関が実施する容量停止計画登録漏れ確認結果が不合格の場合は、対象実需給月＋1月の月上旬頃に、その旨がメールにて容量市場システム登録のメールアドレス宛に送付されますので、内容を確認ください。修正が必要な場合は『2.2 容量停止計画の登録』を参照して容量停止計画を修正登録してください(表 2-9 参照)。容量停止計画の修正・登録期限は通知日から第5営業日となります。

表 2-9 容量停止計画登録漏れ確認結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】容量停止計画登録漏れ確認結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>以下の電源において、容量停止計画の登録漏れがある可能性があります。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【実需給年度】 YYYY</p> <p>【実需給年月】 YYYY/MM</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】 XXXX</p> <p>後続業務の対応方法、対応期日につきましては、容量市場業務マニュアルをご参照ください。</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

ただし、容量停止計画登録漏れ審査不合格の場合においても、未登録に正当な理由がある場合には、「未登録の正当な理由¹⁹」をメールにて申告してください(表 2-10 参照)。本機関で内容を確認し、「未登録の正当な理由」が認められる場合には、容量停止計画の修正登録は不要となります。申告の期限日は通知日から第5営業日となります。

表 2-10 容量停止計画未登録の正当な理由の提出メール記載事項

項目	内容
件名	容量停止計画未登録の正当な理由の提出
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実需給年度：2024 ・ 実需給月 ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称 ・ 未登録の正当な理由
添付ファイル	停止理由の根拠となる資料（必要に応じて）

注：本機関からの依頼があったにもかかわらず、期限までに容量停止計画の修正・登録がされない場合や、容量停止計画未登録の正当な理由のメールが無い場合は、容量停止計画の登録漏れがあったものとして容量停止計画を本機関にて登録し、アセスメントを実施する場合があります。

¹⁹ 未登録の正当な理由の代表例：バランス停止中の電源

2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

本節では、差替先電源情報に係る整合性審査²⁰結果への対応について以下の流れで説明します（図 2-23 参照）。

2.4.1 差替先の容量停止計画の修正登録

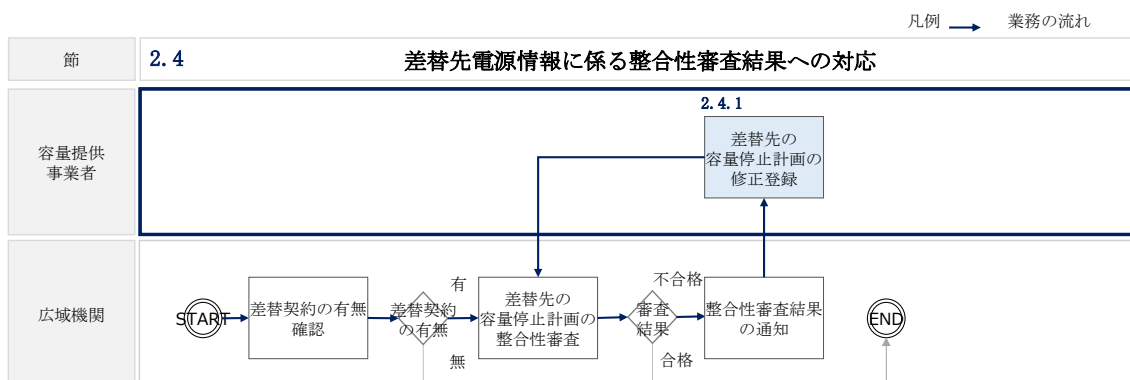


図 2-23 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成

2.4.1 差替先の容量停止計画の修正登録

本項では、差替先の容量停止計画の修正登録について説明します（図 2-24 参照）。

2.4.1.1 差替先の容量停止計画の整合性審査結果の受領

2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録

2.4.1 差替先の容量停止計画の修正登録

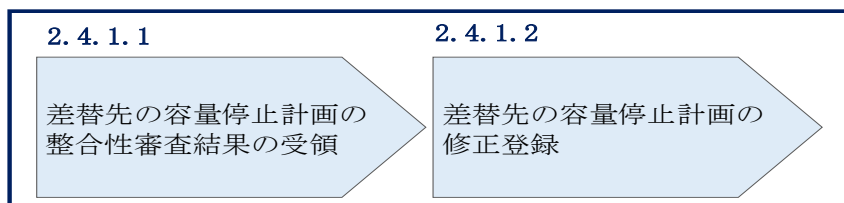


図 2-24 差替先の容量停止計画の修正登録の手順

²⁰ 差替元が登録した差替先の容量停止計画と差替先が登録した容量停止計画が整合しているかを、本機関が審査します。

2.4.1.1 差替先の容量停止計画の整合性審査結果の受領

差替先の容量停止計画の整合性審査結果が不合格の場合は、その旨が差替元電源等提供者へメールにて送付されますので、内容を確認し『2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録』を参照して容量停止計画を修正登録してください。

2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録

差替元電源等提供者にて差替先の容量停止計画を修正し、容量市場システムに再登録してください。登録方法については『2.2 容量停止計画の登録』を参照してください。差替先の容量停止計画の修正・登録期限は通知日から第5営業日となります。

注：本機関からの依頼があったにもかかわらず、期限までに容量停止計画の修正・登録がされない場合、当月の全てのコマについて容量停止計画を本機関にて登録し、アセスメントを実施する場合があります。

2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応

本節では、容量停止計画提出時期の妥当性審査²¹に係る対応について以下の流れで説明します（図 2-25 参照）。

2.5.1 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出

2.5.2 提出時期の妥当性審査結果の受領

2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立

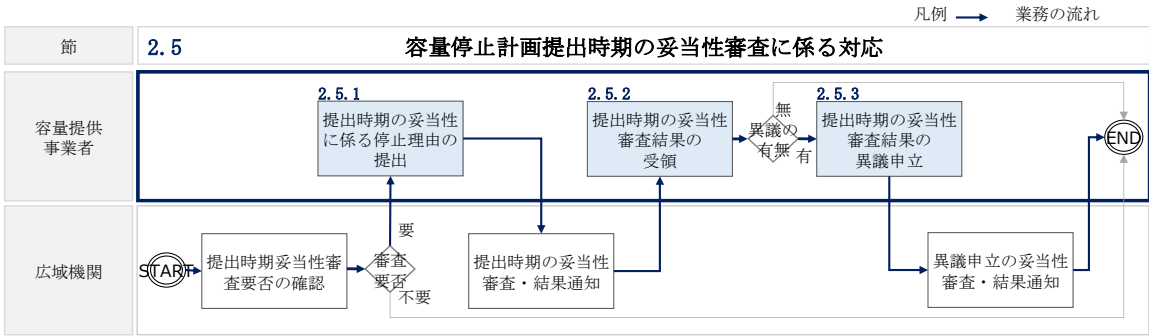


図 2-25 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応の詳細構成

²¹ 登録されている容量停止計画を確認し、容量停止計画の提出時期が妥当かどうかを、本機関が審査します。

2.5.1 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出

本項では、提出時期の妥当性に係る停止理由（電源の出力が停止又は抑制される理由）の提出について説明します（図 2-26 参照）。

2.5.1.1 停止理由の提出依頼受領

2.5.1.2 停止理由の提出

2.5.1 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出

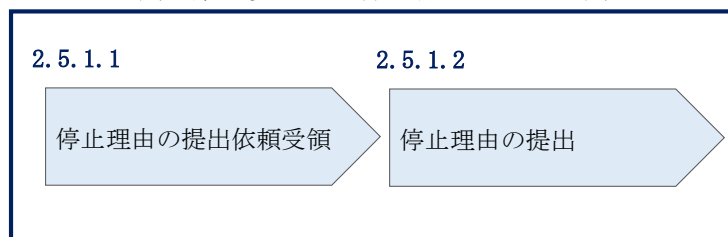


図 2-26 提出時期の妥当性に係る停止理由の提出の手順

2.5.1.1 停止理由の提出依頼受領

対象実需給月+2月の上旬頃に容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出依頼が本機関より容量市場システム登録のメールアドレス宛にメールにて通知された場合、その内容を確認してください。

2.5.1.2 停止理由の提出

当該容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由についてまとめ、本機関へメールにて提出してください（表 2-11 参照）。

提出時期の妥当性に係る停止理由の提出期限は通知日から第5営業日となります。

表 2-11 容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出メール記載事項

項目	内容
件名	容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実需給年度 ・ 実需給月 ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称 ・ 停止理由
添付ファイル	提出時期の妥当性の根拠となる資料（必要に応じて）

2.5.2 提出時期の妥当性審査結果の受領

本項では、提出時期の妥当性審査結果の受領について説明します（図 2-27 参照）。

2.5.2.1 提出時期の妥当性審査結果の受領

2.5.2.2 提出時期の妥当性審査結果の確認

2.5.2 提出時期の妥当性審査結果の受領

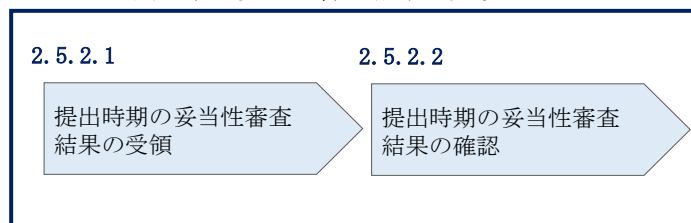


図 2-27 提出時期の妥当性審査結果の受領の手順

2.5.2.1 提出時期の妥当性審査結果の受領

容量停止計画の提出時期の妥当性審査結果が本機関より容量市場システム登録のメールアドレス宛にメールにて通知されますので、内容を確認してください。

2.5.2.2 提出時期の妥当性審査結果の確認

内容を確認のうえ、審査結果に異議がある場合は、『2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立』を参照し、異議申立を行ってください。

2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立

本項では、容量停止計画の提出時期の妥当性審査結果の異議申立について説明します（図 2-28 参照）。

2.5.3.1 異議申立メールの送付

2.5.3.2 異議申立審査結果の確認

2.5.3 提出時期の妥当性審査結果の異議申立

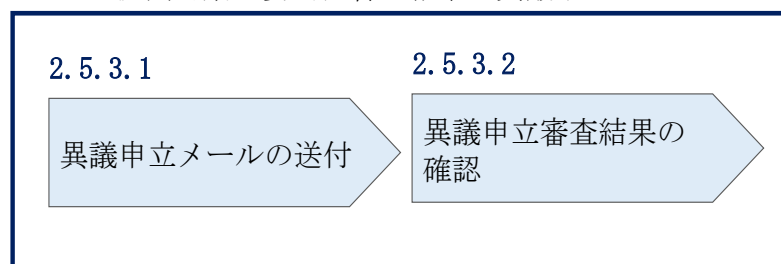


図 2-28 提出時期の妥当性審査結果の確認の手順

2.5.3.1 異議申立メールの送付

提出時期の妥当性審査結果に異議がある場合、審査結果通知を受領した日を含めて 5 営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立をする場合、新規メールに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-12 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、7 月 1 日（火）に通知メールを受領した場合、7 月 7 日（月）23:59 までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1 月 2 日～3 日、4 月 30 日～5 月 2 日、12 月 30 日～31 日及び本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1 月 2 日～3 日、12 月 29 日～31 日以外の日

表 2-12 提出時期の妥当性審査結果に対する異議申立メールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象) 【XXXX（事業者コード） ²² 】 提出時期の妥当性審査結果に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議申立の内容及びその根拠を具体的に文章で記載 <p>容量停止計画に係る提出時期の妥当性審査結果の異議申立対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者コード ・事業者名称及び担当者名 ・電源等識別番号 ・電源等の名称 ・容量停止計画 ID
添付資料	異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

2.5.3.2 異議申立審査結果の確認

提出時期の妥当性審査結果に対して異議申立を行った場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果が合格の場合、対応は不要です。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

²² 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

第3章 算定諸元登録（発電計画・発電上限）

本章では、算定諸元登録（発電計画・発電上限）に関する以下の内容について説明します（図 3-1 参照）。

- 3.1 発電計画・発電上限に関する対応
- 3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

第3章

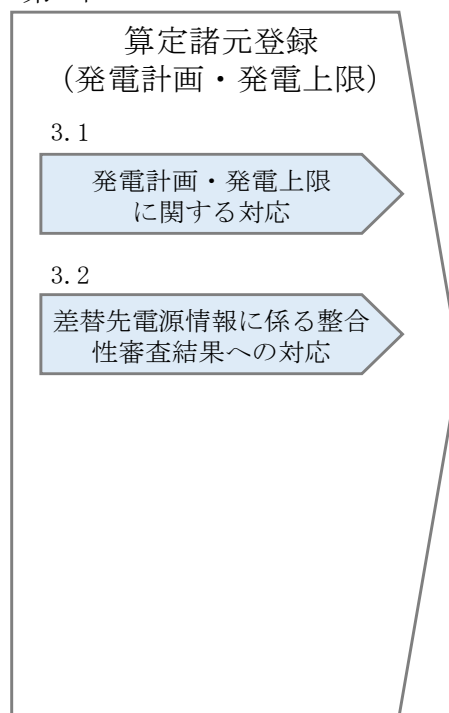


図 3-1 第3章の構成

3.1 発電計画・発電上限に関する対応

本節では、発電計画・発電上限に関する対応について説明します（図 3-2 参照）。

3.1.1 発電計画・発電上限の確認

3.1.2 発電計画・発電上限の修正

3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

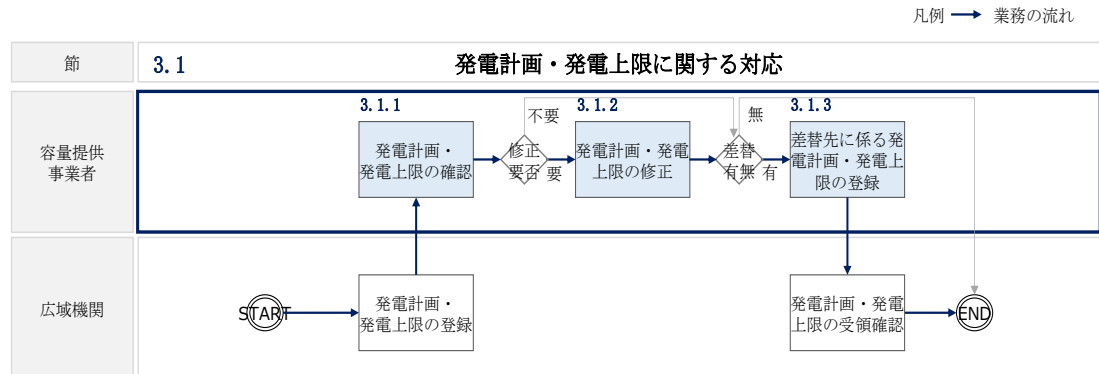


図 3-2 発電計画・発電上限に関する対応の詳細構成

3.1.1 発電計画・発電上限の確認

本項では、発電計画・発電上限の確認について説明します（図 3-3 参照）。

3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認

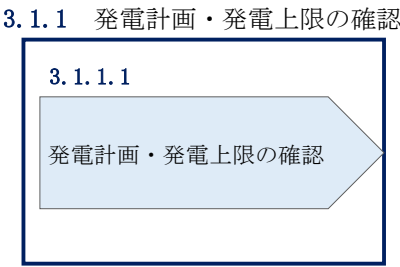


図 3-3 発電計画・発電上限の確認の手順

3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認

本機関にて、広域機関システムに登録されているゲートクローズ直前に提出された発電計画値・発電上限値を、対象実需給月の翌月第5営業日までに容量市場システムに登録します²³。

以下の手順で、容量市場システムに登録された発電計画・発電上限の登録結果を確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「実需給年月」を入力し、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択したうえで「検索」ボタンをクリックしてください。

「アセスメント算定諸元一覧」に条件に合致する結果が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください（図 3-4 参照）。

「アセスメント算定諸元詳細画面」にて、登録された発電計画・発電上限をご確認ください。登録された発電計画・発電上限の修正の必要があるか判断してください（図 3-5 参照）。修正の必要がある場合は、『3.1.2 発電計画・発電上限の修正』へ進んでください。

²³ 容量市場システムでの「電源等情報詳細画面」上の「詳細情報」に記載された号機単位の系統コードを紐づけ情報として利用し、広域機関システムのデータを容量市場システムへ登録します。同一系統コードの電源が容量市場システム上に複数ある場合は、発電計画値・発電上限値を設備容量比で按分したうえで登録します。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00
ユーザー名 日立 太郎

ログアウト

アセスメント算定諸元一覧画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面

実需給年月*
YYYY/MM

電源等識別番号

電源等の名称

電源等の区分
▼

提出元エリア
▼

提出元事業者コード
XXXX

提出元事業者名
XXXXXXXX

供給指示対象
▼

回次

最新回次切替
☐ 最新回次のみ表示

検索

アセスメント算定諸元一覧

選択	実需給年度▲	実需給年月▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲	電源等の区分▲	提出元 エリア▲	提出元 事業者コード▲	提出元 事業者名▲	回次▲	供給指示対象▲
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東北	XXXX	XXXXX	XX	—

1-15件（全XX件）<<最初<前1/X次へ最後へ

確認依頼メール送信

一覧出力

図 3-4 アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ

容量市場システム

ログイン日時:
2024/3/23 12:00

ログアウト

アセスメント算定諸元詳細画面

TOP > アセスメント共通 > [アセスメント算定諸元一覧画面](#) > アセスメント算定諸元詳細画面

登録情報

対象年度/月	2024/4	電源等識別番号	XXXXXXXXXX	電源等の名称	XXXXXXXXXX
電源等の区分	XXXXXXXXXX	提出元事業者コード	XXXXXXXXXX	提出元事業者名	XXXXXXXXXX

更新情報

発電計画・発電上限 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	発電量調整受電電力 量更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	市場応札量 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm
回次	XXXX				

詳細選択

確認登録種別

☒ 発電計画・発電上限 ☐ 発電量調整受電電力 ☐ 市場応札量

表示

発電計画・発電上限情報

実需給年度	実需給年月日	登録種別	電源等識別番号	コマ毎登録情報 [kW]																		
				01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2024	2024/04/01	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/02	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/03	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/04	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/05	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/06	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/07	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/08	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/09	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
2024	2024/04/10	発電計画	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
		発電上限	XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

図 3-5 アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ

3.1.2 発電計画・発電上限の修正

本項では、発電計画・発電上限の修正について説明します（図 3-6 参照）。

3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録

3.1.2.2 発電計画・発電上限の取込確認

3.1.2 発電計画・発電上限の修正

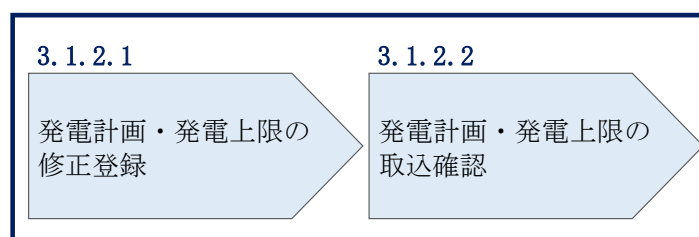


図 3-6 発電計画・発電上限の登録の手順

3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録

本機関が容量市場システムへ登録した発電計画・発電上限の修正が必要と判断した場合、発電計画・発電上限を修正のうえ登録してください。

発電計画・発電上限の修正・登録期限は対象実需給月+1月の最終営業日となります。

注1：容量市場システムに登録する発電計画・発電上限は容量市場における容量停止計画・市場応札等のアセスメントを実施するために使用します。ここで、広域機関システムに登録する発電計画・発電上限は系統コード単位で登録されていますが、本機関が容量市場システムへ登録する発電計画・発電上限は、設備の停止状況等に関わらず設備容量比で按分して容量市場システムへ登録します。したがって、広域機関システムに登録している発電計画・発電上限と容量市場システムに登録する発電計画・発電上限は異なる場合があります。

また、以下の事例等では容量停止計画のアセスメントを実施するために、本機関が広域機関システムから容量市場システムに登録した発電計画・発電上限を容量提供事業者にて修正する必要があります。

（例1）同一系統コードの電源が容量市場システム上に複数ある場合

本機関が容量市場システムへ登録する発電計画・発電上限は設備の停止状況等に関わらず設備容量比で按分して容量市場システムへ登録します。そのため、設備の停止状況等を踏まえ、発電計画・発電上限を修正してください。

（例2）自流式水力発電所において、容量停止計画を提出し出力低下している期間に渇水等が発生し広域機関システムに登録した発電上限が、電源が提供できる供給力の最大値を下回っている場合

広域機関システムに登録した発電上限は、安定供給に必要な予備率の確保可否の確認に使用しているため、容量停止計画による出力低下に加え、渇水等の影響を考慮した値となっています。したがって、容量市場システムに登録する発電上限については、適切な容量停止計画のアセスメント実施のために、広域機関システムに登録した発電上限を電源が提供できる供給力の最大値に修正してください。


注2：本機関にて、広域機関システムに登録されている発電計画値・発電上限値を、容量市場システムでの「電源等情報詳細画面」上の「詳細情報」に記載された号機単位の系統コードを紐づけ情報として利用し、容量市場システムへ登録しますが、系統コードが誤っている場合等においては、本機関での移行ができません。容量提供事業者にて容量市場システムに発電計画・発電上限を登録してください。

注3：発電計画・発電上限がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを0として取り扱う場合があります。

注4：誤った文字コードのCSVファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS (MS932)】です。テキストエディタでCSVを作成、保存する場合は文字コードANSIを選択してください。UTF-8等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

発電計画・発電上限の登録は https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードするCSVファイルを用いてください（図3-7、表3-1参照）。

電力広域的運営推進機関 容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編
第3章 算定諸元登録（発電計画・発電上限）
3.1 発電計画・発電上限に関する対応

 *202404_アセスメント算定諸元（変動単独）.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

"実需給年月日","情報区分","提出事業者コード","電源等識別番号","0:00","0:30","1:00","1:30","2:00","2:30","3:00","3:30","4:00"
20240401,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240401,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240402,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240402,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240403,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240403,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240404,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240404,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240405,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240405,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240406,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240406,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240407,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240407,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240408,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240408,02,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,
20240409,01,H001,0000000004,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,1000,

図 3-7 アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）の CSV イメージ

表 3-1 アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV の記載項目²⁴

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	01 若しくは 02 を入力してください 01：発電計画 02：発電上限
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電計画（単位：[kW ²⁵]，整数部最大 12 桁）、 発電上限（単位：[kW]，整数部最大 12 桁）を半角 数字で入力してください
6	0:30	〃
7	1:00	〃
8	1:30	〃
9	2:00	〃
...		
48	21:30	〃
49	22:00	〃
50	22:30	〃
51	23:00	〃
52	23:30	〃

アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注 1：アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載した

²⁴ アセスメント算定諸元 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 02 に変更することで、発電計画から発電上限の情報へ変換することができます）。

²⁵ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

データから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録するCSVファイルについて、1行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）各項目には「”」を付けてください。2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）のCSVファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電計画・発電上限が零でも、0を入力してください）。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv」としてください²⁶。また、発電計画・発電上限を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R 更新回数.csv」としてください。

例）初回の登録の場合

202410_アセスメント算定諸元.csv
実需給年度・対象月 ファイル種別

1 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R1.csv
R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたいアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSVを選択してください。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 3-8 参照）。

²⁶ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

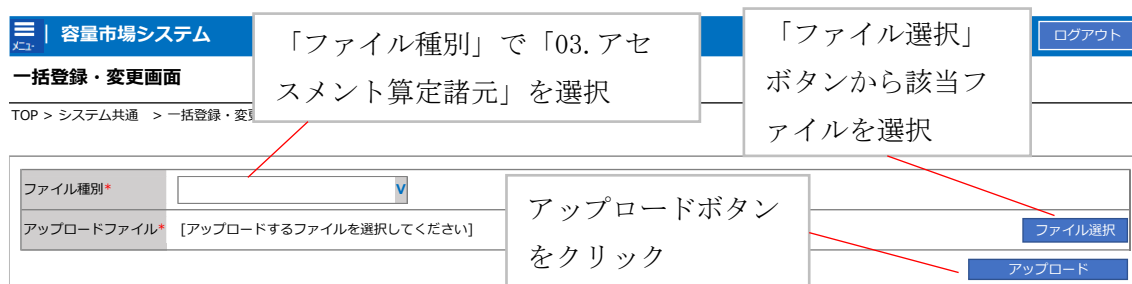


図 3-8 一括登録・変更画面 画面イメージ

3.1.2.2 発電計画・発電上限の取込確認

アップロードした発電計画・発電上限の取込確認をしてください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、登録日時を入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致するアセスメント算定諸元が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 3-9、図 3-10 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

容量停止計画の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 3-11 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認してアセスメント算定諸元の CSV ファイルを修正し、『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』を参照して再登録してください。

≡ | 容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザ名 広域 太郎

ログアウト

一括登録・変更結果確認画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更結果確認画面

ファイル種別

登録ファイル名

事業者コード

事業者名

ユーザID

登録日時

YYYY/MM/DD

HH:MM

~

YYYY/MM/DD

HH:MM

登録結果NGのみ表示

☐

検索

一括登録・変更結果確認一覧 (検索結果)

一括登録・変更管理ID▲	登録日時▲	ファイル種別▲	登録ファイル名▲	事業者コード▲	事業者名▲	ユーザID▲
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	容量停止計画	アップロードファイル.csv	1234	広域	KOUKI0001
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	発電計画・発電上限	アップロードファイル.csv	1234	広域	KOUKI0001
XXXXXXXXXX						JIGYO00001
XXXXXXXXXX						JIGYO00002
XXXXXXXXXX						USER00001
XXXXXXXXXX						USER00001
XXXXXXXXXX						USER00001
XXXXXXXXXX						USER00001
XXXXXXXXXX						USER00001

1-15件 (全25件)

一括出力

「登録結果」(一括登録・変更結果確認の画面イメージ
(2) 参照)に「OK」と表示されている発電計画・発電上限
は正しく登録できています。「NG」と表示されているものは
正しく登録できておりませんので、原因を確認して再登録
してください。

図 3-9 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 3-10 一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)

*エラー情報.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

"一括登録・変更管理ID", "行番号", "項目名", "項目値", "エラー内容"
"XXXXXXXXXX", "XXXX", "アセスメント算定諸元区分", "99", "コードマスタに当該区分がない"
"XXXXXXXXXX", "XXXX", "アセスメント算定諸元区分", "98", "コードマスタに当該区分がない"
"XXXXXXXXXX", "XXXX", "アセスメント算定諸元区分", "97", "コードマスタに当該区分がない"

図 3-11 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、発電計画・発電上限のファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されます（表 3-2 参

照）。『3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認』を参照し、登録内容を確認してください。

発電計画・発電上限を誤った内容で登録してしまった場合は、『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』を参照して、発電計画・発電上限を再登録してください。

表 3-2 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 アセスメント算定諸元²⁷</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「アセスメント算定諸元詳細画面」の登録結果と、取り込んだアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV ファイルの値のうち、少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸

²⁷ 差替配分供給力 CSV を登録した場合は、“差替配分供給力”と表示されます。

元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「変動電源（単独）」を選択のうえ、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「電源等識別番号」をクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください。「一括登録・変更画面」で取り込んだアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV ファイルと「アセスメント算定諸元詳細画面」に表示される「発電計画・発電上限情報」の対象年月日のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図 3-12 参照）。

発電計画・発電上限を誤った内容で登録してしまった場合は、『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』を参照して、発電計画・発電上限を再登録してください。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザ名 日立 太郎 ログアウト

アセスメント算定諸元詳細画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面 > アセスメント算定諸元詳細画面

登録情報

実需給年度	2024	対象年月	2024/04	電源等識別番号	XXXXXXXXXX
電源等の名称	XXXXXXXXXX	電源等の区分	XXXXXXXXXX	提出元事業者コード	XXXXXXXXXX
提出元事業者名	XXXXXXXXXX				

更新情報

発電計画・発電上限最終更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm
回次	XXXX

詳細選択

登録種別	<input checked="" type="radio"/> 発電計画・発電上限 <input type="radio"/> 発電量調整
------	--

アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV ファイルと「アセスメント算定諸元詳細画面」の発電計画・発電上限の値を対象年月日のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

発電計画・発電上限情報

実需給年度	対象年月日	登録種別	電源等識別番号	コマ毎登録情報[kW]																		
				01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2024	2024/04/01	発電計画	XXXXXXXXXX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		発電上限	XXXXXXXXXX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
2024	2024/04/02	発電計画	XXXXXXXXXX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		発電上限	XXXXXXXXXX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
2024	2024/04/03	発電計画	XXXXXXXXXX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		発電上限	XXXXXXXXXX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	

*202404_アセスメント算定諸元（変動単独）.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

“実需給年月日”、“情報区分”、“提出事業者コード”、“電源等識別番号”、“0:00”、“0:30”、“1:00”、“1:30”、“2:00”、“2:30”、“3:00”、“3:30”、“4:00”
20240401,01,H001,0000000004,1000
20240401,02,H001,0000000004,1000
20240402,01,H001,0000000004,1000
20240402,02,H001,0000000004,1000

図 3-12 アセスメント算定諸元詳細画面とアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）CSV ファイルの比較イメージ

3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

本項では、差替元電源等提供者が実施する差替先に係る発電計画・発電上限の登録について説明します（図 3-13 参照）。

3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

3.1.3.2 差替先に係る発電計画・発電上限の取込確認

3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

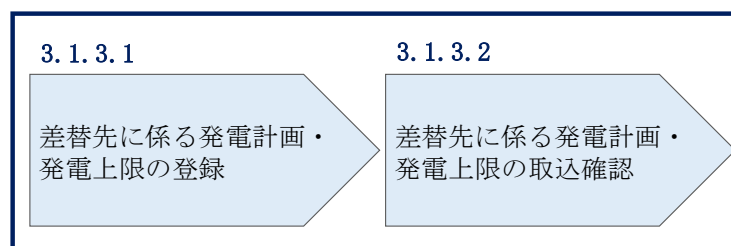


図 3-13 差替先に係る発電計画・発電上限の登録の手順

3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録

電源等差替を実施している場合は、差替元電源等提供者にて差替先の発電計画・発電上限を登録・修正してください。

差替先に係る発電計画・発電上限の修正・登録期限は対象実需給月+1月の最終営業日となります。

登録主体から登録対象を確認し、登録対象ごとに下記手順を参照してください（表 3-3 参照）。

表 3-3 電源等差替を実施している場合の発電計画・発電上限の登録対象

登録主体		電源等差替を実施している場合の発電計画・発電上限の登録対象
差替元電源等提供者	部分差替	差替元電源の全量 差替先電源から差替元電源に配分された量
	全量差替	差替先電源から差替元電源に配分された量
差替先電源等提供者		差替先電源の全量

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が変動電源（単独）で、差替先電源も変動電源（単独）であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は差替元電源の全量の発電計画・発電上限と、差替先電源から差替元電源に配分さ

れた量の発電計画・発電上限を登録してください。また、差替先電源等提供者は差替先電源の全量の発電計画・発電上限を登録してください。

注：発電計画がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを0として取り扱います。また、発電上限がアセスメント算定までに提出されない場合、月別の差替容量を発電上限として取り扱います。

<差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV>

差替元電源等提供者は差替配分供給力（発電計画・発電上限）を登録してください（表 3-4 参照）。

差替配分供給力（発電計画・発電上限）の登録は https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 3-14 参照）。



実需給年月日	情報区分	提出事業者コード	電源等識別番号	差替先電源等識別番号	差替ID	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00
20240401	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240401	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240402	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240402	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240403	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240403	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240404	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240404	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240405	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240405	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240406	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240406	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240407	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240407	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240408	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240408	02	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000
20240409	01	H001	0000000004	0000000009	1111111111	1000	1000	1000	1000	1000

図 3-14 差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV イメージ

表 3-4 差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV の記載項目²⁸

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	01 若しくは 02 を入力してください 01：発電計画 02：発電上限
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
6	電源等差替 ID	電源等差替 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電計画（単位：[kW] ²⁹ ，整数部最大 12 桁）・ 発電上限（単位：[kW]，整数部最大 12 桁）を半角 数字で入力してください
8	0:30	〃
9	1:00	〃
10	1:30	〃
11	2:00	〃
...		
50	21:30	〃
51	22:00	〃
52	22:30	〃
53	23:00	〃
54	23:30	〃

差替配分供給力 CSV に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

²⁸ 差替配分供給力 CSV については、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しており、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変えることができます（例：情報区分を 01 から 02 に変更することで、発電計画から発電上限の情報へ変換することができます）。

²⁹ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

注1：差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（”実需給年月日”～”23:30”の部分）各項目には「”」を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：差替配分供給力（発電計画・発電上限）の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電計画・発電上限が零でも、0を入力してください）。

注4：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A 枝番.csv」としてください³⁰。
また、差替配分供給力（発電計画・発電上限）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_ A 枝番_R 更新回数.csv」としてください。

例）初回の登録の場合

202410_差替配分供給力_A1.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別 A 枝番

1 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_A1_R1.csv

R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_A1_R2.csv

³⁰ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい差替配分供給力ファイルを選択してください。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックしてアップロードを完了してください（図 3-15 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

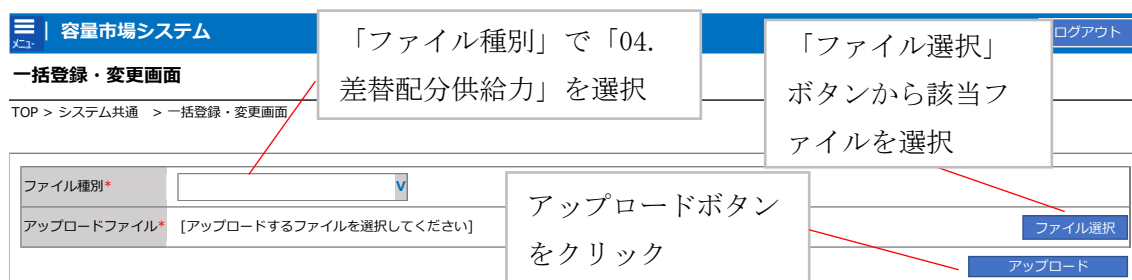


図 3-15 一括登録・変更画面 画面イメージ

3.1.3.2 差替先に係る発電計画・発電上限の取込確認

アップロードした発電計画・発電上限の取込確認をしてください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致する差替配分供給力が表示されます。ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登

録する必要があります（図 3-16、図 3-17 参照）。なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。差替配分供給力の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 3-18 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して差替配分供給力 CSV ファイルを修正し、『3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』を参照して再登録してください。

≡ | 容量市場システム

一括登録・変更結果確認画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更結果確認画面

ファイル種別

事業者コード

登録日時

YYYY/MM/DD

HH:MM

～

YYYY/MM/DD

HH:MM

登録結果NGのみ表示 ☐

検索

一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）

一括登録・変更管理ID▲	登録日時▲	ファイル種別▲	登録ファイル名▲	事業者コード▲	事業者名▲	ユーザID▲
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:33	容量停止計画	アップロードファイル.csv	1234	広域	KOUIKI0001
XXXXXXXXXX	2024/4/15 20:00	発電計画・発電上限	アップロードファイル2.csv	1234	広域	KOUIKI0001
XXXXXXXXXX	2024/4/14 20:33	提供可能供給力	アップロードファイル3.csv	5678	事業者1	JIGYO00001
XXXXXXXXXX	2024/4/13 20:00	発電量調整受電電力量	アップロードファイル4.csv	5678	事業者1	JIGYO00002
...			...			
XXXXXXXXXX	2024/2/15 20:00	市場応礼量等	アップロードファイルXXXX.csv	1234	広域	USER00001
XXXXXXXXXX	2024/2/14 20:00	発動指令アセスメントデータ	アップロードファイルXXXX.csv	1234	広域	USER00001
XXXXXXXXXX	2024/2/13 20:00	発動指令実績回数	アップロードファイルXXXX.csv	1234	広域	USER00001
XXXXXXXXXX	2024/2/12 20:00	ベースライン算定結果	アップロードファイルXXXX.csv	1234	広域	USER00001
XXXXXXXXXX	2024/2/11 20:00	事業者別年間ピーク実績	アップロードファイルXXXX.csv	1234	広域	USER00001

1-15件（全25件）<<最初へ<前1 / 2次へ最後へ一括出力

図 3-16 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）

【2スクロール目】

登録結果▲
OK
NG
処理中
NG
OK
OK
OK
OK
OK

図 3-17 一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）

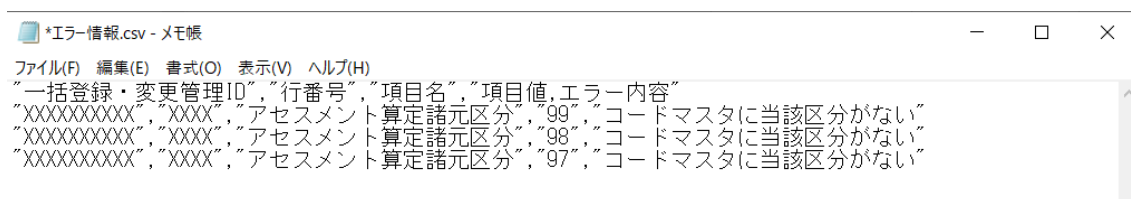


図 3-18 エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ

なお、差替配分供給力（発電計画・発電上限）の CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システム登録のメールアドレス宛に送付されます（表 3-2 参照）。

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「差替配分供給力詳細画面」の登録結果と、取り込んだ差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルの値のうち、少なくとも 1 日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「差替配分供給力一覧画面」の順にリンクをクリックして、「差替配分供給力一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「安定電源」を選択のうえ、「最新回次³¹切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「差替元電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「差替元電源等識別番号」をクリックし、「差替配分供給力詳細画面」へ進んでください。「一括登録・変更画面」で取り込んだ差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイルと「差替配分供給力詳細画面」に表示される「発電計画・発電上限情報」のうち少なくとも 1 日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図 3-19 参照）。

発電計画・発電上限を誤った内容で登録してしまった場合は、『3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』を参照して発電計画・発電上限を再登録してください。

³¹ 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix. 3 を参照。

図 3-19 差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電計画・発電上限）CSV ファイル
の比較イメージ

3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

本節では、差替先電源情報に係る整合性審査³²結果への対応について説明します（図3-20 参照）。

3.2.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

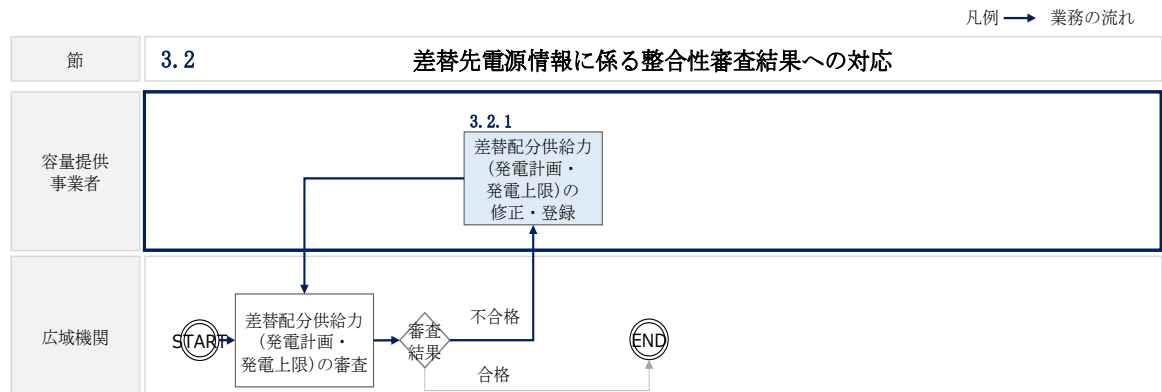


図 3-20 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成

³² 差替元が登録した差替配分供給力（発電計画・発電上限）と差替先が登録した発電計画・発電上限が整合しているかを、本機関が審査します。

3.2.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

本項では、差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録について説明します（図 3-21 参照）。

3.2.1.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の審査結果の受領

3.2.1.2 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

3.2.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

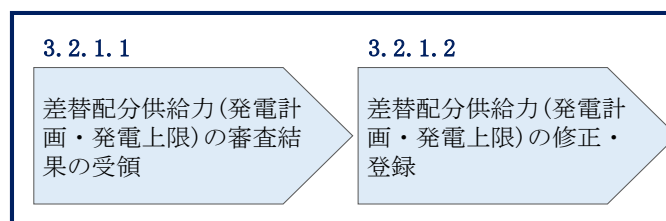


図 3-21 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録の手順

3.2.1.1 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の審査結果の受領

不合格の場合は差替配分供給力（発電計画・発電上限）審査結果が本機関よりメールにて送付されますので、内容を確認し、『3.2.1.2 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録』にて差替配分供給力（発電計画・発電上限）を修正し、登録してください。

3.2.1.2 差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録

差替配分供給力（発電計画・発電上限）の審査結果が不合格の場合は、差替先電源等提供者が提出している算定諸元を確認のうえ、『3.1.3 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』を参照して差替配分供給力（発電計画・発電上限）を登録してください。差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・提出期限は対象実需給月+2月の第13営業日となります。

注：上記の修正登録期限若しくは、本機関が指定する修正登録期限を過ぎても発電計画・発電上限がアセスメント算定までに修正登録されない場合、発電計画・発電上限が未登録だった場合と同様に取り扱います。

第4章 アセスメント結果への対応（容量停止計画）

本章では、アセスメント結果への対応（容量停止計画）に関する以下の内容について説明します（図 4-1 参照）。

4.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き

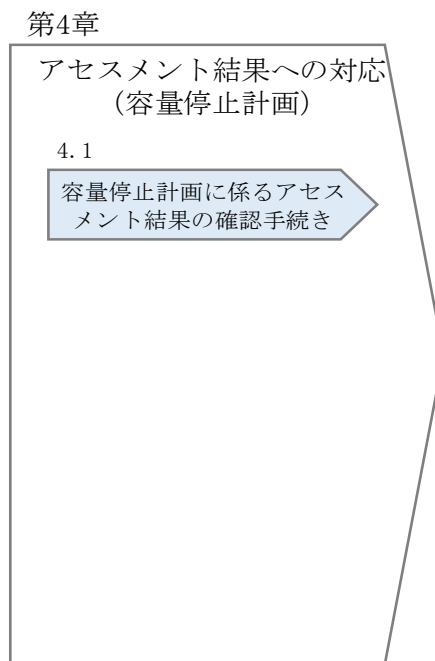


図 4-1 第4章の構成

注1：リクワイアメント対象となる電源について

容量停止計画のリクワイアメントは、安定電源・変動電源（単独）が対象となります。

注2：アセスメントの基準について

容量停止計画におけるアセスメントは、実需給期間中において、電源が供給力を提供できる状態に維持しているかが基準となります。

- ・ 容量停止計画が登録されているコマにおいて、電源が提供できる供給力の最大値が、アセスメント対象容量を下回る場合、当該コマをリクワイアメント未達成コマとします。なお、リクワイアメント未達成コマは、小数点以下第16位まで計算しています（ペナルティ倍率を乗じる前の段階で、コマごとに小数点以下第17位を四捨五入して算出）。

4.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き

- ・ 容量停止計画が登録されているコマにおいて、アセスメント対象容量に対して部分的に未達となった場合、未達量に応じてリクワイアメント未達成コマをカウントします。
- ・ 容量停止計画の登録タイミングや、低予備率アセスメント対象コマ³³への該当の有無により、リクワイアメント未達成コマが5倍カウント（ペナルティ倍率）〈注3〉されるコマが発生する場合があります。

注3：ペナルティ倍率5倍となる容量停止計画の登録タイミング

- ・ 当該コマが「平常時」と判断された時（夜間、休日は除く）：前週の火曜日 17:00 より後に提出
- ・ 当該コマが「低予備率アセスメント対象コマ」に該当する時：前月末より後に提出

※1 上記以外は1倍カウント

※2 その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止又は出力低下する場合に提出いただく容量停止計画については、容量停止計画の変更が生じたとしてもペナルティの倍率は1倍とする場合があります。

※3 1週間の起算日は土曜日とします。

注4：アセスメントの算定方法について

容量停止計画におけるアセスメントの具体的な算定方法は、以下で表されます。

【対象の電源が電源等差替を実施していない場合】

- ・ 容量停止計画が登録されているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値を確認します。
- ・ 当該コマにおける未達成率「(アセスメント対象容量-電源が提供できる供給力の最大値) / アセスメント対象容量×ペナルティ倍率」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウント

【アセスメント対象の電源が差替元として電源等差替を実施している場合】

差替元、差替先個別に未達成コマを計算します。

＜差替元電源等＞

- ・ 容量停止計画が登録されているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値を確認します。

³³ 前日以降の需給バランス評価で広域予備率低下に伴う供給力提供の周知対象となったコマ

- ・ 提供できる供給力の最大値が、差替元電源等のアセスメント対象容量を下回る場合、当該コマにおける未達成率「(差替元電源等のアセスメント対象容量³⁴-差替元電源等が提供できる供給力の最大値) / アセスメント対象容量³⁵ × ペナルティ倍率³⁶」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

< 差替先電源等 >

- ・ 容量停止計画が登録されているコマについて、電源が提供できる供給力の最大値（発電上限）を確認します。
- ・ 提供できる供給力の最大値が、差替先電源等のアセスメント対象容量を下回る場合、当該コマにおける未達成率「(差替先電源等のアセスメント対象容量³⁷-差替先電源等が提供できる供給力の最大値) / アセスメント対象容量 × ペナルティ倍率³⁸」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

< 差替元と差替先のリクワイアメント未達成コマの合算 >

差替元と差替先のリクワイアメント未達成コマを合算します。

< リクワイアメント未達成コマの累積 >

- 電源のリクワイアメント未達成コマをカウントしたのち、当該実需給年度のすべての未達成コマ数を合算します。
- 合算する際は、各コマにおけるペナルティ倍率を乗じたものを合算します。

（例）

アセスメント対象月が6月の場合は、4月～6月までのリクワイアメント未達成コマを累積します。

4月：1,440 コマ

5月：2,000 コマ

6月：1,488 コマ

累積：4,928 コマ

アセスメント対象電源のリクワイアメント未達成コマ総数が8,640 コマ（180 日相当）を超過した場合、超過分のリクワイアメント未達成コマに対して経済的ペナルティが科されます。

³⁴ 差替元のアセスメント対象容量=（差替元電源の月別アセスメント対象容量－差替先の月別の差替容量）

³⁵ アセスメント対象容量=月別アセスメント対象容量

³⁶ ペナルティ倍率は差替元の需給状況に応じて決定

³⁷ 差替先電源のアセスメント対象容量=差替先電源の月別差替容量

³⁸ ペナルティ倍率は差替先の需給状況に応じて決定

4.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き

本節では、容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続きについて以下の流れで説明します（図 4-2 参照）。

- 4.1.1 アセスメント結果の確認
- 4.1.2 異議申立
- 4.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認
- 4.1.4 確定したアセスメント結果の受領

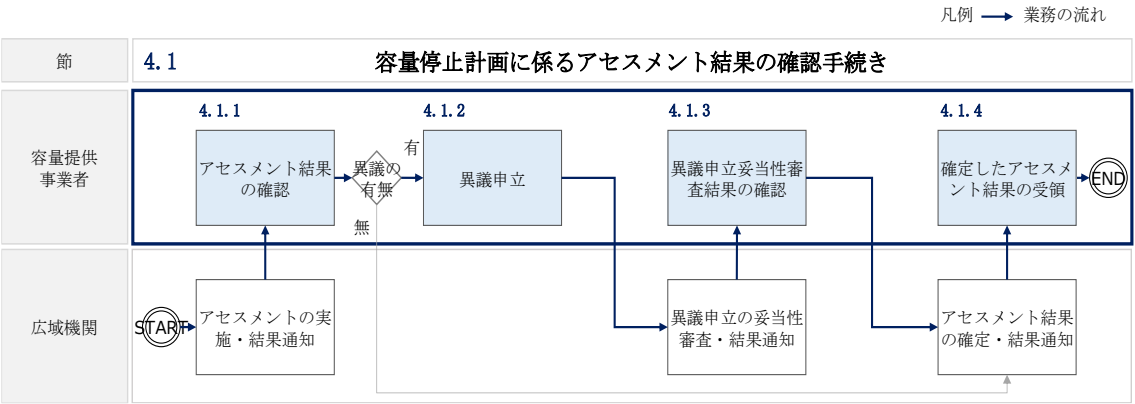


図 4-2 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成

4.1.1 アセスメント結果の確認

本項では、アセスメント結果の確認について説明します（図 4-3 参照）。

4.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

4.1.1 アセスメント結果の確認

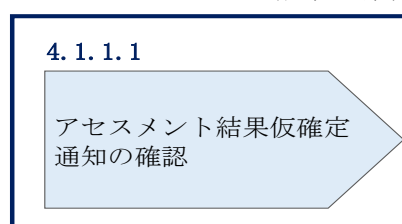


図 4-3 アセスメント結果の確認の手順

4.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認

アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください（表 4-1 参照）

39。

注：本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したこととなりますので、「仮算定」＝「仮確定」とご理解ください。

表 4-1 リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	XXXX 様

³⁹ リクワイアメント未達成が発生していた場合のみメールが送付されます。

	<p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>容量停止計画(安定・変動単独)</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>
--	--

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（事業者ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと） - 発動指令以外画面」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象年月日が表示されますので、「対象年月日」リンクをクリックし、「アセスメント詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成コマを確認してください（図 4-4 参照）。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザー名 広域 太郎
ログアウト

アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面 (事業者毎) - 整動指令以外 > アセスメント一覧画面 (電源等識別番号毎) - 整動指令以外 > アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替元/先	差替元
事業者コード	XXXX	コマごとに記載されたリクワイアメント未達成コマを確認してください。	
電源等識別番号	XXXXXXXXXA		
エリア	NNN		

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替前契約容量[kW]	差替後契約容量[kW]
差替元	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNNA	6,000	1,000
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXB	NNNNNNNNB	-	2,000
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXC	NNNNNNNNC	-	3,000

アセスメント結果詳細情報

対象年月日	差替ID	差替元/先	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	容量停止計画の提出時期	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	需給ひっ迫のおそれの有無	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	アセスメント対象容量[kW]	1,000				
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	電源が提供できる供給力の最大値[kW]	99,999,999	99,999,999	99,999,999	99,999,999	99,999,999
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	ペナルティ倍率[倍]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成コマ[コマ]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成合計[コマ]	1.06				

図 4-4 アセスメント詳細（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ

4.1.2 異議申立

本項では、異議申立について説明します（図 4-5 参照）。

4.1.2.1 異議申立

4.1.2 異議申立

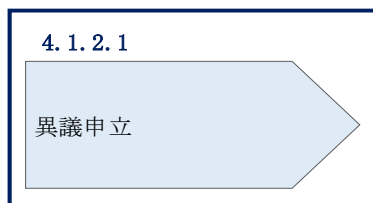


図 4-5 異議申立の手順

4.1.2.1 異議申立

アセスメント結果仮確定に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に新規メールに添付して送信してください（表 4-2 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

[https://www.occto.or.jp/market-](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html)

[board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html) からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。

異議申立を行わない場合は、『4.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領』へ進んでください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考>容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日及び本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 4-2 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象) 【XXXX (事業者コード) ⁴⁰ 】 アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
CC	－
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> 事業者名称及び担当者名 対象実需給年度 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット（異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載） 異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

4.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 4-6 参照）。

4.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

4.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認

4.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

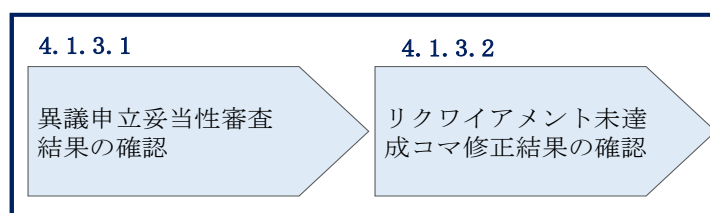


図 4-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

⁴⁰ 件名に事業者コード4桁を入力してください。

4.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

アセスメント結果仮確定に対して異議申立を行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果を容量市場システムに登録したメールアドレス宛にメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果の詳細を確認する場合は、『4.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照してください。

審査結果が合格の場合、『4.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認』を参照してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

4.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認

異議申立妥当性審査結果が合格の場合、本機関にて異議申立内容に基づいてリクワイアメント未達成コマを修正します。修正後に本機関より、容量市場システムに登録したメールアドレス宛に確認依頼のメールが送付されますので、内容を確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（事業者ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと） - 発動指令以外画面」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号ごと）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象年月日が表示されま

すので、「対象年月日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成コマを確認してください（図 4-7 参照）。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザ名 広域 大部

ログアウト

アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面(事業者毎) - 発動指令以外 > アセスメント一覧画面(電源等識別番号毎) - 発動指令以外 > アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替元/先	差
事業者コード	XXXX	事業者名	N
電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	N
エリア	NNN	算定回次	XXX

コマごとに記載されたリクワイアメント未達成コマを確認してください。

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号▲	電源等の名称▲	差替前契約容量[kW]▲	差替後契約容量[kW]▲
-	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNNNA	XXX,XXX,XXX,XXX	XXX,XXX,XXX,XXX
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXB	NNNNNNNNNB	-	XXX,XXX,XXX,XXX
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXC	NNNNNNNNNC	-	XXX,XXX,XXX,XXX

アセスメント結果詳細情報

対象年月日	差替元/先	差替ID	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	容量停止計画の提出時期	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	需給ひっ迫のおそれの有無	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	アセスメント対象容量[kW]	XXX,XXX,XXX,XXX				
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	電源が供給できる供給力の最大値[kW]	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	ペナルティ倍率[倍]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成コマ[コマ]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	差替元	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成合計[コマ]					

図 4-7 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ

4.1.4 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します（図 4-8 参照）。

4.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

4.1.4 確定したアセスメント結果の受領

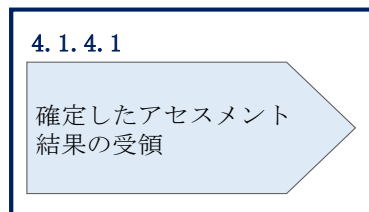


図 4-8 確定したアセスメント結果の受領の手順

4.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、対象実需給月+4月の中旬頃にアセスメント結果を確定した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、『4.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認』を参照し、内容を確認してください（表 4-3 参照）。

注：アセスメント結果に対して異議申立を行わなかった場合でも本手順を参照し、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

表 4-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の確定通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】</p> <p>YYYY</p> <p>【算定対象年月】</p> <p>YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】</p> <p>容量停止計画(安定・変動単独)</p> <p>【事業者コード】</p> <p>XXXX</p> <p>【事業者名】</p> <p>XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

Appendix.1 図表一覧

図 1-1	本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ	4
図 1-2	電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル	6
図 1-3	電源等差替を実施している容量提供事業者が確認すべきマニュアル	7
図 1-4	本業務マニュアルの構成（第 1 章除く）	8
図 1-5	変動電源（単独）に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧	9
図 2-1	第 2 章の構成	11
図 2-2	容量停止計画の登録	13
図 2-3	容量停止計画の登録手順	14
図 2-4	容量停止計画一覧画面 画面イメージ	15
図 2-5	容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ	16
図 2-6	容量停止計画 CSV イメージ	17
図 2-7	一括登録・変更画面のイメージ	22
図 2-8	容量停止計画一覧画面 画面イメージ	24
図 2-9	容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(1)	24
図 2-10	容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ(2)	25
図 2-11	変更情報入力欄 登録区分 画面イメージ	25
図 2-12	一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)	26
図 2-13	一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)	27
図 2-14	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	27
図 2-15	差替先の容量停止計画の登録手順	29
図 2-16	容量停止計画 CSV イメージ	30
図 2-17	一括登録・変更画面のイメージ	35
図 2-18	一括登録・変更結果確認の画面イメージ (1)	36
図 2-19	一括登録・変更結果確認の画面イメージ (2)	37
図 2-20	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	37
図 2-21	容量停止計画登録漏れの確認の詳細構成	38
図 2-22	容量停止計画の修正の手順	38
図 2-23	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成	41
図 2-24	差替先の容量停止計画の修正登録の手順	41
図 2-25	容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応の詳細構成	43
図 2-26	提出時期の妥当性に係る停止理由の提出の手順	44
図 2-27	提出時期の妥当性審査結果の受領の手順	45
図 2-28	提出時期の妥当性審査結果の確認の手順	46

図 3-1	第 3 章の構成	48
図 3-2	発電計画・発電上限に関する対応の詳細構成	49
図 3-3	発電計画・発電上限の確認の手順	49
図 3-4	アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ	51
図 3-5	アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ	52
図 3-6	発電計画・発電上限の登録の手順	53
図 3-7	アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）の CSV イメージ	55
図 3-8	一括登録・変更画面 画面イメージ	58
図 3-9	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	59
図 3-10	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	59
図 3-11	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	59
図 3-12	アセスメント算定諸元詳細画面とアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限） CSV ファイルの比較イメージ	61
図 3-13	差替先に係る発電計画・発電上限の登録の手順	62
図 3-14	差替配分供給力（発電計画・発電上限） CSV イメージ	63
図 3-15	一括登録・変更画面 画面イメージ	66
図 3-16	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（1）	67
図 3-17	一括登録・変更結果確認の画面イメージ（2）	67
図 3-18	エラー情報 CSV ファイルの CSV イメージ	68
図 3-19	差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電計画・発電上限） CSV ファイルの比較イメージ	69
図 3-20	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成	70
図 3-21	差替配分供給力（発電計画・発電上限）の修正・登録の手順	71
図 4-1	第 4 章の構成	72
図 4-2	容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成	75
図 4-3	アセスメント結果の確認の手順	76
図 4-4	アセスメント詳細（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ	78
図 4-5	異議申立の手順	79
図 4-6	異議申立妥当性審査結果の確認の手順	80
図 4-7	アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ	82
図 4-8	確定したアセスメント結果の受領の手順	83
表 1-1	リクワイアメント対応（変動電源（単独））業務の主なスケジュール	5
表 2-1	容量停止計画登録作業の概要	12
表 2-2	容量停止計画 CSV の記載項目	17

表 2-4	一括登録・変更画面の入力項目	22
表 2-5	一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ	28
表 2-6	電源等差替を実施している場合の容量停止計画の登録対象	29
表 2-7	容量停止計画 CSV の記載項目	31
表 2-8	容量停止計画の登録処理に関する情報メール記載事項.....	34
表 2-9	一括登録・変更画面の入力項目	35
表 2-10	容量停止計画登録漏れ確認結果通知メールイメージ	39
表 2-11	容量停止計画未登録の正当な理由の提出メール記載事項.....	40
表 2-12	容量停止計画の提出時期の妥当性に係る停止理由の提出メール記載事項 ..	45
表 2-13	提出時期の妥当性審査結果に対する異議申立メールの記載項目	47
表 3-1	アセスメント算定諸元（発電計画・発電上限） CSV の記載項目	56
表 3-2	一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ.....	60
表 3-3	電源等差替を実施している場合の発電計画・発電上限の登録対象.....	62
表 3-4	差替配分供給力（発電計画・発電上限） CSV の記載項目	64
表 4-1	リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ.....	76
表 4-2	アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目	80
表 4-3	リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ.....	84

Appendix.2 業務手順全体図

業務手順全体図については、別紙（「容量市場業務マニュアル_実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編_Appendix_業務手順全体図」）参照のこと。
なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、業務手順全体図に記載をしております。業務手順全体図では、対象実需給月をN月としております。

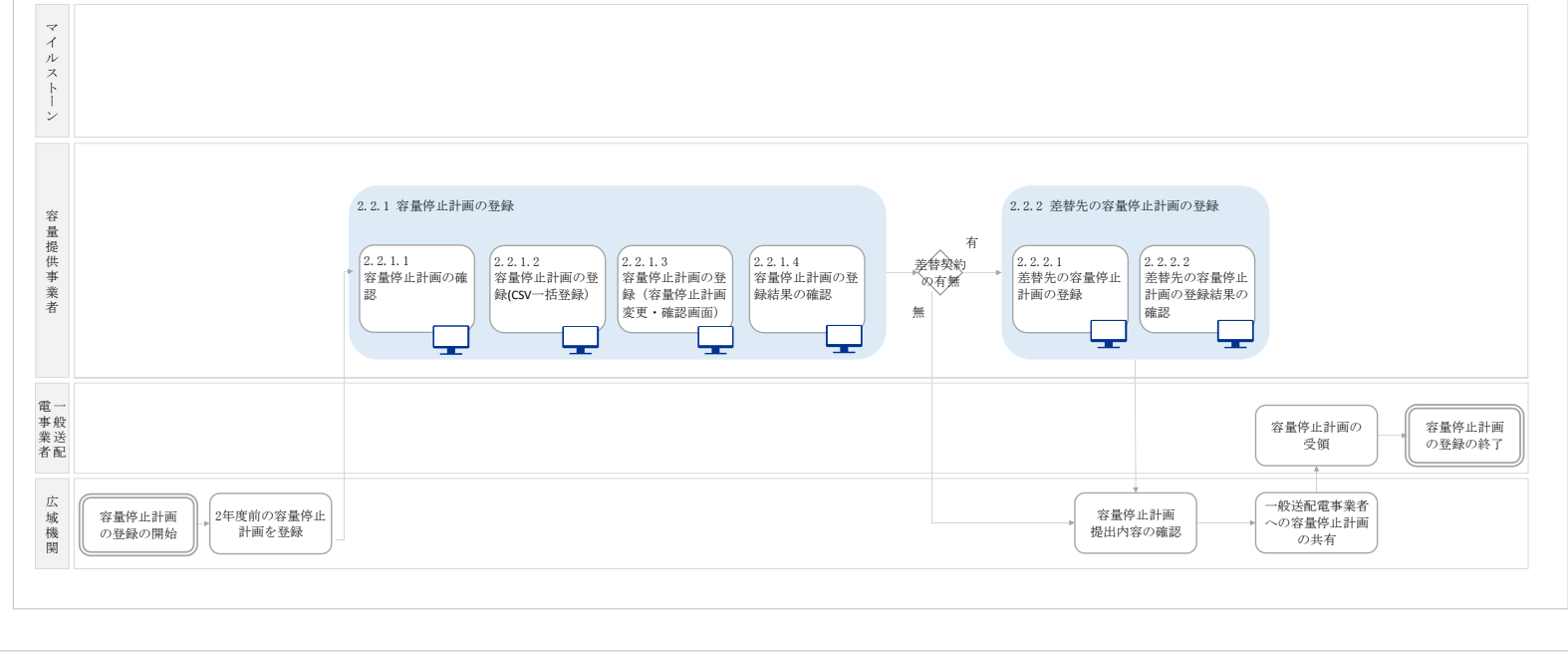
Appendix.3 実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集

No.	用語	意味	記載箇所(一例)
1	最新回次	容量市場システムに登録された算定諸元や容量市場システム内で算定されたアセスメント算定結果のうち、同一条件の範囲内で最も直近に登録又は算定されたものを意味する。 このため、同一の実需給年月に複数回の登録や算定が実施された場合は、基本的に検索画面上で最新回次を指定して検索を実施する	2.2.1.1 容量停止計画の確認
2	アセスメント算定諸元	本機関がアセスメントを実施するために必要となる諸元 例：安定電源・変動電源（単独）に対する容量停止計画のアセスメント算定においては、容量停止計画、発電計画、発電上限等が該当する。また、変動電源（アグリゲート）に対する容量停止計画のアセスメント算定においては、発電量調整受電電力量が該当する。	3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録
3	差替配分供給力	差替先電源から差替元電源に対して配分された供給力	3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録
4	アセスメント種別	容量を提供する電源等の区分に応じて課せられるリクワイアメント・アセスメントの種類 例：容量停止計画（安定・変動単独）、容量停止計画（変動アグリ）、市場応札、供給指示	4.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認
5	電源が提供できる供給力の最大値	「電源等の維持・運営に必要な作業」、及び「その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）」による電源等の停止又は出力低下のみを考慮し	3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録

		た発電設備として供給可能な上限値であり、容量市場におけるアセスメントを実施するために容量市場システムに登録する発電上限のことを指します。 なお、変動電源（単独）に関しては、基本的に広域機関システムに登録する発電販売計画での発電上限と同値となります。	
6	（アセスメント結果の）仮確定	アセスメントの算定結果を容量提供事業者へ通知するため、本機関にてアセスメント結果を暫定的に決定すること	4.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の確認
7	（アセスメント結果の）確定	アセスメントの後続業務となるペナルティ算定に進むため、容量提供事業者の確認結果を踏まえて本機関にてアセスメント結果を確定すること	4.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.2 容量停止計画の登録



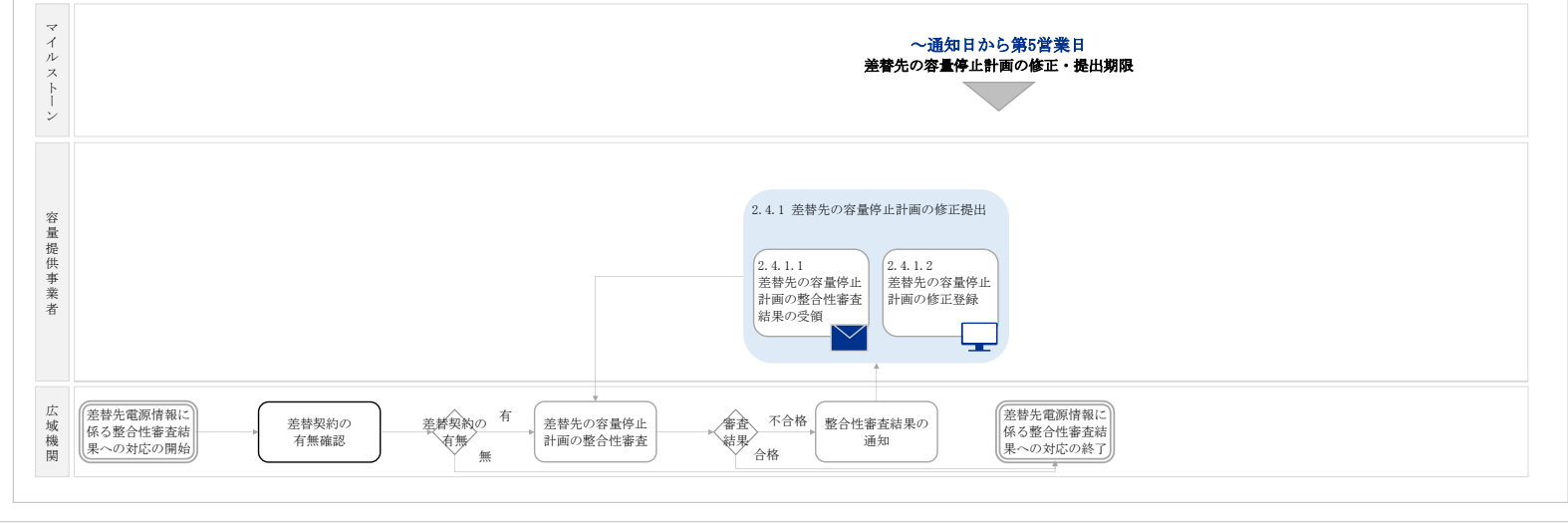
第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.3 容量停止計画登録漏れの確認への対応



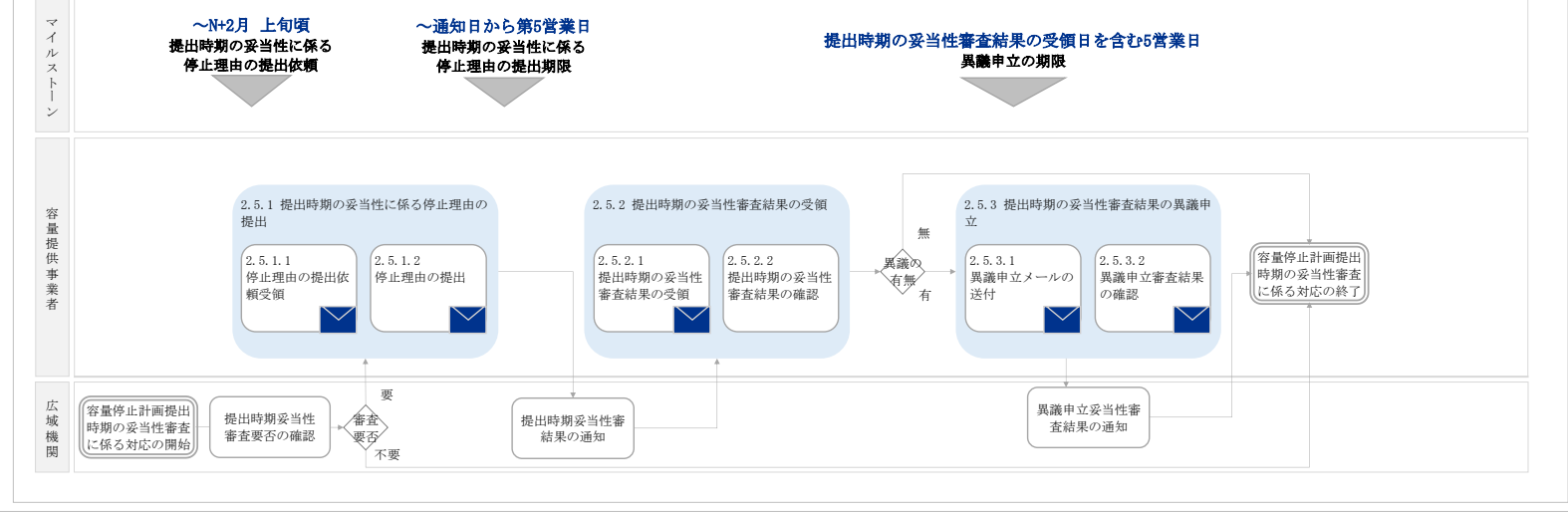
第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.4 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応



第2章：算定諸元登録（容量停止計画）

2.5 容量停止計画提出時期の妥当性審査に係る対応



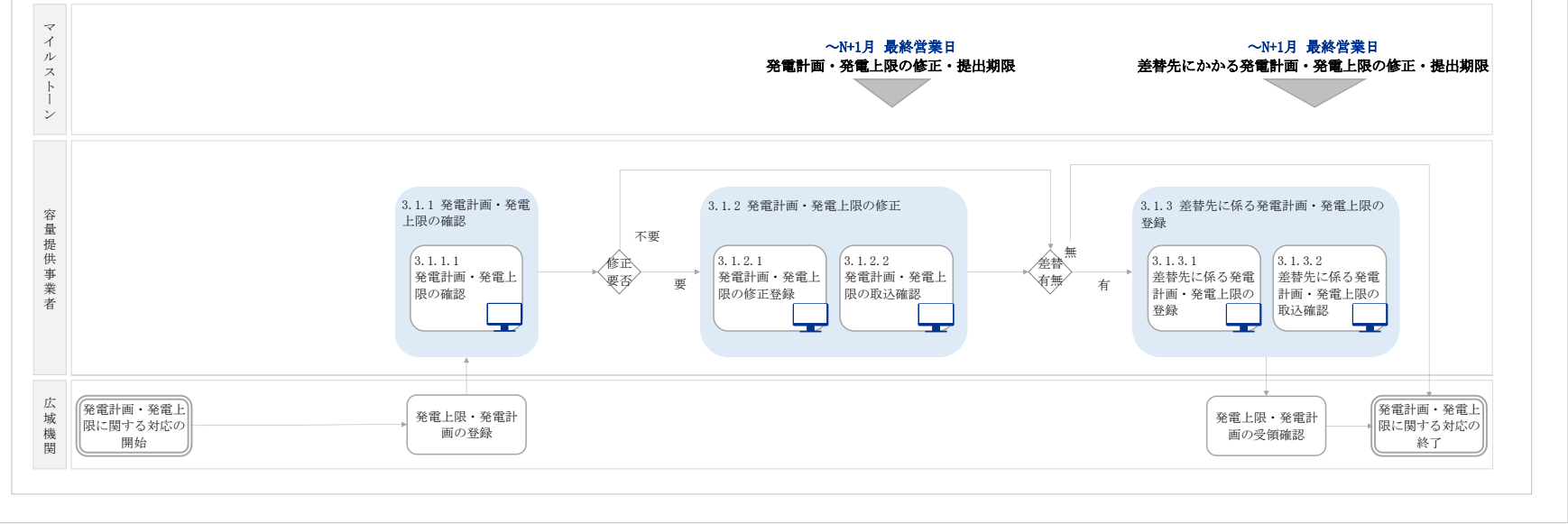
凡例

容量市場システム操作

メール通知

第3章：算定諸元登録（発電計画・発電上限）

3.1 発電計画・発電上限に関する対応



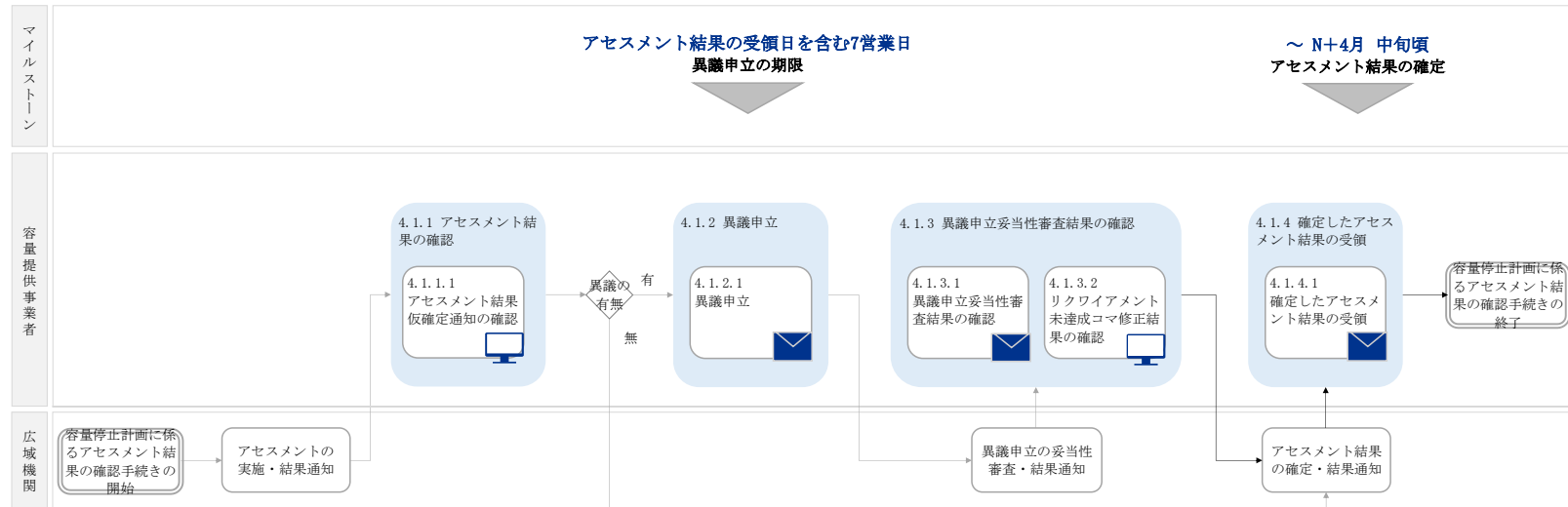
3.2 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応





第4章：アセスメント結果への対応（容量停止計画）

4.1 容量停止計画に係るアセスメント結果の確認手続き



容量市場
業務マニュアル
実需給期間中
リクワイアメント対応
(変動電源（アグリゲート）) 編
(対象実需給年度：2026 年度)

2025 年 12 月 25 日 第 1 版 発行

電力広域的運営推進機関

(変更履歴)

	変更点		日付
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025 年 12 月 25 日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章	はじめに	4
1.1	本業務マニュアルの対象事業者.....	7
1.2	本業務マニュアルの構成.....	9
1.3	容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧.....	10
1.4	変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントの概要説明.....	11
第2章	算定諸元登録（発電量調整受電電力量）	12
2.1	発電量調整受電電力量の登録.....	13
2.2	発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応.....	36
2.3	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応.....	39
第3章	アセスメント結果への対応（容量停止計画（変動（アグリゲート）））.....	41
3.1	容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手続き	45
Appendix.1	図表一覧.....	55
Appendix.2	業務手順全体図.....	57
Appendix.3	実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集.....	58

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編（以下、本業務マニュアル）は、電力広域的運営推進機関（以下、本機関）の業務規程（第32条の5）の規定に基づき作成された文書です。

本業務マニュアルは実需給期間に実施する業務のうち、リクワイアメント・アセスメント業務に係る容量提供事業者が実施すべき業務手順やシステム¹の操作方法²が記載されています(図1-1参照)。

なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、『Appendix.2 業務手順全体図』に記載をしております。

容量提供事業者が提供する電源の電源等区分によって課せられるリクワイアメント・アセスメントの種類が異なるため、業務マニュアルは電源等区分ごとに作成しています。

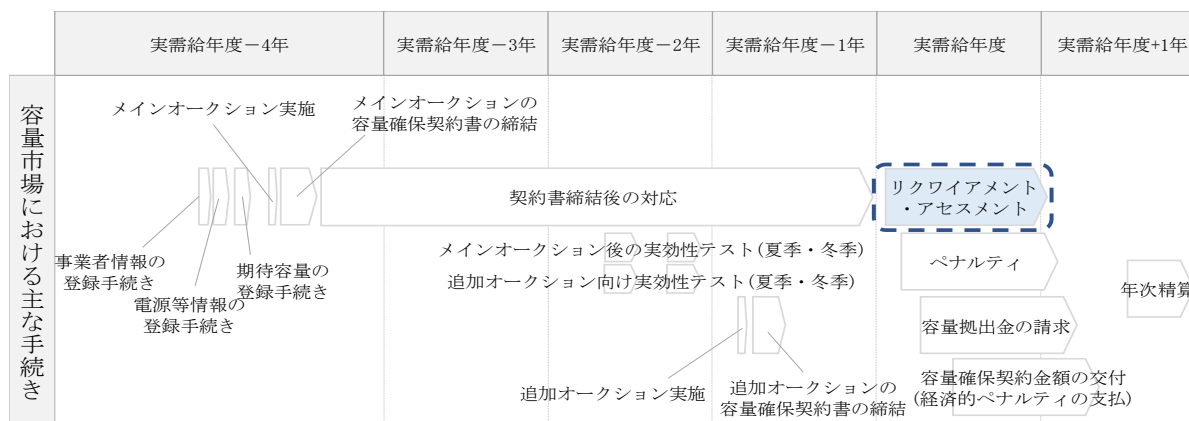


図1-1 本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ

¹ 容量市場システムは、容量市場における容量オークション等への参加を希望する本機関会員、その他電気供給事業者の情報を適切に把握し、円滑な市場運営を行うために必要な機能を備えた情報処理システムです。

² 本業務マニュアルに記載している容量市場システムの機能は一部であり、その他の機能は必要に応じて容量市場システムマニュアルを参照してください。

対象実需給月を N 月とした場合の、リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））業務のスケジュールは、以下の通りとなります。

表 1-1 リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））業務のスケジュール

項目（参照箇所）	時期	概要
発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録（『2.1 発電量調整受電電力量の登録』）	～N+2 月第 10 営業日	発電量調整受電電力量（リスト合計）を行っていただきます。（電源等差替を実施している場合は、差替先に係る発電量調整受電電力量を含む）
発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録（『2.1 発電量調整受電電力量の登録』）	～N+2 月第 10 営業日 （本機関から登録依頼があった場合）	本機関から登録依頼があった場合は、発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録を行っていただきます。
差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録（『2.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応』）	～N+2 月第 13 営業日	本機関にて差替先電源情報に係る登録内容を審査し不合格の場合に、差替先から配分された発電量調整受電電力量の修正登録を行っていただきます。
発電量調整受電電力量の修正登録（『2.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応』）	～N+2 月第 16 営業日	本機関にて発電量調整受電電力量の登録内容を審査し不合格の場合に、発電量調整受電電力量の修正登録を行っていただきます。
アセスメント結果仮確定に対する異議申立（『3.1 容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手続き』）	アセスメント結果の受領日を含む 7 営業日	アセスメント結果仮確定に異議がある場合に、異議申立を行っていただきます。

具体的なリクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））業務に関しては第2章以降に記載しておりますが、本章で説明する以下の1.1～1.4も確認してください。

- 1.1 本業務マニュアルの対象事業者
- 1.2 本業務マニュアルの構成
- 1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧
- 1.4 変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントの概要説明

1.1 本業務マニュアルの対象事業者

本業務マニュアルの対象事業者は、実需給 2026 年度向けの容量オークションに落札した変動電源（アグリゲート）を提供する容量提供事業者、若しくは電源等差替により変動電源（アグリゲート）に対する差替先となった電源を提供する事業者です。電源等差替を実施していない容量提供事業者を対象としたマニュアル、電源等差替を実施している差替先・差替元の事業者を対象としたマニュアルをそれぞれ一覧化しておりますので、ご確認ください（図 1-2、図 1-3 参照）。電源等差替により変動電源（アグリゲート）に対する差替先となった電源を提供する事業者の具体的な参照箇所は、第2章『算定諸元登録（発電量調整受電電力量）』です。

なお、変動電源（アグリゲート）の差替先事業者が容量確保契約を締結していない場合は、差替元電源区分に係る業務マニュアルを確認していただく必要があります。

○：確認が必要

電源等区分	業務マニュアル			
	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (安定電源) 編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(単独)) 編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(アグリゲート)) 編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (発動指令電源) 編
安定電源	○	－	－	－
変動電源(単独)	－	○	－	－
変動電源(アグリゲート)	－	－	○	－
発動指令電源	－	－	－	○

図 1-2 電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル

○：全編確認が必要
△：一部確認が必要

事業者 区分	差替先電源の 電源等区分	差替元電源の 電源等区分	業務マニュアル			
			業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (安定電源)編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(単独))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(アグリゲート))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (発動指令電源)編
差替元 事業者	-	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	-	○
差替先 事業者	安定電源	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	○	△	-	-
		変動電源(アグリゲート)	○	-	△	-
		発動指令電源	○	-	-	△
	変動電源 (単独)	安定電源	△	○	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	○	△	-
		発動指令電源	-	○	-	△
	変動電源 (アグリゲート)	安定電源	△	-	○	-
		変動電源(単独)	-	△	○	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	○	△
	発動指令電源	安定電源	△	-	-	○
		変動電源(単独)	-	△	-	○
		変動電源(アグリゲート)	-	-	△	○
		発動指令電源	-	-	-	○

図 1-3 電源等差替を実施している事業者が確認すべきマニュアル

1.2 本業務マニュアルの構成

本業務マニュアルにおける章の構成は以下の通りです（図 1-4 参照）。

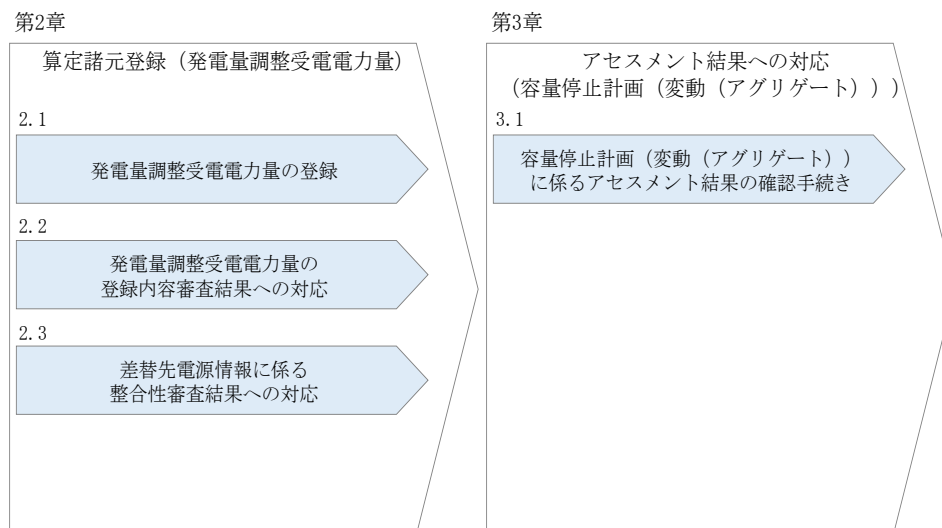


図 1-4 本業務マニュアルの構成

アセスメントに必要となる算定諸元の登録手続きは第2章、実際のアセスメント業務の実施に係る異議申立等の手順は第3章を参照してください。

1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントを遵守するにあたり、容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元について、一覧化しておりますのでご確認ください（図 1-5 参照）。

容量提供事業者が電源等差替を行っていない場合

登録主体	発電量調整受電電力量
容量提供事業者	・小規模変動電源リストの全量

容量提供事業者が電源等差替を行った場合

登録主体		発電量調整受電電力量
差替元電源等提供者	部分差替の場合	・差替元電源の全量 ・差替先電源から差替元電源に配分された量
	全量差替の場合	・差替先電源から差替元電源に配分された量

電源等差替により差替先電源等提供者となった場合

登録主体	発電量調整受電電力量
差替先電源等提供者	・差替先電源の全量

図 1-5 変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧³

注1：容量市場システムの稼働時間は原則、平日及び休日にあたる火曜日9時～18時となっております。

注2：発電量調整受電電力量は、容量市場システムに登録されている最新の小規模変動電源リストに基づき提出してください。実需給期間中の小規模変動電源リストの変更申込は毎月10日に締め切り、当月中に審査結果を通知します。前月11日～当月10日までの期間に変更申込があり、かつ、書類等に不備がない場合、翌月1日から変更後の小規模変動電源リストが有効となります。例えば5月1日からの小規模変動電源リストの変更を希望する対象事業者は、遅くとも4月10日までに変更申込を行うようにしてください。なお、実需給期間中のアグリゲートリソースの減少について

³ 本業務マニュアルでは、事業者が容量市場システム上にアップロードする算定諸元については「算定諸元の登録」、事業者がメールにて本機関に送付する算定諸元については「算定諸元の提出」と表記をしています。

は原則認めておりませんが、休止・廃止等のやむを得ない理由により、供給力の提供が不可能となった場合は、速やかに変更の手続きをお願いします。

1.4 変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントの概要説明

本節では、変動電源（アグリゲート）に係る実需給期間中のリクワイアメント概要を説明します。

1.4.1 供給力の維持

1.4.1 供給力の維持

本項では、供給力の維持について説明します。

1.4.1.1 供給力の維持

1.4.1.2 発電実績の報告

1.4.1.1 供給力の維持

実需給年度において、契約電源をアセスメント対象容量以上の供給力を提供できる状態を維持してください。

1.4.1.2 発電実績の報告

年間 8,640 コマ（180 日相当）を上限に、契約電源の停止又はアセスメント対象容量以下の出力が認められます。また、電源の維持・運営に必要な作業及びその他要因に伴い電源等が停止又は出力低下する場合であっても、容量停止計画の提出は必要ありません。発電実績の報告は、第2章『算定諸元登録（発電量調整受電電力量）』を参照して実施してください。

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

本章では、算定諸元登録（発電量調整受電電力量）に関する以下の内容について説明します（図 2-1 参照）。

2.1 発電量調整受電電力量の登録

2.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応

2.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

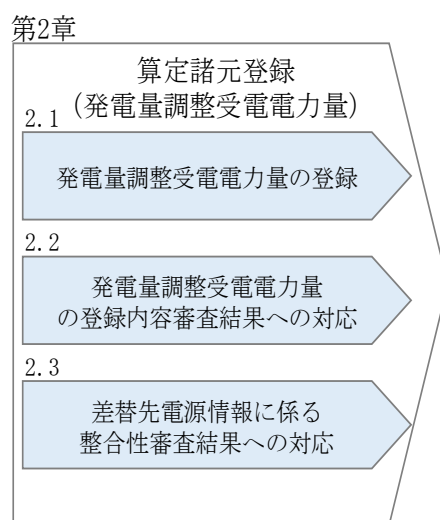


図 2-1 第2章の構成

2.1 発電量調整受電電力量の登録

本節では、発電量調整受電電力量の登録について以下の流れで説明します（図 2-2 参照）。

2.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

2.1.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録

2.1.3 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録

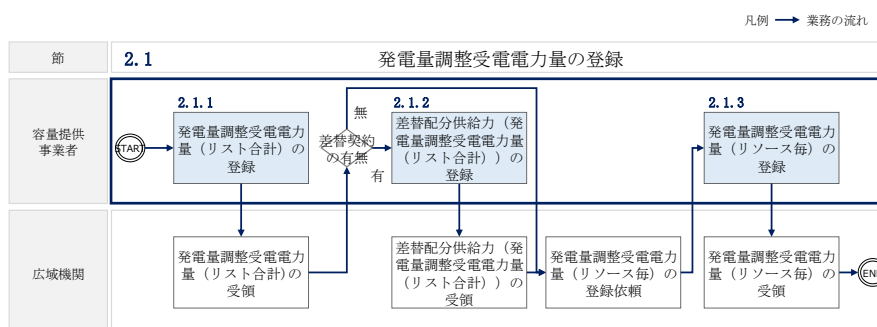


図 2-2 発電量調整受電電力量の登録の詳細構成

2.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

本項では、発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録について説明します（図 2-3 参照）。

2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

2.1.1.2 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録結果の確認

2.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

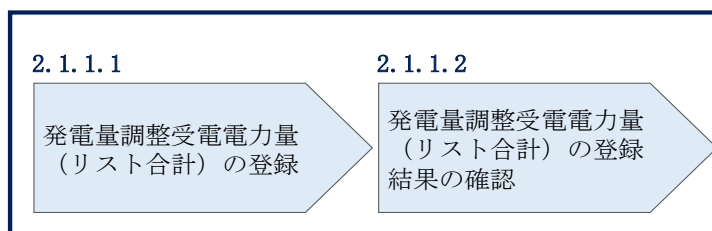


図 2-3 発電量調整受電電力量の登録の手順

2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

一般送配電事業者から取得した³発電量調整受電電力量をもとに、発電量調整受電電力量（リスト合計）を作成し登録してください。

容量市場システムに登録されている最新の小規模変動電源リストをもとにアセスメントを実施するため、発電量調整受電電力量（リスト合計）も容量市場システムに登録されている最新の小規模変動電源リストに合わせて作成してください。

注：実需給期間中の小規模変動電源リストの変更申込は1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧の、注2を参照ください。

電源等差替を実施している場合で、差替先電源等提供者が容量確保契約未締結の場合は、差替元の容量提供事業者が差替先電源等提供者に提出を依頼してください。

なお、差替元の容量提供事業者が、本機関より差替先分の発電量調整受電電力量（リスト合計）に係る督促メールを受領した場合には、差替元の容量提供事業者が差替先電源等提供者に督促してください。

発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録期限は対象実需給月+2月の第10営業日となります。

発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 2-4、表 2-1 参照）。

³ 容量提供事業者が託送契約（接続供給契約・発電量調整供給契約等）を締結していない場合、託送契約等を締結している事業者から発電実績の提供を受ける環境を整えていただく必要があります。一般送配電事業者から各地点の発電実績を取得できるのは、託送契約等を締結している事業者であり、容量提供事業者が託送契約等を締結していない場合、一般送配電事業者から発電実績を取得することはできません。

図 2-4 アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））
の CSV イメージ

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03 を入力してください 03：発電量調整受電電力量 ※変動電源（アグリゲート）は、情報区分として 「03：発電量調整受電電力量」のみを使用してください。
3	提出事業者コード	事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量（単位：[kW] ⁴ 、整数部最大 12 桁、小数部最大 3 桁）を半角数字で入力してください
6	0:30	〃

15

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

No	項目	留意点
7	1:00	//
8	1:30	//
9	2:00	//
...		
48	21:30	//
49	22:00	//
50	22:30	//
51	23:00	//
52	23:30	//

アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルに必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

注1：アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計）） CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の 0 が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（“実需給年月日” ～ “23:30” の部分）各項目には「”」を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の 1 ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1 ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量（リスト合計）が零でも、0 を入力してください）。

注4：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

注5：発電量調整受電電力量がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを0として取り扱います。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv」としてください⁵。また、発電量調整受電電力量（リスト合計）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R 更新回数.csv」としてください⁶。

例）初回の登録の場合

202410_アセスメント算定諸元.csv

実需給年度・対象月

ファイル種別

1 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R1.csv

R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_アセスメント算定諸元_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルを選択してください。アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 2-5、表 2-2 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

⁵ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

⁶ 1つあたりのアップロードファイルサイズの上限は20MBとなりますので、20MBを超える場合は、ファイルを分割してください。

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

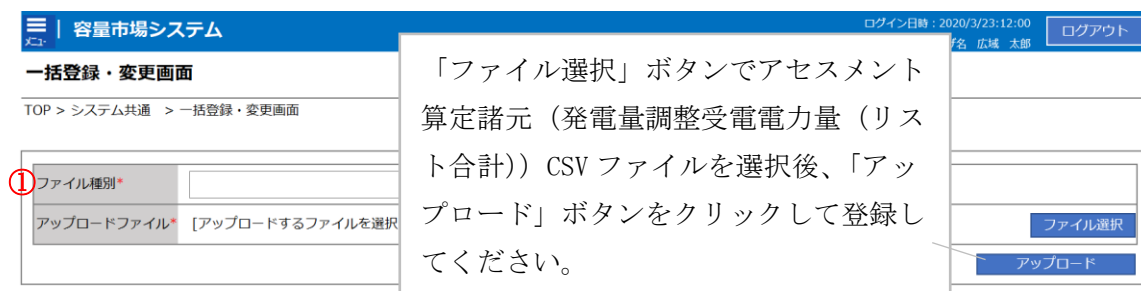


図 2-5 一括登録・変更画面の画面イメージ

表 2-2 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「アセスメント算定諸元」を選択

2.1.1.2 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録結果の確認

登録したアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルが正常に容量市場システムに取り込まれているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「アセスメント算定諸元」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致するアセスメント算定諸元が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」を確認してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再度確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 2-6、図 2-7 参照）。

なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

発電量調整受電電力量（リスト合計）の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 2-8 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認してアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV ファイルを修正し、『2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して、発電量調整受電電力量（リスト合計）を再登録してください。

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

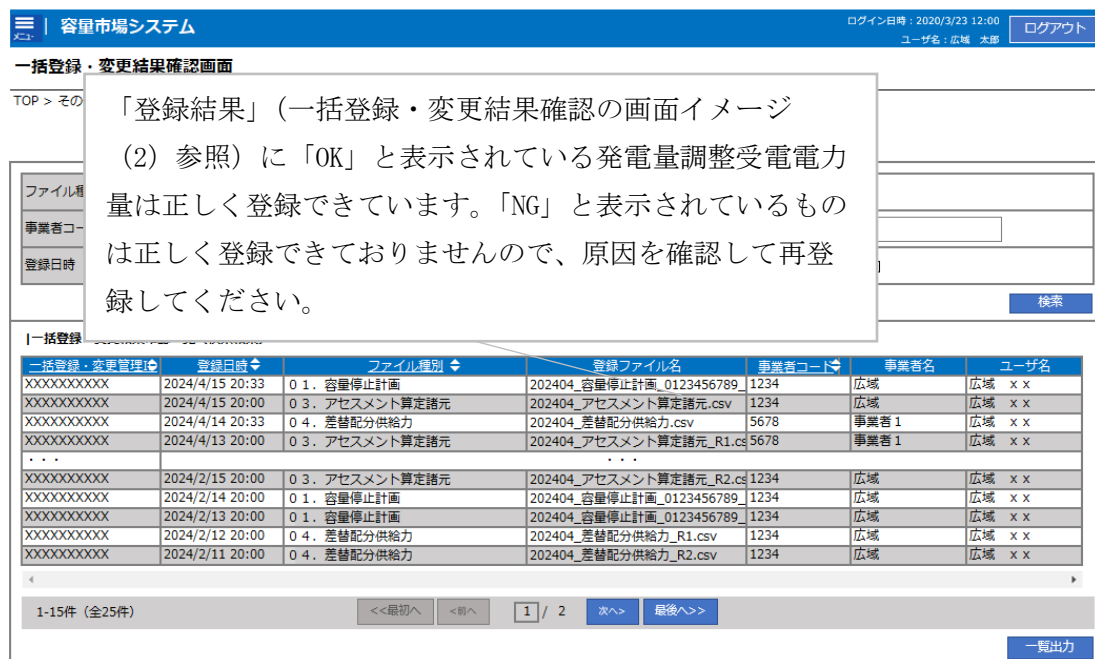


図 2-6 一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ (1)



図 2-7 一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ (2)

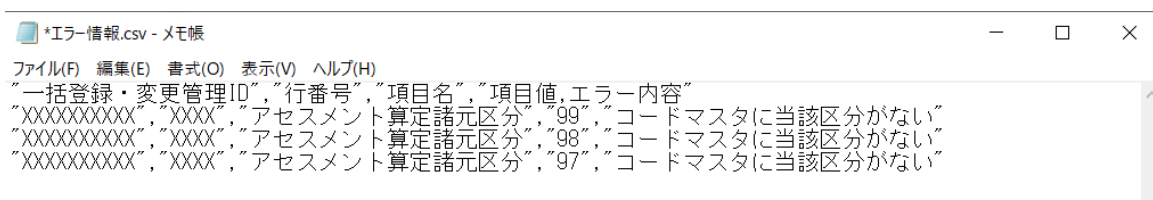


図 2-8 エラー情報の CSV イメージ

アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメール（表 2-3 参照）が容量市場システム

に登録したメールアドレス宛に送付されますので、登録した発電量調整受電電力量（リスト合計）の内容を確認してください。

表 2-3 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>一括登録・変更で CSV ファイルが正常に登録されました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【ファイル種別】 アセスメント算定諸元⁷</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

発電量調整受電電力量を誤った内容で登録してしまった場合は、『2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して、発電量調整受電電力量（リスト合計）を再登録してください。

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「アセスメント算定諸元詳細画面」の値と、取り込んだ「アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））」 CSV ファイルの値のうち、少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

⁷ 差替配分供給力 CSV を登録した場合は、“差替配分供給力”と表示されます。


容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント算定諸元一覧画面」の順にリンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「変動電源（アグリ）」を選択のうえ、「最新回次⁸切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「電源等識別番号」をクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください。「発電量調整受電電力量」ラジオボタンをクリックすると、登録されている電量調整受電電力量が表示されます。「一括登録・変更画面」で取り込んだ「アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））」CSV ファイルと「アセスメント算定諸元詳細画面」に表示される「発電量調整受電電力量」のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図 2-9 参照）。

発電量調整受電電力量（リスト合計）を誤った内容で登録してしまった場合は、

『2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して、発電量調整受電電力量（リスト合計）を再登録してください。

⁸ 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix.3 を参照。



容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00

ユーザ名: 日立 大塚

ログアウト

アセスメント算定諸元詳細画面

TOP

>

リクワイアメント・アセスメント

>

アセスメント算定諸元一覧画面

>

アセスメント算定諸元詳細画面

登録情報

実需給年度

2024

実需給年月

電源等の名称

XXXXXXXXXX

電源等の区分

提出元事業者名

XXXXXXXXXX

更新情報

発電計画・発電上限

YYYY/MM/DD hh:mm

発電量調整受電電力量最終更新日時

最終更新日時

XXXX

詳細選択

登録種別

☐ 発電計画・発電上限

☒ 発電量調整受電電力量

☐ 市場応札量

アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV ファイルと「アセスメント算定諸元詳細画面」の発電量調整受電電力量の値を対象年月日のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

[illegible]

202404アビ24分算定額表.csv - X電機		ファイル名 帳簿ID 番地ID 表示ID 入元ID		実需給年月日		情報区分		提出事業者コード		電源等識別番号		0:00		0:30		1:00		1:30		2:00		2:30		3:00		3:30		4:00		4:30		5:00	
20240401	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240402	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240403	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240404	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240405	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240406	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240407	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240408	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240409	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240410	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240411	03	H001	0000000004	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
20240412	03	H001	0000000004	1000	1000	1																											

図 2-9 アセスメント算定諸元詳細画面とアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV ファイルの比較イメージ

2.1.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録

本項では、差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録について説明します（図 2-10 参照）。

2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

2.1.2.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録結果の確認

2.1.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録

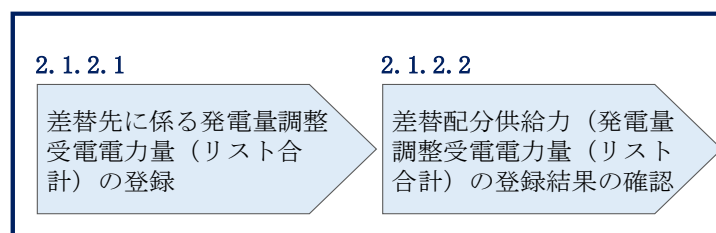


図 2-10 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録の手順

2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録

電源等差替を実施している場合、差替元電源は、差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（リスト合計）（差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計）））を容量市場システムに登録してください。

電源等差替を実施している場合の登録対象範囲については、登録主体に基づき登録範囲を確認してください（表 2-4 参照）。

表 2-4 電源等差替を実施している場合の発電量調整受電電力量の登録対象

登録主体		電源等差替を実施している場合の発電量調整受電電力量の登録対象
差替元電源等 提供者	部分差替	差替元電源の全量 差替先電源から差替元電源に配分された量
	全量差替	差替先電源から差替元電源に配分された量
差替先電源等提供者		差替先電源の全量

（例）

部分差替を実施しており、差替元電源が変動電源（アグリゲート）で、差替先電源も変動電源（アグリゲート）であり、差替先電源が容量確保契約を締結している場合、差替元電源等提供者は差替元電源の全量の発電量調整受電電力量と、差替先電源から配分された量の発電量調整受電電力量を登録してください。また、差替先電源等提供者は差替先電源の全量の発電量調整受電電力量を登録してください。

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録は、

https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html からダウンロードする CSV ファイルを用いてください（図 2-11、表 2-5 参照）。



The screenshot displays a CSV file titled "202404 差替配分供給力.csv - エクスセル". The file contains a table with multiple columns representing different data points. The first column is "実需給年月日" (Actual Demand Supply Year/Month/Day), followed by "情報区分" (Information Division), "提出事業者コード" (Submitted Business Code), "電源等識別番号" (Power Source Identification Number), "差替先電源等識別番号" (Replacement Power Source Identification Number), and a series of time slots: "差替10", "0:00", "0:30", "1:00", "1:30", "2:00", "2:30". The data rows show values for these columns, with many cells containing "1000" or "1500", indicating power levels. The rows are numbered from 20240401 to 20240430.

図 2-11 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV イメージ

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

表 2-5 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV の記載項目

No	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd 形式の半角数字で入力してください 例：2024 年 10 月 1 日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03 を入力してください 03：発電量調整受電電力量 ※変動電源（アグリゲート）に対する差替先電源は、情報区分として「03：発電量調整受電電力量」のみを使用してください。
3	提出事業者コード	事業者コード（4 桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10 桁）を半角英数字で入力してください
6	差替 ID	差替 ID（10 桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量（単位：[kW] ⁹ 、整数部最大 12 桁、小数部最大 3 桁）を半角数字で入力してください
8	0:30	〃
9	1:00	〃
10	1:30	〃
11	2:00	〃
...		
50	21:30	〃
51	22:00	〃
52	22:30	〃
53	23:00	〃
54	23:30	〃

差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV ファイルに必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。

⁹ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

注1：アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV ファイルは、テキストエディタで編集してください。テキストエディタではなく Excel で編集した場合、記載したデータから「”」（ダブルクォーテーション）」や先頭の0が欠落する可能性があります。

注2：登録する CSV ファイルについて、1 行目のヘッダ部分（“実需給年月日” ～ “23:30” の部分）各項目には「”」を付けてください。2 行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）には「”」を付けないでください。

注3：差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルの登録に関して、登録対象月に関して月初から月末の1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量（リスト合計）が零でも、0を入力してください）。

注4：誤った文字コードの CSV ファイルをアップロードすると、ファイルを正常にアップロードできません。規定されているファイル文字コードは、【SJIS（MS932）】です。テキストエディタで CSV を作成、保存する場合は文字コード ANSI を選択してください。UTF-8 等のファイルをアップロードすると、登録結果がシステムエラーとなります。

注5：発電量調整受電電力量がアセスメント算定までに提出されない場合、当月の全てのコマを0として取り扱います。

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv」としてください¹⁰。また、差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R 更新回数.csv」としてください。

¹⁰ 容量市場システムの仕様上ファイル名は任意に設定していただくことも可能です。容量提供事業者にて管理しやすいよう、命名してください。

例）初回の登録の場合

202410_差替配分供給力.csv

実需給年度・対象月 ファイル種別

1 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_R1.csv

R 更新回数

2 回目の更新の場合

202410_差替配分供給力_R2.csv

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。

「ファイル種別」を選択し、「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルを選択してください。差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイル名が容量市場システム上に表示されたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください（図 2-12、表 2-6 参照）。

注：一括登録時、他事業者が登録中は待ち時間が発生することがあります。なお、登録対象となるファイルは、①アセスメント算定諸元一覧、差替配分供給力、②容量停止計画の2グループに分けられ、同じグループ同士であれば直列処理、異なるグループ同士であれば並列処理となります。

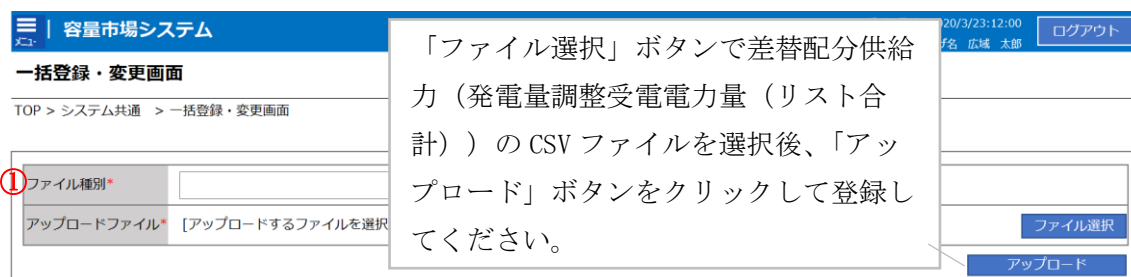


図 2-12 一括登録・変更画面の画面イメージ

表 2-6 一括登録・変更画面の入力項目

No	入力項目	入力内容
①	ファイル種別	「差替配分供給力」を選択

2.1.2.2 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録結果の確認

登録した差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルが正常に容量市場システムに取り込まれているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「その他共通」、「一括登録・変更」、「一括登録・変更結果確認画面」の順にリンクをクリックして、「一括登録・変更結果確認画面」へ進んでください。

「ファイル種別」で「差替配分供給力」を選択し、登録日時を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「一括登録・変更結果確認一覧（検索結果）」に条件に合致する差替配分供給力が表示されます。検索結果から、ユーザ名、登録ファイル名、登録日時をもとに登録したファイルを特定したうえで「登録結果」を確認してください。「登録結果」が「処理中」となっている場合は、まだシステム内で処理が終了していませんので、時間を空けて再度確認してください。「登録結果」が「OK」と表示されていれば正常に登録されていますが、「登録結果」が「NG」と表示されている場合は正常に登録されていないため、再登録する必要があります（図 2-13、図 2-14 参照）。

なお、検索時に「登録結果 NG のみ表示」にチェックを入れると「登録結果」が「NG」の対象のみを表示可能です。

差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の「登録結果」が「NG」と表示されている場合、「登録結果」の「NG」リンクをクリックし、「エラー情報 CSV ファイル」をダウンロードしてください（図 2-15 参照）。「エラー情報 CSV ファイル」の内容を確認して差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルを修正し、『2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して再登録してください。



図 2-13 一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ (1)



図 2-14 一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ (2)

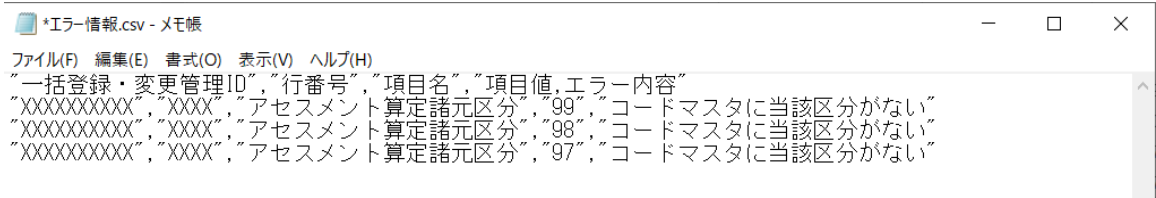


図 2-15 エラー情報の CSV イメージ

なお、差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の CSV ファイルが正常に登録された場合、登録が完了した旨のメール（表 2-3 参照）が容量市場システム

登録のメールアドレス宛に送付されますので、登録した差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の内容を確認してください。

差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））を誤った内容で登録してしまった場合は、『2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して、差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））を再登録してください。

「一括登録・変更結果確認画面」から登録結果を確認した後、誤登録を防ぐために、「差替配分供給力詳細画面」の値と、取り込んだ「差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））」CSV ファイルの値のうち、少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください。

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューの「リクワイアメント・アセスメント」、「アセスメント管理（共通）」、「差替配分供給力一覧画面」の順にリンクをクリックして、「差替配分供給力一覧画面」へ進んでください。

「電源等の区分」で「変動電源（アグリ）」を選択のうえ、「最新回次¹¹切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「差替元電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「差替元電源等識別番号」をクリックし、「差替配分供給力詳細画面」へ進んでください。「発電量調整受電電力量」ラジオボタンをクリックすると、登録されている電量調整受電電力量が表示されます。「一括登録・変更画面」で取り込んだ「差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））」CSV ファイルと「差替配分供給力詳細画面」に表示される「発電量調整受電電力量」の対象年月日のうち少なくとも1日分の全コマを抽出し、正しいファイルが登録されているか確認してください（図 2-16 参照）。

発電量調整受電電力量（リスト合計）を誤った内容で登録してしまった場合は、

『2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して、発電量調整受電電力量（リスト合計）を再登録してください。

¹¹ 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix. 3 を参照。

図 2-16 差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV ファイルの比較イメージ

2.1.3 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録

本項では、発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録について説明します（図2-17 参照）。

2.1.3.1 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録

2.1.3 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録

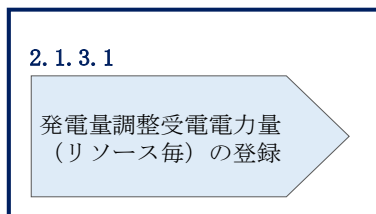


図 2-17 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録の手順

2.1.3.1 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録

本機関より発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録依頼を受領した事業者は、一般送配電事業者から取得した¹²発電量調整受電電力量をもとに、1日につき発電量調整受電電力量がリスト単位で最大となった1コマ分の発電量調整受電電力量（リソース毎）を1カ月分作成し、登録してください。

差替先電源等提供者が容量確保契約未締結の場合は、差替元の容量提供事業者が差替先電源等提供者に登録を依頼してください。

なお、差替元の容量提供事業者が、本機関より差替先分の発電量調整受電電力量（リソース毎）に係る督促メールを受領した場合には、差替元の容量提供事業者が差替先電源等提供者に督促してください。

発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録は、対象実需給月+2月の第10営業日までとなります。

注：本機関からの依頼があったにもかかわらず、発電量調整受電電力量（リソース毎）がアセスメント算定までに登録されない場合、発電量調整受電電力量（リスト合計）が未登録だった場合と同様に扱います。

¹² 容量提供事業者が託送契約（接続供給契約・発電量調整供給契約等）を締結していない場合、託送契約等を締結している事業者から発電実績の提供を受ける環境を整えていただく必要があります。一般送配電事業者から各地点の発電実績を取得できるのは、託送契約等を締結している事業者であり、容量提供事業者が託送契約等を締結していない場合、一般送配電事業者から発電実績を取得することはできません。

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください（図 2-18、表 2-7 参照）。

		実需給年度 2024												
		対象月 4												
		日付												
		ピークコマ												
No.	受電地点特定番号(22桁)	0401	0402	0403	0404	0405	0406	0407	0408	0409	0410	0411	0412	0413
		25	24	26	23	22	25	24	16	25	24	26	23	22
		発電量調整受電電力量 (kW)												
1	1234567890123456789012	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2	1234567890123456789013	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
3	1234567890123456789014	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
4	1234567890123456789015	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
5	1234567890123456789016	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
6	1234567890123456789017	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
7	1234567890123456789018	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
8	1234567890123456789019	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
9	1234567890123456789020	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
10	1234567890123456789021	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
11	1234567890123456789022	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
12	1234567890123456789023	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
13	1234567890123456789024	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
14	1234567890123456789025	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
15	1234567890123456789026	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
16	1234567890123456789027	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

図 2-18 発電量調整受電電力量（リソース毎）の Excel イメージ

表 2-7 発電量調整受電電力量（リソース毎）Excel の記載項目

No	項目	留意点
1	実需給年度	半角数字で入力してください
2	対象月	半角数字で入力してください
3	日付	自動入力
4	ピークコマ	各日でアセスメント対象コマとなるコマを記載してください
5	受電地点特定番号	サンプルチェック対象となった変動電源（アグリゲート）を構成するリソースの受電地点特定番号を記載してください
6	発電量調整受電電力量 (kW)	各日のピークコマにおける、各リソースの発電量調整受電電力量 (kW) ¹³ を記載してください

発電量調整受電電力量（リソース毎）の Excel ファイルに必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください。なお、リソース数が 10,000 件を超える場合、又は、ファイルサイズが 20MB を超える場合は、登録内容を分割し、登録してください。

¹³ 単位は [kW] でお願いいたします。ご注意ください。

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_電源等識別番号_A枝番（ファイルを分割して登録する場合のみ）_R更新回数(更新した場合のみ).xlsx」としていただきます。

例) ファイルを分割しない（リストが1個のファイルになる）、初回の登録の場合

202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_0123456789.xlsx
実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号

1回目の更新の場合

202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_0123456789_R1.xlsx
R更新回数

例) ファイルを分割する（リストが2個以上のファイルになる）、初回の登録の場合

1個目 202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_0123456789_A1.xlsx
実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号 A枝番

2個目 202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_0123456789_A2.xlsx
実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号 A枝番

1回目の更新の場合

1個目 202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_0123456789_A1_R1.xlsx
実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号 A枝番 R更新回数

2個目 202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_0123456789_A2_R1.xlsx
実需給年度・対象月 ファイル種別 電源等識別番号 A枝番 R更新回数

容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」リンクをクリックして、「発電量調整受電電力量登録値一覧画面」へ進んでください。

「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「電源等識別番号」をクリックし、「発電量調整受電電力量登録値詳細画面」へ進んでください。「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい発電量

第2章 算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録

調整受電電力量（リソース毎）の Excel ファイルを選択してください。発電量調整受電電力量（リソース毎）の Excel ファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。なお、この操作では、発電量調整受電電力量（リソース毎）の Excel ファイルが容量市場システムに登録されるだけであり、発電量調整受電電力量登録値詳細画面でのコマごとの登録情報[kW]に反映されるわけではありません。

注：発電量調整受電電力量（リソース毎）の提出について、対象実需給年度 2025 年度まではメールでの提出となっておりましたが、今後、容量市場システムの改修を実施し容量市場システム上で登録いただく形となります。

容量市場システムの画面イメージを含む登録方法については、2026 年度開始前までに更新いたしますので、今後公表予定の業務マニュアルをご確認ください。

2.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応

本節では、発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応について以下の流れで説明します（図 2-19 参照）。

2.2.1 発電量調整受電電力量の修正

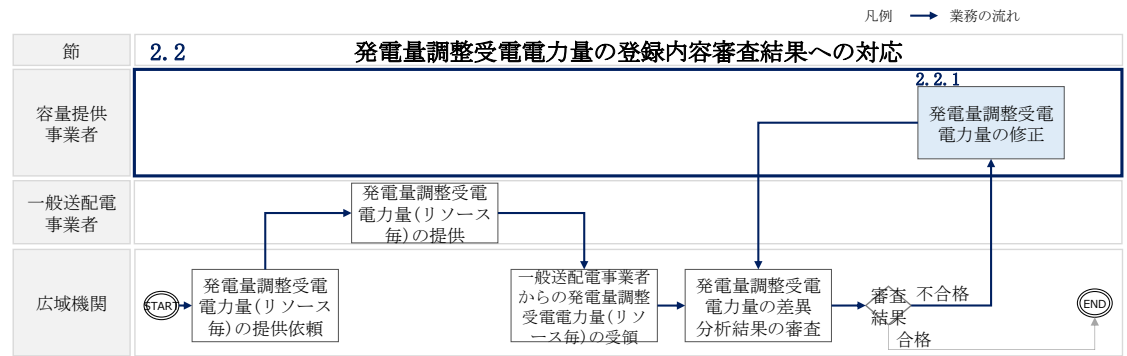


図 2-19 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応の詳細構成

2.2.1 発電量調整受電電力量の修正

本項では、発電量調整受電電力量の修正について説明します（図 2-20 参照）。

2.2.1.1 発電量調整受電電力量の修正

2.2.1 発電量調整受電電力量の修正

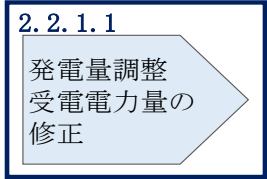


図 2-20 発電量調整受電電力量の修正の手順

2.2.1.1 発電量調整受電電力量の修正

発電量調整受電電力量の登録内容審査結果が不合格の場合は、不合格通知がメールで容量市場システム登録のメールアドレス宛に送付されます（表 2-8 参照）。審査結果内容を確認し、発電量調整受電電力量（リスト合計）及び発電量調整受電電力量（リソース毎）を修正のうえ、『2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』、『2.1.3.1 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録』を参照して、発電量調整受

電電力量（リスト合計）及び発電量調整受電電力量（リソース毎）を修正登録してください。

発電量調整受電電力量（リスト合計）及び発電量調整受電電力量（リソース毎）の修正登録期限は対象実需給月+2月の第16営業日となります。

注：上記の修正登録期限若しくは、本機関が指定する修正登録期限を過ぎても発電量調整受電電力量（リソース毎）がアセスメント算定までに修正登録されない場合、発電量調整受電電力量（リスト合計）が未登録だった場合と同様に取り扱います。

表 2-8 発電量調整受電電力量審査結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】発電量調整受電電力量審査結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>以下の電源等の発電量調整受電電力量の審査結果が不合格となりました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【審査対象年度】 YYYY</p> <p>【審査対象年月】 YYYY/MM</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】 XXXX</p> <p>後続業務の対応方法、対応期日につきましては、容量市場業務マニュアルをご参照ください。</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

2.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

本節では、差替先電源情報に係る整合性審査¹⁴結果への対応について以下の流れで説明します（図 2-21 参照）。

2.3.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録

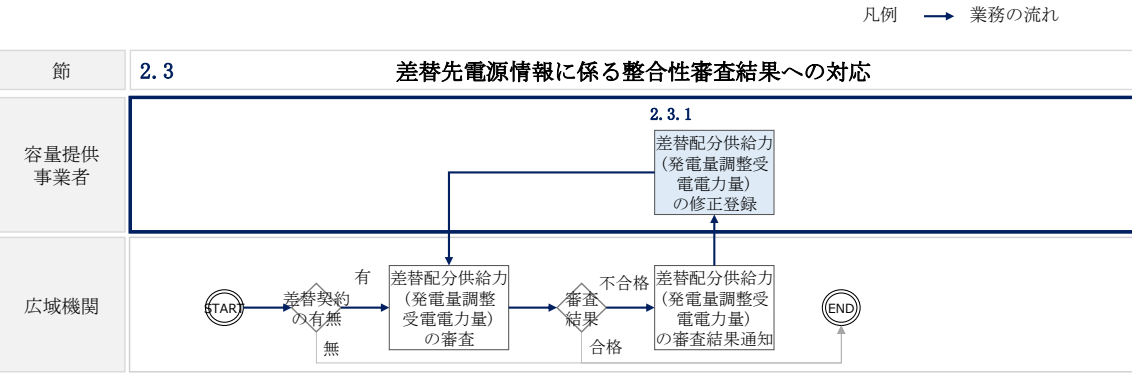


図 2-21 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成

2.3.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録

本項では、差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録について説明します（図 2-22 参照）。

2.3.1.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録

2.3.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録

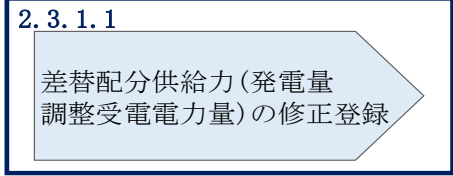


図 2-22 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録の手順

¹⁴ 差替元が登録した差替先の発電量調整受電電力量と差替先が登録した発電量調整受電電力量が整合しているかを、本機関が審査します。

2.3.1.1 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録

差替先電源情報に係る整合性審査結果が不合格の場合は、不合格通知が容量市場システムに登録しているメールアドレス宛に本機関担当者よりメールで送付されます。審査結果内容を確認し、差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））を修正のうえ、『2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』を参照して差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））を修正登録してください。

差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の修正登録の期限は対象実需給月+2月の第13営業日となります。

注：上記の修正登録期限を過ぎても差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））がアセスメント算定までに修正登録されない場合、発電量調整受電電力量が未登録だった場合と同様に取り扱います。

第3章 アセスメント結果への対応（容量停止計画（変動（アグリゲート）））

本章では、アセスメント結果への対応（容量停止計画（変動（アグリゲート）））に関する以下の内容について説明します（図 3-1 参照）。

3.1 容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手続き

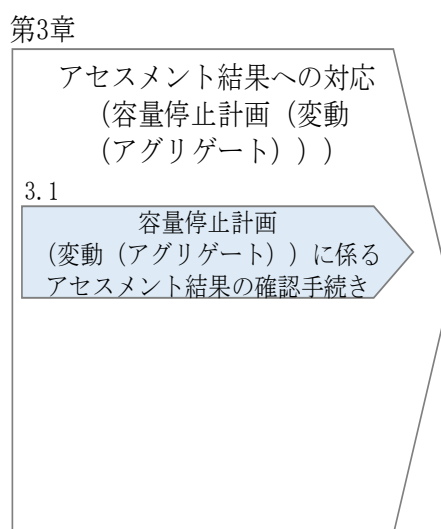


図 3-1 第3章の構成

注1：リクワイアメント対象となる電源について

容量停止計画（変動（アグリゲート））のリクワイアメントは、変動電源（アグリゲート）が対象となります。

注2：アセスメントの基準について

容量提供事業者は、実需給期間中において、電源が供給力を提供できる状態に維持することを原則とします。

- ・ 本機関は、日単位の発電実績（48 コマ）の最大値が、アセスメント対象容量以上となっていることを確認します。リクワイアメント未達成コマは、小数点以下第 16 位まで計算しています（ペナルティ倍率を乗じる前の段階で、コマごとに小数点以下第 17 位を四捨五入して算出）。
 - 発電実績（48 コマ）の最大値が、アセスメント対象容量以上となっている場合、当該日（48 コマ）の全てをリクワイアメント達成とします。
 - 発電実績（48 コマ）の最大値が、アセスメント対象容量未満となっている場

合、当該日（48 コマ）の全てをリクワイアメント未達成とします。

- ・ 電源の維持・運営に必要な作業及びその他要因に伴い電源等が停止又は出力低下する場合であっても、変動電源（アグリゲート）については、容量停止計画の提出は必要ありません。
- ・ 容量提供事業者は、自らがアグリゲートした小規模変動電源の発電実績の総量を、容量市場システムに提出してください。
- ・ 低予備率アセスメント対象コマ¹⁵への該当の有無により、リクワイアメント未達成コマが5倍カウント（ペナルティ倍率）〈注3〉されるコマが発生する場合があります。

注3：ペナルティリクワイアメント未達成コマが5倍カウントとなるケース（ペナルティ倍率）

- ・ 当該コマが「低予備率アセスメント対象コマ」に該当する時：5倍カウント
※上記以外は1倍カウント

注4：アセスメントの算定方法について

容量停止計画におけるアセスメントの具体的な算定方法は、以下で表されます。

【対象の電源が電源等差替を実施していない場合】

- ・ 発電量調整受電電力量を確認します。1～48 コマの中の発電量調整受電電力量の最大値が、アセスメント対象容量を下回る場合、当該コマにおける未達成率に48及びペナルティ倍率を乗じたコマ数「 $\left(\frac{\text{アセスメント対象容量} - 1 \sim 48 \text{ コマまでの発電量調整受電電力量の最大値}}{\text{アセスメント対象容量}} \times ((48 \text{ コマ} - \text{低予備率アセスメント対象コマ数}) \times 1 + \text{低予備率アセスメント対象コマ数} \times 5) \right)$ 」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

【対象の電源が差替元として電源等差替を実施している場合（図 3-2 参照）】

- ・ 差替元、差替先個別に未達成コマを計算します。
- ・ ただし、1～48 コマの中で差替元の発電量調整受電電力量と差替先から配分された発電量調整受電電力量を合算した値が最大となるコマ（以下、合算値最大コマ）の発電量調整受電電力量を用いて、それぞれリクワイアメント未達成コマを算出します。なお、差替元の発電量調整受電電力量と差替先から配分された発電量調整受電電力量の合算値が最大であれば、差替先、あるいは差替元電源の発電量調整受電電力量がそれぞれ最小値でも当該コマの値を用いてリクワイアメント未達成コマを算出します。

¹⁵ 前日以降の需給バランス評価で広域予備率低下に伴う供給力提供の周知対象となったコマ

<差替元電源>

- ・ 発電量調整受電電力量を確認します。
- ・ 合算値最大コマにおける未達成率に48及びペナルティ倍率を乗じたコマ数「 $\left(\left(\text{差替元のアセスメント対象容量}^1 - \text{合算値最大コマの差替元の発電量調整受電電力量} \right) / \text{アセスメント対象容量}^2 \right) \times \left((48 \text{ コマ} - \text{低予備率アセスメント対象コマ数}^3) \times 1 + \text{低予備率アセスメント対象コマ数}^3 \times 5 \right)$ 」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

¹ 差替元のアセスメント対象容量 = (差替元の月別アセスメント対象容量 - 差替先としての月別の差替容量)

² アセスメント対象容量 = 差替元の月別アセスメント対象容量

³ 差替元電源が存在するエリアの需給状況に応じて決定

<差替先電源>

- ・ 発電量調整受電電力量を確認します。
- ・ 合算値最大コマにおける未達成率に48及びペナルティ倍率を乗じたコマ数「 $\left(\left(\text{差替先のアセスメント対象容量}^1 - \text{合算値最大コマの差替先から配分された発電量調整受電電力量} \right) / \text{アセスメント対象容量}^2 \right) \times \left((48 \text{ コマ} - \text{低予備率アセスメント対象コマ数}^3) \times 1 + \text{低予備率アセスメント対象コマ数}^3 \times 5 \right)$ 」をリクワイアメント未達成コマ数としてカウントします。

¹ 差替先のアセスメント対象容量 = 差替先としての月別の差替容量

² アセスメント対象容量 = 差替元の月別アセスメント対象容量

³ 差替先電源が存在するエリアの需給状況に応じて決定

<差替元と差替先のリクワイアメント未達成コマの合算>

差替元と差替先のリクワイアメント未達成コマを合算します。

<リクワイアメント未達成コマの累積>

- 電源のリクワイアメント未達成コマをカウントしたのち、当該実需給年度のすべての未達成コマ数を合算します。
- 合算する際は、各コマにおけるペナルティ倍率を乗じたものを合算します。

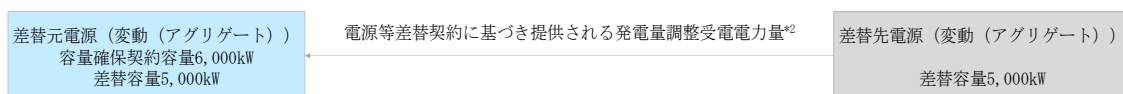
(例)

アセスメント対象月が6月の場合は、4月～6月までのリクワイアメント未達成コマを累積します。

4月：1,440 コマ

5月：2,000 コマ
6月：1,488 コマ
累積：4,928 コマ

アセスメント対象電源のリクワイアメント未達成コマ総数が 8,640 コマ（180 日相当）を超過した場合、超過分のリクワイアメント未達成コマに対して経済的ペナルティが科されます。



ペナルティ倍率5倍コマ		1～16コマ	17コマ	18コマ	19コマ	20～48コマ
低予備率アセスメント 対象コマへの該当の 有無	差替元	平常時				
	差替先	平常時	低予備率アセスメント 対象コマ		低予備率アセスメント 対象コマ	平常時
アセスメント対象容量	差替元	1,000kW(差替元の月別アセスメント対象容量－差替先としての月別の差替容量)				
	差替先	5,000kW(差替先としての月別の差替容量)				
発電量調整受電電力量	差替元	0kW	0kW	500kW	1,000kW	0kW
	差替先	0kW	2,000kW	0kW	500kW	0kW
リクワイアメント 未達成コマ	差替元	8.0コマ = (1,000 - 0 ^{*1}) / 6,000 × (48コマ × 1倍)				
	差替先	28コマ = (5,000 - 2,000 ^{*1}) / 6,000 × (46コマ × 1倍 + 2コマ × 5倍)				
差替元のリクワイアメント 未達成コマ(合計)		36.0コマ = 8.0コマ + 28コマ				

*2: 差替先の電源等区分に関わらず、発電量調整受電電力量を登録する

図 3-2 容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント算定の例（対象の電源が差替元として電源等差替を実施している場合）

3.1 容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認
手続き

本節では、容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手
続きについて以下の流れで説明します（図 3-3 参照）。

- 3.1.1 アセスメント結果の確認
- 3.1.2 異議申立
- 3.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認
- 3.1.4 確定したアセスメント結果の受領

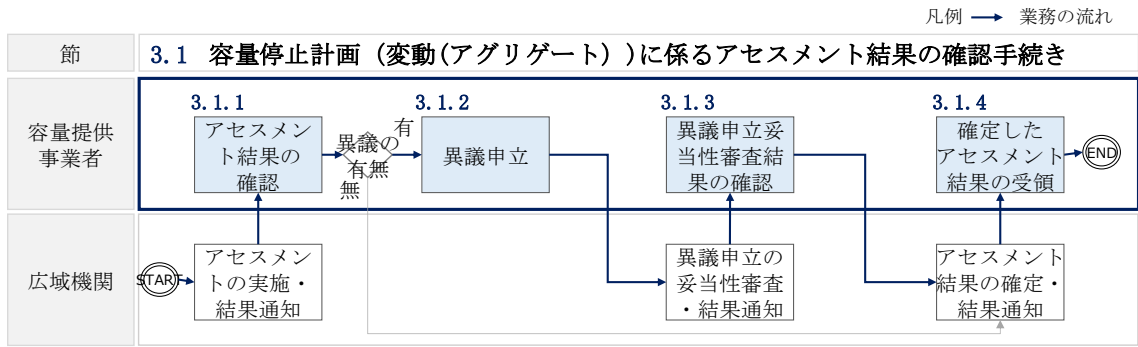


図 3-3 容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手続きの
詳細構成

3.1.1 アセスメント結果の確認

本項では、アセスメント結果の確認について説明します（図 3-4 参照）。

3.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の受領

3.1.1 アセスメント結果の確認

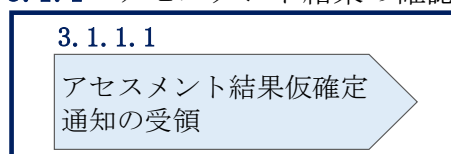


図 3-4 アセスメント結果の確認の手順

3.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の受領

アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください（表 3-1 参照）

¹⁶。

本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したこととなりますので、「仮算定」＝「仮確定」とご理解ください。

¹⁶ リクワイアメント未達成が発生していた場合のみメールが送付されます。

表 3-1 リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】 YYYY</p> <p>【算定対象年月】 YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】 容量停止計画（変動アグリ）</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」から「アセスメント管理（共通）」、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」リンクの順にクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者ごと） - 発動指令以外」へ進んでください。

「アセスメント種別」にて「容量停止計画（変動アグリ）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（事業者ごと）（容量停止計画（変動アグリ）」（検索

アセスメント結果に対して異議がない場合においては、『3. 1. 4. 1 確定したアセスメント結果の受領』へ進み、確定したアセスメント結果を確認してください。

図 3-5 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）の画面イメージ

3.1.2 異議申立

本項では、異議申立について説明します（図 3-6 参照）。

3.1.2.1 異議申立

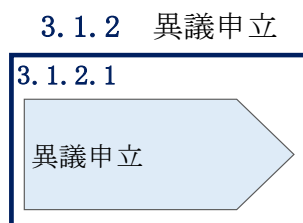


図 3-6 異議申立の手順

3.1.2.1 異議申立

アセスメント結果に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における必要事項を記載のうえ、所定の宛先に新規メールに添付して送信してください（表 3-2 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

[https://www.occto.or.jp/market-](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html)

[board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html](https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html) からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

必要に応じて異議申立の根拠となる資料を添付してください。

異議申立がない場合は、『3.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領』へ進んでください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日及び本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 3-2 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象) 【XXXX (事業者コード) ¹⁷ 】 アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none">・ 事業者名称及び担当者名・ 対象実需給年度・ 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none">・ アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット (異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載)・ 異議申立の根拠となる資料 (必要に応じて)

¹⁷ 自身の事業者コードを記入してください。

3.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 3-7 参照）。

3.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

3.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認

3.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

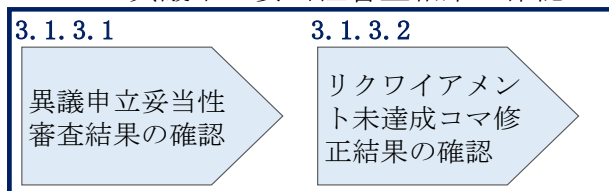


図 3-7 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

3.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

アセスメント結果仮確定に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果を容量市場システムに登録したメールアドレス宛にメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果の詳細を確認する場合は、『3.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の受領』を参照してください。

審査結果が合格の場合、『3.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認』を参照してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

3.1.3.2 リクワイアメント未達成コマ修正結果の確認

異議申立妥当性審査結果が合格の場合、本機関にて異議申立内容に基づいてリクワイアメント未達成コマを修正します。修正後に、容量市場システムに登録したメールアドレス宛に確認依頼のメールが送付されますので、内容を確認してください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとのリクワイアメント未達成コマを確認してください（図 3-8 参照）。

図 3-8 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）の画面イメージ

3.1.4 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します（図 3-9 参照）。

3.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

3.1.4 確定したアセスメント結果の受領

3.1.4.1

確定した
アセスメント
結果の受領

図 3-9 確定したアセスメント結果の受領の手順

3.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、アセスメント結果を確定した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、『3.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の受領』を参照し、内容を確認してください（表 3-3 参照）。

注：アセスメント結果に対して異議申立を行わなかった場合でも本手順を参照し、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

表 3-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の確定通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】 YYYY</p> <p>【算定対象年月】 YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】 容量停止計画（変動アグリ）</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

Appendix.1 図表一覧

図 1-1	本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ.....	4
図 1-2	電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル.....	7
図 1-3	電源等差替を実施している事業者が確認すべきマニュアル.....	8
図 1-4	本業務マニュアルの構成.....	9
図 1-5	変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧.....	10
図 2-1	第2章の構成.....	12
図 2-2	発電量調整受電電力量の登録の詳細構成.....	13
図 2-3	発電量調整受電電力量の登録の手順.....	13
図 2-4	アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））.....	15
図 2-5	一括登録・変更画面の画面イメージ.....	18
図 2-6	一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ（1）.....	19
図 2-7	一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ（2）.....	19
図 2-8	エラー情報の CSV イメージ.....	19
図 2-9	アセスメント算定諸元詳細画面とアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計）） CSV ファイルの比較イメージ.....	22
図 2-10	差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録の手順.....	23
図 2-11	差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計）） CSV イメージ.....	24
図 2-12	一括登録・変更画面の画面イメージ.....	27
図 2-13	一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ（1）.....	29
図 2-14	一括登録・変更結果確認画面の画面イメージ（2）.....	29
図 2-15	エラー情報の CSV イメージ.....	29
図 2-16	差替配分供給力詳細画面と差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計）） CSV ファイルの比較イメージ.....	31
図 2-17	発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録の手順.....	32
図 2-18	発電量調整受電電力量（リソース毎）の Excel イメージ.....	33
図 2-19	発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応の詳細構成.....	36
図 2-20	発電量調整受電電力量の修正の手順.....	36
図 2-21	差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応の詳細構成.....	39
図 2-22	差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の修正登録の手順.....	39
図 3-1	第3章の構成.....	41
図 3-2	容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント算定の例（対象の.....）.....	44
図 3-3	容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手続き	

の詳細構成	45
図 3-4 アセスメント結果の確認の手順.....	46
図 3-5 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）の画面イメージ	48
図 3-6 異議申立の手順.....	49
図 3-7 異議申立妥当性審査結果の確認の手順.....	51
図 3-8 アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）の画面イメージ	52
図 3-9 確定したアセスメント結果の受領の手順.....	53
表 1-1 リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））業務のスケジュール...	5
表 2-1 アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV の記載項目	15
表 2-2 一括登録・変更画面の入力項目.....	18
表 2-3 一括登録・変更の CSV ファイル登録結果通知メールイメージ.....	20
表 2-4 電源等差替を実施している場合の発電量調整受電電力量の登録対象.....	23
表 2-5 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））CSV の記載項目	25
表 2-6 一括登録・変更画面の入力項目.....	27
表 2-7 発電量調整受電電力量（リソース毎）Excel の記載項目	33
表 2-8 発電量調整受電電力量審査結果通知メールイメージ.....	38
表 3-1 リクワイアメント未達成量の仮算定完了通知メールイメージ.....	47
表 3-2 アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係るメールの記載項目	50
表 3-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ.....	54

Appendix.2 業務手順全体図

業務手順全体図については、別紙（「容量市場業務マニュアル_実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編_Appendix_業務手順全体図」）参照のこと。

なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、業務手順全体図に記載をしております。業務手順全体図では、対象実需給月をN月としております。

Appendix.3 実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集

No.	用語	意味	記載箇所(一例)
1	最新回次	容量市場システムに登録された算定諸元や容量市場システム内で算定されたアセスメント算定結果のうち、同一条件の範囲内で最も直近に登録又は算定されたものを意味する。 このため、同一の実需給年月に複数回の登録や算定が実施された場合は、基本的に検索画面上で最新回次を指定して検索を実施する。	2.1.1.2 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録結果の確認
2	アセスメント算定諸元	本機関がアセスメントを実施するために必要となる諸元 例：安定電源・変動電源（単独）に対する容量停止計画のアセスメント算定においては、容量停止計画、発電計画、発電上限等が該当する。また、変動電源（アグリゲート）に対する容量停止計画のアセスメント算定においては、発電量調整受電電力量が該当する。	2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録
3	発電量調整受電電力量	受電地点において、一般送配電事業者が発電契約者から受電する発電量調整供給に係る電気の電力量	2.1.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録
4	差替配分供給力	差替先電源から差替元電源に対して配分された供給力	2.1.2.1 差替先に係る発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録
5	アセスメント種別	容量を提供する電源等の区分に応じて科せられるリクワイアメント・アセスメントの種類 例：容量停止計画（安定・変動単独）、容量停止計画（変動アグリ）、市場応札、供給指示	3.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の受領
6	（アセスメント結果の）仮確定	アセスメントの算定結果を容量提供事業者へ通知するため、本機関にてアセスメント結果を暫定的に決定すること	3.1.1.1 アセスメント結果仮確定通知の受領

7	（アセスメント結果の）確定	アセスメントの後続業務となるペナルティ算定に進むため、容量提供事業者の確認結果を踏まえて本機関にてアセスメント結果を確定すること	3.1.4.1 確定したアセスメント結果の受領
---	---------------	--	-------------------------

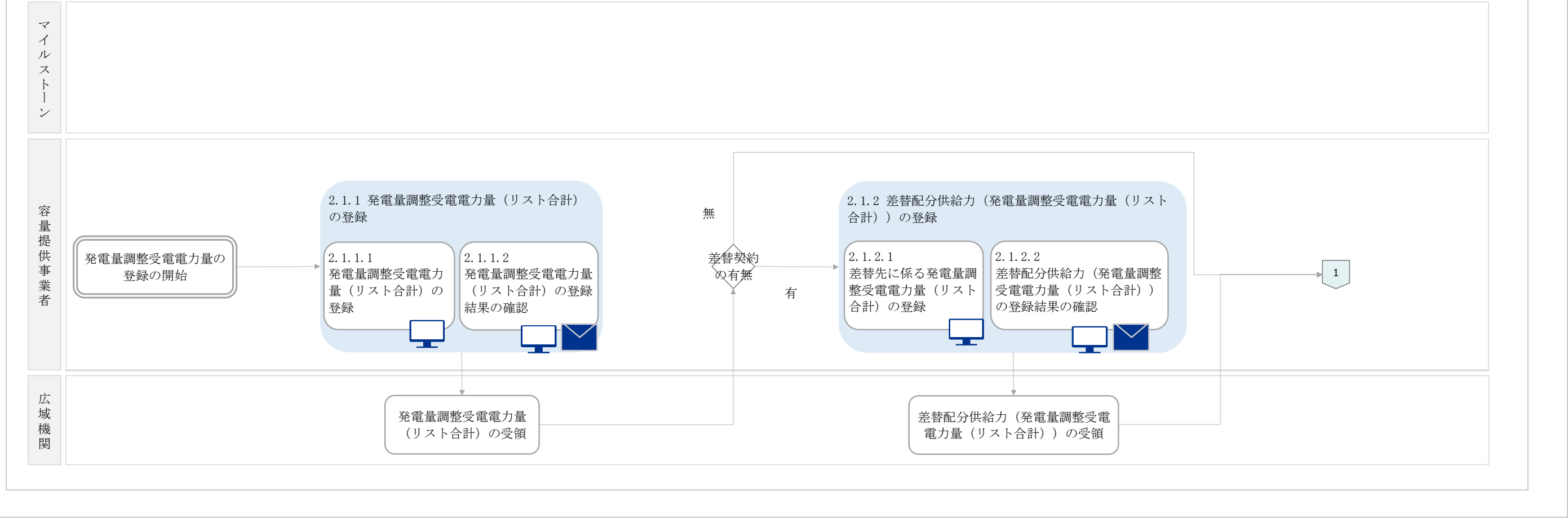
凡例

容量市場システム操作

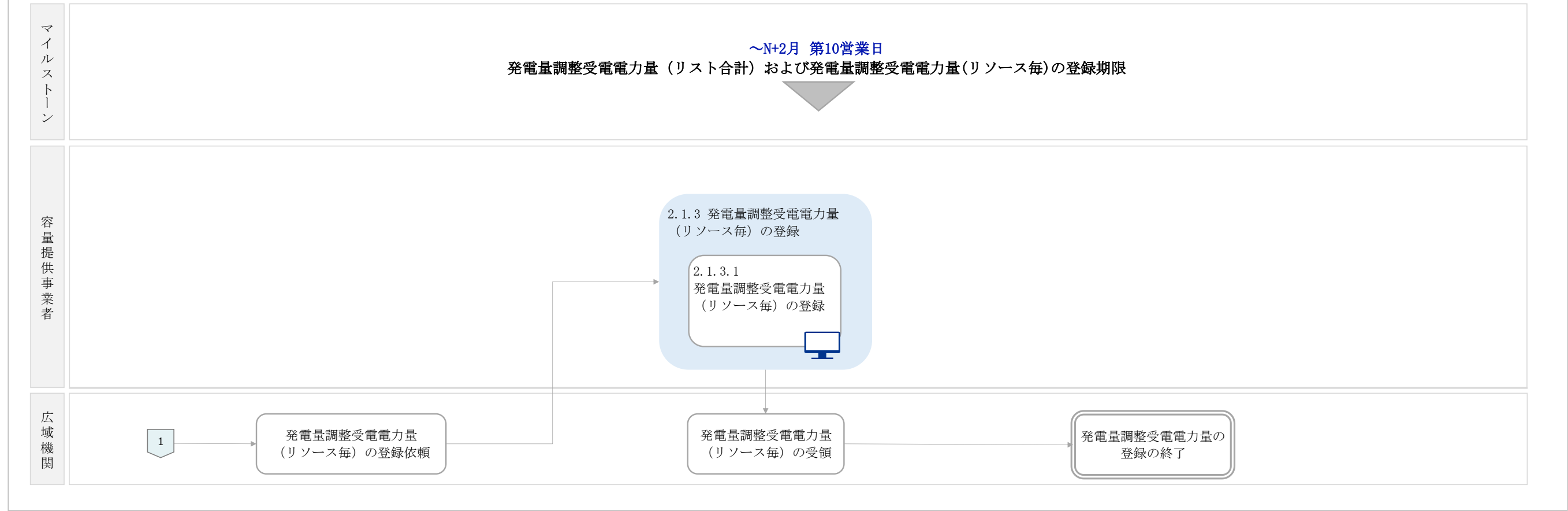
メール通知

第2章：算定諸元登録（発電量調整受電電力量）

2.1 発電量調整受電電力量の登録



2.1 発電量調整受電電力量の登録



2.2 発電量調整受電電力量の登録内容審査結果への対応



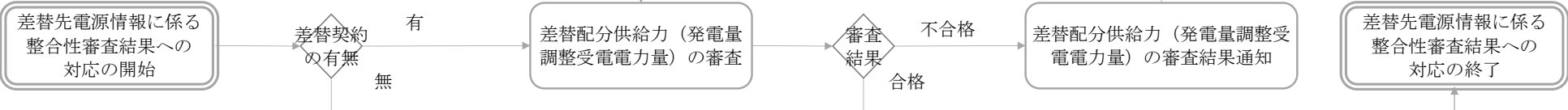
2.3 差替先電源情報に係る整合性審査結果への対応

マイルストーン

容量提供事業者


広域機関

～N+2 第13営業日
差替配分供給力(発電量調整受電電力量)の修正登録期限



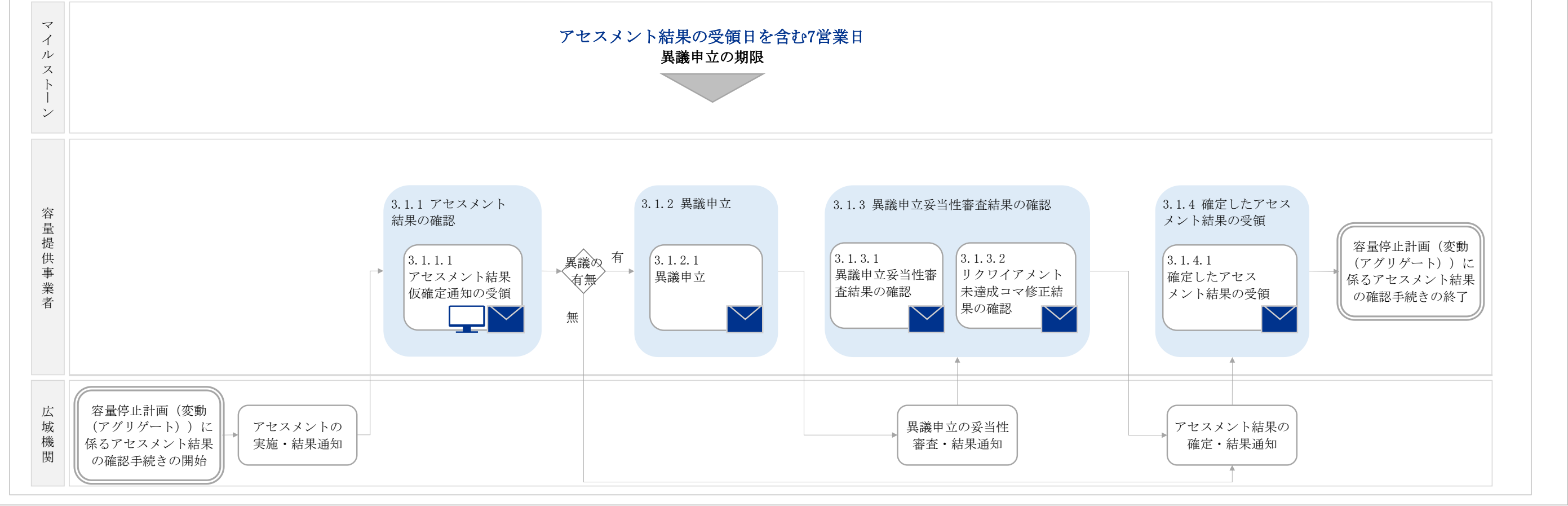
凡例

 容量市場システム操作

 メール通知

第3章：アセスメント結果への対応（容量停止計画（変動（アグリゲート）））

3.1 容量停止計画（変動（アグリゲート））に係るアセスメント結果の確認手続き



容量市場
業務マニュアル
実需給期間中
リクワイアメント対応
(発動指令電源) 編
(対象実需給年度：2026 年度)

2025 年 12 月 25 日 第 1 版 発行

電力広域的運営推進機関

(変更履歴)

	変更点		日付
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025 年 12 月 25 日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章	はじめに	4
1.1	本業務マニュアルの対象事業者.....	6
1.2	本業務マニュアルの構成.....	8
1.3	容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧.....	9
1.4	発動指令電源に係るリクワイアメントの概要説明.....	10
1.5	リクワイアメントを遵守するにあたっての補足説明事項.....	12
第2章	算定諸元登録（発動実績）	15
2.1	発動指令回数の実績確認.....	17
2.2	ベースライン・発動実績の算定と登録.....	19
第3章	アセスメント結果への対応（発動指令）	36
3.1	発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き.....	38
Appendix.1	様式一覧.....	50
Appendix.2	図表一覧.....	54
Appendix.3	業務手順全体図.....	55
Appendix.4	実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集.....	56

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（発動指令電源）編（以下、本業務マニュアル）は、電力広域的運営推進機関（以下、本機関）の業務規程（第32条の5）の規定に基づき作成された文書です。

本業務マニュアルは実需給期間の直前から実需給期間にかけて実施する業務のうち、リクワイアメント・アセスメントに係る容量提供事業者が実施すべき業務手順やシステム¹の操作方法²が記載されています（図 1-1 参照）。

なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、『Appendix.3 業務手順全体図』に記載をしております。

容量提供事業者が提供する電源の電源等区分によって課せられるリクワイアメント・アセスメントの種類が異なるため、業務マニュアルは電源等区分ごとに作成しています。

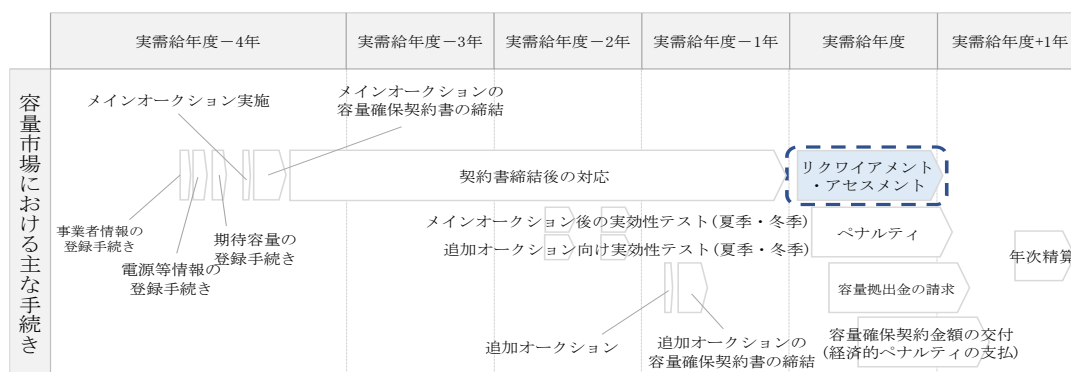


図 1-1 本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ

¹ 容量市場システムは、容量市場における容量オークション等への参加を希望する本機関会員、その他電気供給事業者の情報を適切に把握し、円滑な市場運営を行うために必要な機能を備えた情報処理システムです。

² 本業務マニュアルに記載している容量市場システムの機能は一部であり、その他の機能は必要に応じて容量市場システムマニュアルを参照してください。

対象実需給月を N 月とした場合の、リクワイアメント対応（発動指令電源）業務のスケジュールは、以下の通りとなります。

表 1-1 リクワイアメント対応（発動指令電源）業務の主なスケジュール

項目（参照箇所）	時期	概要
ベースライン算定における経済 DR 実施日の除外申請（『2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』）	～N+1 月末日	電力需給ひっ迫注意報、警報の発令期間中、又は広域予備率低下に伴う供給力提供通知がされた日において経済 DR を実施した場合、ベースライン算定から経済 DR 実施日を除外するための申請を行っていただきます。
ベースライン・発動実績の登録（『2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』）	～N+2 月第 10 営業日	電源又は需要抑制のベースライン・発動実績の登録を行っていただきます。
アセスメント結果仮確定に対する異議申立（『3.1 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き』）	アセスメント結果の受領日を含む 7 営業日	発動実績の突合結果・アセスメント結果に異議がある場合に、異議申立を行っていただきます。
ベースライン・発動実績の修正登録（『3.1 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き』）	～N+3 月第 10 営業日	ベースライン・発動実績に修正が必要な場合に、修正登録を行っていただきます。

具体的なリクワイアメント対応（発動指令電源）業務に関しては第 2 章以降に記載しておりますが、本章で説明する以下の 1.1～1.3 も確認してください。

1.1 本業務マニュアルの対象事業者

1.2 本業務マニュアルの構成

1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

1.1 本業務マニュアルの対象事業者

本業務マニュアルの対象事業者は、実需給 2026 年度期間中の容量オークションに落札した発動指令電源を提供する容量提供事業者、若しくは電源等差替により発動指令電源に対する差替先となった電源を提供する事業者です。電源等差替を実施していない容量提供事業者を対象としたマニュアル、電源等差替を実施している差替先・差替元の事業者を対象としたマニュアルをそれぞれ一覧化しておりますので、ご確認ください（図 1-2、図 1-3 参照）。電源等差替により発動指令電源に対する差替先となった電源を提供する事業者が確認すべき具体的な箇所は、第2章『算定諸元登録（発動実績）』です。

なお、発動指令電源の差替先事業者が容量確保契約を締結していない場合は、差替元電源区分に係る業務マニュアルを確認していただく必要があります。

○：確認が必要

電源等区分	業務マニュアル			
	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (安定電源)編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(単独))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(アグリゲート))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (発動指令電源)編
安定電源	○	－	－	－
変動電源(単独)	－	○	－	－
変動電源(アグリゲート)	－	－	○	－
発動指令電源	－	－	－	○

図 1-2 電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル

○：全編確認が必要
△：一部確認が必要

事業者 区分	差替先電源の 電源等区分	差替元電源の 電源等区分	業務マニュアル			
			業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (安定電源)編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(単独))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (変動電源(アグリゲート))編	業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応 (発動指令電源)編
差替元 事業者	-	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	-	○
差替先 事業者	安定電源	安定電源	○	-	-	-
		変動電源(単独)	○	△	-	-
		変動電源(アグリゲート)	○	-	△	-
		発動指令電源	○	-	-	△
	変動電源(単独)	安定電源	△	○	-	-
		変動電源(単独)	-	○	-	-
		変動電源(アグリゲート)	-	○	△	-
		発動指令電源	-	○	-	△
	変動電源 (アグリゲート)	安定電源	△	-	○	-
		変動電源(単独)	-	△	○	-
		変動電源(アグリゲート)	-	-	○	-
		発動指令電源	-	-	○	△
	発動指令電源	安定電源	△	-	-	○
		変動電源(単独)	-	△	-	○
		変動電源(アグリゲート)	-	-	△	○
		発動指令電源	-	-	-	○

図 1-3 電源等差替を実施している事業者が確認すべきマニュアル

1.2 本業務マニュアルの構成

本業務マニュアルにおける章の構成は以下の通りです（図 1-4 参照）。

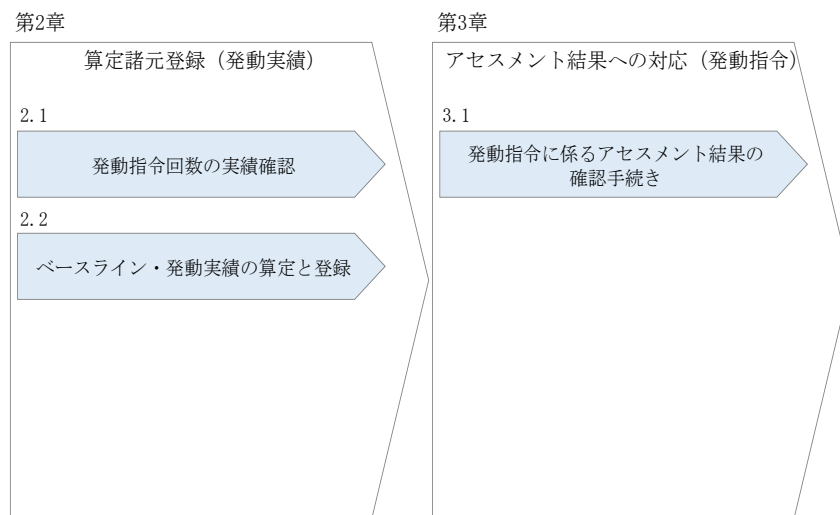


図 1-4 本業務マニュアルの構成（第1章除く）

アセスメントに必要となる算定諸元の登録手続きは第2章、実際のアセスメント業務の実施に係る異議申立等の手順は第3章を参照してください。

1.3 容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧

発動指令電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたり、容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元について、一覧化しておりますのでご確認ください（図 1-5 参照）。

容量提供事業者が電源等差替を行っていない場合

登録主体	発動実績
容量提供事業者	・落札した電源等リストおよびリソースの全量

容量提供事業者が電源等差替を行った場合

登録主体	発動実績
差替元電源等提供者	部分差替の場合
	・差替元の電源等リストおよびリソースの全量 ・差替先電源から差替元電源に配分された量の電源等リストおよびリソース
差替元電源等提供者	全量差替の場合
	・差替先電源から差替元電源に配分された量の電源等リストおよびリソース

電源等差替により差替先電源等提供者となった場合

登録主体	発動実績
差替先電源等提供者	登録不要 ※差替先電源から差替元電源に配分した量の電源等リストおよびリソースの発動実績の差替元電源等提供者への提出は必要

図 1-5 発動指令電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等が登録・提出すべき算定諸元の一覧³

注：容量市場システムの稼働時間は原則、平日及び休日にあたる火曜日 9 時～18 時となっております。

³ 本業務マニュアルでは、事業者が容量市場システム上にアップロードする算定諸元については「算定諸元の登録」、事業者がメールにて本機関に送付する算定諸元については「算定諸元の提出」と表記をしています。

1.4 発動指令電源に係るリクワイアメントの概要説明

本節では、発動指令電源に係る実需給期間中のリクワイアメント概要を説明します。

1.4.1 発動指令への対応

本項では、発動指令への対応について説明します。

1.4.1.1 属地一般送配電事業者からの発動指令

1.4.1.2 供給力の提供

1.4.1.3 発動実績の算定と実績報告

1.4.1.1 属地一般送配電事業者からの発動指令

年間12回を上限として、属地一般送配電事業者から発動指令が発令されます。
指令時間などの詳細については、『1.5 リクワイアメントを遵守するにあたっての補足説明事項』を確認してください。

1.4.1.2 供給力の提供

属地一般送配電事業者から発動指令が発令された場合、容量提供事業者は発動指令電源を適切に発動し、供給力を提供してください。供給力の提供にあたっては、相対契約に基づく小売電気事業者等への供給や卸電力市場への市場応札を適切に実施してください。

ただし、発動指令電源の電源等リストに含まれるリソースに関して、属地一般送配電事業者からの発動指令が発令された時間帯（コマ）と需給調整市場で約定している時間帯（コマ）が一部でも重複している場合、当該重複コマに対して、当該リソースは需給調整市場における調整力指令に従ってください。その結果、当該リソースを含む電源等リストの発動実績がアセスメント対象容量を下回った要因について、調整力指令の影響であることが合理的に説明できる場合は、当該重複コマに関してリクワイアメントを満たしているものとみなします。

注：発動指令電源の計画提出及び精算単価について

発動指令後、相対契約に基づく小売電気事業者等への供給や卸電力市場等に入札する場合、供給量確定前・市場約定前であっても発電計画値及び需要抑制計画値を速やかに変更してください。

発動指令電源のうち需要抑制リソースについては、本機関に提出する需要抑制計画の内訳に、電源等リスト単位で、「該当する需要抑制リソースの抑制計画値の合計値」、「該当する需要抑制リソースのベースラインの合計値」、「該当する需要抑制リソースの供給地点特定番号のうち最も若い番号」を記載してください。

上記の需要抑制計画の内訳への記載は発動指令がない場合においても実施していただきますようお願いいたします。

※詳細は「2024 年度以降の発電計画値・発電上限値に関する事業者説明会資料（2024 年 7 月 31 日更新版）」及び「発電計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（計画値同時同量編）記載要領」、「需要抑制計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格 記載要領」をご確認ください。

また、発動指令電源のリクワイアメントにおいて、相対契約又は卸電力市場等を通じて小売電気事業者へ供給力を提供することとしています。適切に入札した結果、未約定となった場合、未約定分についてはインバランスとして扱います。

ただし、以下のリソースにおける OP 等の増出力分は、属地一般送配電事業者と調整力精算とします。

- ① 余力活用契約を締結している 1 地点複数応札のリソース
- ② 需給調整市場との同時約定をしていた 1 地点複数応札のリソース

なお、本機関では、事業者による適切な計画作成・提出を促すべく、計画値と実績値の差異（インバランス）を生じさせている事業者には、必要に応じて注意喚起やヒアリングを実施しております。

1.4.1.3 発動実績の算定と実績報告

発動指令が発令された容量提供事業者は第2章以降を参照し、発動実績の算定と本機関への実績報告を実施してください。

1.5 リクワイアメントを遵守するにあたっての補足説明事項

発動指令電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたっての補足説明事項について、一覧化しておりますのでご確認ください。

項目		内容
(1) 容量の提供		
(1)-1	継続時間	3 時間（指令後の取消し、中断は行いません）
(1)-2	指令時間	応動の 3 時間以上前 （指令の対象時間は、土曜日、日曜日、及び祝日を除く 9 時～20 時の間）
(1)-3	年間発動回数	12 回（1 日 1 回）
(1)-4	例外的な発動要請	一般送配電事業者から、年間 13 回以上又は 1 日 2 回以上の発動要請が出される場合、年間 13 回目以降又は 1 日 2 回目以降の発動要請はアセスメント及びペナルティの対象外となりますが、可能な限りご協力をお願いします
(1)-5	指令への応諾確認	発動指令受令後、簡易指令システムにて速やかに、指令を応諾した旨を一般送配電事業者へ返信してください（専用線オンラインは不要）。 指令を応諾した旨が返信されない場合、一般送配電事業者から容量提供事業者へ、確認の連絡が行われる場合があります。 属地一般送配電事業者からの連絡については、電源等情報の「発動指令時の連絡先」に記載いただいた連絡先に送付されます。連絡先の変更がある場合、速やかに電源等情報を修正していただくとともに、属地一般送配電事業者へ、メールにて連絡をお願いいたします。なお、属地一般送配電事業者の連絡先については、下記の注 1 をご確認ください。
(2) 電源等差替		電源等差替の場合、当該エリアの一般送配電事業者からの指令に従ってください。

注1：各一般送配電事業者の連絡先

北海道電力ネットワーク 株式会社	koubochousei@hepco.co.jp
東北電力ネットワーク 株式会社	s.cyukyu-yoryoshijo.nv@tohoku-epco.co.jp
東京電力パワーグリッド 株式会社	hatsudoushirei@tepcoco.jp (上記は連絡専用のアドレスであり、その他のお問合せは youryou-hatsudoushirei@tepcoco.jp へ送付ください。)
中部電力パワーグリッド 株式会社	Chuden.Drsystem@chuden.co.jp
北陸電力送配電株式会社	youryo_si_jyo@nw.rikuden.co.jp
関西電力送配電株式会社	kansai-tso.jikkousei-test@c4.kansai-td.co.jp
中国電力ネットワーク 株式会社	VA1081@pnet.energia.co.jp
四国電力送配電株式会社	aps-koubo-shikoku@yonden.co.jp
九州電力送配電株式会社	youryo_si_jyo@kyuden.co.jp

注2：アセスメントの対象となる発令について

1日複数回発令された場合、同日内の1回分のみがアセスメントの対象となります（アセスメント対象となる発令回は1回目の指令となります。）。

なお、年間で13回目以降の発令（ただし、1日複数回発令された場合、発令回数を1回分として計算）はアセスメント及びペナルティの対象外となりますが、可能な限りご協力をお願いします。ベースライン・発動実績の算定と登録の手続きは不要となります。

注3：オンライン機能（簡易指令システムを含む）が故障等により停止した場合の対応について

実需給期間中において、一般送配電事業者からオンライン機能（簡易指令システムを含む）を通じた発動指令ができない場合は、電話又はメール等での発動指令を行うことがあります。

メール等での発動指令受令後、速やかに指令を応諾した旨を一般送配電事業者へ連絡してください。

ここで、発動指令に対応できなかった場合、本機関は当該容量提供事業者の状況を考慮し、例外的に経済的ペナルティを適用しない場合があります。経済的ペナ

ルティの適用対象となるか否かは、当該事象が発生した場合に個別に確認させていただきます。

注4：属地一般送配電事業者からの指令内容について

応動の3時間以上前に、属地一般送電事業者から発令される発動指令について、簡易指令システムにおいては、発動指令に対応した MarketContext（以下、「MC」）※1の受信により、発動指令として対応いただきます。

指令量については、差分指令・実出力指令によらず「容量確保契約容量」となります。容量提供事業者が計上されている計画等によっては追従すべき指令値とならない場合※2があるため、自動追従しない（制御上は読み捨てていただく。）ようご注意ください（指令応諾の送信には対応いただきます。）。

1 地点複数応札の電源で、属地一般送配電事業者と専用線オンラインで接続されている電源の場合、実需給時に一般送配電事業者が発電計画をもとに直接発電量を制御します。したがって、発動指令受令時に、発電計画値<容量確保契約容量であった場合、受令後 GC までに速やかに発電計画値を変更してください。

※1 一般送配電事業者から簡易指令システム利用者に別途周知されるもの。

※2 例えば、発動指令受令前に、既に容量確保契約容量以上の計画等の計上をされている場合には、指令量に合わせて計画等を減少いただく必要はございません。

注5：実効性テストについて

対象年度の前々年度に実施している実効性テストにおける簡易指令システムの MC の設定は、実運用における設定と異なる場合があります。必要に応じて、属地一般送配電事業者にご確認ください。

注6：電源等差替が実施された場合の指令ルートについて

容量確保契約を締結しているのは差替元電源等の容量提供事業者であるため、原則として、差替元電源等の容量提供事業者に対して、属地一般送配電事業者より指令が出されますので、差替元電源等の容量提供事業者より、差替先電源等の事業者へ増発等の連絡を実施願います。

第2章 算定諸元登録（発動実績）

本章では、算定諸元登録（発動実績）に関する以下の内容について説明します（図2-1 参照）。

2.1 発動指令回数の実績確認

2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録

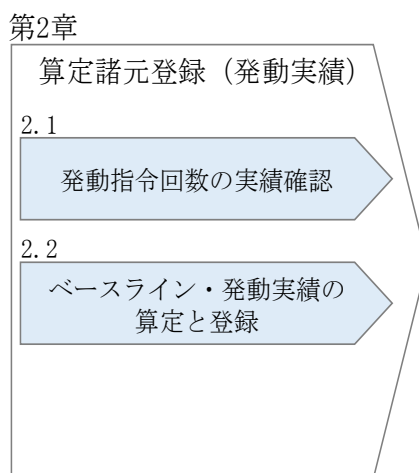


図 2-1 第2章の構成

注1：電源等リストの変更申込について

電源等リストの変更申込については、容量市場業務マニュアル（実効性テスト編）（対象実需給年度：2026年度）の『2.2.1 電源等リストの変更申込』を参照してください（ただし、電源等リストの名称については下記の注3の通りとしてください）。

注2：電源等リストの変更申込の期限について

実需給期間中の電源等リストの変更申込は毎月10日に締め切り、当月中に審査結果を通知します。前月11日～当月10日までの期間に申し込まれた、かつ、書類等に不備がない場合、最短で翌月1日から変更済みの電源等リストが有効となります。

従って、例えば5月1日からの電源等リストの変更を希望する対象事業者は、遅くとも4月10日までに変更申込を行うようにしてください。この場合、対象月は5月となります。

注3：電源等リストの名称について

実需給期間中に使用する電源等リストの変更申込の場合、電源等リストの名称は

「エリア_電源等リスト_事業者コード_対象実需給年度・対象月_電源等識別番号_A 枝番_R 更新回数.xlsx」としてください。

なお、更新回数は修正があるファイルのみ変更してください。

例) 変更申込 (初回) の場合

東京 電源等リスト 0123 202405 0123456789 A1 R1.xlsx

事業所コード 対象実需給年度・対象月 電源等識別番号 A 枝番 R 更新回数

※ファイルを分割しない場合、A枝番は不要です。

例) 変更申込 (2 回目) の場合

東京 電源等リスト 0123 202405 0123456789 A1 R2. xlsx

注4：電源等リストの変更時の提出書類について、電源等リストに電源又は需要抑制リソースを追加することを希望する場合、追加する電源又は需要抑制に係る書類のみを提出してください。一方で、電源等リストから電源又は需要抑制リソースを削除することを希望する場合、書類の提出は必要ありません。

注5：地点特定番号の変更を通知された場合は電源等リストの変更申込を行ってください。ただし、一般送配電事業者の都合等により地点特定番号の変更を通知されたのが電源等リストの変更申込の期日（注1）以降となった場合は、発動実績登録時に新旧番号の読替表を所定の様式にて証憑を添えて提出してください。電源等リストの変更申込を期日までに行えなかったやむを得ない理由があると認められる場合に限りアセスメントにおいて考慮します。なお、電源等リストの変更・読替表の提出のいずれも行われなかった場合は発動量を零と算定します。

注6：バイオマス比率の有効桁数は小数点以下第一位までです。第二位以降がある場合は第二位を切り上げて記入ください。

2.1 発動指令回数の実績確認

本節では、発動指令回数の実績確認について以下の流れで説明します（図 2-2 参照）。

2.1.1 発動指令回数の実績確認

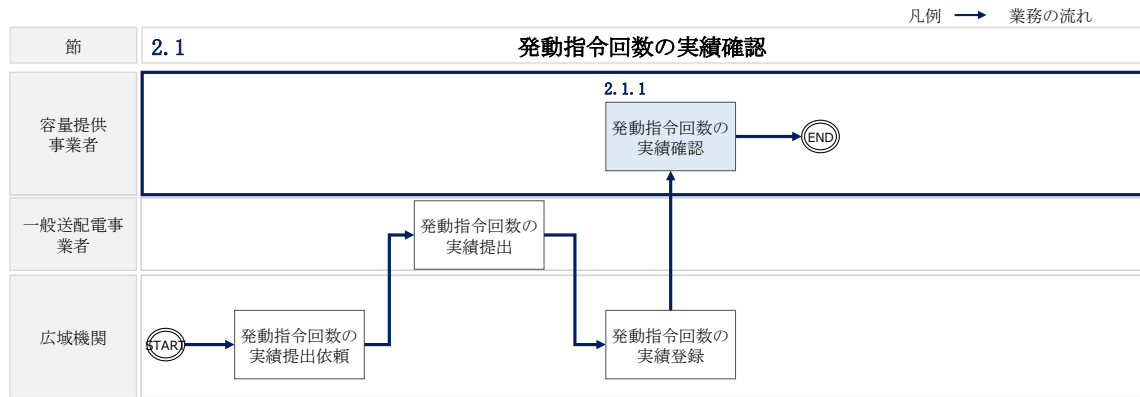


図 2-2 発動指令回数の実績確認の詳細構成

2.1.1.1 発動指令回数の実績確認

本項では、発動指令回数の実績確認について説明します（図 2-3 参照）。

2.1.1.1 発動指令回数の実績確認

2.1.1.1 発動指令回数の実績確認

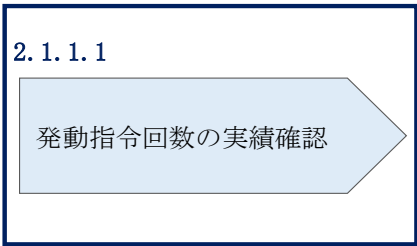


図 2-3 発動指令回数の実績確認の手順

2.1.1.1.1 発動指令回数の実績確認

本機関にて発動指令回数の実績を容量市場システムに登録した際に、容量市場システムに登録したメールアドレス宛にその旨が通知されますので、発動指令の回数や日時が合っているかを容量市場システム上で確認してください。

ここで確認した発動指令回数に対して、発動実績を登録していただきます（詳細は、『2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』を参照）。

容量市場システムの折り畳みメニュー>リクワイアメント・アセスメント>発動指令>発動指令アセスメントデータ一覧画面、の順にリンクをクリックして、「発動指令アセスメントデータ一覧画面」へ進んでください。

実需給年度と実需給月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「発動指令アセスメントデータ一覧」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、発動指令回数や発動開始日時が正しいかを確認してください。

確認した発動指令回数や日時に異議がある場合は、youryou_rikuase@occto.or.jpにお問合せください。

2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録

本節では、ベースライン・発動実績の算定と登録について以下の流れで説明します（図 2-4 参照）。

2.2.1 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得

2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録

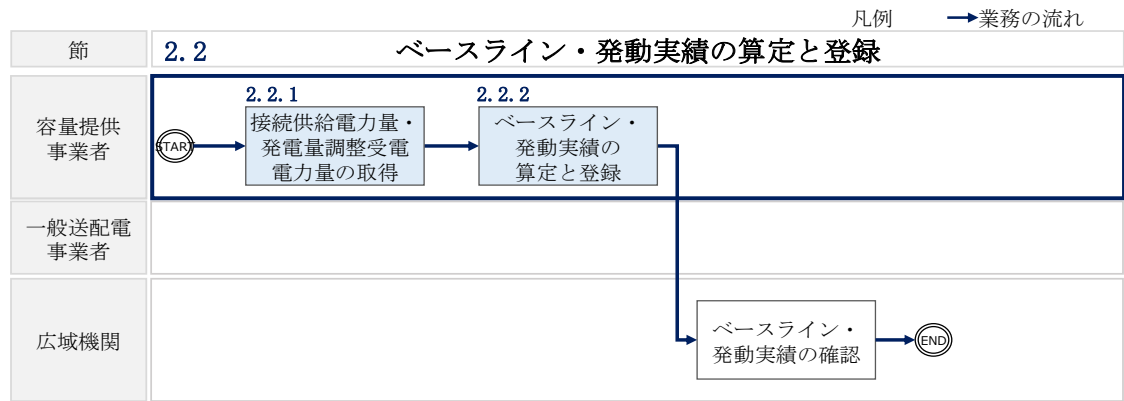


図 2-4 ベースライン・発動実績の算定と登録の詳細構成

2.2.1 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得

本項では、接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得について説明します（図 2-5 参照）。

2.2.1.1 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得

2.2.1 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得

2.2.1.1

接続供給電力量・発電量
調整受電電力量の取得

図 2-5 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得の手順

2.2.1.1 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得

一般送配電事業者から発動指令を受けた容量提供事業者は発動実績算定のため、発電量調整供給契約・接続供給契約・需要抑制量調整供給契約（託送契約等）を締結して

いる発電契約者・契約者（託送契約者）から、以下の情報を取得し、内容を確認してください。

- ・電源等リストに含まれる各地点の発電量調整受電電力量又は接続供給電力量（※30分値×発動開始日時から6コマ）
- ・ベースライン算定に必要な接続供給電力量（※30分値×指令日前30日分）

※発動実績算定のために必要となる30分値の取得ができることを予めご確認ください。

2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録

本項では、ベースライン・発動実績の算定と登録について説明します（図 2-6 参照）。

2.2.2.1 ベースラインの算定

2.2.2.2 発動実績の算定

2.2.2.3 ベースライン・発動実績の登録

2.2.2.4 ベースライン・発動実績の登録結果の確認

2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録

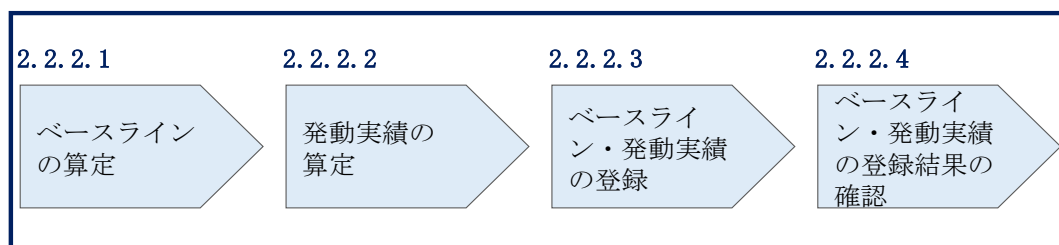


図 2-6 ベースライン・発動実績の算定と登録の手順

注：電源等差替が生じる場合、差替先電源が提供する供給力⁴は差替元電源が登録します。差替元電源は差替先電源から必要な算定諸元を受領し、差替先電源が提供する供給力を算定のうえ、差替先電源の発動実績算定諸元一覧を容量市場システムに登録してください。

2.2.2.1 ベースラインの算定

電源のベースライン又は需要抑制のベースラインを算定してください。

算定時は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする発動実績算定諸元一覧（Excel ファイル）（Appendix.1 様式 1）を使用してください。

⁴ 差替先電源のベースライン・差替先電源から差替元電源に配分された発動実績

＜電源のベースラインの算定＞

電源のベースラインは0（1地点複数応札の場合は、当該安定電源のアセスメント対象容量※）とします。

※応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」がアセスメント対象容量となります。

＜需要抑制のベースラインの算定＞

DR⁵実施日当日を含まない直近5日間のうち、DR実施時間帯の平均需要量の多い4日間（High 4 of 5）の接続供給電力量を利用し、4日間の接続供給電力量のコマごとの平均値（以下、仮ベースライン）を算定してください。

次に、DR実施時間の5時間前から2時間前までの6コマについて、「（DR実施日当日のコマごとの接続供給電力量）－（仮ベースライン）」の平均値（以下、当日調整値）を算定してください。

最後に、DR実施時間帯の各コマの接続供給電力量に、当日調整値⁶を加算し、需要抑制のベースラインを算定してください。なお、ベースラインがマイナスになるコマのベースラインは0とします。

注1：DR実施日当日を含まない直近5日間の対象について、以下を除外日とします。

- ・土曜、日曜及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）
- ・属地一般送配電事業者の指示に基づく過去のDR実施日
- ・電力需給ひっ迫注意報・警報の発令期間中のDR実施日（申し出があった場合のみ。

注4参照）

- ・広域予備率低下に伴う供給力提供通知がされた日のDR実施日（申し出があった場合のみ。注4参照）
- ・DR実施時間帯の平均需要量が、当該日を含む直近5日間のDR実施時間帯の平均需要量の25%未満となる日（図2-7参照）

注2：4日間の選定方法について

DR実施時間帯の平均需要量の最小日が複数ある場合、DR実施日から最も遠い1日を除外した4日間の接続供給電力量を利用します。ただし、4日分に満たない場合、DR実施日から過去30日以内のDR実施日のうち、DR実施時間帯の平均需要量が最も大きい日を

⁵ デイマンドレスポンスの略

⁶ 発動指令の5時間前～2時間前の時間帯が一般送配電事業者による供給力の提供依頼（例外的な発動要請）の時間帯に1コマでも重なっていた場合は、High 4 of 5（当日調整なし）でベースラインを算定します。これに該当する場合、発動日から5営業日以内にお申し出ください。

加えた4日間の接続供給電力量の平均値を算定した値とします。

それでもなお4日未満の場合は、平均需要量が総平均値の25%未満の日から平均需要量が多い日から順に充当し、平均値が同じ日が複数ある場合は、発動日から最も近い日を対象としてください。

注3：端数処理について

需要抑制のベースライン（需要端）の算定において、ベースライン（需要端）及び計算途中での端数処理は行わないでください。

注4：電力需給ひっ迫等を踏まえたベースライン算定の取扱いについて

厳しい電力需給状況の場合、節電要請が発出されるため（例えば、2022年夏季など）、容量提供事業者においては、経済DRを実施することが想定されることから、ベースラインの算定において、以下のとおり取り扱います。

1. 経済DR実施日の取扱い

電力需給ひっ迫注意報若しくは警報の発令期間中において、発令されたエリア内において容量提供事業者が経済DRを実施した場合、容量提供事業者からの申し出があった場合はその申し出内容を証憑等で確認のうえ、ベースライン算定で、当該の経済DR実施日を除外する等の対応を行います。また、広域予備率低下に伴う供給力提供通知がされた日において経済DRを実施した場合についても、同様に対応します。

2. お申し出の方法・期日

以下のとおり、容量提供事業者よりメールでお申し出ください。

- ・連絡先：youryou_rikuase@occto.or.jp
- ・メールタイトル：【XXXX（事業者コード）】2026年度発動指令 経済DR実施日の報告
- ・本文：事業者名及び担当者名
- ・期日：発動日が属する月の翌月末日まで
- ・添付資料：容量提供事業者とDRを実施した需要家との契約書等、
実際にDR指令を行ったことを示す資料（指令時のメール等）、
経済DR実施日の報告フォーマット※

※指定様式は下記よりダウンロードしてください。なおファイル名は「経済DR_事業者コード_提出年月日」としてください。

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_taisyutsusyorui.html

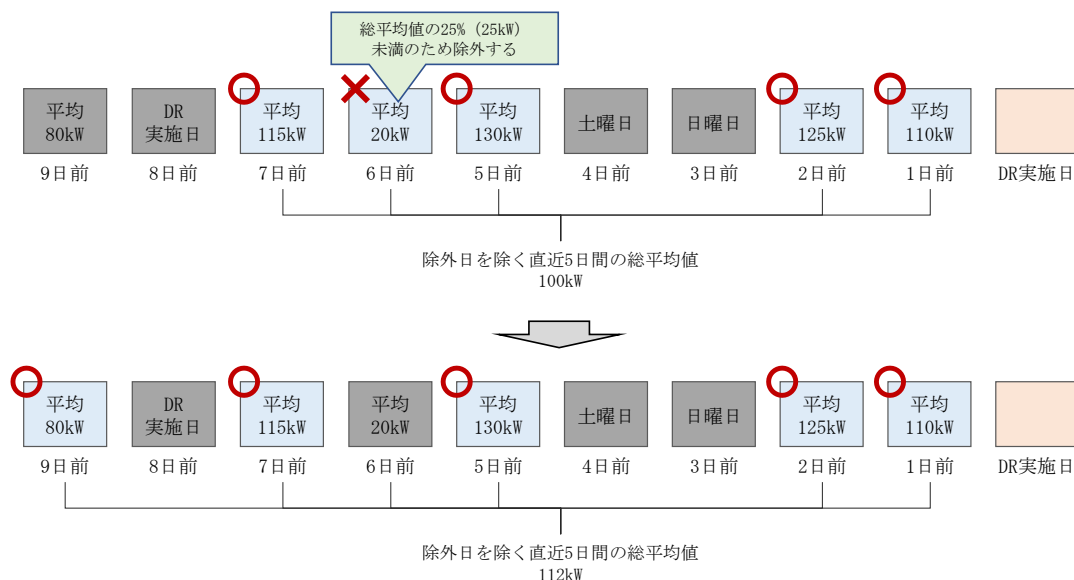


図 2-7 平日のベースライン設定における除外日のイメージ

2.2.2.2 発動実績の算定

電源又は需要抑制の発動実績を算定した上で、電源等リスト全体の発電実績[kWh]を算定してください。

なお、算定時は https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする発動実績算定諸元一覧（Excel ファイル）（Appendix.1 様式1）を使用してください。

< 電源の発動実績の算定 >

コマごと、地点ごとに、発電量調整受電電力量から電源のベースラインを減じて、電源の発動実績[kWh]を算定してください。

< 需要抑制の発動実績の算定 >

コマごと、地点ごとに、需要抑制のベースライン（需要端）を算定し、当該ベースライン及び接続供給電力量を当該エリアの電圧区分ごとの損失率を考慮した送電端換算値に変換してください。変換後のベースライン（送電端）から接続対象電力量（送電端）を減じて、需要抑制の発動実績[kWh]を算定してください。

＜電源等リスト全体の発動実績の算定＞

各コマ、各地点の電源の発動実績[kWh]と、各コマ、各地点の需要抑制の発動実績[kWh]を合算し、各コマの電源等リスト全体の発動実績を算定してください。

＜リクワイアメント未達成量の算定方法＞

各コマの電源等リスト全体の発動実績をアセスメント対象容量（容量確保契約書を締結していない場合は期待容量）の30分kWh換算値で除してコマごとの達成率（※）を算定し、1からコマごとの達成率を減じてコマごとの未達成率（※）を算定します。

アセスメント対象容量（容量確保契約書を締結していない場合は期待容量）の30分kWh換算値にコマごとの未達成率を乗じてコマごとのリクワイアメント未達成量を算定します。

※負値となる場合は零とします⁷。

注1：kW換算について

各コマ、各地点の電源及び需要抑制の発動実績[kWh]の合計値は、6コマ×30分値であるため、kW値に変換するにあたり、6コマの合計値を3で除す必要があります。

従って、発動指令のリクワイアメント未達成量の算定においては、kW値に変換する際に、6コマのリクワイアメント未達成量の合計値を3で除します。

注2：端数処理について

- ・ ベースライン（送電端）[kWh]の高圧・特高は小数点以下第1位を四捨五入し、低圧は小数点以下第3位を四捨五入してください。
 - ・ 接続対象電力量（送電端）[kWh]の高圧・特高は小数点以下第1位を四捨五入し、低圧は小数点以下第3位を四捨五入してください。
- 上記以外は計算途中での端数処理を行わないでください。

注3：1地点複数応札の電源の発動実績が負となる場合について

1地点複数応札の電源において、地点全体の発電実績合計が当該安定電源のアセスメント対象容量（ベースライン）を下回っている場合、発動指令電源としての発動実績は負値とはせず、零として発動実績の算定を行います。

⁷ コマごとの達成率が負値となる場合は、電源等リスト全体の発動実績が負値となる場合です。また、コマごとの未達成率が負値となる場合は、電源等リスト全体の発動実績がアセスメント対象容量を上回る場合です。

2.2.2.3 ベースライン・発動実績の登録

ベースライン・発動実績の登録は、https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする発動実績算定諸元一覧（Excel ファイル）（Appendix.1 様式1）を使用してください（表 2-1、表 2-2、表 2-3、表 2-4、表 2-5 参照）。

発動実績算定諸元一覧には電源等リストに記載されている地点特定番号を記載してください。ただし、電源等リストの変更申込の期日以降、発動開始日時までに一般送配電事業者の都合等やむを得ない理由で地点特定番号が変更された場合は発動実績登録時に新旧番号の読替表を所定の様式にて証憑を添えて提出し、発動実績算定諸元一覧には変更後の地点特定番号を記載してください。

表 2-1 発動実績算定諸元一覧の記載項目（発動実績シート）

No.	項目	留意点
①	容量を提供する電源等の区分	「発動指令電源」と記入してください
②	事業者名	電源等リストに記入した事業者名を記入してください
③	事業者コード	電源等リストに記入した事業者コード（4 桁）を記入してください
④	電源等リストの名称	電源等リストに記入した電源等リストの名称を記入してください
⑤	エリア名	電源等リストに記入したエリア名を選択してください
⑥	（リスト単位の）系統コード	電源等リストに記入した（リスト単位の）系統コード（5 桁）を記入してください ※誤入力に注意してください。
⑦	発動開始日時	yyyymmdd hhmm 形式の半角英数字で発動開始日時を記入してください ※yyyymmdd と hhmm の間に半角スペースを空けてください。
⑧	アセスメント対象容量 [kW]	実効性テスト後に確定したアセスメント対象容量 [kW] を記入してください
⑨	発動実績（電源）	発動実績算定諸元一覧が 1 ファイルの場合、表 2-2 の記載項目（電源シート）の記入により自動算定されます。ただし、発動実績算定諸元一覧が 2 ファイ

No.	項目	留意点
		<p>ル以上に分かれる場合、2 ファイル目以降の実績を1 ファイル目に記入が必要。10 ファイル以上に分割した場合は、1 ファイル目の10 ファイル目分の実績記入欄に10 ファイル目以降の実績を合算して入力してください。</p> <p>※リソースの行間に空白行は入れないでください。空白行以降の内容は、実績として評価されません。</p>
⑩	発動実績（需要抑制）	<p>発動実績算定諸元一覧が1 ファイルの場合、表 2-3 の記載項目（需要抑制シート）の記入により自動算定されます。ただし、発動実績算定諸元一覧が2 ファイル以上に分かれる場合、2 ファイル目以降の実績を1 ファイル目に記入が必要。10 ファイル以上に分割した場合は、1 ファイル目の10 ファイル目分の実績記入欄に10 ファイル目以降の実績を合算して入力してください。</p> <p>※リソースの行間に空白行は入れないでください。空白行以降の内容は、実績として評価されません。</p>
⑪	発動実績（合計）	<p>⑨⑩の記入により自動算定されます</p> <p>※⑩⑪については実効性テスト時のみ有効です。</p>
⑫	コマごとの達成率	
⑬	コマごとの未達成率	
⑭	コマごとのリクワイアメント未達成量[kWh]	
⑮	リクワイアメント未達成量[kWh]	
⑯	実効性テスト未達成量[kW]	
⑰	期待容量（実効性テスト後）[kW]	

表 2-2 発動実績算定諸元一覧の記載項目（電源シート）

No.	項目	留意点
①	受電地点特定番号	電源等リストに記入した受電地点特定番号（22 桁）を記入してください ※誤入力に注意してください。また、発動開始日時時点の情報を記入してください。
②	電源等の名称	電源等リストに記入した電源等の名称を記入してください
③	BG コード	電源等リストに記入した BG コード（5 桁）を記入してください ※誤入力に注意してください。また、発動開始日時時点の情報を記入してください。
④	計量・仕訳区分	電源等リストに記入した計量・仕訳区分 ⁸ を記入してください
⑤	ベースライン[kWh]	「0」で固定 ※ 1 地点複数応札の場合は当該安定電源のアセスメント対象容量とします。
⑥	発電量調整受電電力量[kWh]	属地一般送配電事業者から取得した「発電者の仕訳後の電力量のお知らせ」を参照して記入してください。 なお、④を記入した地点については、『表 2-4 電源シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法』を参照して記入してください。 ※6 コマ分
⑦	発動実績[kWh]	⑥の記入により自動算定されます

⁸ 容量市場業務マニュアル（実効性テスト編）（対象実需給年度：2025 年度）の「表 2-7 計量・仕訳区分」を参照してください。

表 2-3 発動実績算定諸元一覧の記載項目（需要抑制シート）

No.	項目	留意点
①	対象エリアの損失率[%]	属地一般送配電事業者の託送供給等約款を参照して電圧区分ごとに記入してください
②	供給地点特定番号	電源等リストに記入した供給地点特定番号（22桁）記入してください ※誤入力に注意してください。また、発動開始日時時点の情報を記入してください。
③	需要家名	電源等リストに記入した需要家名を記入してください
④	電圧区分	地点の供給電圧をもとに電圧区分（低圧、高圧、特高）を記入してください ※選択ミスに注意してください。また、各リソースについて、電源等リストで記入した電圧区分と同じ電圧区分を記入してください。
⑤	計量・仕訳区分	電源等リストに記入した計量・仕訳区分 ⁹ を記入してください
⑥	ベースライン（需要端） [kWh]	確定使用量を用いて、『2.2.2.1 ベースラインの算定』を参照して記入してください。 なお、分割供給の場合は全量の値を用いて算定したベースラインを記入してください。 自己託送地点の場合は小売供給分の値を用いて算定したベースラインを記入してください。 ※6 コマ分
⑦	接続供給電力量（需要端） [kWh]	属地一般送配電事業者から取得した確定使用量を参照して記入してください。 なお、分割供給の場合は全量の値を用いて算定した接続供給電力量を記入してください。 自己託送地点の場合は小売供給分の値を用いて算定した接続供給電力量を記入してください。 ※6 コマ分
⑧	ベースライン（送電端） [kWh]	①④⑥の記入により自動算定されます

⁹ 容量市場業務マニュアル（実効性テスト編）（対象実需給年度：2025年度）の「表 2-7 計量・仕訳区分」を参照してください。

No.	項目	留意点
⑨	接続対象電力量(送電端) [kWh]	①④⑦の記入により自動算定されます
⑩	発動実績[kWh]	①④⑥⑦の記入により自動算定されます

表 2-4 電源シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法

No.	項目	留意点
①	バイオマス(混焼)非FIT分	(1) バイオマス FIT・非FIT ペアフラグが同じ番号の非FIT分、FIT分の計量値をコマごとに合算してください (2) 合算値×(100－バイオマス比率[%]※)÷100によりコマごとの非FIT分の計量値を算出し記入してください ※バイオマス比率の有効桁数は小数点以下第一位まで。第二位以降がある場合は第二位を切り上げ。
②	バイオマス(混焼)FIT分	FIT分の実績は零を記入してください（実需給年度前にFIT制度に基づく買取が終了した場合については①の非FIT分の実績が含まれます）
③	差分計量 非FIT分	差分計量により仕訳された非FIT分の計量値であることを、BGコードにより確認し記入してください
④	按分計量 非FIT分	按分計量により仕訳された非FIT分の計量値であることを、BGコードにより確認し記入してください
⑤	部分買取	部分買取により仕訳された計量値について、電源等リストへ登録した地点ごとのBGコードにより確認し記入してください。なお、部分買取により仕訳された計量値であっても、電源等リストに記載されていない地点（BGコード）については、当該実績分は評価されません。
⑥	自己託送地点	発電計画により仕訳された自己託送以外の計量値であることを、BGコードにより確認し記入してください

No.	項目	留意点
		※発動実績の算定において、自己託送分は発動計画等から控除し、アセスメントを実施します。

表 2-5 需要抑制シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法

No.	項目	留意点
①	分割供給（全量）	分割供給を受けている需要家は接続供給電力量の全量を記入してください
②	自己託送地点	自己託送需要以外（小売供給による需要）の接続供給電力量を記入してください

発動実績算定諸元一覧（Excel ファイル）に必要な値を入力して保存した後、容量市場システムに登録してください¹⁰。

なお、電源等リストが 10,000 件を超える場合には、ファイルを分割し、登録してください。

ファイル名は「エリア_発動実績（実需給期間中）_事業者コード_実需給年度・対象月日_電源等識別番号_A 枝番(ファイルを分割して提出する場合のみ)_R0.xlsx」としてください。また、発動実績算定諸元一覧を更新する場合のファイル名は「エリア_発動実績（実需給期間中）_事業者コード_実需給年度・対象月日_電源等識別番号_A 枝番(ファイルを分割して提出する場合のみ)_R 更新回数.xlsx」としてください。

例) 初回の提出の場合 (東京エリアにおける 2025 年 10 月 1 日分の発動実績報告)

東京_発動実績（実需給期間中）_0123_20251001_0123456789_A1_R0.xlsx

エリア 事業者コード 実需給年度 電源等識別番号 A 枝番 R0
・対象月日

※ファイルを分割しない場合、
A 枝番は不要です。

1 回目の更新の場合

東京_発動実績（実需給期間中）_0123_20251001_0123456789_A1_R1.xlsx
R 更新回数

2 回目の更新の場合

東京_発動実績（実需給期間中）_0123_20251001_0123456789_A1_R2.xlsx

¹⁰ 記載項目入力後に、不要な空白が入っていないことを確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー>リクワイアメント・アセスメント>発動指令
>発動指令アセスメントデータ一覧画面、の順にリンクをクリックして、「発動指令
アセスメントデータ一覧画面」へ進んでください。

実需給年度、実需給月、発動指令回数を入力して「検索」ボタンをクリックしてくだ
さい。「発動指令アセスメントデータ一覧」に条件に合致する電源等識別番号が表示
されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「発動指令アセスメントデー
タ詳細画面」へ進んでください。

「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい発動実績算定諸元一覧
（Excel ファイル）を選択してください。発動実績算定諸元一覧（Excel ファイル）
のファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンを
クリックし、登録してください（図 2-8 参照）。

なお、『1.4.1.2 供給力の提供』に記載の「発動指令電源の電源等リストに含まれるリ
ソースが需給調整市場で約定し、調整力指令に従って応動した結果、その電源等リス
トがアセスメント対象容量を下回った場合」については、その事象の発生要因が、調
整力指令の影響であることが合理的に説明できる資料¹¹（任意様式。ただし、拡張子
は doc、docx、xls、xlsx、PDF のいずれかとし、ファイルサイズは 20MB 以下、ファ
イル名称は 50 文字以下としてください）を添付ファイルとしてアップロードしてく
ださい。アップロード手順は上記の「発動実績算定諸元一覧（Excel ファイル）」の
アップロードと同様の手順で実施してください。また、「発動指令アセスメントデー
タ詳細画面」にて、「コメントー事業者記入」欄に、対象リソースの受電（供給）地点
特定番号、需給調整市場の約定に関する以下の必要情報を記入してください（図 2-9
参照）。

○記入する情報

- ・対象リソースの受電（供給）地点特定番号
- ・需給調整市場の約定に関する ID（JBMSID を記載）

¹¹ 需給調整市場におけるペナルティ情報や需給調整市場の約定量、調整力指令の最大値等を示す資料を提出してくだ
さい。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ログアウト

発動指令アセスメントデータ詳細画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 発動指令アセスメントデータ一覧 > 発動指令アセスメントデータ詳細

実需給年月	2024/MM	事業者コード	0123	事業者名	XXXXX
電源等識別番号	0123456789	電源等の名称	XXXXXXXXXX	差替ID	-
差替元電源等識別番号	-	エリア	東京	発動指令回数	2
アセスメント対象容量[kW]	-	発動開始日時	YYYY/MM/DD hh:mm	提出	
提出ロック状況	解除	最終更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm		

添付ファイル(発動実績算定諸元一覧)

ファイル選択

アップロード

東京_発動実績_0123_2024_0123456789_R0.xlsx	200 KB
XXXXX.xlsx	XXX KB
XXXXX.xlsx	XXX KB

「ファイル選択」ボタンで発動実績算定諸元一覧を選択後、「アップロード」ボタンをクリックして登録します。

図 2-8 発動指令アセスメントデータ詳細画面の画面イメージ(アップロード時)

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ログアウト

発動指令アセスメントデータ詳細画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 発動指令アセスメントデータ一覧画面 > 発動指令アセスメントデータ詳細画面

実需給年月	2024/MM	事業者コード	0123		
電源等識別番号	0123456789	電源等の名称	XXXXXXXXXX		
差替元電源等識別番号	-	エリア	東京		
アセスメント対象容量[kW]	-	発動開始日時	YYYY/MM/DD hh:mm		
提出ロック状況	解除	最終提出日時	YYYY/MM/DD hh:mm		

添付ファイル(発動実績算定諸元一覧)

ファイル選択

アップロード

東京_発動実績_0123_2024_0123456789_R0.xlsx	200 KB
XXXXX.xlsx	XXX KB
XXXXX.xlsx	XXX KB

コメント

事業者記入欄

編集開始

キャンセル

更新

「編集開始」ボタンでコメントを記入後、「更新」ボタンをクリックして登録します。

図 2-9 発動指令アセスメントデータ詳細画面の画面イメージ（コメント入力時）

2.2.2.4 ベースライン・発動実績の登録結果の確認

登録した発動実績算定諸元一覧が容量市場システムに正常に登録されているか確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー>リクワイアメント・アセスメント>発動指令>発動指令アセスメントデータ一覧画面、の順にリンクをクリックして、「発動指令アセスメントデータ一覧画面」へ進んでください。

「提出状況」で「未提出」を選択し、実需給年度と実需給月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「発動指令アセスメントデータ一覧」に条件に合致する電源等識別番号が表示される場合は、発動実績算定諸元一覧が正常に登録されていないため、『2.2.2.3 ベースライン・発動実績の登録』を参照して再登録してください。

なお、発動実績算定諸元一覧が正常に登録された場合、登録が完了した旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されます（表 2-6 参照）。

表 2-6 発動実績算定諸元一覧（Excel）登録完了情報通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】発動実績算定諸元一覧（Excel）登録完了情報通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>発動実績算定諸元一覧ファイルの登録完了を通知いたします。</p> <p>【実需給年度】 YYYY</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

発動実績算定諸元一覧を誤った内容で登録してしまった場合は、『2.2.2.3 ベースライン・発動実績の登録』を参照して発動実績算定諸元一覧を再登録してください。

第3章 アセスメント結果への対応（発動指令）

本章では、アセスメント結果への対応（発動指令）に関する以下の内容について説明します（図 3-1 参照）。

3.1 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き

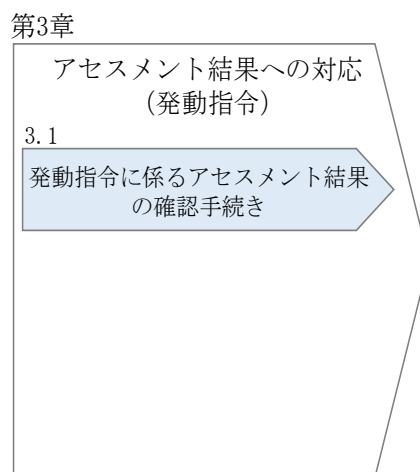


図 3-1 第3章の構成

注1：リクワイアメント対象となる電源について

発動指令のリクワイアメントは、一般送配電事業者から発動指令を受けた電源が対象となります。

注2：アセスメント対象となる発令について

発動指令は、1日1回までかつ年間12回までがアセスメントの対象になります。このため、1日複数回発令された場合、同日内の1回分のみがリクワイアメントの対象となります（リクワイアメント対象となる発令回は1回目の指令となります）。加えて、年間で13回目以降の発令（ただし、1日複数回発令された場合、発令回数を1回分として計算）はアセスメント及びペナルティの対象外となります。

注3：アセスメントの基準について

発動指令におけるアセスメントは、一般送配電事業者からの発動指令に対して、事業者が適切に供給力を提供しているかが基準となります。

一般送配電事業者からの発動指令に応じて提供した供給力が、アセスメント対象容量に対して不足した場合、不足した容量をリクワイアメント未達成量とします。

注4：アセスメントの算定方法について

発動指令におけるアセスメントの具体的な算定方法は、『2.2.2.1 ベースラインの算定』・『2.2.2.2 発動実績の算定』を参照してください。

3.1 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き

本節では、発動指令に係るアセスメント結果の確認手続きについて以下の流れで説明します（図 3-2 参照）。

3.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認

3.1.2 異議申立

3.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

3.1.4 ベースライン・発動実績の修正登録

3.1.5 確定したアセスメント結果の受領

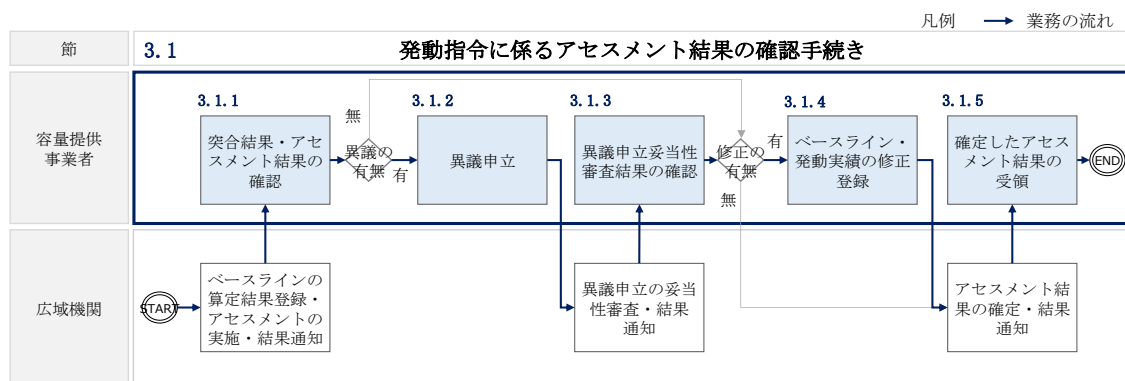


図 3-2 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成

3.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認

本項では、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果・アセスメント結果の確認について説明します（図 3-3 参照）。

3.1.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認

3.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認

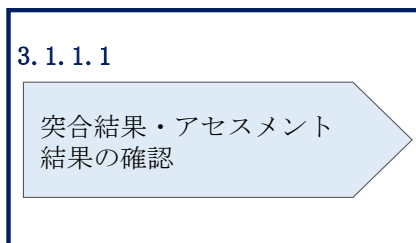


図 3-3 突合結果・アセスメント結果の確認の手順

3.1.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認

発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が一致だった場合、突合結果をメールでは送付いたしません。発動実績（電源等リスト単位）の突合結果を容量市場システムで確認することができます。

一方、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合、その旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、内容を確認してください（表 3-1 参照）。

表 3-1 発動実績の突合結果通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】発動実績の突合結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>対象電源の発動実績の突合結果が不一致のため、通知します。</p> <p>【算定対象年度】 YYYY</p> <p>【算定対象年月】 YYYY/MM</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】 XXXX</p> <p>後続業務の対応方法、対応期日につきましては、容量市場業務マニュアルをご参照ください。</p>

	電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者
	※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。

<発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が一致だった場合>

発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が一致だった場合は、突合結果をメールでは送付いたしません。以下の手順で発動実績（電源等リスト単位）の突合結果を容量市場システムで確認することが可能です。

「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令」の「突合結果」で「一致」、「最新回次¹²／未達成のみ抽出」にて「最新回次かつリクワイアメント未達成」を選択し、算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令（検索結果）」に条件に合致する発動日が表示されますので、「発動日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（発動指令）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとに記載された発動実績（電源等リスト単位）の突合結果及びリクワイアメント未達成量を確認してください（図 3-4 参照）。

¹² 本業務マニュアル末尾に掲載されている Appendix. 4 を参照。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00

ユーザ名 広域 太郎

ログアウト

アセスメント結果詳細画面(発動指令)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎） - 発動指令 > アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令 > アセスメント結果詳細画面(発動指令)

発動日	YYYY/MM/DD	差替元/先	XXX		
差替ID	XXXXXXXXXX	事業者コード	NNNN	事業者名	NNNNNNNNNN
エリア	NNN	電源等識別番号	NNNNNNNNNA	電源等区分の名称	NNNNNNNNNA
回次	XXX	突合結果	NNN	メール送信日時	YYYY/MM/DD hh:mm

[電源等差替情報]

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称
差替元	-	XXXXXXXXXXA	NNNNNNNN
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXB	NNNNNNNN
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXC	NNNNNNNN

コマごとの突合結果やリクワイアメント未達成量を確認してください。

[アセスメント結果詳細情報]

対象日	差替ID	事業者コード	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	発動指令	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	アセスメント対象容量[kW]	X,XXX					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	事業者報告発動実績[kWh]	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	広域機関算定発動実績[kWh]	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	コマごとの突合結果	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント達成率[%]	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント未達成率[%]	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント未達成量[kWh]	-	-	-	-	-	
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント未達成量合計[kWh]	X,XXX					

図 3-4 アセスメント結果詳細画面（発動指令）の画面イメージ

<発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合>

発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合は、発動実績（電源等リスト単位）及び発動実績（リソース単位）の突合結果を容量市場システムで確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー>リクワイアメント・アセスメント>アセスメント管理（共通）>アセスメント一覧画面（事業者毎） - 発動指令、の順にリンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎） - 発動指令」へ進んでください。

算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧（事業者毎） - 発動指令（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令」へ進んでください。

「突合結果」で「不一致」、「最新回次／未達成のみ抽出」にて「最新回次かつリクワイアメント未達成」を選択し、算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令

（検索結果）」に条件に合致する発動日が表示されますので、「発動日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（発動指令）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとに記載された発動実績（電源等リスト単位）の突合結果及びリクワイアメント未達成量を確認してください（図 3-4 参照）。また、「添付資料」にて発動実績（リソース単位）の突合結果ファイルのリンクをクリックすると発動実績（リソース単位）の突合結果ファイルがダウンロードされますので、必要に応じて内容を確認してください。

なお、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致の場合、『3.1.4.1 ベースライン・発動実績の修正登録』にてベースライン・発動実績の修正登録が必要です。また、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果に異議がある場合は、『3.1.2.1 異議申立』を参照し異議申立を行ってください。

3.1.2 異議申立

本項では、異議申立について説明します（図 3-5 参照）。

3.1.2.1 異議申立

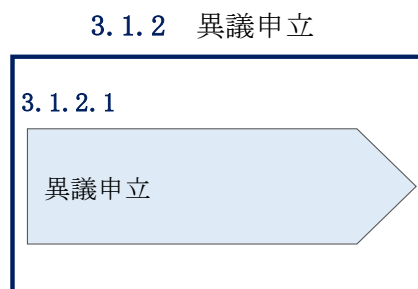


図 3-5 異議申立の手順

3.1.2.1 異議申立

発動実績（電源等リスト単位）の突合結果・アセスメント結果に異議がある場合、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果・アセスメント結果が通知された旨のメールを受領した日を含めて7営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットに異議申立における注意事項を記載のうえ、メールに添付して送信してください（表 3-2 参照）。

アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマットは

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/requirement_teisyutsusyorui.html からダウンロードする Excel ファイルを用いてください。

異議申立の根拠となる資料を添付する場合の添付ファイル名は「異議申立_事業者コード 実需給年度・対象月＋特徴」としてください（例：異議申立_XXXX¹³_202504 様式.xlsx、異議申立_XXXX¹³_202504 根拠.pdf）

¹³ 自身の事業者コードを記入してください。

注：異議申立期限について、例えば、7月1日（火）に通知メールを受領した場合、7月9日（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日及び本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 3-2 突合結果・アセスメント結果に対する異議申立に係るメールの記載項目

メール項目	内容
件名	(YYYY/MM 対象) 【XXXX (事業者コード) ¹⁴ 】 突合結果・アセスメント結果仮確定に対する異議申立
To	youryou_rikuase@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者名称及び担当者名 ・ 対象実需給年度 ・ 対象月
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメント結果仮確定の異議申立フォーマット (異議申立の内容及びその根拠を具体的に記載) ・ 異議申立の根拠となる資料 (必要に応じて)

¹⁴ 自身の事業者コードを記入してください。

3.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

本項では、異議申立妥当性審査結果の確認について説明します（図 3-6 参照）。

3.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

3.1.3.2 リクワイアメント未達成量修正結果の確認

3.1.3 異議申立妥当性審査結果の確認

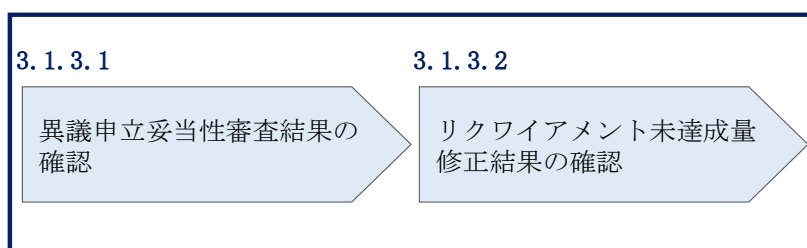


図 3-6 異議申立妥当性審査結果の確認の手順

3.1.3.1 異議申立妥当性審査結果の確認

発動実績（電源等リスト単位）の突合結果・アセスメント結果に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を審査し、審査結果をメールにて通知しますので審査結果の内容を確認してください。

審査結果の詳細を確認する場合は、『3.1.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認』を参照してください。

審査結果が合格の場合、『3.1.3.2 リクワイアメント未達成量修正結果の確認』を参照してください。審査結果が不合格の場合、『3.1.4.1 ベースライン・発動実績の修正登録』を参照し、ベースライン・発動実績を修正登録してください。

注：異議申立の内容を審査した結果は以下のいずれかのメールアドレスより送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp
youryou_rikuase@occto.or.jp

3.1.3.2 リクワイアメント未達成量修正結果の確認

異議申立妥当性審査結果が合格の場合、本機関にて異議申立内容に基づいてリクワイアメント未達成量を修正します。修正後に本機関より、容量市場システムに登録したメールアドレス宛に確認依頼のメールが送付されますので、内容を確認してください。

容量市場システムの折り畳みメニュー>リクワイアメント・アセスメント>アセスメント管理（共通）>アセスメント一覧画面（事業者毎） - 発動指令、の順にリンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎） - 発動指令」へ進んでください。

算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧（事業者毎） - 発動指令（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令」へ進んでください。

「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令」の「最新回次／未達成のみ抽出」にて「最新回次かつリクワイアメント未達成」を選択し、算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令（検索結果）」に条件に合致する発動日が表示されますので、「発動日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（発動指令）」へ進んでください。

「アセスメント結果詳細情報」で、コマごとに記載された発動実績（電源等リスト単位）の突合結果及びリクワイアメント未達成量を確認してください。

3.1.4 ベースライン・発動実績の修正登録

本項では、ベースライン・発動実績の修正登録について説明します（図 3-7 参照）。

3.1.4.1 ベースライン・発動実績の修正登録

3.1.4 ベースライン・発動実績の修正登録

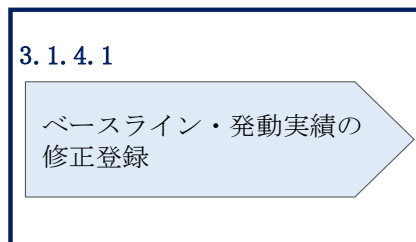


図 3-7 ベースライン・発動実績の修正登録の手順

3.1.4.1 ベースライン・発動実績の修正登録

ベースライン・発動実績の修正登録が必要な場合、『2.2.2.1 ベースラインの算定』・
『2.2.2.2 発動実績の算定』を参照してベースライン・発動実績を修正のうえ、
『2.2.2.3 ベースライン・発動実績の登録』を参照してベースライン・発動実績を登
録してください。

3.1.5 確定したアセスメント結果の受領

本項では、確定したアセスメント結果の受領について説明します（図 3-8 参照）。

3.1.5.1 確定したアセスメント結果の受領

3.1.5 確定したアセスメント結果の受領

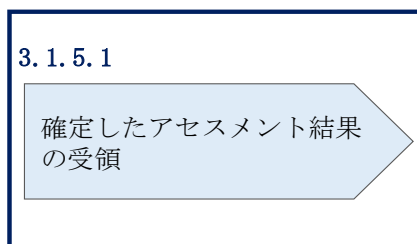


図 3-8 確定したアセスメント結果の受領の手順

3.1.5.1 確定したアセスメント結果の受領

本機関がアセスメント結果を確定した後、アセスメント結果を確定した旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、内容を確認してください（表 3-3 参照）。

注：アセスメント結果に対して異議申立を行わなかった場合でも、確定したアセスメント結果の内容を確認してください。

表 3-3 リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ

項目	内容
件名	【容量市場システム】リクワイアメント未達成量の確定通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>リクワイメント未達成量の算定が終了したことを通知します。</p> <p>【算定対象年度】 YYYY</p> <p>【算定対象年月】 YYYY/MM</p> <p>【リクワイアメント種別】 発動指令への対応</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

Appendix.1 様式一覧

様式1 発動実績算定諸元一覧

様式 1 発動実績算定諸元一覧
発動実績シート

様式1 発動実績算定諸元一覧

⇒入力頂くセルとなります。

項目	入力欄
容量を提供する電源等の区分	発動指令電源
事業者名	
事業者コード	
電源等リストの名称	
エリア名	
(リスト単位の) 系統コード	
発動開始日時	
アセスメント対象容量[kW]	

自動算定欄						自動算定欄						自動算定欄						実効性テスト時のみ有効		
コマごとの達成率						コマごとの未達成率						コマごとのリクワイアメント未達成量[kWh]						リクワイアメント未達成量[kWh]	実効性テスト未達成量[kW]	期待容量（実効性テスト後）[kW]
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

自動算定欄						自動算定欄						自動算定欄					
発動実績（合計）[kWh]						発動実績（電源）[kWh]						発動実績（需要抑制）[kWh]					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

注意事項 ※1電源等リストにつき、発動実績が複数のファイルに跨る場合は、1 ファイル目の発動実績シートのみ2 ファイル目以降の実績を以下の欄に手入力願います。
(2ファイル目)

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

発動実績（電源）						発動実績（需要抑制）					
1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目

※10ファイル目以降の発動実績がある場合は、10ファイル目以降の合算値を入力

電源シート

発動実績算定諸元一覧

・入力は、10,000件までとなっております。10,000件を超える場合には、別ファイルを作成してください。
⇒入力頂くセルとなります。

項目	入力欄
容量を提供する電源等の区分	発動指令電源（電源）
事業者名	
事業者コード	
電源等リストの名称	
エリア名	
(リスト単位の) 系統コード	
発動開始日時	

注意
事項

・電源等リストに電源とし
て登録した地点を全て記載

・同左

・同左

・同左

・1 地点複数応札地点の場合、安定電源としての当該月の
アセスメント対象容量を入力、それ以外は0を入力

・kWh値を入力

・自動算定欄

No.	受電地点特定番号	電源等の名称	BGコード	計量・仕訳区分	ベースライン[kWh]						発電量調整受電電力量[kWh]						発動実績[kWh]					
					1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目	1コマ目	2コマ目	3コマ目	4コマ目	5コマ目	6コマ目
1					0	0	0	0	0	0												
2					0	0	0	0	0	0												
3					0	0	0	0	0	0												
4					0	0	0	0	0	0												
5					0	0	0	0	0	0												
6					0	0	0	0	0	0												
7					0	0	0	0	0	0												
8					0	0	0	0	0	0												
9					0	0	0	0	0	0												
10					0	0	0	0	0	0												
11					0	0	0	0	0	0												
12					0	0	0	0	0	0												
13					0	0	0	0	0	0												
14					0	0	0	0	0	0												
15					0	0	0	0	0	0												
16					0	0	0	0	0	0												
17					0	0	0	0	0	0												
18					0	0	0	0	0	0												
19					0	0	0	0	0	0												
20					0	0	0	0	0	0												

Appendix. 2 図表一覧

図 1-1	本業務マニュアルが対象とするリクワイアメント対応の位置づけ.....	4
図 1-2	電源等差替を実施していない容量提供事業者が確認すべきマニュアル.....	6
図 1-3	電源等差替を実施している事業者が確認すべきマニュアル.....	7
図 1-4	本業務マニュアルの構成（第 1 章除く）.....	8
図 1-5	発動指令電源に係るリクワイアメントを遵守するにあたり容量提供事業者等 が 登録・提出すべき算定諸元の一覧.....	9
図 2-1	第 2 章の構成.....	15
図 2-2	発動指令回数の実績確認の詳細構成.....	17
図 2-3	発動指令回数の実績確認の手順.....	17
図 2-4	ベースライン・発動実績の算定と登録の詳細構成.....	19
図 2-5	接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得の手順.....	19
図 2-6	ベースライン・発動実績の算定と登録の手順.....	21
図 2-7	平日のベースライン設定における除外日のイメージ.....	24
図 2-8	発動指令アセスメントデータ詳細画面の画面イメージ(アップロード時) ..	33
図 2-9	発動指令アセスメントデータ詳細画面の画面イメージ（コメント入力時）	33
図 3-1	第 3 章の構成.....	36
図 3-2	発動指令に係るアセスメント結果の確認手続きの詳細構成.....	38
図 3-3	突合結果・アセスメント結果の確認の手順.....	38
図 3-4	アセスメント結果詳細画面（発動指令）の画面イメージ.....	41
図 3-5	異議申立の手順.....	43
図 3-6	異議申立妥当性審査結果の確認の手順.....	45
図 3-7	ベースライン・発動実績の修正登録の手順.....	47
図 3-8	確定したアセスメント結果の受領の手順.....	48
表 1-1	リクワイアメント対応（発動指令電源）業務の主なスケジュール.....	5
表 2-1	発動実績算定諸元一覧の記載項目（発動実績シート）.....	26
表 2-2	発動実績算定諸元一覧の記載項目（電源シート）.....	28
表 2-3	発動実績算定諸元一覧の記載項目（需要抑制シート）.....	29
表 2-4	電源シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法.....	30
表 2-5	需要抑制シートの計量・仕訳区分に応じた計量値の記入方法.....	31
表 2-6	発動実績算定諸元一覧（Excel）登録完了情報通知メールイメージ.....	35
表 3-1	発動実績の突合結果通知メールイメージ.....	39
表 3-2	突合結果・アセスメント結果に対する異議申立に係るメールの記載項目 ..	44
表 3-3	リクワイアメント未達成量の確定通知メールイメージ.....	49

Appendix.3 業務手順全体図

業務手順全体図については、別紙（「容量市場業務マニュアル_実需給期間中リクワイアメント対応（発動指令電源）編_Appendix_業務手順全体図」）参照のこと。

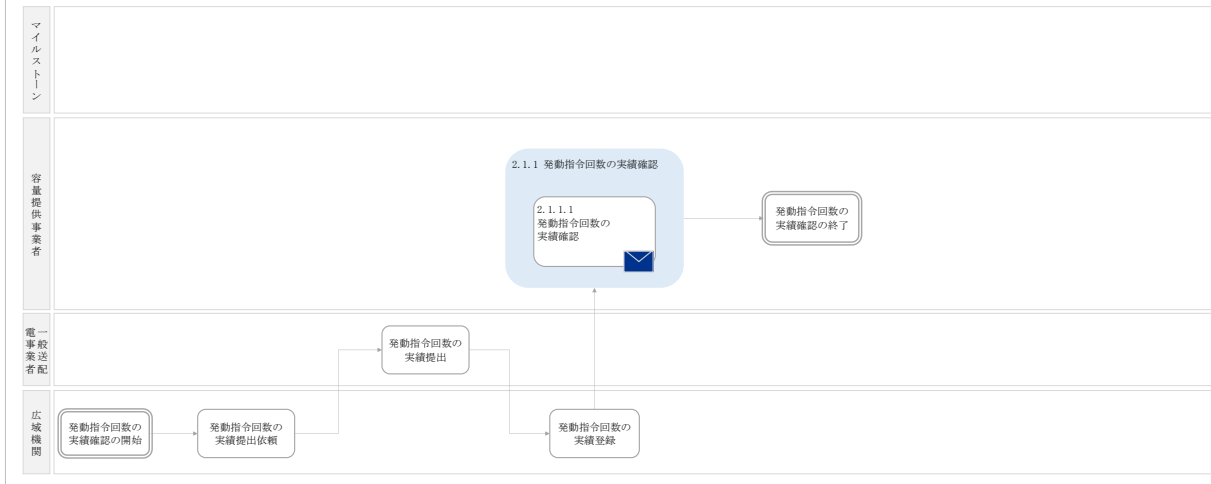
なお、それぞれのリクワイアメント・アセスメントのスケジュールについては、業務手順全体図に記載をしております。業務手順全体図では、対象実需給月をN月としております。

Appendix. 4 実需給期間中リクワイアメント対応に係る用語集

No.	用語	意味	記載箇所(一例)
1	最新回次	容量市場システムに登録された算定諸元や容量市場システム内で算定されたアセスメント算定結果のうち、同一条件の範囲内で最も直近に登録又は算定されたものを意味する。 このため、同一の実需給年月に複数回の登録や算定が実施された場合は、基本的に検索画面上で最新回次を指定して検索を実施する。	3.1.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認
2	発電量調整受電電力量	受電地点において、一般送配電事業者が発電契約者から受電する発電量調整供給に係る電気の電力量	2.2.1.1 接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得
3	差替配分供給力	差替先電源から差替元電源に対して配分された供給力	2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録

第2章：算定諸元登録（発動実績）

2.1 発動指令回数の実績確認



第2章：算定諸元登録（発動実績）

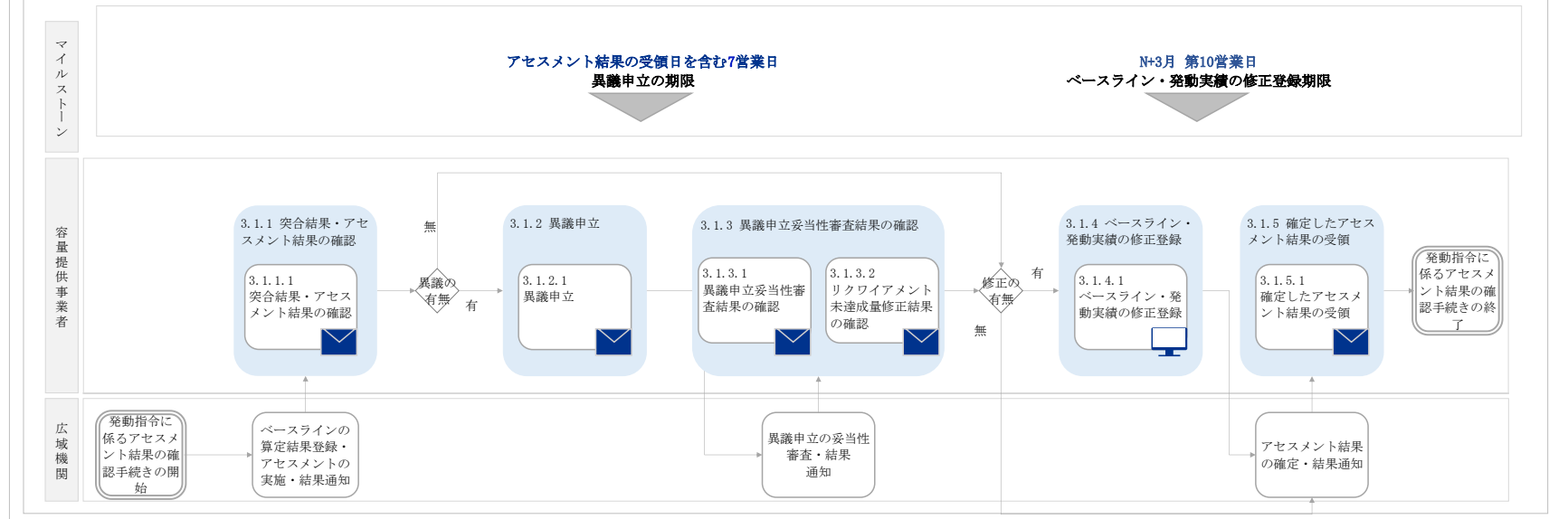
2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録





第3章：アセスメント結果への対応（発動指令）

3.1 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き



容量市場
業務マニュアル
実需給期間中
ペナルティ・容量確保契約金額対応編
(対象実需給年度：2026 年度)

2025 年 12 月 25 日 第 1 版 発行

電力広域的運営推進機関

(変更履歴)

	変更点		日付
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025 年 12 月 25 日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章	はじめに	4
1.1	本業務マニュアルの構成.....	7
1.2	本業務の対象となる事業者.....	7
第2章	ペナルティ・容量確保契約金額対応.....	8
2.1	経済的ペナルティの確認手続.....	9
2.2	容量確保契約金額の確認手続.....	19
2.3	支払通知書・請求書の確認手続.....	28
2.4	支払通知書に基づく入金の確認手続.....	40
2.5	請求書に基づく支払.....	44
Appendix.1	図表一覧.....	47
Appendix.2	業務手順全体図.....	49

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 実需給期間中ペナルティ・容量確保契約金額対応編（以下、本業務マニュアル）は、電力広域的運営推進機関（以下、本機関）の業務規程（第32条の5）の規定に基づき作成された文書です。

本業務マニュアルは容量市場に参加する事業者が実施する手続のうち、対象年度2026年度の容量市場において実需給期間中にペナルティ・容量確保契約金額対応として実施すべき業務について、必要な手続や容量市場システム¹の操作方法²が記載されています。

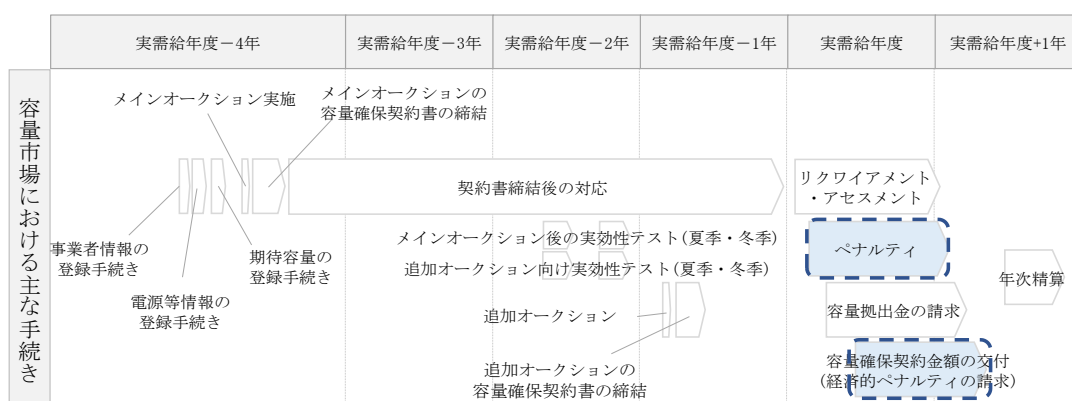


図 1-1 ペナルティ・容量確保契約金額対応業務の位置づけ

ペナルティ・容量確保契約金額対応業務は、主に下記業務から構成されます（図 1-2 参照）。

¹ 容量市場システムは、容量市場における容量オークション等への参加を希望する本機関会員、その他電気供給事業者の情報を適切に把握し、円滑な市場運営を行うために必要な機能を備えた情報処理システムです。

² 本業務マニュアルに記載している容量市場システムの機能は一部であり、その他の機能は必要に応じて容量市場システムマニュアルを参照してください。

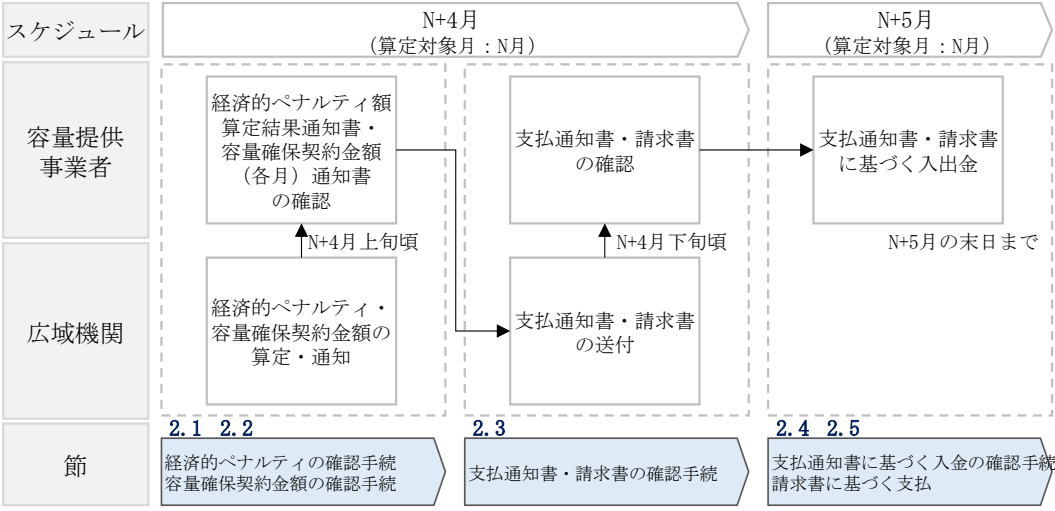


図 1-2 ペナルティ・容量確保契約金額対応業務の全体像

また、算定対象月を N 月とした場合の、月次のペナルティ・容量確保契約金額対応業務のスケジュールは、以下の通りとなります（表 1-1 参照）。

表 1-1 通知書・支払通知書・請求書の発行スケジュール

項目	時期	概要
容量確保契約金額（各月） 通知書の発行	N+4 月中旬頃	各月に支払われる金額を通知します。
経済的ペナルティ額 算定結果通知書の発行	N+4 月中旬頃	経済的ペナルティ額を通知します。 なお、発動指令電源については、対象月での発動指令がなかった場合、経済的ペナルティ額算定結果通知書は発行されません。
容量確保契約金額（各月） > 経済的ペナルティ額の場合		
項目	時期	概要
支払通知書の発行	N+4 月の下旬頃	本機関が容量提供事業者に支払う金額を通知します。
容量確保契約金額の交付	N+5 月末日まで	事業者情報に登録されている銀行口座に対して、本機関から支払を実施します。
容量確保契約金額（各月） < 経済的ペナルティ額の場合		
項目	時期	概要
請求書の発行	N+4 月の下旬頃	本機関から容量提供事業者に請求する金額を通知します。
経済的ペナルティの支払	N+5 月末日まで	容量提供事業者は、請求書に記載されている金額を、本機関が指定する銀行口座に支払ってください。

具体的なペナルティ・容量確保契約金額対応業務に関しては第 2 章に記載しておりますが、本章で説明する以下の 1.1～1.2 も確認してください。

1.1 本業務マニュアルの構成

1.2 本業務の対象となる事業者

1.1 本業務マニュアルの構成

ペナルティ・容量確保契約金額に係る確認手続や支払通知書・請求書の確認手続、入出金業務については第2章を参照してください（図 1-3 参照）。

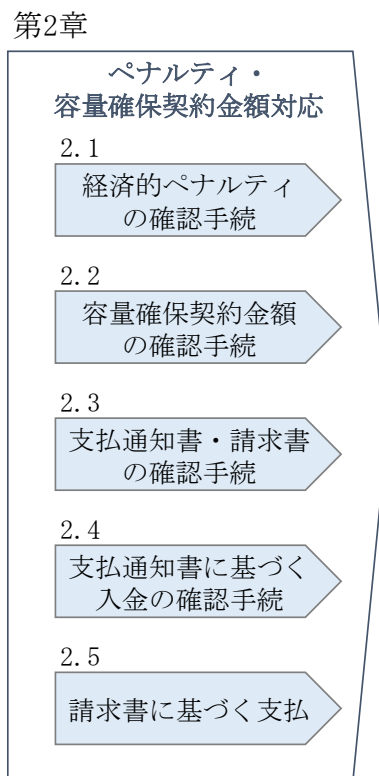


図 1-3 本業務マニュアルの構成（第1章除く）

1.2 本業務の対象となる事業者

本業務の対象となる事業者は、対象年度 2026 年度の実需給期間において契約を締結している容量提供事業者となります。

第2章 ペナルティ・容量確保契約金額対応

本章では、実需給期間中のペナルティ・容量確保契約金額対応に関する以下の内容について説明します（図 2-1 参照）。

- 2.1 経済的ペナルティの確認手続
- 2.2 容量確保契約金額の確認手続
- 2.3 支払通知書・請求書の確認手続
- 2.4 支払通知書に基づく入金の確認手続
- 2.5 請求書に基づく支払

第2章

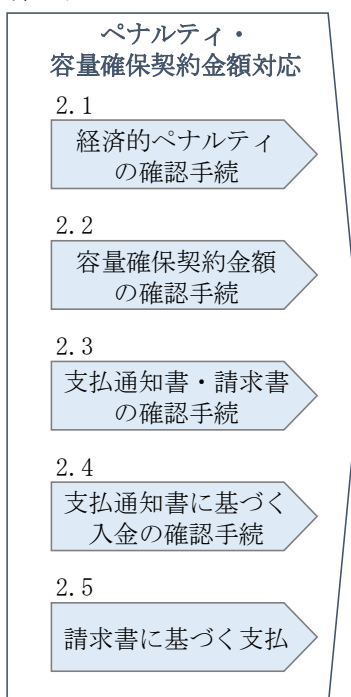


図 2-1 第2章の構成

2.1 経済的ペナルティの確認手続

本節では、経済的ペナルティの確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-2 参照）。

2.1.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認

2.1.2 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立

2.1.3 経済的ペナルティ額の再算定結果の確認

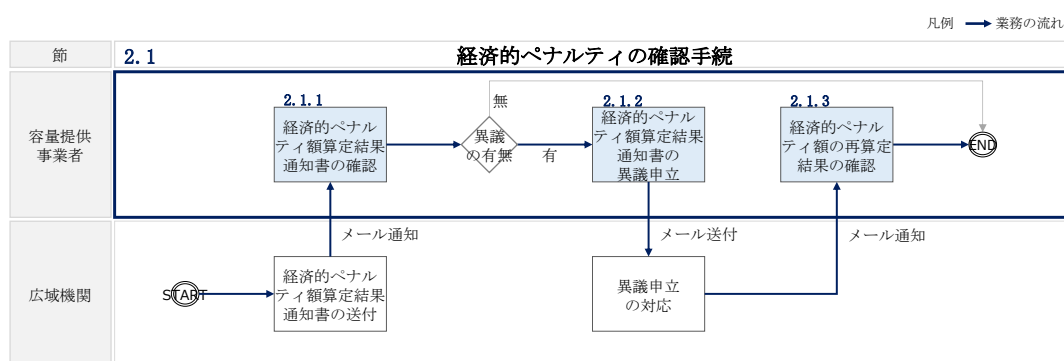


図 2-2 経済的ペナルティの確認手続の詳細構成

2.1.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認

本項では、本機関から発行された経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認について手順を説明します（図 2-3 参照）。

なお、発動指令電源については、対象月での発動指令がなかった場合、経済的ペナルティ額算定結果通知書は発行されません。

2.1.1.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書内容の確認

2.1.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認

2.1.1.1

経済的ペナルティ額
算定結果通知書
内容の確認

図 2-3 経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認の手順

2.1.1.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書内容の確認

本機関が容量市場システムにて経済的ペナルティ額算定結果通知書を発行後、事業者
に経済的ペナルティ額算定結果通知書が発行された旨のメールが送付されます（表
2-1 参照）。事業者はメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、経済的ペナル
ティ額算定結果通知書の帳票の内容を確認してください（図 2-4、表 2-2 参照）。な
お、経済的ペナルティ額算定結果通知書は、電源等情報単位で作成されます。

容量市場システムの折り畳みメニュー「ペナルティ」の「経済的ペナルティ管理」を
クリックして、「経済的ペナルティ額一覧画面」へ進んでください。

「経済的ペナルティ額一覧画面」にて、「算定対象年度³」と「算定対象年月⁴」を入力
し、また「最新回次⁵切替」に「最新回次のみ表示」を入力し、「検索」ボタンをクリ
ックしてください。検索結果が表示されますので、複数の電源を保持する場合は全電
源分のレコードの「選択」チェックボックスにチェックを付けて「通知書取得」ボタ
ンをクリックすることで、経済的ペナルティ額算定結果通知書の PDF ファイルが出力
されます。

出力した経済的ペナルティ額算定結果通知書の PDF ファイルの内容を確認してくださ
い（図 2-4、表 2-2 参照）。

³ 年度での入力が必要なため、年度内で年を跨ぐ1月から3月は暦年とは異なるため注意してください（実需給年度
2026 年度 1 月の場合、2026 と入力）。

⁴ 年の指定は年度ではなく暦年での入力が必要なため、年度内で年を跨ぐ1月から3月は入力に注意してください（実
需給年度 2026 年度 1 月の場合、2027/01 と入力）。

⁵ 最新回次とは、容量市場システムに登録された算定諸元や容量市場システム内で算定されたアセスメント算定結果の
うち、同一条件の範囲内で最も直近に登録又は算定されたものを意味します。そのため、同一の実需給年月に複数回の
登録や算定が実施された場合は、検索画面上で最新回次を指定して検索を実施してください。

表 2-1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の発行通知メール内容⁶

項目	内容
件名	【容量市場システム】経済的ペナルティ額算定結果通知書発行の通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>以下の電源等識別番号の経済的ペナルティ額通知書を発行しました。ご確認お願いいたします。</p> <p>【実需給年度】 YYYY</p> <p>【算定対象年月】 YYYY/MM</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

⁶ 各帳票の発行に係る通知メールは、容量市場システムに登録されているメールアドレスに送付いたします。

経済的ペナルティ額算定結果通知書

XXXX株式会社
 事業者コード: XXXX

御中

通知書番号 : FPyymmmNNNNNN-MM
 通知日 : yyyy年mm月dd日

電力広域的運営推進機関
 〒XXX-XXXX
 東京都XXX区XXX丁目X番X号

問い合わせ先
 部署 : XXX部
 電話番号 : XX-XXXX-XXXX
 E-Mail : xxx@occto.or.jp

件名: yyyy年度mm月の経済的ペナルティ額算定結果につきまして

1. アセスメント結果に基づく経済的ペナルティ額

yyyy年度mm月 経済的ペナルティ額[円](税抜)	4,000
①+②	

2. リクワイアメントごとのアセスメント結果に基づく経済的ペナルティ額

【安定電源】	リクワイアメント未達成コマ/量	経済的ペナルティ額[円]
供給力の維持におけるリクワイアメント未達成コマ	15	1,700
発電余力の卸電力取引所等への入札におけるリクワイアメント未達成量	30	300
電気の供給指示への対応におけるリクワイアメント未達成量	10	199
稼働抑制	-	2400

【変動電源(単独)】	リクワイアメント未達成コマ/量	経済的ペナルティ額[円]
供給力の維持におけるリクワイアメント未達成コマ	-	-

【変動電源(アグリゲート)】	リクワイアメント未達成コマ/量	経済的ペナルティ額[円]
供給力の維持におけるリクワイアメント未達成コマ	-	-

【発動指令電源】	リクワイアメント未達成コマ/量	経済的ペナルティ額[円]
発動指令への対応におけるリクワイアメント未達成量	-	-

経済的ペナルティ額[円] 計 ①	4,599
------------------	-------

3. 経済的ペナルティ額の調整

・上限による調整	
月間上限による減額[円]	-543
年間上限による減額[円]	-156
・その他	
調整額[円]	100
調整額[円] 計(上限による調整+その他) ②	-599

備考

4. 契約情報

契約番号	XXXXXXXX
事業者コード	XXXX
参加登録申請者名	XXXX株式会社
容量を提供する電源等の区分	安定電源
電源等識別番号	XXXXXXXXXX
電源等の名称	XXX発電所
契約単価[円/kW]	12
容量確保契約容量[kW]	1,000
容量確保契約金額[円]	12,000
稼働抑制控除額(年間)[円]	2,400

※経済的ペナルティ額算定結果に異議がある場合は、本帳票の通知メール受信から5営業日以内にメールにて異議申立を実施してください。
 ※契約内容の詳細は契約書等に記載の契約情報を参照してください。
 ※経済的ペナルティ情報の詳細は経済的ペナルティ詳細画面を参照してください。

図 2-4 経済的ペナルティ額算定結果通知書のサンプルイメージ

12

表 2-2 経済的ペナルティ額算定結果通知書の記載項目と確認観点

ID	記載項目	確認観点
1	通知書番号	－
2	通知日	－
3	事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4	事業者コード	
5	実需給年度算定対象月	対象の実需給年度・算定対象月であることを確認してください
6	経済的ペナルティ額[円]（税抜） ①＋②	以下の経済的ペナルティ額[円]計①と調整額[円]計②を合計した金額と一致していることを確認してください
7	【安定電源】供給力の維持におけるリクワイアメント未達成コマ	リクワイアメント対応業務で通知済みのアセスメント結果と一致していることを確認してください
8	【安定電源】発電余力の卸電力取引所等への入札におけるリクワイアメント未達成量	
9	【安定電源】電気の供給指示への対応におけるリクワイアメント未達成量	
10	【安定電源】稼働抑制	“－”となっていることを確認してください。
11	【変動電源（単独）】供給力の維持におけるリクワイアメント未達成コマ	リクワイアメント対応業務で通知済みのアセスメント結果と一致していることを確認してください
12	【変動電源（アグリゲート）】供給力の維持におけるリクワイアメント未達成コマ	
13	【発動指令電源】発動指令への対応におけるリクワイアメント未達成量	
14	【安定電源】供給力の維持における経済的ペナルティ額[円]	リクワイアメント対応業務で通知済みのアセスメント結果をもとに金額が算出されていることを確認してください
15	【安定電源】発電余力の卸電力取引所等への入札における経済的ペナルティ額[円]	
16	【安定電源】電気の供給指示への対応における経済的ペナルティ額[円]	
17	【安定電源】稼働抑制	

ID	記載項目	確認観点
18	【変動電源（単独）】供給力の維持における経済的ペナルティ額[円]	
19	【変動電源（アグリゲート）】供給力の維持における経済的ペナルティ額[円]	
20	【発動指令電源】発動指令への対応における経済的ペナルティ額[円]	
21	経済的ペナルティ額[円] 計 ①	リクワイアメント対応業務で通知済みのアセスメント結果に基づく経済的ペナルティ額の合計と一致していることを確認してください
22	上限による調整 ⁷ 月間上限による減額[円]	月間上限や年間上限による調整額が正しいことを確認してください
23	上限による調整 年間上限による減額[円]	
24	その他 調整額[円]	記載内容を確認してください
25	調整額[円] 計（上限による調整＋その他） ②	上限による調整額とその他調整額の合計と一致していることを確認してください
26	備考	記載内容を確認してください
27	契約番号	契約情報が正しいことを確認してください
28	事業者コード	
29	参加登録申請者名	
30	容量を提供する電源等の区分	
31	電源等識別番号	
32	電源等の名称	
33	契約単価[円/kW]	
34	容量確保契約容量[kW]	
35	容量確保契約金額[円]	
36	稼働抑制控除額（年間）[円]	

⁷ 実需給期間中の経済的ペナルティの上限については、容量確保契約約款第20条を参照してください。

2.1.2 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立

本項では、本機関から発行された経済的ペナルティ額算定結果通知書の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-5 参照）。

2.1.2.1 異議申立メールの送付

2.1.2.2 再検討内容メールの確認

2.1.2 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立

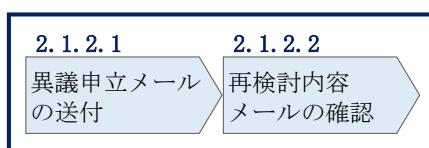


図 2-5 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立の手順

2.1.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された経済的ペナルティ額算定結果通知書に対して、経済的ペナルティ額算定結果通知書発行通知を受領した日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-3 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、4/1（水）に通知メールを受領した場合、4/7（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考> 容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-3 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ⁸ 】 経済的ペナルティ額算定結果通知書に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通知書番号 ・ 事業者コード ・ 実需給年度 ・ 算定対象月 ・ 契約番号 ・ 参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称 ・ 異議申立の内容⁹

2.1.2.2 再検討内容メールの確認

経済的ペナルティ額算定結果通知書に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで必要事項を本文に記載のうえ、本機関より受領したメールに記載されている指定期日までにメールを送信してください（表 2-4 参照）。

経済的ペナルティ額の変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_jushin@occto.or.jp

⁸ 自身の事業者コードを記入してください。

⁹ アセスメント結果に対する異議については、異議申立の受付期間は終了しているため、リクワイアメント対応業務で通知済みのアセスメント結果に対する異議は受理されません。

表 2-4 経済的ペナルティ額算定結果通知書の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re: 【XXXX（事業者コード）】経済的ペナルティ額算定結果通知書に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立による経済的ペナルティ額算定結果通知書の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的ペナルティ額算定結果通知書の再検討内容に対する確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知書番号 ・事業者コード ・実需給年度 ・算定対象月 ・契約番号 ・参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・電源等識別番号 ・電源等の名称 ・異議申立の内容

2.1.3 経済的ペナルティ額の再算定結果の確認

本項では、異議申立に対する経済的ペナルティ額の再算定結果の確認について手順を説明します（図 2-6 参照）。

2.1.3.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の再発行内容の確認

2.1.3 経済的ペナルティ額の再算定結果の確認

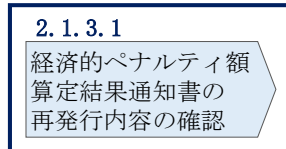


図 2-6 経済的ペナルティ額の再算定結果の確認の手順

2.1.3.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で経済的ペナルティ額算定結果通知書を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、再発行された経済的ペナルティ額算定結果通知書の帳票の内容を確認してください。

再発行された経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認方法は『2.1.1.1 経済的ペナルティ額算定結果通知書内容の確認』を参照してください。

2.2 容量確保契約金額の確認手続

本節では、容量確保契約金額の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-7 参照）。

- 2.2.1 容量確保契約金額（各月）通知書の確認
- 2.2.2 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立
- 2.2.3 容量確保契約金額（各月）の再算定結果の確認

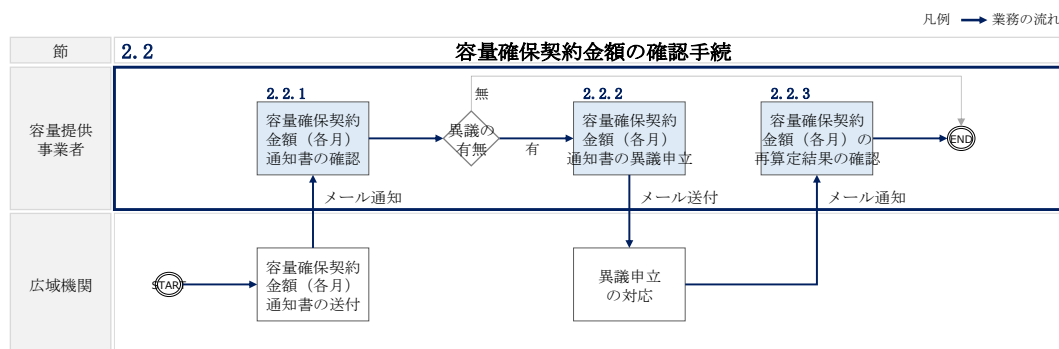


図 2-7 容量確保契約金額の確認手続の詳細構成

2.2.1 容量確保契約金額（各月）通知書の確認

本項では、本機関から発行された容量確保契約金額（各月）通知書の確認について手順を説明します（図 2-8 参照）。

2.2.1.1 容量確保契約金額（各月）通知書内容の確認

2.2.1 容量確保契約金額（各月）通知書の確認

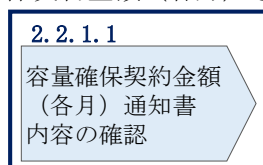


図 2-8 容量確保契約金額（各月）通知書の確認の手順

2.2.1.1 容量確保契約金額（各月）通知書内容の確認

本機関が容量市場システムにて容量確保契約金額（各月）通知書を発行後、事業者に容量確保契約金額（各月）通知書が発行された旨のメールが送付されます（表 2-5 参

照)。事業者はメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、容量確保契約金額（各月）通知書の帳票の内容を確認してください（図 2-9、表 2-6 参照）。

容量市場システムの折り畳みメニュー「容量確保契約金額対応」の「交付額管理」をクリックして、「容量確保契約金額（各月）算定結果一覧画面」へ進んでください。

「容量確保契約金額（各月）算定結果一覧画面」にて、「算定対象年度¹⁰」と「算定対象月¹¹」を入力し、また「最新回次切替」の「最新回次のみ表示」チェックボックスにチェックを付け、「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果が表示されますので、複数の電源を保持する場合は全電源分のレコードの「選択」チェックボックスにチェックを付けて「算定通知書ダウンロード」ボタンをクリックすることで、容量確保契約金額（各月）通知書の PDF ファイルが出力されます。

出力した容量確保契約金額（各月）通知書の PDF ファイルの内容を確認してください（図 2-9、表 2-6 参照）。

¹⁰ 年度での入力が必要なため、年度内で年を跨ぐ1月から3月は暦年とは異なるため注意してください（実需給年度2026年度1月の場合、2026と入力）。

¹¹ 年の指定は年度ではなく暦年での入力が必要なため、年度内で年を跨ぐ1月から3月は入力に注意してください（実需給年度2026年度1月の場合、2027/01と入力）。

表 2-5 容量確保契約金額（各月）通知書の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【容量市場システム】容量確保契約金額（各月）算定結果通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>容量確保契約金額の算定を完了しました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>【電源等識別番号】 XXXXXXXXXX</p> <p>【電源等の名称】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

容量確保契約金額(各月)通知書

通知書番号
通知日

CNyyyyymmNNNNNNN-MM
yyyy年mm月dd日

xxxx株式会社

御中

電力広域的運営推進機関

事業者コード : xxxx

〒xxx-xxxx
東京都xxx区xxxx丁目x番x号

問い合わせ先
部署 : xxx部
電話番号 : xx-xxxx-xxxx
E-Mail : xxx@occto.or.jp

件名 : xxxx年度xx月 容量確保契約金額(各月)につきまして

1. 容量確保契約金額(各月)

xxxx年度xx月 容量確保契約金額(各月)[円](税抜)

600

容量確保契約金額(各月)(調整前)[円]	800
調整額[円]	-200

備考

備考

2. 契約情報

契約番号	XXXXXXXXXX
事業者コード	xxxx
参加登録申請者名	xxxx株式会社
容量を提供する電源等の区分	安定電源
電源等識別番号	XXXXXXXXXX
電源等の名称	xxxx発電所
契約単価[円/kW]	12
容量確保契約容量[kW]	1,000
容量確保契約金額[円]	12,000
稼働抑制控除額(年間)[円]	2,400

※容量確保契約金額(各月)に異議がある場合、5営業日以内にメールにて異議申立を実施してください。

※契約内容の詳細は契約書等に記載の契約情報をご参照ください。

※容量確保契約金額(各月)情報の詳細は容量確保契約金額(各月)変更画面を参照してください。

※稼働抑制控除額[円]は非効率石炭火力電源ではない場合の金額との差額を参考として記載しております。

図 2-9 容量確保契約金額(各月)通知書のサンプルイメージ

22

表 2-6 容量確保契約金額（各月）通知書の記載項目と確認観点

ID	記載項目	確認観点
1	通知書番号	－
2	通知日	－
3	事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4	事業者コード	
5	実需給年度算定対象月	対象の実需給年度・算定対象月であることを確認してください
6	容量確保契約金額（各月）[円]（税抜）	契約情報をもとに算出された金額と調整額を合計した金額と一致していることを確認してください
7	容量確保契約金額（各月）（調整前）[円]	契約情報をもとに金額が算出されていることを確認してください
8	調整額[円]	記載内容を確認してください
9	備考	記載内容を確認してください
10	契約番号	契約情報が正しいことを確認してください
11	事業者コード	
12	参加登録申請者名	
13	容量を提供する電源等の区分	
14	電源等識別番号	
15	電源等の名称	
16	契約単価[円/kW]	
17	容量確保契約容量[kW]	
18	容量確保契約金額[円]	
19	稼働抑制控除額（年間）[円]	

2.2.2 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立

本項では、本機関から発行された容量確保契約金額（各月）通知書の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-10 参照）。

2.2.2.1 異議申立メールの送付

2.2.2.2 再検討内容メールの確認

2.2.2 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立

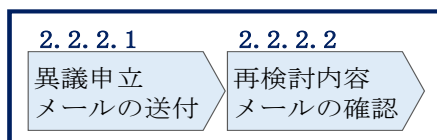


図 2-10 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立の手順

2.2.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された容量確保契約金額（各月）通知書に対して、容量確保契約金額（各月）通知書発行通知を受領した日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-7 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、4/1（水）に通知メールを受領した場合、4/7（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考> 容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-7 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ¹² 】容量確保契約金額（各月）通知書 に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通知書番号 ・ 事業者コード ・ 実需給年度 ・ 算定対象月 ・ 契約番号 ・ 参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称 ・ 異議申立の内容

2.2.2.2 再検討内容メールの確認

容量確保契約金額（各月）通知書に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで再検討内容の確認における必要事項を本文に記載のうえ、本機関より受領したメールに記載されている指定期日までにメールを送信してください（表 2-8 参照）。

容量確保契約金額の変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_jushin@occto.or.jp

¹² 自身の事業者コードを記入してください。

表 2-8 容量確保契約金額（各月）通知書の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re: 【XXXX（事業者コード）】 容量確保契約金額（各月）通知書に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立による容量確保契約金額（各月）通知書の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量確保契約金額（各月）通知書の再検討内容に対する確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知書番号 ・事業者コード ・実需給年度 ・算定対象月 ・契約番号 ・参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・電源等識別番号 ・電源等の名称 ・異議申立の内容

2.2.3 容量確保契約金額（各月）の再算定結果の確認

本項では、異議申立に対する容量確保契約金額（各月）の再算定結果の確認について手順を説明します（図 2-11 参照）。

2.2.3.1 容量確保契約金額（各月）通知書の再発行内容の確認

2.2.3 容量確保契約金額（各月）の再算定結果の確認

2.2.3.1

容量確保契約金額
（各月）通知書の
再発行内容の確認

図 2-11 容量確保契約金額（各月）の再算定結果の確認の手順

2.2.3.1 容量確保契約金額（各月）通知書の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で容量確保契約金額（各月）通知書を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、再発行された容量確保契約金額（各月）通知書の帳票の内容を確認してください。

再発行された容量確保契約金額（各月）通知書の確認方法は『2.2.1.1 容量確保契約金額（各月）通知書内容の確認』を参照してください。

2.3 支払通知書・請求書の確認手続

本節では、支払通知書・請求書の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-12 参照）。

2.3.1 支払通知書・請求書の確認

2.3.2 支払通知書・請求書の異議申立

2.3.3 支払通知書・請求書の再検討結果の確認

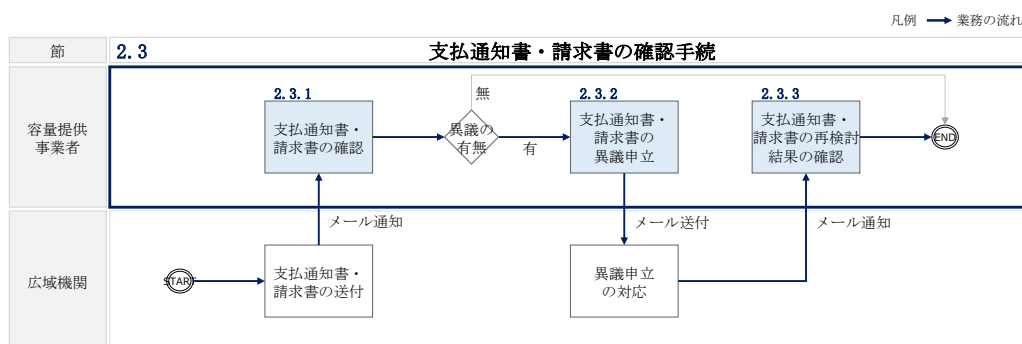


図 2-12 支払通知書・請求書の確認手続の詳細構成

2.3.1 支払通知書・請求書の確認

本項では、本機関から発行された支払通知書及び請求書の確認について手順を説明します（図 2-13 参照）。

2.3.1.1 支払通知書・請求書内容の確認

2.3.1 支払通知書・請求書の確認

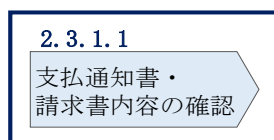


図 2-13 支払通知書・請求書の確認の手順

2.3.1.1 支払通知書・請求書内容の確認

本機関が容量市場システムにて支払通知書又は請求書を発行後、事業者には支払通知書又は請求書が発行された旨のメールが送付されます（表 2-9、表 2-10 参照）。事業者

はメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、支払通知書又は請求書の帳票の内容を確認してください（図 2-14、図 2-15、図 2-16、図 2-17、表 2-11 参照）。
なお、算定対象月において、容量確保契約金額（各月）が経済的ペナルティ額を上回る場合は支払通知書を、容量確保契約金額（各月）が経済的ペナルティ額を下回る場合は請求書を、本機関から発行することになります。

容量市場システムの折り畳みメニュー「容量拠出金対応・容量確保契約金額対応共通」の「支払通知・請求書管理」をクリックして、「容量確保契約金額支払通知書・請求書一覧画面」へ進んでください。

「容量確保契約金額支払通知書・請求書一覧画面」にて、「算定対象年度¹³」と「算定対象月¹⁴」を入力し、また「最新回次切替」の「最新回次のみ表示」チェックボックスにチェックを付け、「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果が表示されますので、対象レコードの「選択」チェックボックスにチェックを付けて「支払通知書/請求書ダウンロード」ボタンをクリックすることで、支払通知書又は請求書の PDF ファイルが出力されます。

出力した支払通知書又は請求書の PDF ファイルの内容を確認してください（図 2-14、図 2-15、図 2-16、図 2-17、表 2-11 参照）。

¹³ 年度での入力が必要なため、年度内で年を跨ぐ1月から3月は暦年とは異なるため注意してください（実需給年度 2026 年度 1 月の場合、2026 と入力）。

¹⁴ 年の指定は年度ではなく暦年での入力が必要なため、年度内で年を跨ぐ1月から3月は入力に注意してください（実需給年度 2026 年度 1 月の場合、2027/1 と入力）。

表 2-9 支払通知書の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【容量市場システム】支払通知書発行の通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>支払通知書を発行しました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

表 2-10 請求書の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【容量市場システム】請求書発行の通知
送信元メールアドレス	support-noreply@capacity-market2.occto.or.jp
本文記載事項	<p>XXXX 様</p> <p>こちらは電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者です。</p> <p>請求書を発行しました。ご確認をお願いいたします。</p> <p>【事業者コード】 XXXX</p> <p>【事業者名】 XXXX</p> <p>電力広域的運営推進機関 容量市場システム 管理者</p> <p>※このメールはシステムより自動送信されています。差出人には返信しないでください。</p>

支払通知書	
	支払通知書番号 : PN2024041000001-01
	支払通知書発行日 : 〇〇年〇月〇日
株式会社容量〇〇〇1	
御中	
事業者コード : H001	電力広域的運営推進機関
登録番号 (適格請求書発行事業者) : 12345678901234	登録番号 (適格請求書発行事業者) : 12345678901234
	〒135-0061
	東京都江東区豊洲6-2-15
件名 : 〇〇年度〇月の支払につきまして	問い合わせ先
下記の通り支払申し上げます。	部署 : 〇〇部
	電話番号 : 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	E-Mail : ××××@occto.or.jp
支払金額(税込) : 9,900円	
支払期日 : 〇〇年〇月〇日	
<div></div>	
<div><div>・ 実際の入金額は支払金額から振込の際の手数料を差し引いた金額となります。</div><div>・ 通知後5営業日以内に誤りのある旨の連絡がない場合には記載内容のとおり確認があったものといたします。</div><div>・ 支払通知書(明細)のうち、取引対象欄に「*」がついているものは、軽減税率対象となります。</div></div>	

図 2-14 支払通知書のサンプルイメージ (本紙)

支払通知書(明細)

支払通知書番号
支払通知書発行日

PN2024041000001-01
〇〇年〇月〇日

支払情報

No.	実需給年度・対象月 取引年月日	電源等識別番号 通知書番号	電源等の名称※1 取引対象	税抜金額(円)	税区分	備考
1	2024年度04月分	0000000001	〇〇〇〇発電所	¥10,000	10%	
	2024/04/01-2024/04/30	CN2024040000001-01	容量確保契約金額			

請求情報

No.	実需給年度・対象月 取引年月日	電源等識別番号 通知書番号	電源等の名称※1 取引対象	税抜金額(円)	税区分	備考
2	2024年度04月分	0000000001	〇〇〇〇発電所	¥-500	10%	
	2024/04/01-2024/04/30	FP2024040000001-01	経済的ペナルティ-実需給期間中※2			
3	2025年度	0000000001	〇〇〇〇発電所	¥-500	10%	
	2024/04/10	XZ20240400-1	経済的ペナルティ-契約解除※2			

※1：電源等の名称は先頭の一部のみを表示している場合があります

※2：実需給年度欄の年度の容量確保契約金額の返還

※3：実需給年度欄の年度の市場退出時の経済的ペナルティ

※4：実需給年度欄の年度の市場退出時の経済的ペナルティの返金

支払情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	-	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥10,000	¥1,000	¥11,000
合計金額	¥10,000	¥1,000	¥11,000

請求情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	-	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥-1,000	¥-100	¥-1,100
合計金額	¥-1,000	¥-100	¥-1,100

合計	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	-	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥9,000	¥900	¥9,900
合計金額	¥9,000	¥900	¥9,900

図 2-15 支払通知書のサンプルイメージ(明細)

請求書	
	請求書番号 : E12024041000004-03
	請求書発行日 : 〇〇年〇月〇日
株式会社容量〇〇〇4	御中
事業者コード: H004	電力広域的運営推進機関
登録番号(適格請求書発行事業者): 12345678901234	登録番号(適格請求書発行事業者): 12345678901234
件名: 〇〇年度〇月の請求につきまして 下記の通り請求申し上げます。	〒135-0061 東京都江東区豊洲6-2-15 問い合わせ先 部署 : 〇〇部 電話番号 : 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-Mail : ××××@occto.or.jp
請求金額(税込): 9,400円	
振込期日: 〇〇年〇月〇日	
<div></div>	
<ul style="list-style-type: none">以下の口座にお振込願います。なお、お振込の際の手数料につきましては、事業者様にてご負担願います。 三菱UFJ銀行 本店 普通預金 口座番号: 2513226 口座名義: デンリヨクコウイキテキウンエイスイシンキカン領収書の発行は致しません。通知後5営業日以内に誤りのある旨の連絡がない場合には記載内容のとおり確認があったものといたします。請求書(明細)のうち、取引対象欄に「*」がついているものは、軽減税率対象となります。	

図 2-16 請求書のサンプルイメージ(本紙)

請求書(明細)

請求書番号
請求書発行日

E12024041000004-03
〇〇年〇月〇日

請求情報

No.	実需給年度・対象月 取引年月日	電源等識別番号 通知書番号	電源等の名称※1 取引対象	税抜金額(円)	税区分	備考
1	2024年度04月分 2024/04/01-2024/04/30	0000000004 FP20240400000004-01	〇〇〇〇発電所 経済的ペナルティ-実需給期間中※2	¥5,000	8%	
2	2024年度04月分 2024/04/01-2024/04/30	0000000004 FP20240400000004-01	〇〇〇〇発電所 経済的ペナルティ-実需給期間中超過分	¥5,000	不課税	

支払情報

No.	実需給年度・対象月 取引年月日	電源等識別番号 通知書番号	電源等の名称※1 取引対象	税抜金額(円)	税区分	備考
3	2024年度04月分 2024/04/01-2024/04/30	0000000004 CN20240400000004-01	〇〇〇〇発電所 容量確保契約金額	¥-1,000	8%	

※1: 電源等の名称は先頭の一部のみを表示している場合があります

※2: 実需給年度欄の年度の容量確保契約金額の返還

※3: 実需給年度欄の年度の市場退出時の経済的ペナルティ

※4: 実需給年度欄の年度の市場退出時の経済的ペナルティの返金

請求情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥5,000	-	¥5,000
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥5,000	¥500	¥5,500
合計金額	¥10,000	¥500	¥10,500

支払情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	-	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥-1,000	¥-100	¥-1,100
合計金額	¥-1,000	¥-100	¥-1,100

合計	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥5,000	-	¥5,000
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥4,000	¥400	¥4,400
合計金額	¥9,000	¥400	¥9,400

図 2-17 請求書のサンプルイメージ(明細)

表 2-11 支払通知書・請求書の記載項目と確認観点

ID	ページ	記載項目	確認観点
1	本紙	支払通知書番号又は 請求書番号	-
2		支払通知書発行日又は 請求書発行日	-
3		事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4		事業者コード	
5		事業者登録番号	適格請求書発行事業者として登録している番号と相違ないことを確認してください
6		件名	記載内容を確認してください
7		支払金額(税込)又は 請求金額(税込)	明細における各電源の経済的ペナルティ額と容量確保契約金額(各月)をすべて足し合わせた額であることを確認してください

ID	ページ	記載項目	確認観点
			※経済的ペナルティ額、容量確保契約金額（各月）の算定においては、電源等識別番号単位で1円未満の端数を切捨てます。
8		支払期日又は振込期日	記載内容を確認してください
9		備考	記載内容を確認してください
10	明細	実需給年度・対象月	対象の実需給年度・対象月や取引年月日であることを確認してください
11		取引年月日	
12		電源等識別番号	保有する全ての電源分の明細があることを確認してください
13		通知書番号	
14		電源等の名称	また、通知済みの経済的ペナルティ額算定結果通知書・容量確保契約金額（各月）通知書の内容と一致していることを確認してください
15		取引対象	
16		税抜金額（円）	
17		税区分	記載内容を確認してください
18		備考	
19		合計金額欄	明細の右下に記載されている請求情報・支払情報・それら合計に対応する各合計金額が正しいことを確認してください 消費税額は、容量確保契約金額から経済的ペナルティを控除した税抜金額（円）（No. 16）に消費税率を乗じ、小数点以下を切り捨てます

2.3.2 支払通知書・請求書の異議申立

本項では、本機関から発行された支払通知書又は請求書の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-18 参照）。

2.3.2.1 異議申立メールの送付

2.3.2.2 再検討内容メールの確認

2.3.2 支払通知書・請求書の異議申立

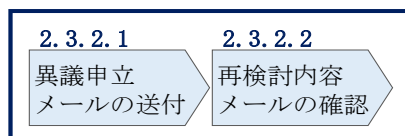


図 2-18 支払通知書・請求書の異議申立の手順

2.3.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された支払通知書又は請求書に対して、発行通知を受領した日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-12 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、4/1（水）に通知メールを受領した場合、4/7（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考> 容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-12 支払通知書及び請求書の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ¹⁵ 】支払通知書（又は請求書） ¹⁶ に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・支払通知書番号（又は請求書番号） ・事業者コード ・実需給年度・対象月 ・参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・契約番号 ・異議申立の内容¹⁷

¹⁵ 自身の事業者コードを記入してください。

¹⁶ いずれの帳票に対する異議申立であるか、該当する帳票名のみを選択して記載してください。

¹⁷ 容量確保契約金額（各月）及び経済的ペナルティ額の算定結果に対する異議について、異議申立の受付期間は終了しているため、通知済みの算定結果と不一致がある場合のみ異議は受理されます。

2.3.2.2 再検討内容メールの確認

支払通知書又は請求書に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで再検討内容の確認における必要事項を本文に記載のうえ、本機関が異議申立内容の検討結果メールの中で指定した確認期日以内にメールを送信してください（表 2-13 参照）。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_jushin@occto.or.jp

表 2-13 支払通知書及び請求書の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re: 【XXXX（事業者コード）】支払通知書（又は請求書）に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	支払通知書（又は請求書） ¹⁸ の再検討内容に対する確認結果 ・支払通知書（又は請求書）の再検討内容に対する確認結果を文章で記載 例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。 以下、異議申立メールの記載内容 ・支払通知書番号（又は請求書番号） ・事業者コード ・実需給年度・対象月 ・参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・契約番号 ・異議申立の内容

¹⁸ いずれの帳票に対する異議申立であるか、該当する帳票名のみを選択して記載してください。

2.3.3 支払通知書・請求書の再検討結果の確認

本項では、異議申立に対する支払通知書及び請求書の再検討結果の確認について手順を説明します（図 2-19 参照）。なお、支払通知書及び請求書の内容に変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

2.3.3.1 支払通知書・請求書の再発行内容の確認

2.3.3 支払通知書・請求書の再検討結果の確認

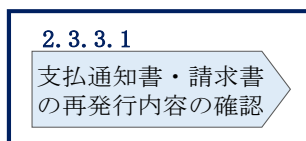


図 2-19 支払通知書・請求書の再検討結果の確認の手順

2.3.3.1 支払通知書・請求書の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で支払通知書又は請求書を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、容量市場システムにアクセスし、再発行された支払通知書又は請求書の帳票の内容を確認してください。

再発行された支払通知書又は請求書の確認方法は『2.3.1.1 支払通知書・請求書内容の確認』を参照してください。

2.4 支払通知書に基づく入金の確認手続

本節では、支払通知書に基づく入金の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-20 参照）。

2.4.1 入金額の確認

2.4.2 入金額に対する異議申立

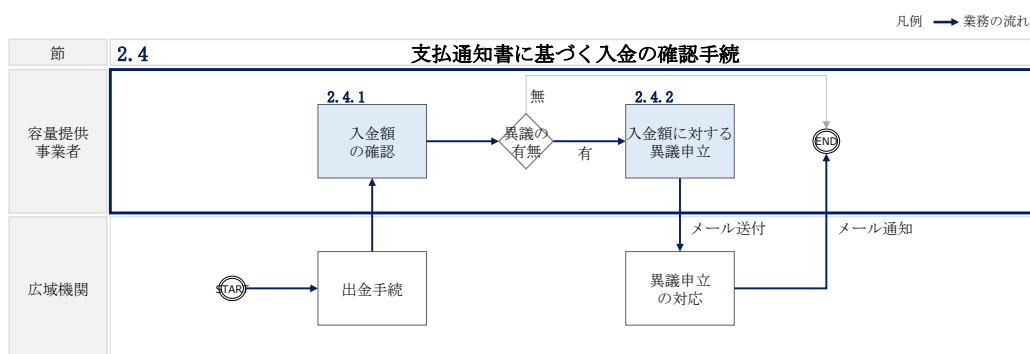


図 2-20 支払通知書に基づく入金の確認手続の詳細構成

2.4.1 入金額の確認

本項では、本機関から振込された入金額の確認について手順を説明します（図 2-21 参照）。

2.4.1.1 振込金額の確認

2.4.1 入金額の確認

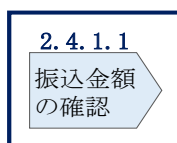


図 2-21 入金額の確認の手順

2.4.1.1 振込金額の確認

事前に送付されている支払通知書に記載の入金額を踏まえ、本機関からの入金額が正しい金額となっているかを確認してください。なお、本機関からの入金額については、振込手数料分が差し引かれた金額となっていることにご留意ください。

2.4.2 入金額に対する異議申立

本項では、本機関から振込された入金額に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-22 参照）。

2.4.2.1 異議申立メールの送付

2.4.2.2 再検討結果の内容の確認

2.4.2 入金額に対する異議申立

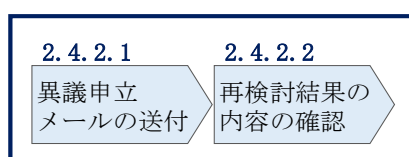


図 2-22 入金額に対する異議申立の手順

2.4.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から振込された入金額に対して、入金日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-14 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、8/31（水）に振込された場合、9/6（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考> 容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-14 容量確保契約金額の振込金額の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ¹⁹ 】容量確保契約金額の振込金額に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・支払通知書番号 ・事業者コード ・実需給年度 ・対象月 ・参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・契約番号 ・異議申立の内容²⁰

2.4.2.2 再検討結果の内容の確認

振込金額に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで必要事項を本文に記載のうえ、本機関より受領したメールに記載されている指定期日までにメールを送信してください（表 2-15 参照）。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_jushin@occto.or.jp

¹⁹ 自身の事業者コードを記入してください。

²⁰ 容量確保契約金額の支払通知書に対する異議について、異議申立の受付期間は終了しているため、通知済みの支払予定額から事業者負担の振込手数料を差し引いた金額と実際の振込金額に不一致がある場合のみ異議は受理されます。

表 2-15 容量確保契約金額の振込金額の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re: 【XXXX（事業者コード）】容量確保契約金額の振込金額に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立による容量確保契約金額の振込金額の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量確保契約金額の振込金額の再検討内容に対する確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支払通知書番号 ・事業者コード ・実需給年度 ・対象月 ・参加登録申請者名（事業者名称及び担当者名称） ・契約番号 ・異議申立の内容

2.5 請求書に基づく支払

本節では、請求書に基づく本機関への支払について、以下の流れで説明します（図 2-23 参照）。

2.5.1 指定口座への振込

2.5.2 支払不足の確認

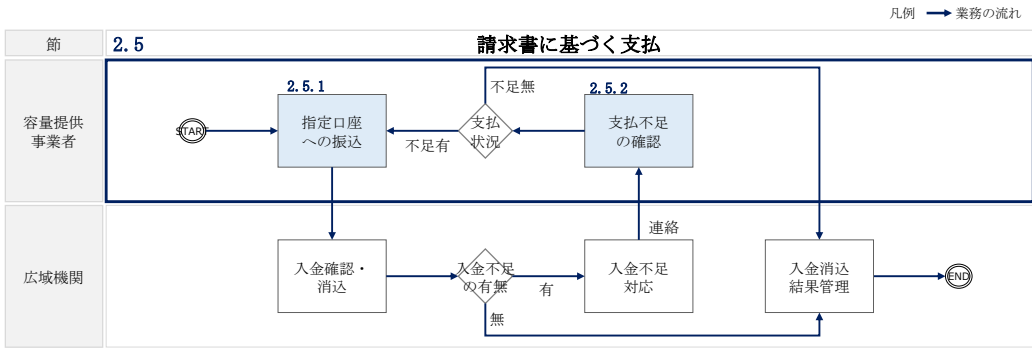


図 2-23 請求書に基づく支払の詳細構成

2.5.1 指定口座への振込

本項では、指定口座への請求額の振込について手順を説明します（図 2-24 参照）。

2.5.1.1 振込の実施

2.5.1 指定口座への振込

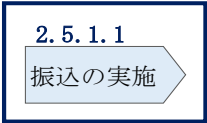


図 2-24 指定口座への振込の手順

2.5.1.1 振込の実施

事業者は、請求書記載内容をもとに、請求額の振込手続を行ってください。なお、振込手数料は事業者負担であることにご留意ください。

また、振込人名（カナ）は以下の通りに記載してください。

- ・振込人名：事業者コード（4 桁）＋空白 1 文字＋法人略称＋事業者名（カナ）

- ・法人略称は、金融機関口座カナ名義と同様の略称としてください
- ・ただし、事業名称（協同組合等）については、法人略称は不要です

例) 株式会社電力広域的運営推進機関（事業者コード：1234）の場合

振込人名：1234 カ)デンリョクコウイテキョウエイシンカン

例) 電力広域的運営推進機関協同組合（事業者コード：5678）の場合

振込人名：5678 デンリョクコウイテキョウエイシンカンキョウトウクミアイ

※事業者のシステム等の都合により、上記の振込人名の設定ができない場合は、容量市場システムに登録されている会社名（カナ）を振込人名に記載ください。ただし、振込人名称に法人形態の記載は必須ではありませんが、法人形態を記載する場合は金融機関口座振込時の略称ルールに従ってください。

例えば、会員情報管理システムに登録されている会社名（カナ）が「アイウエオ」又は「アイウエオカブシキカイシャ」の場合、振込人名は「アイウエオ」又は「アイウエオ(カ)」としてください。

2.5.2 支払不足の確認

本項では、支払不足の確認について、以下の流れで説明します（図 2-25 参照）。

2.5.2.1 支払不足に対する対応策の確認

2.5.2 支払不足の確認

2.5.2.1

支払不足に対する
対応策の確認

図 2-25 支払不足の確認の手順

2.5.2.1 支払不足に対する対応策の確認

請求額に対して事業者からの振込額に不足があった場合は、本機関より支払不足が発生している旨を電話又はメールで連絡しますので、支払状況を確認のうえ、支払不足に対する対応案を本機関と合意してください。合意した内容はメールにて送信されますので、内容を確認してください。

入金不足に伴う追加支払の対応が必要な場合は、不足額分の振込の手続を行ってください。なお、振込手数料は事業者負担であることにご留意ください。

Appendix.1 図表一覧

図 1-1 ペナルティ・容量確保契約金額対応業務の位置づけ	4
図 1-2 ペナルティ・容量確保契約金額対応業務の全体像	5
図 1-3 本業務マニュアルの構成（第1章除く）	7
図 2-1 第2章の構成	8
図 2-2 経済的ペナルティの確認手続の詳細構成	9
図 2-3 経済的ペナルティ額算定結果通知書の確認の手順	9
図 2-4 経済的ペナルティ額算定結果通知書のサンプライメージ	12
図 2-5 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立の手順	15
図 2-6 経済的ペナルティ額の再算定結果の確認の手順	18
図 2-7 容量確保契約金額の確認手続の詳細構成	19
図 2-8 容量確保契約金額（各月）通知書の確認の手順	19
図 2-9 容量確保契約金額（各月）通知書のサンプライメージ	22
図 2-10 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立の手順	24
図 2-11 容量確保契約金額（各月）の再算定結果の確認の手順	27
図 2-12 支払通知書・請求書の確認手続の詳細構成	28
図 2-13 支払通知書・請求書の確認の手順	28
図 2-14 支払通知書のサンプライメージ（本紙）	32
図 2-15 支払通知書のサンプライメージ（明細）	33
図 2-16 請求書のサンプライメージ（本紙）	34
図 2-17 請求書のサンプライメージ（明細）	35
図 2-18 支払通知書・請求書の異議申立の手順	37
図 2-19 支払通知書・請求書の再検討結果の確認の手順	39
図 2-20 支払通知書に基づく入金の確認手続の詳細構成	40
図 2-21 入金額の確認の手順	40
図 2-22 入金額に対する異議申立の手順	41
図 2-23 請求書に基づく支払の詳細構成	44
図 2-24 指定口座への振込の手順	44
図 2-25 支払不足の確認の手順	45

表 1-1 通知書・支払通知書・請求書の発行スケジュール.....	6
表 2-1 経済的ペナルティ額算定結果通知書の発行通知メール内容	11
表 2-2 経済的ペナルティ額算定結果通知書の記載項目と確認観点	13
表 2-3 経済的ペナルティ額算定結果通知書の異議申立メール内容	16
表 2-4 経済的ペナルティ額算定結果通知書の再検討内容の確認結果メール内容 ...	17
表 2-5 容量確保契約金額（各月）通知書の発行通知メール内容	21
表 2-6 容量確保契約金額（各月）通知書の記載項目と確認観点	23
表 2-7 容量確保契約金額（各月）通知書の異議申立メール内容	25
表 2-8 容量確保契約金額（各月）通知書の再検討内容の確認結果メール内容	26
表 2-9 支払通知書の発行通知メール内容	30
表 2-10 請求書の発行通知メール内容	31
表 2-11 支払通知書・請求書の記載項目と確認観点	35
表 2-12 支払通知書及び請求書の異議申立メール内容	37
表 2-13 支払通知書及び請求書の再検討内容の確認結果メール内容	38
表 2-14 容量確保契約金額の振込金額の異議申立メール内容	42
表 2-15 容量確保契約金額の振込金額の再検討内容の確認結果メール内容	43

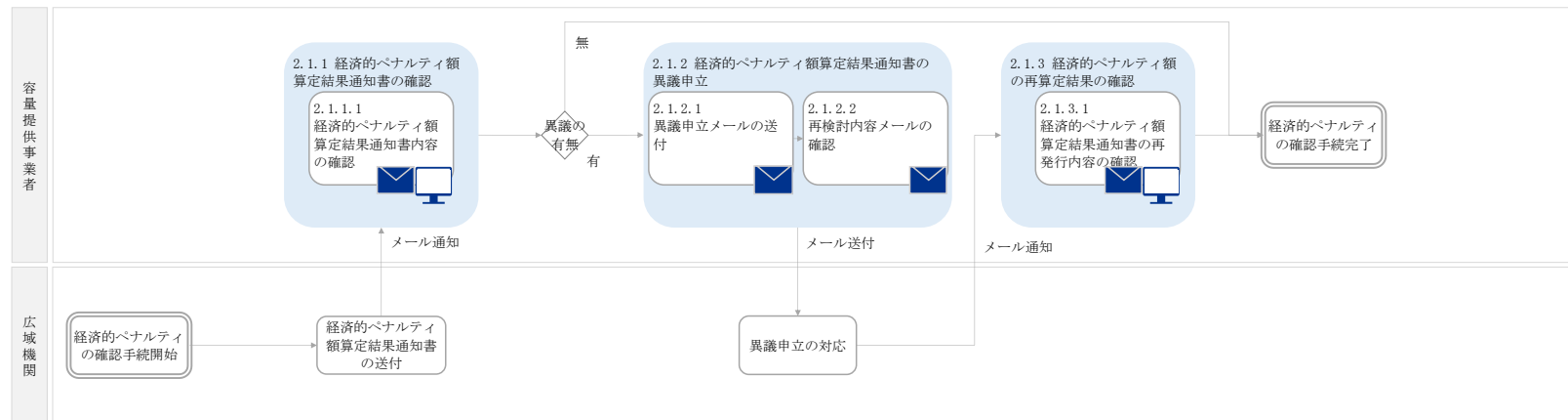
Appendix.2 業務手順全体図

業務手順全体図については、別紙（「容量市場業務マニュアル_実需給期間中ペナルティ・容量確保契約金額対応編_Appendix_業務手順全体図」）参照のこと



第2章：ペナルティ・容量確保契約金額対応

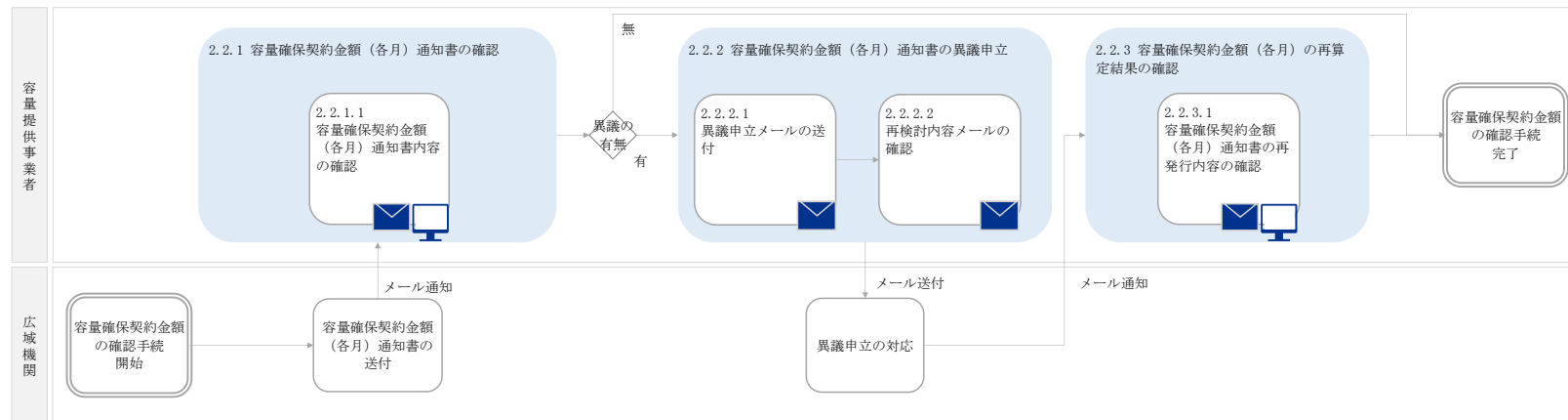
2.1 経済的ペナルティの確認手続





第2章：ペナルティ・容量確保契約金額対応

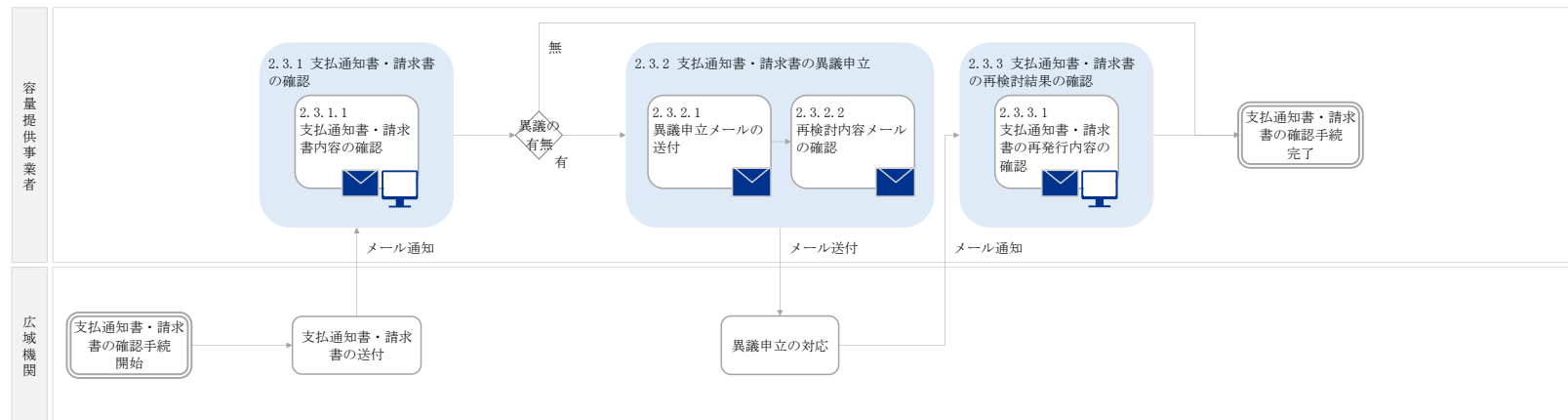
2.2 容量確保契約金額の確認手続





第2章：ペナルティ・容量確保契約金額対応

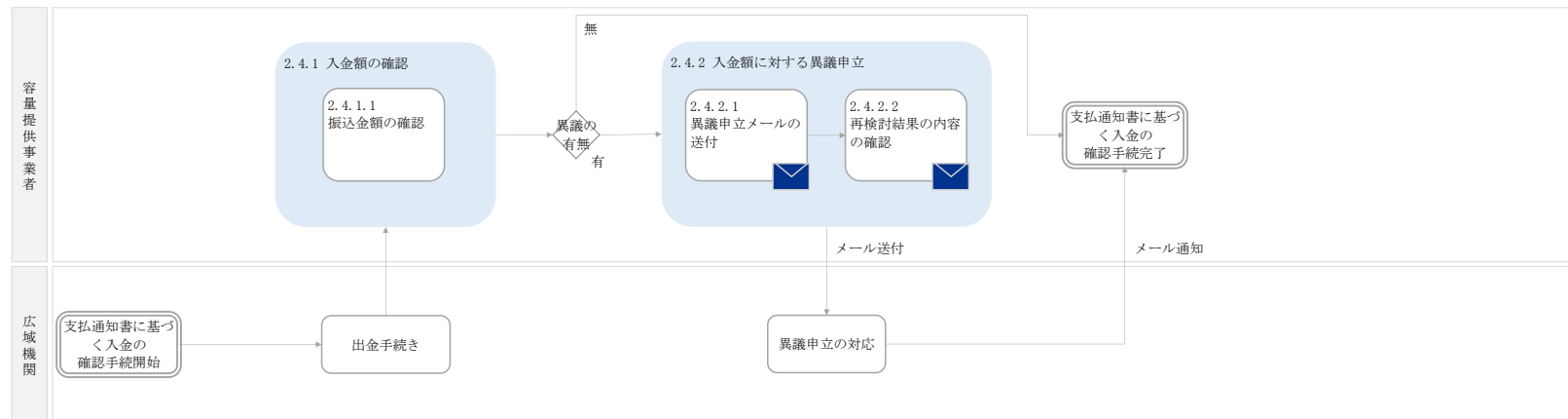
2.3 支払通知書・請求書の確認手続





第2章：ペナルティ・容量確保契約金額対応

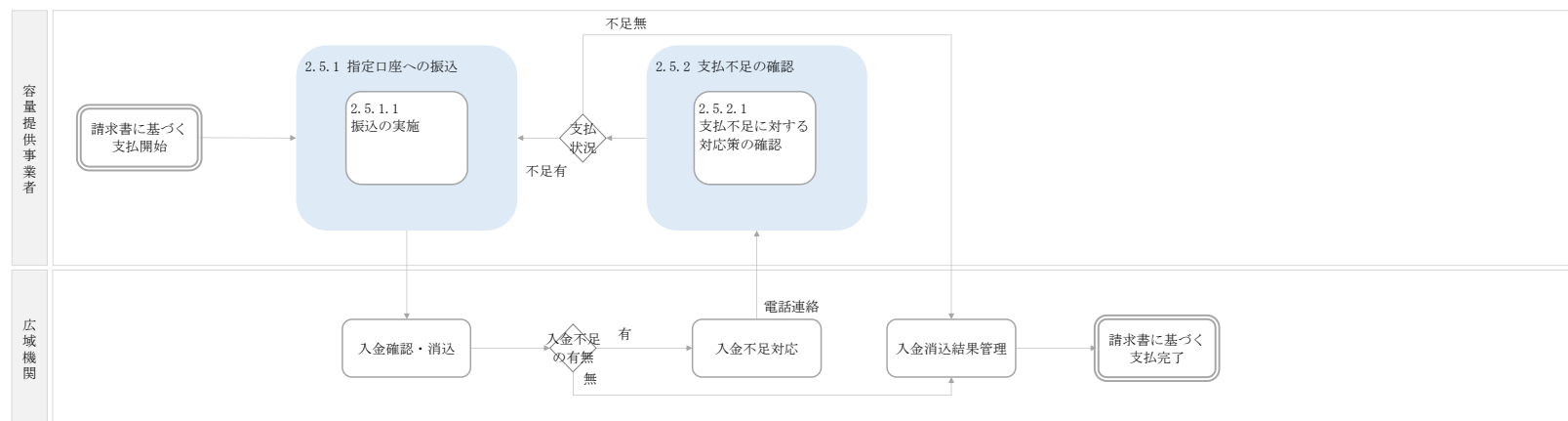
2.4 支払通知書に基づく入金の確認手続





第2章：ペナルティ・容量確保契約金額対応

2.5 請求書に基づく支払



容量市場
業務マニュアル
容量拋出金対応編
(対象実需給年度：2026 年度)

2025 年 12 月 25 日 第 1 版 発行

電力広域的運営推進機関

(変更履歴)

	変更点		日付
	変更箇所	変更内容	
初版	新規作成	—	2025 年 12 月 25 日

※誤字等、業務内容に影響しない事項は随時修正します。

目次

第1章	はじめに	4
1.1	本業務マニュアルの構成.....	7
1.2	本業務の対象となる事業者.....	7
1.3	容量拠出金の算定式.....	7
第2章	容量拠出金対応.....	11
2.1	容量拠出金（仮算定）の確認手続.....	12
2.2	容量拠出金の確認手続.....	18
2.3	還元額の確認手続.....	26
2.4	追加請求額の確認手続.....	35
2.5	請求書・支払通知書の確認手続.....	44
2.6	請求書に基づく支払.....	51
2.7	支払通知書に基づく入金の確認手続.....	53
Appendix.1	図表一覧.....	57
Appendix.2	業務手順全体図.....	59

第1章 はじめに

容量市場業務マニュアル 容量抛出台対応編（以下、本業務マニュアル）は、電力広域的運営推進機関（以下、本機関）の業務規程（第32条の5）の規定に基づき作成された文書です。

本業務マニュアルは一般送配電事業者、配電事業者又は小売電気事業者（以下、「小売電気事業者等」）が実施する手続のうち、対象実需給年度2026年度の容量市場における容量抛出台に係る内容について、必要な手続やシステム¹の操作方法²が記載されています。

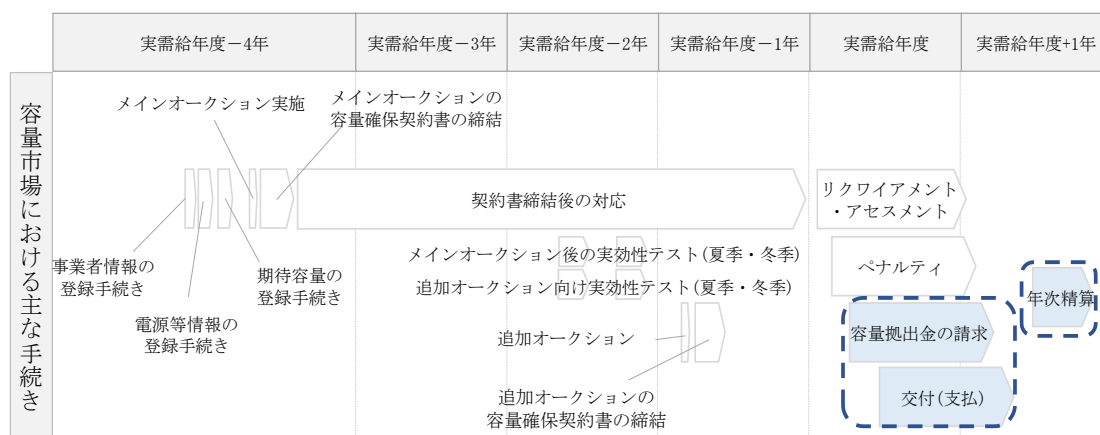


図 1-1 本業務マニュアルが対象とする容量抛出台対応業務の位置づけ

容量抛出台とは、容量市場において供給力を確保するために、電気事業法に定める供給能力の確保の規定に基づき、小売電気事業者等に抛出台いただくものです。本機関は、この容量抛出台をもって、供給力を提供する容量提供事業者へ、容量確保契約金額を交付します。

容量抛出台対応業務は、主に下記業務から構成されます（図 1-2 参照）。

【実需給年度開始前（年次、2025 年 12 月）】

- ・容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）の確認

¹ 会員情報管理システムは、本機関の会員の加入申込み・変更のオンライン化や、各種通知、連絡等を一元管理することを目的としたシステムです。当該システムの利用に当たっては「会員情報管理システム利用規約」を遵守していただく必要があります。

² 本業務マニュアルに記載している会員情報管理システムの機能は一部であり、運用する際の操作方法の詳細は会員情報システム取扱マニュアル (<https://www.occto.or.jp/kaiin/kaiinjoho.html>) を参照してください。

【実需給年度開始後（月次、2026年7月～2027年6月）】

- ・容量抛出台請求額通知書の確認
- ・請求書に基づく支払

【年次精算³（年次、2027年11月～2028年1月）】

- ・容量抛出台還元額通知書（年次精算）の確認
- ・容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の確認
- ・請求書・支払通知書に基づく入金業務

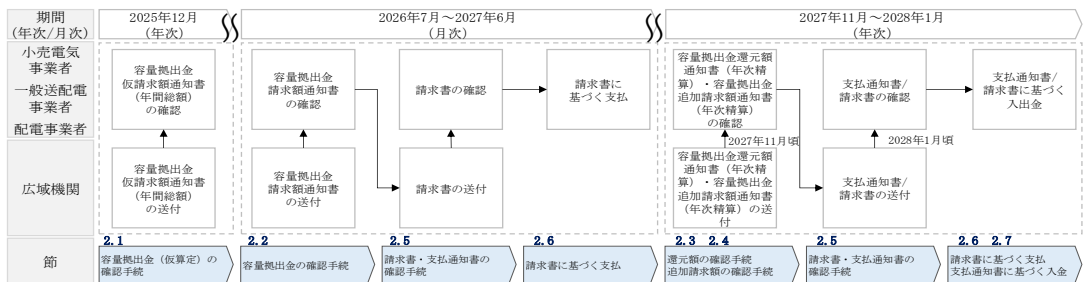


図 1-2 容量抛出台対応業務の全体像

また、請求対象月を N 月とした場合の、月次の容量抛出台対応業務のスケジュールは以下の通りとなります（表 1-1 参照）。

表 1-1 請求額通知書・請求書の発行スケジュール

項目	時期	概要
容量確抛出台請求額通知書の発行	N+2 月の第 10 営業日までに発行	本機関から事業者に請求する金額を通知します。
容量抛出台請求書の発行	N+3 月の 10 日までに発行	本機関から事業者に請求書を発行します。
事業者による容量抛出台振込期日	容量抛出台請求書発行から 1 か月以内 ⁴	事業者は、請求書に記載されている金額を、本機関が指定する銀行口座に支払ってください。

³ 年次精算とは、容量確保契約金額に対して経済的ペナルティが発生した場合や、容量抛出台の未回収が発生した場合に、容量抛出台へ反映するために精算を実施し、当該年度の容量確保契約金額の総額と容量抛出台の総額を一致させることを指します。

⁴ N+3 月の 10 日に容量抛出台請求書が発行された場合、N+4 月の 9 日が振込期日となります。

具体的な容量抛出台対応業務に関しては第2章に記載しておりますが、本章で説明する以下の1.1～1.3も確認してください。

- 1.1 本業務マニュアルの構成
- 1.2 本業務の対象となる事業者
- 1.3 容量抛出台の算定式

1.1 本業務マニュアルの構成

容量抛出台に係る確認手続や支払通知書・請求書の確認手続、入出金業務については第2章を参照してください（図 1-3 参照）。

第2章

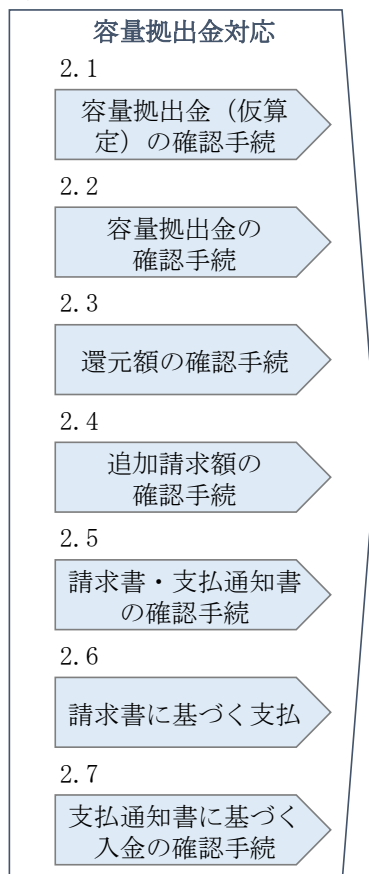


図 1-3 本業務マニュアルの構成（第1章除く）

1.2 本業務の対象となる事業者

本業務の対象となる事業者（以下、事業者）は、一般送配電事業者、配電事業者、小売電気事業者となります。

1.3 容量抛出台の算定式

容量抛出台の算定式について説明します。

なお、エリア別容量抛出台総額は、全国の容量抛出台総額をエリア別の H3 需要比率※に応じて、各エリアに配分することで算定します。

※対象実需給年度のメインオークション開催前に公表される最新の供給計画における実需給年度(第5年度)のH3需要比率となります。

容量抛出台請求額の算定諸元を入力することで、容量抛出台請求額通知書に記載される請求額に至るまでの計算式や端数処理の確認が可能となる Excel 版の検算ツールを参考資料として小売電気事業者向けに公表いたします※。

※2026年度の容量抛出台負担総額を反映した検算ツールは、2026年度4月分の容量抛出台請求額通知書の発行目途に公表いたします。

1.3.1 新規参入でない場合の容量抛出台の算定式

1.3.2 新規参入時の容量抛出台の算定式

1.3.1 新規参入でない場合の容量抛出台の算定式

新規参入でない場合の容量抛出台の算定式は以下の通りとなります。

【一般送配電事業者】

- ・各一般送配電事業者の容量抛出台（各月）
＝ エリア別の一般送配電事業者が負担する容量抛出台総額（各月）－ 当該エリアでの配電事業者の容量抛出台総額（各月）

【配電事業者】

- ・各配電事業者の容量抛出台（各月）※1
＝ 配電事業者の配分比率 × エリア別の一般送配電事業者が負担する容量抛出台総額（各月）
- ・配電事業者の配分比率※2
＝ 配電事業者が配電を行うエリアのH3需要※3（当該エリアの最大需要発生月のH3需要※1） ÷ エリア全体のH3需要※3

※1：小数点以下の値を四捨五入

※2：小数点以下16位まで計算（小数点以下17位を四捨五入）

※3：配電事業者が新規参入した年度の供給計画の第1年度の計画

【小売電気事業者】

- ・各小売電気事業者の容量抛出台（各月）※4

＝ シェア変動考慮後の配分比率 × エリア別の小売電気事業者が負担する容量
抛出台総額（各月）

※4：小数点以下の値を四捨五入

- ・シェア変動考慮後の配分比率※5

＝ シェア変動考慮後の kW ÷ 当該エリアにおける全小売電気事業者のシェア変
動考慮後の kW 合計

※5：小数点以下 16 位まで計算（小数点以下 17 位を四捨五入）

- ・シェア変動考慮後の kW※6

＝ 年間ピーク時の kW 実績※7※10 × シェア変動後の託送契約電力 kW 実績※8
÷ 年間ピークの託送契約電力 kW 実績※9※10

※6：小数点以下を四捨五入

※7：実需給前年度の夏季ピーク 7～9 月/冬季ピーク 12～2 月の各月における最大需
要発生時（1 時間）における電力使用量（送電端）を合計した kW を指します。それぞれ
容量抛出台 1～6 回目（4 月～9 月分）/7～12 回目（10 月～3 月分）の請求額算定の
基礎となります。

また、ここでいう「最大需要発生時（1 時間）」は、各エリアでの最大需要発生時を指
します。

※8：対象実需給月において、各小売電気事業者が一般送配電事業者と締結している
託送契約電力 kW を指します。本機関としては、一般送配電事業者から提供された託
送契約電力 kW を正とします。

※9：実需給前年度の夏季ピーク 7～9 月/冬季ピーク 12～2 月において、各小売電気
事業者が一般送配電事業者と締結している託送契約電力 kW を指します。本機関とし
ては、一般送配電事業者から提供された託送契約電力 kW を正とします。

※10：年間ピーク時の kW 実績（ピーク日時のデータ）と年間ピークの託送契約電力
kW 実績（月単位で集計する託送契約電力 kW のデータ）は、各データの性質上、デー
タ数が一致しない場合や、対象月のピーク時の kW 実績が対象月の託送契約電力 kW 実
績を上回る場合があります。データ数が一致しない場合は、年間ピーク時の kW 実績
を当該データ数で除し、年間ピークの託送契約電力 kW 実績のデータ数を乗じて算定
いたします。対象月のピーク時の kW 実績が対象月の託送契約電力 kW 実績を上回る場
合は、対象月のピーク時 kW 実績を対象月の託送契約電力 kW 実績に置き換えて算定い

たします。なお、年間ピーク時の kW 実績と年間ピークの託送契約電力 kW 実績のいずれもゼロの場合、『1.3.2 新規参入時の容量抛出台の算定式』に準じて計算します。

1.3.2 新規参入時の容量抛出台の算定式

新規参入時の容量抛出台の算定式は以下の通りとなります。

注：実需給前年度の年間ピーク時の kW 実績がゼロであり、託送契約電力 kW の実績もゼロの場合は新規参入となります。

【配電事業者】

■最大需要発生月以前の新規参入の場合

『1.3.1 新規参入でない場合の容量抛出台の算定式』に準じて計算。

■最大需要発生月よりあとに新規参入した場合

「配電事業者の配分比率」を下記算定式に基づいて計算。そのほかは、『1.3.1 新規参入でない場合の容量抛出台の算定式』に準じて計算。

・配電事業者の配分比率※11

= 配電事業者が配電を行うエリアの H3 需要※11（新規参入月以降の各月の H3 需要の平均） ÷ エリア全体の H3 需要※12

※11：小数点以下 16 位まで計算（小数点以下 17 位を四捨五入）

※12：配電事業者が新規参入した年度の供給計画の第 1 年度の計画

【小売電気事業者】

「シェア変動考慮後の kW」を下記算定式に基づいて計算。そのほかは、『1.3.1 新規参入でない場合の容量抛出台の算定式』に準じて計算。

・（新規参入した小売電気事業者の）シェア変動考慮後の kW※13

= 当該月の小売電気事業者の託送契約電力 kW 合計に占める新規参入事業者の比率
× エリア内の新規参入以外の事業者のシェア変動考慮後の kW 合計
÷ 当該月の小売電気事業者の託送契約電力 kW 合計に占める新規参入以外の事業者の比率
× 新規参入した事業者の当該月の託送契約電力 kW
÷ 新規参入した事業者の当該月の託送契約電力 kW の合計

※13：小数点以下は四捨五入し、端数が出たら新規参入者の内、最大値の事業者で端数調整します

第2章 容量拋出金対応

本章では、容量拋出金対応に関する以下の内容について説明します（図 2-1 参照）。

- 2.1 容量拋出金（仮算定）の確認手続
- 2.2 容量拋出金の確認手続
- 2.3 還元額の確認手続
- 2.4 追加請求額の確認手続
- 2.5 請求書・支払通知書の確認手続
- 2.6 請求書に基づく支払
- 2.7 支払通知書に基づく入金の確認手続

第2章

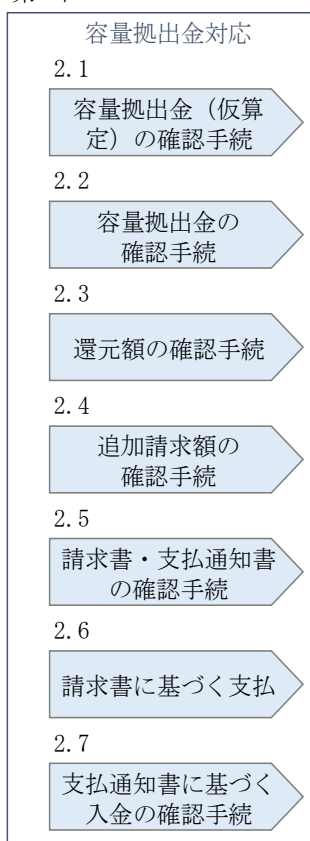


図 2-1 第2章の構成

2.1 容量抛出台金（仮算定）の確認手続

本機関は、実需給年度 2026 年度に係る容量抛出台金について、2026 年 7 月の請求開始にあたり、2025 年 12 月に仮算定額を算出し、当該金額を記載した容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）を、小売電気事業者等に送付します。

なお、当該仮算定額の値は、2025 年度の夏季のピーク時の電力 kW を基礎として算定するため、2025 年度冬季ピーク時の電力 kW 及び 2026 年度の各月のシェア変動を考慮する前の概算金額となります。

本節では、容量抛出台金（仮算定）の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-2 参照）。

2.1.1 容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）の確認

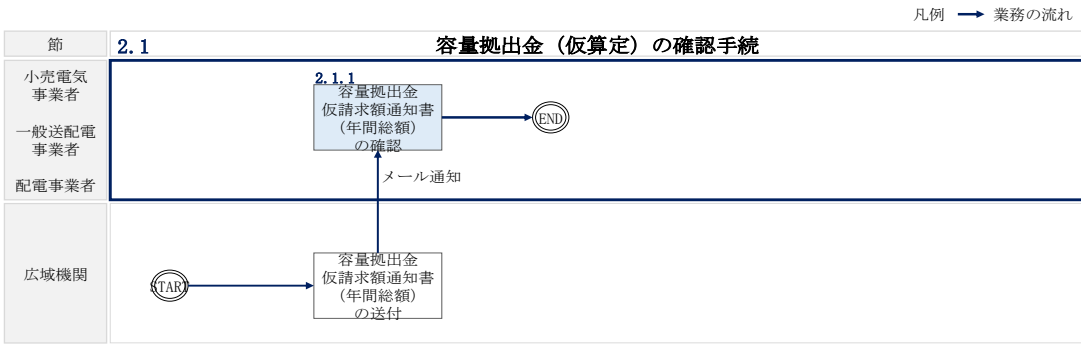


図 2-2 容量抛出台金（仮算定）の確認手続の詳細構成

2.1.1.1 容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）の確認

本項では、本機関から発行された容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）の確認手順を説明します（図 2-3 参照）。

2.1.1.1 容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）内容の確認

2.1.1.1 容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）の確認

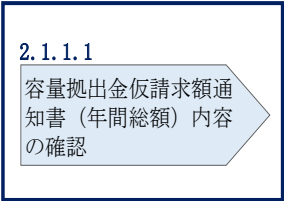


図 2-3 容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）の確認の手順

2.1.1.1 容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）内容の確認

本機関が会員情報管理システムにて容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）を発行後、事業者へ容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）が発行された旨のメールが送付されます（表 2-1 参照）。事業者はメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）の帳票の内容⁴を確認してください（図 2-4、表 2-2 参照）。

容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）に記載の金額は税抜となります。

会員情報管理システムにおける確認手順は「会員情報管理システム取扱マニュアル～会員向け 容量市場関連編～」を参照してください。

表 2-1 容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【電力広域的運営推進機関】容量抛出台仮請求額通知書発行通知（翌年度分）
送信元メールアドレス	member-occto-info@occto.or.jp
本文記載事項	<p>本メールは電力広域的運営推進機関からの自動送信メールです。</p> <p>-----</p> <p>XXXX 株式会社 YYYY 様</p> <p>平素より当機関運営にご協力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>容量抛出台の仮請求額（翌年度分）を本メールを以って通知致します。</p> <p>システムにログインいただき、内容のご確認をお願い致します。</p> <p>*****</p> <p>電力広域的運営推進機関 会員情報管理システム https://member-occto.occto.or.jp *****</p>

⁴ 仮算定は、あくまで実需給期間前に実施する概算値の通知であるため、実需給期間の実際の算定額とは異なることにご留意ください。また、概算額の通知という目的から、異議申立は受け付けておりません。

容量抛出台 仮請求額通知書（年間総額）

株式会社〇〇〇〇 御中

事業者コード:9999

事業者区分:〇〇事業者

通知書番号 : 123456789012345-78

通知日 : yyyy年mm月dd日

電力広域的運営推進機関

〒135-0061 東京都江東区豊洲6-2-15

問い合わせ先 部署 : 〇〇部

電話番号 : xx-xxxx-xxxx

E-Mail : xxxx@occto.or.jp

件名:〇〇〇〇〇〇〇〇

1. 容量抛出台仮請求額（税抜）

容量抛出台仮請求総額[円]	12,100
---------------	--------

容量抛出台仮請求額(年額)(調整前)[円]	12,000
調整額[円]	100
備考:	

小計[円]	12,100
-------	--------

（参考）

容量抛出台仮請求額(月額)[円]	xxx
実需給年度4月～2月	
容量抛出台仮請求額(最終月額)[円]	xxx
実需給年度3月	

2. 算定諸元情報

容量抛出台算定対象エリア	〇〇
エリア別の負担総額[円]（年額）	xxx
エリア別の負担額[円]（月額）	xxx
実需給年度4月～2月	
エリア別の負担額[円](端数調整月)	xxx
実需給年度3月	
負担分の比率[%]	xx.xx
※小数点第3位を四捨五入した概算比率	

前年度夏季ピーク時電力kW[kW]	7月	xxx
	8月	xxx
	9月	xxx

図 2-4 容量抛出台仮請求額通知書（年間総額）のサンプルイメージ

表 2-2 容量抛出台金仮請求額通知書（年間総額）の記載項目と確認観点

No	セクション	記載項目	確認観点
1	ヘッダー	通知書番号	－
2		通知日	－
3		事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4		事業者コード	
5		事業者区分	事業者区分（小売電気事業者/一般送配電事業者/配電事業者）が正しいことを確認してください ただし、登録特定送配電事業者の場合は小売電気事業者と表示されます
6		件名	記載内容を確認してください
7	1. 容量抛出台金仮請求額	容量抛出台金仮請求総額 [円]	通知対象事業者の容量抛出台金仮請求額（年額）が記載されています 小計（No. 11）と一致していることを確認してください
8		容量抛出台金仮請求額 （年額）（調整前） [円]	11 か月分の容量抛出台金仮請求額（月額）（No. 12）と容量抛出台金仮請求額（最終月額）（No. 13）を合計した金額となっていることを確認してください
9		調整額[円]	備考欄の記載内容を踏まえた調整額の金額が記載されていることを確認してください
10		備考	記載内容を確認してください
11		小計[円]	容量抛出台金仮請求額（年額）（調整前）（No. 8）と調整額（No. 9）を合計した金額となっていることを確認してください

No	セクション	記載項目	確認観点
12		容量拋出金仮請求額 （月額）[円] 実需給年度 4~2 月	通知対象事業者の容量拋出金負担額（月額）が記載されています 容量拋出金仮請求額（月額） （No. 12）は、負担額（月額） （No. 16）に負担分の比率（有効数字 16 桁）を乗じることで算定されます。請求額は小数点以下の値を四捨五入します。ただし、算定諸元情報に記載されている負担分の比率（No. 18）はパーセント表記での小数第 3 位を四捨五入した概算比率であることにご留意ください
13		容量拋出金仮請求額 （最終月額）[円] 実需給年度 3 月	通知対象事業者の容量拋出金負担額（最終月額）が記載されています 容量拋出金仮請求額（最終月額） （No. 13）は、負担額（端数調整月）（No. 17）に負担分の比率（有効数字 16 桁）を乗じることで算定されます。請求額は小数点以下の値を四捨五入します。ただし、算定諸元情報に記載されている負担分の比率（No. 18）はパーセント表記での小数第 3 位を四捨五入した概算比率であることにご留意ください
14	2. 算定諸元情報	容量拋出金算定対象エリア	対象のエリアであることを確認してください
15		エリア別の負担総額 [円]（年額）	エリア別の容量拋出金負担総額（年額）が記載されていることを確認してください

No	セクション	記載項目	確認観点
16		エリア別の負担総額 [円]（月額）実需給年 度4~2月	エリア別の容量拋出金負担総額 （月額）が記載されていることを 確認してください
17		エリア別の負担総額 [円]（端数調整月）実 需給年度3月	エリア別の容量拋出金負担総額 （最終月額）が記載されているこ とを確認してください
18		負担分の比率[%] ※パーセント表記での 小数点第3位を四捨五 入した概算比率	小売電気事業者： <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率が 記載されていることを確認し てください 一般送配電事業者・配電事業者： <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率が 記載されていることを確認し てください なお、負担分の比率（No.18）が 0.00%であっても、容量拋出金仮 請求総額（No.7）が0でない場合 があることにご留意ください
19		前年度夏季ピーク時電 力kW[kW]	通知対象事業者の実需給前年度の 夏季ピーク7~9月の各月の最大 需要発生時(1時間)における電力 使用量（送電端）kWが記載されて います

2.2 容量拠出金の確認手続

本節では、容量拠出金の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-5 参照）。

- 2.2.1 容量拠出金請求額通知書の確認
- 2.2.2 容量拠出金請求額通知書の異議申立
- 2.2.3 容量拠出金請求額の再算定結果の確認

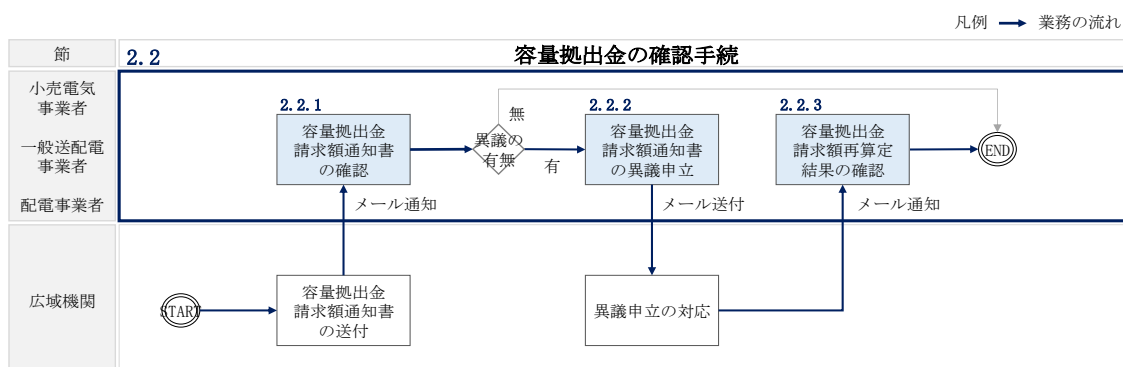


図 2-5 容量拠出金の確認手続の詳細構成

2.2.1 容量拠出金請求額通知書の確認

本項では、本機関から発行された容量拠出金請求額通知書の確認手順を説明します（図 2-6 参照）。

2.2.1.1 容量拠出金請求額通知書内容の確認

2.2.1 容量拠出金請求額通知書の確認

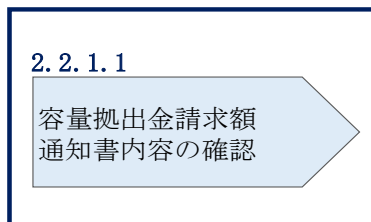


図 2-6 容量拠出金請求額通知書の確認の手順

2.2.1.1 容量拠出金請求額通知書内容の確認

本機関が会員情報管理システムにて容量拠出金請求額通知書を発行後、事業者に容量拠出金請求額通知書が発行された旨のメールが送付されます（表 2-3 参照）。事業者

はメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、容量拠出金請求額通知書の
 帳票の内容を確認してください（図 2-7、表 2-4 参照）。

容量拠出金請求額通知書に記載の金額は税抜となります。

会員情報管理システムにおける確認手順は「会員情報管理システム取扱マニュアル
 ～会員向け 容量市場関連編～」を参照してください。

表 2-3 容量拠出金請求額通知書の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【電力広域的運営推進機関】容量拠出金請求額通知書発行通知
送信元メールアドレス	member-occto-info@occto.or.jp
本文記載事項	<p>本メールは電力広域的運営推進機関からの自動送信メールです。</p> <p>-----</p> <p>XXXX 株式会社 YYYY 様</p> <p>平素より当機関運営にご協力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>容量拠出金の請求額を本メールを以って通知致します。 システムにログインいただき、内容のご確認をお願い致します。</p> <p>*****</p> <p>電力広域的運営推進機関 会員情報管理システム</p> <p>https://member-occto.occto.or.jp</p> <p>*****</p>

容量抛出台 請求額通知書

株式会社〇〇〇〇

事業者コード:9999

事業者区分:〇〇事業者

御中

通知書番号 : 123456789012345-78

通知日 : yyyy年mm月dd日

電力広域的運営推進機関

〒135-0061 東京都江東区豊洲6-2-15

問い合わせ先 部署 : 〇〇部

電話番号 : xx-xxxx-xxxx

E-Mail : xxxx@occto.or.jp

件名:〇〇〇〇〇〇〇〇

1. 容量抛出台請求額 (税抜)

容量抛出台請求額[円]

10,000

容量抛出台請求額(調整前)[円]	9,500
調整額[円]	500
備考: 当該エリアの既存事業者のエリアシェアkW: xxx	

小計[円]

10,000

2. 算定諸元情報(請求対象月分)

容量抛出台算定対象エリア	〇〇
エリア別の負担総額[円]	xxx
負担分の比率[%]	xx.xx
※小数点第3位を四捨五入した概算比率	

託送契約電力kW[kW]	xxx
前年度ピーク時電力kW[kW] ※1	① xxx
	② xxx
	③ xxx
前年度ピーク託送契約kW[kW] ※1	① xxx
	② xxx
	③ xxx

※1 請求対象月が4～9月の場合・・・ [①: 7月、②: 8月、③: 9月]
請求対象月が10～3月の場合・・・ [①: 12月、②: 1月、③: 2月]
※容量抛出台請求額に異議がある場合、xx営業日以内にメールにて異議申立を実施してください。

図 2-7 容量抛出台請求額通知書のサンプルイメージ

20

表 2-4 容量抛出台請求額通知書の記載項目と確認観点

No	セクション	記載項目	確認観点
1	ヘッダー	通知書番号	－
2		通知日	－
3		事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4		事業者コード	
5		事業者区分	事業者区分（小売電気事業者/一般送配電事業者/配電事業者）が正しいことを確認してください ただし、登録特定送配電事業者の場合は小売電気事業者と表示されます
6		件名	記載内容を確認してください
7	1. 容量抛出台請求額	容量抛出台請求額[円]	通知対象事業者の容量抛出台金負担額（月額）が記載されています 小計（No. 11）と一致していることを確認してください
8		容量抛出台請求額（調整前）[円]	容量抛出台請求額（調整前）（No. 8）は、エリアの負担総額（No. 13）に負担分の比率（有効数字 16 桁）を乗じることで算定されます。請求額は小数点以下の値を四捨五入します。ただし、算定諸元情報（請求対象月分）に記載されている負担分の比率（No. 14）はパーセント表記での小数第 3 位を四捨五入した概算比率であることにご留意ください
9		調整額[円]	備考欄の記載内容を踏まえた調整額の金額が記載されていることを確認してください
10		備考	記載内容を確認してください
11		小計[円]	容量抛出台請求額（調整前）（No. 8）と調整額（No. 9）を合計した金額となっていることを確認してください
12	2. 算定諸元情報（請求対象月分）	容量抛出台算定対象エリア	対象のエリアであることを確認してください
13		エリアの負担総額[円]	エリアの容量抛出台金負担総額（月額）が記載されていることを確認してください

No	セクション	記載項目	確認観点
14		負担分の比率[%] ※パーセント表記での小数点第3位を四捨五入した概算比率	<p>小売電気事業者：</p> <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率（概算）が記載されていることを確認してください <p>一般送配電事業者・配電事業者：</p> <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率（概算）が記載されていることを確認してください <p>なお、負担分の比率（No. 14）が 0.00% であっても、容量拠出金請求額（No. 7）が 0 でない場合があることにご留意ください</p>
15		異議申立日数	記載内容を確認してください
16		託送契約電力 kW[kW]	対象実需給月において、各小売電気事業者が一般送配電事業者と締結している託送契約電力 kW が記載されています
17		前年度ピーク時電力 kW[kW]	実需給前年度の夏季ピーク 7～9 月/冬季ピーク 12～2 月の各月の最大需要発生時（1 時間）における電力使用量（送電端）を合計した kW が記載されています
18		前年度ピーク託送契約 kW[kW]	実需給前年度の夏季ピーク 7～9 月/冬季ピーク 12～2 月において、各小売電気事業者が一般送配電事業者と締結している託送契約電力 kW が記載されています

2.2.2 容量抛出台請求額通知書の異議申立

本項では、本機関から発行された容量抛出台請求額通知書の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-8 参照）。

2.2.2.1 異議申立メールの送付

2.2.2.2 再検討内容メールの確認

2.2.2 容量抛出台請求額通知書の異議申立

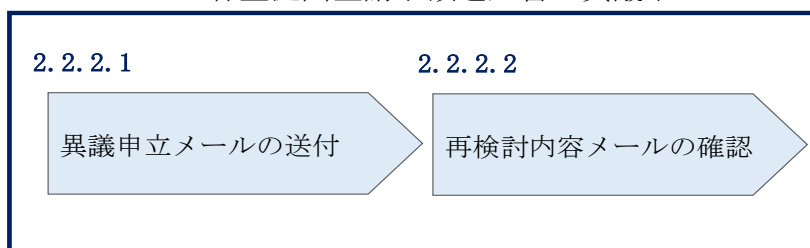


図 2-8 容量抛出台請求額通知書の異議申立の手順

2.2.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された容量抛出台請求額通知書に対して、発行通知受領日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-5 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、4/14（月）に通知メールを受領した場合、4/18（金）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞本業務マニュアルにおいては、容量確保契約約款に準じて、以下のとおりいたします。

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-5 容量抛出台請求額通知書の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ⁵ 】容量抛出台請求額通知書に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容量抛出台請求額通知書番号 ・ 実需給年度 ・ 対象月 ・ 事業者名 ・ 事業者コード ・ 事業者区分 ・ 容量抛出台算定対象エリア ・ 異議申立の内容

2.2.2.2 再検討内容メールの確認

容量抛出台請求額通知書に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで再検討内容の確認における必要事項を本文に記載のうえ、本機関が異議申立内容の再検討結果メールの中で指定した確認期日以内にメールを送信してください（表 2-6 参照）。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp

表 2-6 容量抛出台請求額通知書の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re: 【XXXX（事業者コード）】容量抛出台請求額通知書に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp

⁵ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

本文記載事項	<p>異議申立による容量抛出台請求額通知書の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量抛出台請求額通知書の再検討内容に対する事業者の確認結果を文章で記載 <p>例) 異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量抛出台請求額通知書番号 ・実需給年度 ・対象月 ・事業者名 ・事業者コード ・事業者区分 ・容量抛出台算定対象エリア ・異議申立の内容
--------	---

2.2.3 容量抛出台請求額の再算定結果の確認

本項では、異議申立に対する容量抛出台請求額の再算定結果の確認について手順を説明します（図 2-9 参照）。なお、容量抛出台請求額通知書内容に変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

2.2.3 容量抛出台請求額の再算定結果の確認

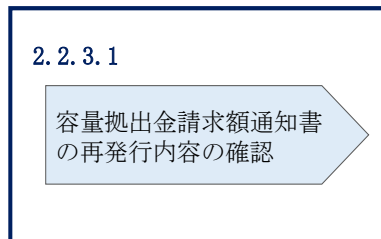


図 2-9 容量抛出台請求額の再算定結果の確認の手順

2.2.3.1 容量抛出台請求額通知書の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で容量抛出台請求額通知書を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、再発行された容量抛出台請求額通知書の帳票の内容を確認してください。

再発行された容量抛出台請求額通知書の確認方法は『2.2.1.1 容量抛出台請求額通知書内容の確認』を参照してください。

2.3 還元額の確認手続

還元額とは、容量提供事業者のリクワイアメント未達成による経済的ペナルティの徴収等で生じた、容量確保契約金額と経済的ペナルティの差引金額と容量拋出金との差額を調整し、小売電気事業者に還元される金額です。還元の対象となる小売電気事業者は、実需給期間末日時点で本機関の会員資格を有し、年次精算の算定開始の前日時点で、対象実需給年度の月次の容量拋出金の支払不足がない事業者となります。本節では、還元額の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-10 参照）。

2.3.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認

2.3.2 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の異議申立

2.3.3 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再算定結果の確認

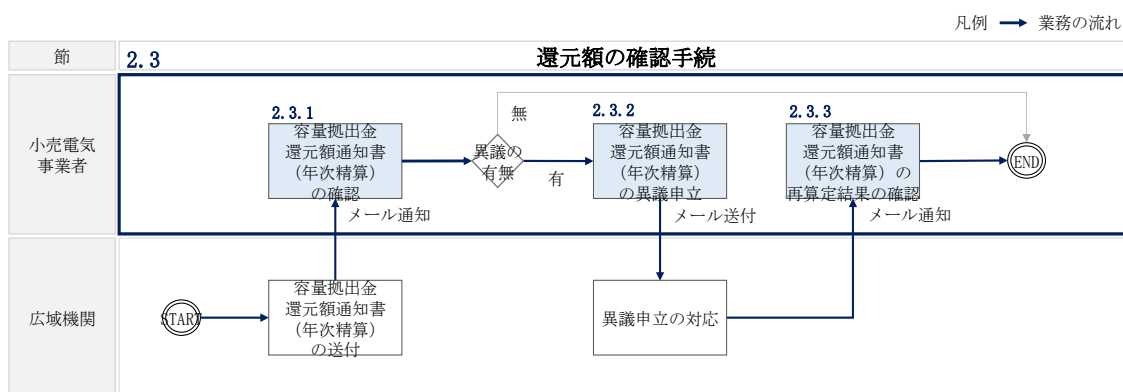


図 2-10 還元額の確認手続の詳細構成

注：容量拋出金還元額通知書（年次精算）に基づく還元額から、容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）に基づく追加請求額、及び容量拋出金請求額通知書に基づく対象実需給年度 2026 年度の月次の容量拋出金請求額を差し引いた金額が、正となる場合は支払通知書、負となる場合は請求書が発行されます。

還元の対象となる事業者が存在しない場合（年次精算の算定開始時点以降に脱退した会員等）、翌年度の年次精算の還元額に加算し、還元の対象となる全ての小売電気事業者に還元します。

本機関からの入金額については、振込手数料分が差し引かれた金額となることにご留意ください。なお、支払金額が少額で振込手数料を下回る場合、当該支払金額は事業者への支払いを行わず、翌年度の年次精算の還元額に加算し、還元の対象となる全ての小売電気事業者に還元します。

2.3.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認

本項では、本機関から発行された容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認手順を説明します（図 2-11 参照）。

2.3.1.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）内容の確認

2.3.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認

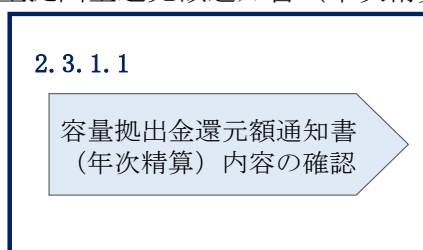


図 2-11 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認の手順

2.3.1.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）内容の確認

本機関が会員情報管理システムにて容量拋出金還元額通知書（年次精算）を発行後、事業者へ容量拋出金還元額通知書（年次精算）が発行された旨のメールが送付されます（表 2-7 参照）。事業者はメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、容量拋出金還元額通知書（年次精算）の内容を確認してください（表 2-8、図 2-22 参照）。

容量拋出金還元額通知書（年次精算）に記載の金額は税抜となります。

会員情報管理システムにおける確認手順は「会員情報管理システム取扱マニュアル～会員向け 容量市場関連編～」を参照してください。

表 2-7 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【電力広域的運営推進機関】容量拋出金還元額通知書発行通知（年次精算）
送信元メールアドレス	member-occto-info@occto.or.jp
本文記載事項	本メールは電力広域的運営推進機関からの自動送信メールです。 ----- XXXX 株式会社 YYYY 様

項目	内容
	<p>平素より当機関運営にご協力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>容量拋出金の還元額（年次精算）を本メールを以って通知致します。</p> <p>システムにログインいただき、内容のご確認をお願い致します。</p> <p>*****</p> <p>電力広域的運営推進機関 会員情報管理システム https://member-occto.occto.or.jp *****</p>

容量抛出台 還元額通知書（年次精算）

株式会社〇〇〇〇

事業者コード:9999

御中

通知書番号 : 123456789012345-78

通知日 : yyyy年mm月dd日

電力広域的運営推進機関

〒135-0061 東京都江東区豊洲6-2-15

問い合わせ先 部署 : 〇〇部

電話番号 : 999-9999-9999

E-Mail : xxxxx@occto.or.jp

件名: 〇〇〇〇〇〇〇〇

1. 容量抛出台還元額（税抜）

容量抛出台還元額[円] xxx

容量抛出台還元額（調整前）[円]	xxx
調整額[円]	xxx
備考：	

小計[円] xxx

2. 算定諸元情報

還元額の原因となる実需給期間前の経済的ペナルティ入金総額[円]①	xxx
還元額の原因となる請求額と実交付額等の差額[円]②	xxx
還元額の原因となる総額[円]①+②	xxx
負担分の比率[%]	xx.xx
※小数点第3位を四捨五入した概算比	

※容量抛出台還元額に異議がある場合、5営業日以内にメールにて異議申立を実施してください。

図 2-12 容量抛出台還元額通知書（年次精算）の帳票イメージ

表 2-8 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の記載項目と確認観点

No	セクション	記載項目	確認観点
1	ヘッダー	通知書番号	－
2		通知日	－
3		事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4		事業者コード	
6		件名	記載内容を確認してください
7	1. 容量拋出金還元額	容量拋出金還元額[円]	通知対象事業者の容量拋出金還元額が記載されています 小計（No. 11）と一致していることを確認してください 容量拋出金還元額が0円でも本通知書は発行されるので、内容をご確認ください。
8		容量拋出金還元額[円] （調整前）	容量拋出金還元額（調整前）（No. 8）は、還元額の原資となる総額①+②（No. 14）に負担分の比率（有効数字16桁）を乗じることで算定されます。還元額は小数点以下の値を四捨五入します。ただし、算定諸元情報に記載されている負担分の比率（No. 15）はパーセント表記での小数第3位を四捨五入した概算比率であることにご留意ください
9		調整額[円]	備考欄の記載内容を踏まえた調整額の金額が記載されていることを確認してください
10		備考	記載内容を確認してください
11		小計[円]	容量拋出金還元額（調整前）（No. 8）と調整額（No. 9）を合計した金額となっていることを確認してください
12	2. 算定諸元情報	還元額の原資となる実需給期間前の経済的ペナルティ入金総額[円]①	実需給期間前に発生した経済的ペナルティ額の入金総額が記載されていることを確認してください

No	セクション	記載項目	確認観点
13		還元額の原資となる請求額と実交付額等の差額 [円]②	実需給年度に係る容量拋出金の請求総額から実需給年度に係る容量確保契約金額の実際交付額を差し引いた金額が記載されていることを確認してください
14		還元額の原資となる総額 [円]①+②	①+②となることを確認してください
15		負担分の比率[%] ※パーセント表記での小数点第3位を四捨五入した概算比率	小売電気事業者： <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率（概算）が記載されていることを確認してください なお、負担分の比率（No. 15）が0.00%であっても、容量拋出金還元額（No. 7）が0でない場合があることにご留意ください
16		異議申立日数	記載内容を確認してください

2.3.2 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の異議申立

本項では、本機関から発行された容量拋出金還元額通知書（年次精算）の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-13 参照）。

2.3.2.1 異議申立メールの送付

2.3.2.2 再検討内容メールの確認

2.3.2 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の異議申立

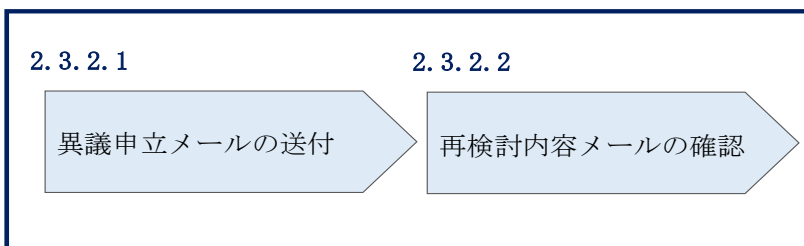


図 2-13 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の異議申立の手順

2.3.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された容量抛出台還元額通知書（年次精算）に対して、発行通知受領日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-9 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、11/5（水）に通知メールを受領した場合、11/11（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞本業務マニュアルにおいては、容量確保契約約款に準じて、以下のとおりいたします。

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-9 容量抛出台還元額通知書（年次精算）の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ⁶ 】容量抛出台還元額通知書（年次精算）に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	・容量抛出台還元額通知書（年次精算）番号 ・実需給年度 ・事業者名 ・事業者コード ・事業者区分 ・エリア ・異議申立の内容

⁶ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

2.3.2.2 再検討内容メールの確認

容量拋出金還元額通知書（年次精算）に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで再検討内容の確認における必要事項を本文に記載のうえ、本機関より受領したメールに記載されている指定期日までにメールを送信してください（表 2-10 参照）。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp

表 2-10 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re:【XXXX（事業者コード）】容量拋出金還元額通知書（年次精算）に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立による容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再検討内容に対する事業者の確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量拋出金還元額通知書（年次精算）番号 ・実需給年度 ・事業者名 ・事業者コード ・事業者区分 ・エリア ・異議申立の内容

2.3.3 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再算定結果の確認

本項では、異議申立に対する容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再算定結果の確認について手順を説明します（図 2-14 参照）。なお、容量拋出金還元額通知書（年次精算）に変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

2.3.3.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再発行内容の確認

2.3.3 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再算定結果の確認

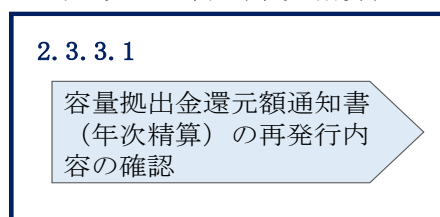


図 2-14 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再算定結果の確認の手順

2.3.3.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で容量拋出金還元額通知書（年次精算）を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、再発行された容量拋出金還元額通知書（年次精算）の帳票の内容を確認してください。

再発行された容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認方法は『2.3.1.1 容量拋出金還元額通知書（年次精算）内容の確認』を参照してください。

2.4 追加請求額の確認手続

追加請求額とは、容量抛出台の未回収分を他の小売電気事業者等へ請求する金額です。追加請求の対象となる小売電気事業者等は、実需給期間末日時点で本機関の会員資格を有し、年次精算の算定開始の前日時点で、対象実需給年度の月次の容量抛出台の支払不足がない事業者となります。

追加請求（年次精算）に関わらず、容量抛出台の支払不足のあった事業者は、本機関に対して支払不足への対応が必要となることにご留意ください（『2.3.1.1 支払不足の確認』参照）。追加請求（年次精算）以降に不足額分の振込が行われた場合、振込が行われた年度の年次精算の総額に加算して還元します。

本節では、追加請求額の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-15 参照）。

2.4.1 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の確認

2.4.2 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の異議申立

2.4.3 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の再算定結果の確認

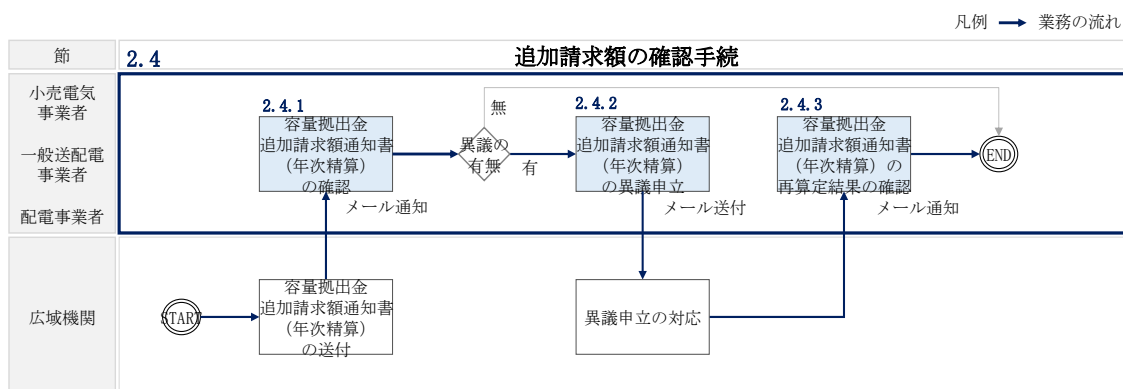


図 2-15 追加請求額の確認手続の詳細構成

注：容量拠出金還元額通知書（年次精算）に基づく還元額から、容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）に基づく追加請求額、及び容量拠出金請求額通知書に基づく対象実需給年度 2026 年度の月次の容量拠出金請求額を差し引いた金額が、正となる場合は支払通知書、負となる場合は請求書が発行されます。

請求の対象となる事業者が存在しない場合（年次精算の算定開始時点以降に脱退した会員等）、翌年度の年次精算の追加請求額に加算し、追加請求の対象となる全ての小売電気事業者等に請求します。

追加請求（年次精算）に対して支払不足があった場合、『2.3.1.1 支払不足の確認』に基づき対応します。翌年度の年次精算の算定開始時点まで支払不足が残存する場合、翌年度の年次精算の追加請求額に加算し、追加請求の対象となる全ての小売電気事業者等に請求します。

2.4.1 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の確認

本項では、本機関から発行された容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の確認手順を説明します（図 2-16 参照）。

2.4.1.1 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）内容の確認

2.4.1 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の確認

2.4.1.1

容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）内容の確認

図 2-16 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の確認の手順

2.4.1.1 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）内容の確認

本機関が会員情報管理システムにて容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）を発行後、事業者に容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）が発行された旨のメールが送付されます（表 2-11 参照）。事業者はメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の帳票の内容を確認してください（表 2-12、図 2-17 参照）。

容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）に記載の金額は税抜となります。

会員情報管理システムにおける確認手順は「会員情報管理システム取扱マニュアル
 ～会員向け 容量市場関連編～」を参照してください。(P)

表 2-11 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の発行通知メール内容

項目	内容
件名	容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の発行通知
送信元メールアドレス	member-occto-info@occto.or.jp
本文記載事項	<p>本メールは電力広域的運営推進機関からの自動送信メールです。</p> <p>-----</p> <p>XXXX 株式会社 YYYY 様</p> <p>平素より当機関運営にご協力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>容量拠出金の追加請求額（年次精算）を本メールを以って通知致します。</p> <p>システムにログインいただき、内容のご確認をお願い致します。</p> <p>*****</p> <p>電力広域的運営推進機関 会員情報管理システム https://member-occto.occto.or.jp *****</p>

容量抛出台 追加請求額通知書（年次精算）

通知書番号 : 123456789012345-78

通知日 : yyyy年mm月dd日

株式会社○○○○

事業者コード:9999

事業者区分 : ○○事業者

御中

電力広域的運営推進機関

〒135-0061 東京都江東区豊洲6-2-15

問い合わせ先 部署 : ○○部

電話番号 : 999-9999-9999

E-Mail : xxxxx@occto.or.jp

件名: ○○○○○○○○

1. 容量抛出台追加請求額（税抜）

容量抛出台追加請求額[円]

xxx

容量抛出台追加請求額（調整前）[円]	xxx
調整額[円]	xxx
備考：	

小計[円]

xxx

2. 算定諸元情報

容量抛出台算定対象エリア	○○
未収金総額[円]	xxx
負担分の比率[%]	xx.xx
※小数点第3位を四捨五入した概算比率	

※容量抛出台追加請求額に異議がある場合、5営業日以内にメールにて異議申立を実施してください。

図 2-17 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の帳票イメージ

38

表 2-12 容量拠出金追加請求額通知書（年次精算）の記載項目と確認観点

No	セクション	記載項目	確認観点
1	ヘッダー	通知書番号	-
2		通知日	-
3		事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4		事業者コード	
5		事業者区分	事業者区分（小売電気事業者/一般送配電事業者/配電事業者）が正しいことを確認してください ただし、登録特定送配電事業者の場合は小売電気事業者と表示されます
6		件名	記載内容を確認してください
7	1. 容量拠出金追加請求額	容量拠出金追加請求額 [円]	通知対象事業者の容量拠出金追加請求額が記載されています 小計（No. 11）と一致していることを確認してください 容量拠出金追加請求額が0円でも本通知書は発行されるので、内容をご確認ください。
8		容量拠出金追加請求額（調整前） [円]	容量拠出金追加請求額（調整前）（No. 8）は、未収金総額（No. 13）に負担分の比率（有効数字16桁）を乗じることで算定されます。請求額は小数点以下の値を四捨五入します。ただし、算定諸元情報に記載されている負担分の比率（No. 14）はパーセント表記での小数第3位を四捨五入した概算比率であることにご留意ください
9		調整額 [円]	備考欄の記載内容を踏まえた調整額の金額が記載されていることを確認してください
10		備考	記載内容を確認してください
11		小計 [円]	容量拠出金追加請求額（調整前）（No. 8）と調整額（No. 9）を合計した金額となっていることを確認してください

No	セクション	記載項目	確認観点
12	2. 算定諸元 情報	容量拋出金算定対象 エリア	対象のエリアであることを確認してください (小売電気事業者に対する通知の場合、 「ー」と記入されます)
13		未収金総額[円]	実需給年度に係る容量拋出金の未収金総額が記載されていることを確認してください
14		負担分の比率[%] ※パーセント表記での小数点第3位を四捨五入した概算比率	小売電気事業者： <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率（概算）が記載されていることを確認してください 一般送配電事業者・配電事業者： <ul style="list-style-type: none"> 通知対象事業者の配分比率（概算）が記載されていることを確認してください なお、負担分の比率（No. 14）が0.00%であっても、容量拋出金追加請求額（No. 7）が0でない場合があることにご留意ください
15		異議申立日数	記載内容を確認してください

2.4.2 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の異議申立

本項では、本機関から発行された容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-18 参照）。

2.4.2.1 異議申立メールの送付

2.4.2.2 再検討内容メールの確認

2.4.2 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の異議申立

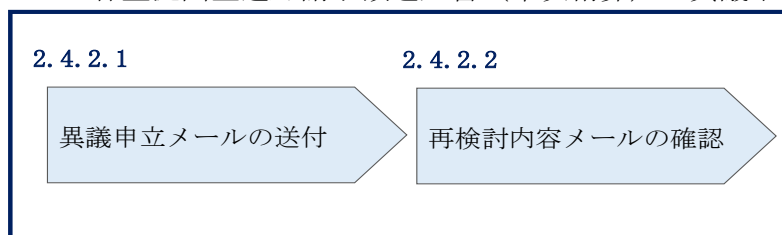


図 2-18 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の異議申立の手順

2.4.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）に対して、発行通知受領日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-13 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、11/5（水）に通知メールを受領した場合、11/11（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞本業務マニュアルにおいては、容量確保契約約款に準じて、以下のとおりいたします。

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-13 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ⁷ 】容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	・ 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）番号 ・ 実需給年度 ・ 事業者名 ・ 事業者コード ・ 事業者区分 ・ 容量抛出台算定対象エリア ・ 異議申立の内容

⁷ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

2.4.2.2 再検討内容メールの確認

容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで再検討内容の確認における必要事項を本文に記載のうえ、本機関より受領したメールに記載されている指定期日までにメールを送信してください（

表 2-14 参照）。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp

表 2-14 容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re:【XXXX（事業者コード）】容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立による容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）の再検討内容に対する事業者の確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）番号 ・実需給年度 ・事業者名 ・事業者コード ・事業者区分 ・容量抛出台算定対象エリア ・異議申立の内容

2.4.3 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再算定結果の確認

本項では、異議申立に対する容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再算定結果の確認について手順を説明します（図 2-19 参照）。なお、容量拋出金還元額通知書（年次精算）に変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

2.4.3.1 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再発行内容の確認

2.4.3 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再算定結果の確認

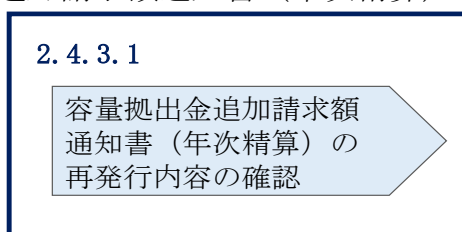


図 2-19 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再算定結果の確認の手順

2.4.3.1 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、再発行された容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の帳票の内容を確認してください。

再発行された容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の確認方法は『2.4.1.1 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）内容の確認』を参照してください。

2.5 請求書・支払通知書の確認手続

本節では、容量抛出台の請求書又は支払通知書の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-20 参照）。

- 2.5.1 請求書・支払通知書の確認
- 2.5.2 容量抛出台の請求書・支払通知書の異議申立
- 2.5.3 再検討結果の確認

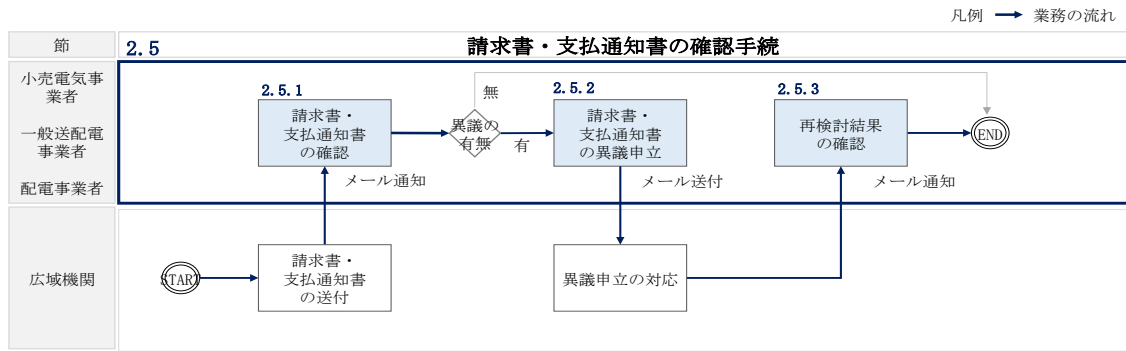


図 2-20 請求書・支払通知書の確認手続の詳細構成

2.5.1 請求書・支払通知書の確認

本項では、本機関から発行された請求額・支払通知書の確認について手順を説明します（図 2-21 参照）。

2.5.1.1 請求書・支払通知書内容の確認

2.5.1 請求書・支払通知書の確認

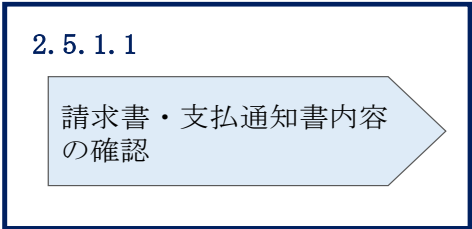


図 2-21 容量抛出台の請求書・支払通知書の確認の手順

2.5.1.1 請求書・支払通知書内容の確認

本機関が会員情報管理システムにて容量抛出台の請求書又は支払通知書を発行後、事業者
にその旨のメールが送付されます（表 2-15 参照）。事業者はメールを受領後、会員情報管

理システムにアクセスし、容量拠出金の請求書又は支払通知書の帳票の内容を確認してください。(図 2-22、図 2-23、表 2-16 参照)。

なお、年次精算において、追加請求額及び対象実需給年度 2026 年度の月次の容量拠出金請求額の合計額が、還元額を上回る場合は請求書を、下回る場合は支払通知書を、本機関から発行します。

会員情報管理システムにおける確認手順は「会員情報管理システム取扱マニュアル～会員向け 容量市場関連編～」を参照してください。

表 2-15 請求書（支払通知書）の発行通知メール内容

項目	内容
件名	【電力広域的運営推進機関】容量拠出金請求書(支払通知書)発行通知
送信元メールアドレス	member-occto-info@occto.or.jp
本文記載事項	<p>本メールは電力広域的運営推進機関からの自動送信メールです。</p> <p>-----</p> <p>XXXX 株式会社 YYYY 様</p> <p>平素より当機関運営にご協力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>容量拠出金の請求額(支払額)を本メールを以って通知致します。</p> <p>システムにログインいただき、内容のご確認をお願い致します。</p> <p>*****</p> <p>電力広域的運営推進機関 会員情報管理システム https://member-occto.occto.or.jp *****</p>

第2章 容量抛出台対応

2.7 支払通知書に基づく入金の確認手続

請求書

請求書番号 : 123456789012345-78
請求書発行日 : yyyy年mm月dd日

株式会社〇〇〇〇 部中
登録番号(過格請求書発行事業者): T1234567890123
事業者コード: 9999

件名: 〇〇〇〇〇〇〇〇
下記の通り請求申し上げます。

請求金額(税込) : 5,500円(税込)
振込期日 : yyyy年mm月dd日

請求情報

No.	実需給年度・対象月	エリア	取引対象	取引年月日	通知書番号	税抜金額(円)	税区分	備考
1	2026年度9月分	〇〇	容量拠出金	2026/9/1-2026/9/30	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥2,000	10%	
2	2026年度9月分	〇〇	容量拠出金	2026/9/1-2026/9/30	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥1,100	10%	
3	2026年度9月分	〇〇	容量拠出金	2026/9/1-2026/9/30	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥1,900	10%	
4	2026年度分	—	追加請求	2024/4/1-2025/3/31	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥100	10%	

支払情報

No.	実需給年度・対象月	エリア	取引対象	取引年月日	通知書番号	税抜金額(円)	税区分	備考
1	2026年度分	—	還元	2024/4/1-2025/3/31	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥-100	10%	

備考

請求情報

請求情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	¥0	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥5,100	¥510	¥5,610
合計金額	¥5,100	¥510	¥5,610

支払情報

支払情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	¥0	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥-100	¥-10	¥-110
合計金額	¥-100	¥-10	¥-110

合計

合計	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	¥0	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥5,000	¥500	¥5,500
合計金額	¥5,000	¥500	¥5,500

以下の口座にお振込願います。なお、お振込の際の手数料につきましては、事業者様にてご負担願います。
三菱UFJ銀行
本店
普通預金
口座番号: 2513226
口座名義: テンノコクワイクエテクワンエイスンキカン
領収書は発行致しません。
通知後xx営業日以内に誤りのある旨の連絡がない場合には記載内容のとおり確認があったものといたします。
請求書のうち、取引対象欄に「J」がついているものは、軽減税率対象となります。
※上記口座へお振込時のご依頼人名(カ)には、事業者コード(本欄最左上記載の4桁)、続いて空白1文字、貴事業者名(カ)の順にご入力願います。貴事業者名(カ)には、株式会社の場合は先頭に「株」か、や、
東証に準拠時(カ)等、法人の略称をご入力願います。また、協同組合様、生活協同組合様の場合、カ名称をそのままご入力願います。
例: 1234 カ〇〇〇〇〇〇 (事業者コード: 1 2 3 4 事業者名: 〇〇〇〇)

(1/1)

図 2-22 請求書のサンプルイメージ

支払通知書

支払通知書番号 : 123456789012345-78
支払通知書発行日 : yyyy年mm月dd日

株式会社〇〇〇〇 部中
登録番号(過格請求書発行事業者): T1234567890123
事業者コード: 9999

件名: 〇〇〇〇〇〇〇〇
下記の通り支払申し上げます。

支払金額 : 1,100円(税込)
支払日 : yyyy年mm月dd日

支払情報

No.	実需給年度・対象月	エリア	取引対象	取引年月日	通知書番号	税抜金額(円)	税区分	備考
1	2026年度分	—	還元	2026/4/1-2027/3/31	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥5,000	10%	

請求情報

No.	実需給年度・対象月	エリア	取引対象	取引年月日	通知書番号	税抜金額(円)	税区分	備考
1	2026年度9月分	〇〇	容量拠出金	2026/9/1-2026/9/30	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥-2,500	10%	
2	2026年度9月分	〇〇	容量拠出金	2026/9/1-2026/9/30	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥-1,400	10%	
3	2026年度分	—	追加請求	2026/4/1-2027/3/31	xxxxxxxxxxxxxxxxxx	¥-100	10%	

備考

支払情報

支払情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	¥0	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥5,000	¥500	¥5,500
合計金額	¥5,000	¥500	¥5,500

請求情報

請求情報	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	¥0	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥-4,000	¥-400	¥-4,400
合計金額	¥-4,000	¥-400	¥-4,400

合計

合計	税抜金額(円)	消費税額(円)	税込金額(円)
不課税対象	¥0	¥0	¥0
8%対象	¥0	¥0	¥0
10%対象	¥1,000	¥100	¥1,100
合計金額	¥1,000	¥100	¥1,100

実際の入金額は支払金額からお振込の際の手数料を差し引いた金額となります。
領収書は発行不要です。
通知後#異議申立受付日数5営業日以内に誤りのある旨の連絡がない場合には記載内容のとおり確認があったものといたします。
支払通知書のうち、取引対象欄に「J」がついているものは、軽減税率対象となります。

(1/1)

図 2-23 支払通知書のサンプルイメージ

表 2-16 容量抛出台金の請求書（支払通知書）の記載項目と確認観点

No	記載項目	確認観点
1	請求書（支払通知書）番号	－
2	請求書（支払通知書）発行日	－
3	事業者名	事業者名や事業者コードが正しいことを確認してください
4	事業者コード	
5	事業者登録番号（本機関）	本機関の事業者登録番号が記載されていることを確認してください
6	事業者登録番号（事業者）	適格請求書発行事業者として登録している番号と相違ないことを確認してください
7	件名	記載内容を確認してください
8	請求（支払）金額（税込）	全明細を足し合わせた額であることを確認してください
9	振込期日（支払日）	振込期日（支払日）を確認してください
10	備考	記載内容を確認してください
11	実需給年度・対象月	今回対象の実需給年月であることを確認してください
12	エリア	通知済みの「容量抛出台請求額通知書」に基づいた内容であることを確認してください また、年次精算額が明細に含まれている場合は、通知済みの「容量抛出台還元額通知書（年次精算）」や「容量抛出台追加請求額通知書（年次精算）」に基づいた内容であることを確認してください
13	取引対象	
14	取込年月日	
15	通知書番号	
16	税抜金額（円）	
17	税区分	記載内容を確認してください
18	備考（明細欄）	
19	合計金額欄	明細の右下に記載されている請求情報・支払情報・それら合計に対応する各合計金額が正しいことを確認してください 消費税額は税抜金額（円）（No. 16）に消費税率（10%）を乗じ、小数点以下を切り捨てます
20	振込先口座情報	請求書が発行された場合のみ、備考（明細欄）の下に振込先口座情報が記載されます 記載内容を確認してください

2.5.2 容量抛出台の請求書・支払通知書の異議申立

本項では、本機関から発行された容量抛出台の請求額・支払通知書の内容に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-24 参照）。

2.5.2.1 異議申立メールの送付

2.5.2.2 再検討内容メールの確認

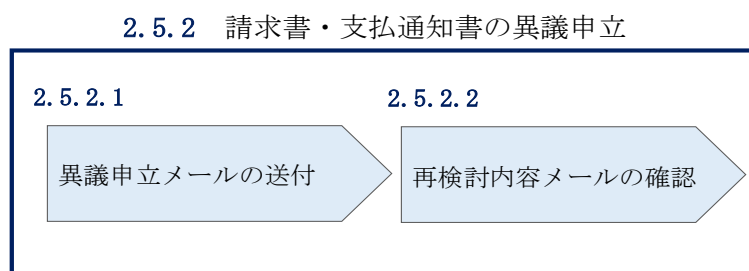


図 2-24 容量抛出台の請求書・支払通知書の異議申立の手順

2.5.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から発行された容量抛出台の請求書又は支払通知書に対して、発行通知受領日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-17 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、4/10（木）に通知メールを受領した場合、4/16（水）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞本業務マニュアルにおいては、容量確保契約約款に準じて、以下のとおりいたします。

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-17 容量抛出台の請求書・支払通知書の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ⁸ 】容量抛出台の請求書 （又は支払通知書）に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ・請求書番号（又は支払通知書番号） ・事業者名 ・事業者コード ・事業者区分 ・実需給年度・対象月 ・異議申立の内容⁹

2.5.2.2 再検討内容メールの確認

容量抛出台の請求書又は支払通知書に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで再検討内容の確認における必要事項を本文に記載のうえ、本機関が異議申立内容の検討結果メールの中で指定した確認期日以内にメールを送信してください（表 2-18 参照）。

注1：再検討内容の確認期日を過ぎても返信をいただいていない場合は、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp

表 2-18 容量抛出台の請求額・支払通知書の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re: 【XXXX（事業者コード）】容量抛出台の請求書（又は支払通知書）に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp

⁸ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

⁹ 容量抛出台及び年次精算の算定結果に対する異議について、異議申立の受付期間は終了しているため、通知済みの算定結果と不一致がある場合のみ異議を受理します。

本文記載事項	<p>異議申立による支払通知書（又は請求書）の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 請求書（又は支払通知書）の再検討内容に対する確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 請求書番号（又は支払通知書番号） ・ 事業者名 ・ 事業者コード ・ 事業者区分 ・ 実需給年度・対象月 ・ 異議申立の内容
--------	---

2.5.3 再検討結果の確認

本項では、異議申立に対する容量拋出金の請求額・支払通知書の再検討結果の確認について手順を説明します（図 2-25 参照）。なお、容量拋出金の請求書・支払通知書内容に変更が発生しない場合は、以降の手順は対応不要です。

2.5.3.1 請求書・支払通知書の再発行内容の確認

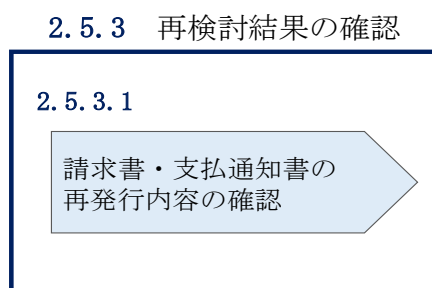


図 2-25 容量拋出金の請求書・支払通知書の再検討結果の確認の手順

2.5.3.1 請求書・支払通知書の再発行内容の確認

再検討内容を事業者が確認した後、本機関で請求額又は支払通知書を再発行します。事業者は、再発行された旨のメールを受領後、会員情報管理システムにアクセスし、再発行された請求額又は支払通知書の帳票の内容を確認してください。

再発行された請求額又は支払通知書の確認方法は『2.5.1.1 請求書・支払通知書内容の確認』を参照してください。

2.6 請求書に基づく支払

本節では、請求書に基づく本機関への支払について、以下の流れで説明します（図 2-26 参照）。

2.6.1 指定口座への振込

2.6.2 支払不足の確認

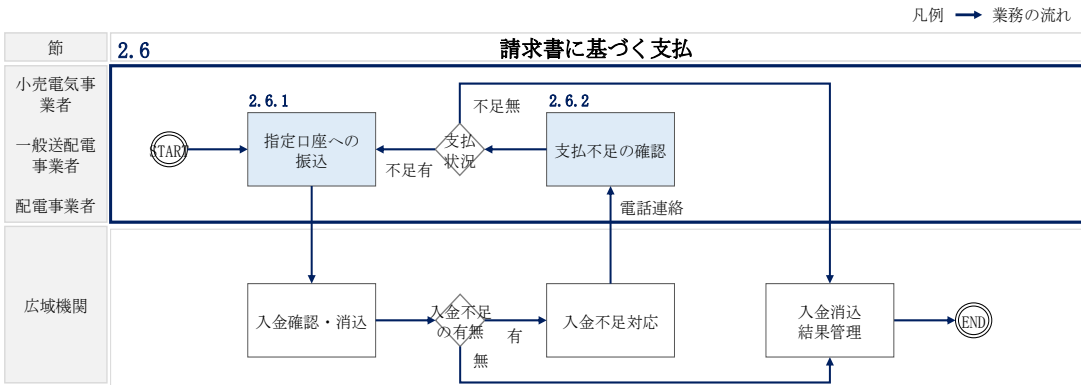


図 2-26 請求書に基づく支払の詳細構成

2.6.1 指定口座への振込

本項では、指定口座への請求額の振込について手順を説明します（図 2-27 参照）。

2.6.1.1 振込の実施

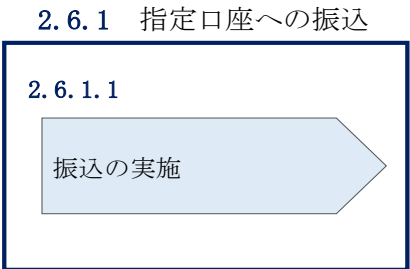


図 2-27 指定口座への振込の手順

2.6.1.1 振込の実施

事業者は、請求書記載内容を基に、請求額の振込手続を行ってください。なお、振込手数料は事業者負担であることにご留意ください。

また、振込人名（カナ）は以下の通りに記載してください。

- ・振込人名：事業者コード（4桁）＋空白1文字＋法人略称＋事業者名（カナ）
- ・法人略称は、金融機関口座カナ名義と同様の略称としてください
- ・ただし、事業名称（協同組合等）については、法人略称は不要です

例）株式会社電力広域的運営推進機関（事業者コード：1234）の場合

振込人名：1234 カ)デ`ンリョクコウイ`テキユンエイスイシンカン

例）電力広域的運営推進機関協同組合（事業者コード：5678）の場合

振込人名：5678 デ`ンリョクコウイ`テキユンエイスイシンカンキョウト`ウクマイ

※事業者のシステム等の都合により、上記の振込人名の設定ができない場合は、会員情報管理システムに登録されている会社名（カナ）を振込人名に記載ください。ただし、振込人名称に法人形態の記載は必須ではありませんが、法人形態を記載する場合は金融機関口座振込時の略称ルールに従ってください。

例えば、会員情報管理システムに登録されている会社名（カナ）が「アイウエオ」又は「アイウエオカブシキカイシャ」の場合、振込人名は「アイウエオ」又は「アイウエオ(カ)」としてください。

代表債権者が、複数の小売電気事業者に対する請求に基づき容量抛出台金を支払う場合は、各小売電気事業者ごとに振込の実施をお願いいたします。

2.6.2 支払不足の確認

本項では、事業者からの支払不足があった場合の対応について、以下の流れで説明します（図 2-28 参照）。

2.6.2.1 支払不足への対応策の確認

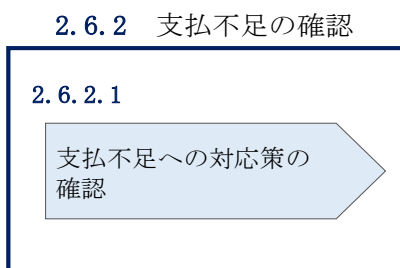


図 2-28 支払不足の確認の手順

2.6.2.1 支払不足への対応策の確認

請求額に対して事業者からの振込額に不足があった場合は、本機関より支払不足が発生している旨を電話で連絡しますので、支払状況を確認のうえ、支払不足に対する対応案を本機関と合意してください。合意した内容を本機関よりメールにて通知しますので内容を確認してください。

入金不足に伴う追加支払の対応が必要な場合は、不足額分の振込の手続を行ってください。なお、振込手数料は事業者負担であることにご留意ください。

2.7 支払通知書に基づく入金の確認手続

本節では、支払通知書に基づく本機関からの入金の確認手続について、以下の流れで説明します（図 2-29 参照）。

2.7.1 入金額の確認

2.7.2 入金額に対する異議申立

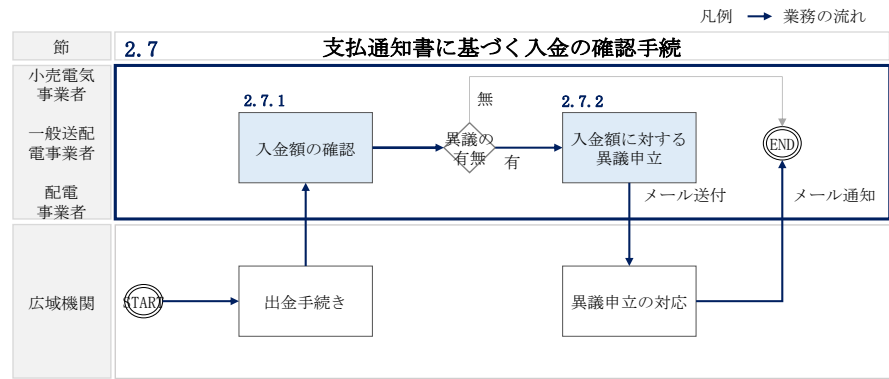


図 2-29 支払通知書に基づく入金の確認手続の詳細構成

2.7.1 入金額の確認

本項では、本機関から振込まれた入金額の確認について手順を説明します（図 2-30 参照）。

2.7.1.1 振込金額の確認

2.7.1 入金額の確認

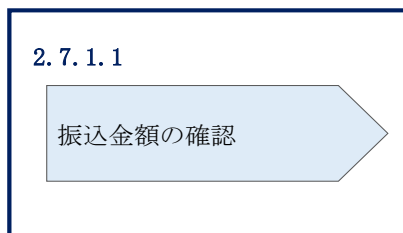


図 2-30 入金額の確認の手順

2.7.1.1 振込金額の確認

事前に送付されている支払通知書に記載の入金額を踏まえ、本機関からの入金額が正しい金額となっているかを確認してください。

なお、本機関からの入金額については、振込手数料分が差し引かれた金額となっていることにご留意ください。

2.7.2 入金額に対する異議申立

本項では、本機関から振込された入金額に対し、異議がある場合における異議申立について手順を説明します（図 2-31 参照）。

2.7.2.1 異議申立メールの送付

2.7.2.2 再検討結果の内容の確認

2.7.2 入金額に対する異議申立

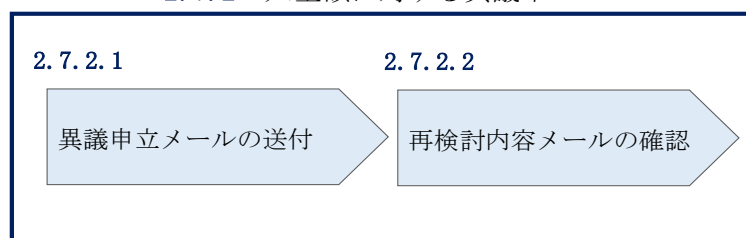


図 2-31 入金額に対する異議申立の手順

2.7.2.1 異議申立メールの送付

事業者は、本機関から振込された入金額に対して、入金日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です。

異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を本文に記載のうえ、所定の宛先に送信してください（表 2-19 参照）。

注：異議申立期限について、例えば、11/12（水）に通知メールを受領した場合、11/18（火）までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

＜参考＞本業務マニュアルにおいては、容量確保契約約款に準じて、以下のとおりいたします。

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：土曜日、日曜日及び祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、12月29日～31日以外の日

表 2-19 容量抛出台金の振込金額の異議申立メール内容

項目	内容
件名	【XXXX（事業者コード） ¹⁰ 】容量抛出台金の振込金額に対する異議申立
To	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<ul style="list-style-type: none">・支払通知書番号・事業者名・事業者コード・実需給年度・対象月・異議申立の内容¹¹

2.7.2.2 再検討結果の内容の確認

本機関からの振込金額に対して異議申立が行われた場合は、本機関で異議申立の内容を検討し、再検討結果を本文に記載してメールにて通知しますので内容を確認してください。

確認が完了したら、再検討内容の通知メールに返信するかたちで必要事項を本文に記載のうえ、本機関より受領したメールに記載されている指定期日までにメールを送信してください（表 2-20 参照）。

¹⁰ 件名に自身の事業者コード4桁を入力してください。

¹¹ 容量抛出台金の支払通知書に対する異議について、異議申立の受付期間は終了しているため、通知済みの支払予定額から事業者負担の振込手数料を差し引いた金額と実際の入金額との不一致がある場合のみ異議を受理します。

注1：再検討内容の確認の連絡の期日を過ぎると、再検討内容が了承されたとみなしますのでご注意ください。

注2：異議申立の内容を検討した結果は以下のメールアドレスにて送付しますので、迷惑メールとして判定されないよう受信設定してください。

メールアドレス：youryou_unei@youryou2.occto.or.jp

表 2-20 容量拋出金の振込金額の再検討内容の確認結果メール内容

項目	内容
件名	Re:【XXXX（事業者コード）】容量拋出金の振込金額に対する異議申立
To	再検討内容メールの送信者（本機関）
CC	youryou_jushin@occto.or.jp
本文記載事項	<p>異議申立による容量拋出金の振込金額の再検討内容に対する確認結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容量拋出金の振込金額の再検討内容に対する事業者の確認結果を文章で記載 <p>例）異議申立に対する再検討内容について、異議はありません。</p> <p>以下、異議申立メールの記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支払通知書番号 ・事業者名 ・事業者コード ・実需給年度・対象月 ・異議申立の内容

Appendix.1 図表一覧

図 1-1 本業務マニュアルが対象とする容量拋出金対応業務の位置づけ	4
図 1-2 容量拋出金対応業務の全体像	5
図 1-3 本業務マニュアルの構成（第1章除く）	7
図 2-1 第2章の構成	11
図 2-2 容量拋出金（仮算定）の確認手続の詳細構成	12
図 2-3 容量拋出金仮請求額通知書（年間総額）の確認の手順	12
図 2-4 容量拋出金仮請求額通知書（年間総額）のサンプルイメージ	14
図 2-5 容量拋出金の確認手続の詳細構成	18
図 2-6 容量拋出金請求額通知書の確認の手順	18
図 2-7 容量拋出金請求額通知書のサンプルイメージ	20
図 2-8 容量拋出金請求額通知書の異議申立の手順	23
図 2-9 容量拋出金請求額の再算定結果の確認の手順	25
図 2-10 還元額の確認手続の詳細構成	26
図 2-11 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の確認の手順	27
図 2-12 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の帳票イメージ	29
図 2-13 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の異議申立の手順	31
図 2-14 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再算定結果の確認の手順	34
図 2-15 追加請求額の確認手続の詳細構成	35
図 2-16 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の確認の手順	36
図 2-17 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の帳票イメージ	38
図 2-18 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の異議申立の手順	41
図 2-19 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再算定結果の確認の手順	43
図 2-20 請求書・支払通知書の確認手続の詳細構成	44
図 2-21 容量拋出金の請求書・支払通知書の確認の手順	44
図 2-22 請求書のサンプルイメージ	46
図 2-23 支払通知書のサンプルイメージ	46
図 2-24 容量拋出金の請求書・支払通知書の異議申立の手順	48
図 2-25 容量拋出金の請求書・支払通知書の再検討結果の確認の手順	50
図 2-26 請求書に基づく支払の詳細構成	51
図 2-27 指定口座への振込の手順	51
図 2-28 支払不足の確認の手順	53
図 2-29 支払通知書に基づく入金の確認手続の詳細構成	53
図 2-30 入金額の確認の手順	54
図 2-31 入金額に対する異議申立の手順	54

表 1-1 請求額通知書・請求書の発行スケジュール.....	5
表 2-1 容量拋出金仮請求額通知書（年間総額）の発行通知メール内容	13
表 2-2 容量拋出金仮請求額通知書（年間総額）の記載項目と確認観点	15
表 2-3 容量拋出金請求額通知書の発行通知メール内容	19
表 2-4 容量拋出金請求額通知書の記載項目と確認観点	21
表 2-5 容量拋出金請求額通知書の異議申立メール内容	24
表 2-6 容量拋出金請求額通知書の再検討内容の確認結果メール内容	24
表 2-7 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の発行通知メール内容	27
表 2-8 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の記載項目と確認観点	30
表 2-9 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の異議申立メール内容	32
表 2-10 容量拋出金還元額通知書（年次精算）の再検討内容の確認結果メール内容	33
表 2-11 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の発行通知メール内容	37
表 2-12 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の記載項目と確認観点	39
表 2-13 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の異議申立メール内容	41
表 2-14 容量拋出金追加請求額通知書（年次精算）の再検討内容の確認結果メール内容	42
表 2-15 請求書（支払通知書）の発行通知メール内容	45
表 2-16 容量拋出金の請求書（支払通知書）の記載項目と確認観点	47
表 2-17 容量拋出金の請求書・支払通知書の異議申立メール内容	49
表 2-18 容量拋出金の請求額・支払通知書の再検討内容の確認結果メール内容	49
表 2-19 容量拋出金の振込金額の異議申立メール内容	55
表 2-20 容量拋出金の振込金額の再検討内容の確認結果メール内容	56

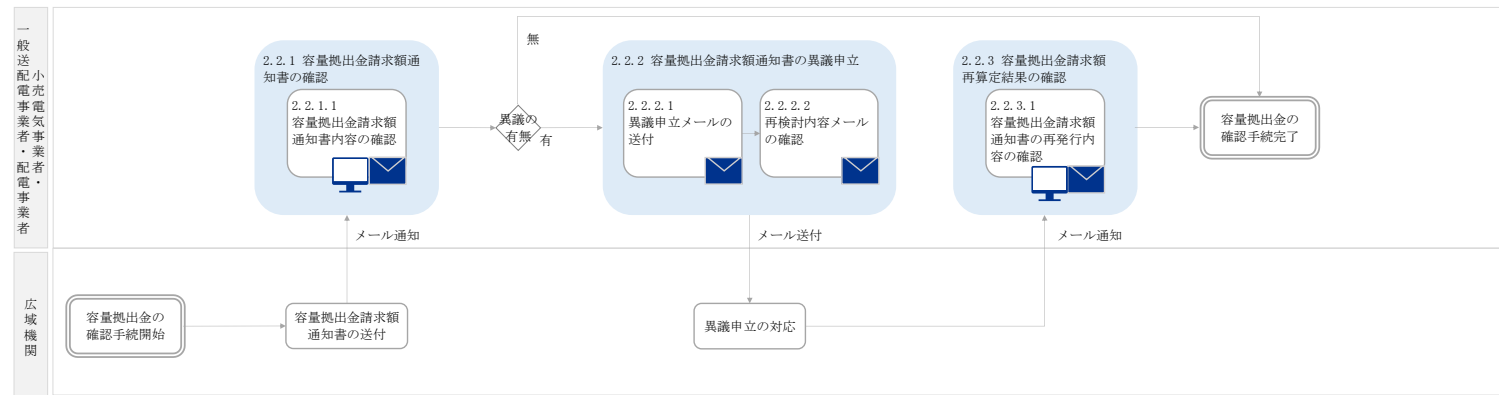
Appendix.2 業務手順全体図

業務手順全体図については、別紙（「容量市場業務マニュアル_容量拋出金対応編
_Appendix_業務手順全体図」）参照のこと



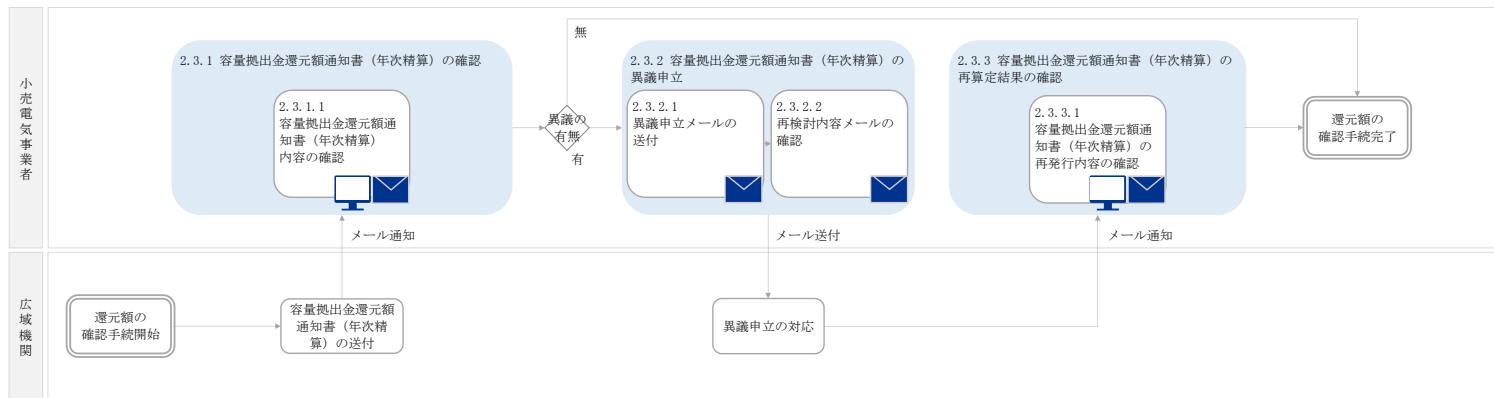
第2章：容量拠出金対応

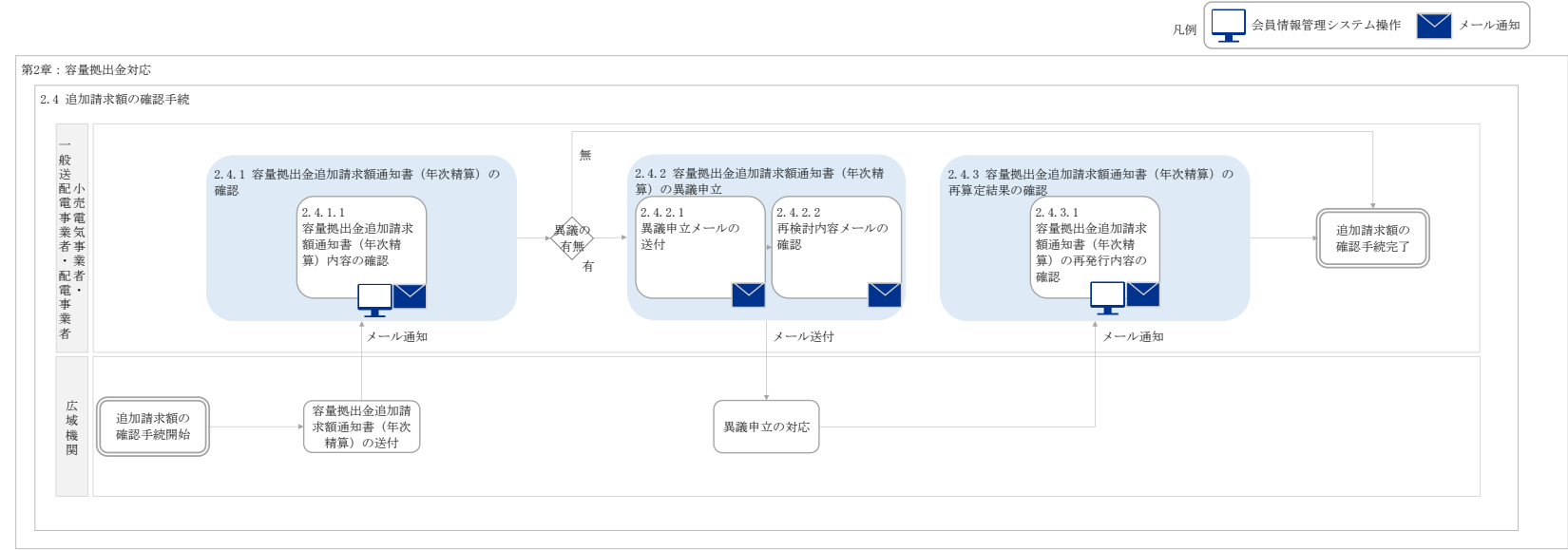
2.2 容量拠出金の確認手続



第2章：容量拠出金対応

2.3 還元額の確認手続





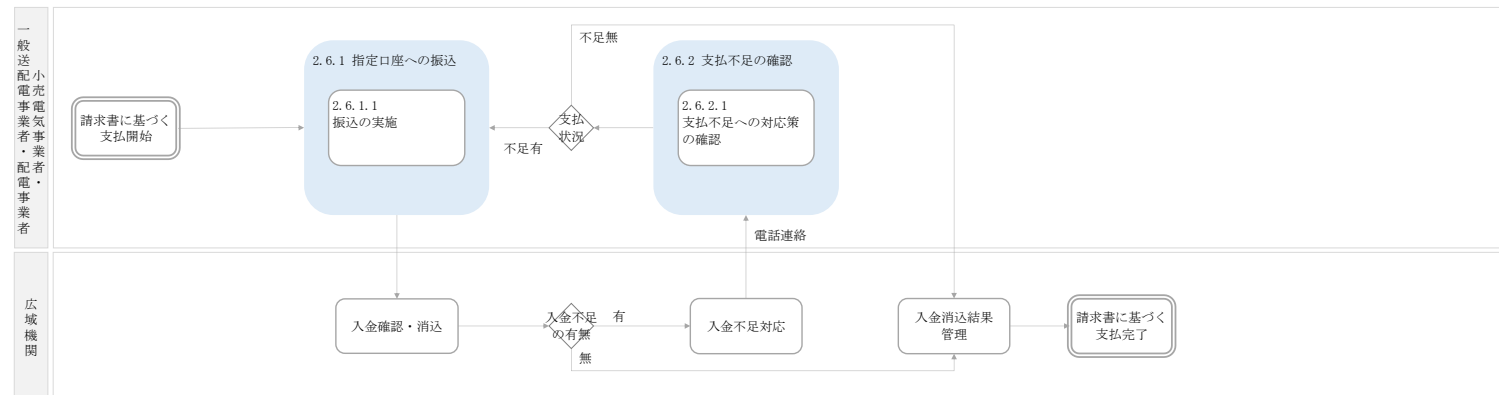
第2章：容量提出金対応

2.5 請求書・支払通知書の確認手続



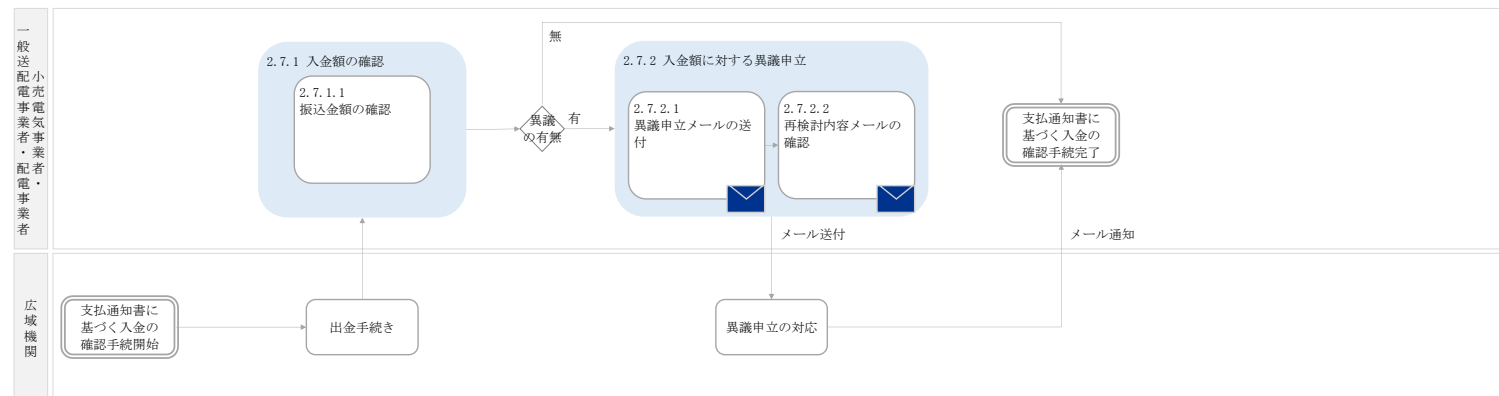
第2章：容量提出金対応

2.6 請求書に基づく支払



第2章：容量提出金対応

2.7 支払通知書に基づく入金の確認手続



「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（安定電源）編（対象実需給年度：2026年度）（案）」に関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

No.	頁	ご意見	回答
1	5	表1-1に記載のアセスメント結果の確定時期と、各章（6.1.4、7.1.4、8.1.4、9.1.8）に記載の時期が不一致のようです。	表1-1に記載のアセスメント結果の確定時期が正です。頂いたご意見を踏まえ、本業務マニュアルへ反映いたします。
2	6	アセスメント結果の確定時期はN+4月中旬頃と見直されているが、詳細が記載された各項目の内容および業務手順全体図ではN+4月上旬頃の記載となっている。	アセスメント結果の確定時期はN+4月中旬頃が正しいです。頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアルへ反映いたします。
3	10	システム稼働時間について、ペナルティ倍率の切り替わりタイミングであるため平日に加え休日にあたる火曜日も稼働していただけると認識しておりますが、祝日対応ともなりますので、祝日の前日対応もご配慮いただき9時～18時の稼働時間の拡大を検討いただけないでしょうか。 また、稼働時間の拡大が不可の場合、火曜日が祝日の場合は、ペナルティ倍率の切り替わりのタイミングを翌営業日に変更することできないでしょうか。	システムの稼働時間については今後の検討の参考にさせていただきます。容量停止計画につきましては、計画の変更が発生した場合に遅滞なく登録してください。
4	10	現行公表されている「容量市場システムマニュアル # G010 共通操作 8章 エラー・メンテナンス画面（6）多重ログインエラー画面」の件となりますがご質問させていただきます。 現行、1事業者に10アカウントのみ使用可能となっており、1アカウントで複数ログインは出来ない仕様かと認識しております。そのため、実需給断面にて算定諸元を追加・変更提出する場合、アカウント数が不足するため、追加することは可能でしょうか。または、同一アカウントで複数のログインが可能となる仕様に変更していただけますでしょうか。	頂いたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。
5	11	容量停止計画の対象について、『「その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）」による電源等の停止』も含まれると記載があり、その理由について以前確認した際に「容量確保契約約款10条に提出理由としている」と回答いただいております。そもそも容量提供事業者が起因でない停止についてもアセスメントの対象とする整理した理由をご教授いただきたい。	供給力維持のリクワイアメントでは、実需給期間において必要とする供給力確保の観点から、容量提供事業者起因でない停止を含め、供給力を提供できない日数の上限を8,640 コマ（180日相当）としています。
6	12	1.4.2.1 リクワイアメントの対象となる余力について、「容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していない範囲のコマにおいて、小売電気事業者等が活用しない余力がリクワイアメント対象となります。」と記載されている。容量停止計画のうち、出力抑制に伴うものなのかは、どのように把握されているのかご教授いただきたい。	容量停止計画の登録があるが、小売電気事業者等が活用しない発電余力が存在する場合に、出力抑制に伴う停止計画であると判定いたします。小売電気事業者等が活用しない発電余力は容量確保契約約款にも記載がありますが、以下のとおりです。 小売電気事業者等が活用しない発電余力＝アセスメント対象容量又は提供する供給力の最大値のいずれか低い値－発電計画値
7	12	気象象等、不可抗力に伴う燃料制約により入札できなかった低予備率アセスメント対象コマは市場応札リクワイアメントの対象外としていただきたい。 (容量確保契約約款の第17条第1項(2) vi「その他やむを得ない理由があり、本機関が合理的と認めた場合」への該当) 燃料制約時におけるリクワイアメントの設計思想は、kWh不足を回避するため事業者に燃料調達を促すことと理解しています。 一方で、燃料制約が発生する多くの要因は台風等の自然現象によるものであり、事業者にとって不可抗力で発生する制約に対しペナルティを科すことは当初の目的と異なると考えます。 また、リクワイアメントを守るため足元のkWを優先した結果、在庫が設備限界まで到達した場合、更なるkW不足に陥る可能性があります。 そのため、事業者の責によらない燃料制約については低予備率アセスメント対象コマであってもリクワイアメントの対象外としていただきたい。	容量確保契約約款第17条第1項の記載のとおり、事業者の責によらない燃料制約又は充電制約がある場合でも、低予備率アセスメント対象コマにおいては、卸電力取引所等に売り入札する量を減少できないものとしております。
8	13	市場応札リクワイアメントについて、市場応札の容量を減少させることができる場合として、「水力発電において、河川法にもとづく河川管理者からの指示等に従い、洪水による災害の発生を防止し、又は災害を軽減するために必要な措置を講じた結果、入札できる容量が減少する場合」と記載されている。 この記載内容について、河川状況が平常の状態においてリクワイアメント対応できない場合はこの対象にならないと理解しているが、その理解を踏まえると「水力発電において、大規模な出水や台風による影響等により河川状況が平常の状態ではなく、河川法にもとづく河川管理者からの指示等に従い、洪水による災害の発生を防止し、又は災害を軽減するために必要な措置を講じた結果、入札できる容量が減少する場合」という記載にした方が適切かと考えるがいかがか。	頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアルへ反映いたします。
9	27	現行公表されている「容量市場システムマニュアル # G00一括登録・変更の4章一括登録・変更対象」ファイルのCSVの例・注意事項のP13及びp16に1度にアップロードできる上限レコード数の制限の記載は残っていますが、「容量市場業務マニュアル実需給期間中リクワイアメント対応（安定電源）編（対象実需給年度：2025年度）」のP28に記載されていた「注釈10（登録がNGとなった場合の対応方法）」が2026年度案からは削除された理由としては、容量市場システムの上限レコード数の制限がなくなり、今後、受付エラー・NGは発生しないと認識してよろしいでしょうか。認識相違ない場合は、容量市場システムマニュアル # G00一括登録・変更の4章一括登録・変更対象ファイルのCSVの例・注意事項を修正お願い致します。 また、もし上限レコード数制限が解消していない場合、以下2点についてご教示いただけますと幸いです。 ①前年マニュアルにおける「注釈10」の記載は削除されていますが、引き続きペナルティ倍率の修正は受け付けていただけるのでしょうか。 ②①について、受付していただける場合は、引き続きメール送付による修正依頼で宜しいでしょうか。別の方法として、問い合わせフォームなどで修正依頼でしょうか。または、異議申立時にまとめて修正依頼すれば宜しいでしょうか。ご教示いただけますと幸いです。 <ご参考> 容量市場業務マニュアル実需給期間中リクワイアメント対応（安定電源）編（対象実需給年度：2025年度） https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/files/241212_2025_gyoomumannual_rikuwaiamento_antei.pdf	容量市場システムの上限レコード数の制限については、変更しておりませんので、上限レコード数を超える場合はファイル分割を行い、複数回に分けてアップロードをお願いします。 容量停止計画の登録を前週火曜日の17時までに開始した場合、登録完了（OK）が後日になったとしても、前週火曜日の17時までに登録されたものとしてシステムでは認識されますが、以前は容量停止計画の登録から登録完了までに時間を要していたため、登録結果「NG」の場合の確認・再登録時間等を考慮して注釈10を記載しておりました。 現在はシステムの処理性能が改善され、登録完了までにかかる時間が短縮されておりますので、注釈10は削除させていただいておりましたが、頂いたご意見を踏まえ、前週火曜日の17時までに容量停止計画の登録が完了されたと判定される条件等について、注釈10として本業務マニュアルへ反映いたします。 なお、容量停止計画は追加・変更があった場合には判明の都度すみやかに容量市場システム上に登録・修正いただくものとなっており、登録用CSV作成時の例・注意事項や、アップロードしたファイルが正しく登録されていない場合（登録結果「NG」）のエラー内容の確認方法等はシステムマニュアル（※）にて公開済みですので、適切にご登録をお願いします。 （※） https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html
10	28	容量停止計画の登録区分について、容量市場システム（実需給期間前向け）と容量市場システム（実需給期間向け）で表現が異なる箇所がある為、統一できないでしょうか。具体的には、容量市場システム（実需給期間前向け）では「初回登録」、容量市場システム（実需給期間向け）では「新規登録」と同じ意味で表現及び登録区分の値が異なっております。	頂いたご意見を踏まえ、「新規登録」に統一することとし、容量市場業務マニュアル 容量停止計画の調整業務編の次回改訂時に反映いたします。
11	44	容量停止計画の登録期限について、仮に自主的に登録漏れを検知した場合には、登録漏れ通知を受領していただくも、対象実需給月+1月の第16営業日までに、修正と合わせて登録対応を実施することとなります。一方で、登録漏れ通知を受領した件名のみ別の登録期限とされた場合、通知のあったものとなかったものの仕分けが必要となり、かつ締切期限が増えると負担増加となるため、容量停止計画の提出期限と容量停止計画の修正・登録期限の期日を2025年度のとおり揃えていただけるとありがたい存じます。なお、前述の対応が難しい場合、来年度のスケジュールが今年度から変更となった背景（登録漏れ通知のみ、別日に登録する理由）をご教示いただけますと幸いです。	容量停止計画につきましては、計画の変更が発生した場合に遅滞なく登録いただくこととしており、基本的には発生しないものと考えております。仮に登録漏れが発生していた場合は容量停止計画の修正に加え、発電計画、発電上限も修正が必要となる場合があります。その期間を想定し、修正・登録期限の期日は現行の設定としております。登録漏れ確認結果通知メールが通知された場合は、通知日から第5営業日までに容量停止計画の修正・登録をお願いします。
12	47	更新後のマニュアル（案）で、「2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録」に通知日から第5営業日までに登録とあるが、通知日が明確に記載されていないため、「2.4.1.1 差替先の容量停止計画の整合性審査結果の受領」の項目にメールの送付時期を記載していただきたい。（例 対象実需給月+〇月の〇頃）	容量停止計画につきましては、計画の変更が発生した場合に遅滞なく登録いただくこととしております。本機関にて審査を都度実施し、差替先の容量停止計画の整合性審査結果が不合格の場合はメールを送付いたしますので、速やかに修正ください。
13	58	発電上限値登録について、1点要望がございます。現在発電上限値は1つのみの登録となっていますが、市場応札リクワイアメントと日数カウントリクワイアメントで異なる発電上限値が発生する場合がありますと認識しております。 例）出力抑制が発生している火力発電機（起動停止は可能）について、バランス停止中に広域予備率が低下した場合 市場応札リクワイアメント：発電上限値は予備率低下通知を受領してから最速の起動カーブとなる 日数カウントリクワイアメント：発電上限値は出力抑制を考慮した最大電力となる （事前に起動指令を受信すれば起動し、最大電力を提供できるため） つきましては、それぞれ個別に登録できる形としていただけないでしょうか。現在1つの発電上限値のみ登録し、市場応札リクワイアメントもしくは日数カウントリクワイアメントで発生したリクワイアメント未達成量については異議申立を通して対応しておりますが、2種類の発電上限値を登録できれば、異議申立対応を省略できると考えております。	ご指摘いただいた事例の場合は、「3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録」の(例5)低予備率アセスメント対象コマにおいて、発電上限値が電源の提供できる供給力の最大値を下回っている場合に該当すると考えられるため、発電上限を電源が提供できる供給力の最大値に修正していただくことになります。加えて、バランス停止中においては、「5.1.1.1 市場応札量の登録」に記載の『電源の起動時間』を報告していただくことで、本機関にてアセスメント時に一定の考慮を実施しています。それでもなお、本機関にて通知したリクワイアメント未達成量やリクワイアメント未達成コマに異議がある場合は、異議申立を実施してください。

14	80	5.1.1.1市場応札量の登録の場合、市場応札量の登録依頼の通知メールが送付されるが、4.1.1.1発電量調整受電電力量の登録の場合は、通知メールが送付されない。同じ算定諸元の登録であるため、通知してもらいたい。 3.1.1.1発電計画・発電上限の確認、3.1.2.1発電計画・発電上限の修正登録の場合、マニュアルには通知メールの記載はないが、発電計画・発電上限の確認依頼メールが送付されている。	登録依頼のメールについては、2024年度から開始となった実需給期間業務のサポートの位置づけであり、基本的には容量提供事業者にて業務マニュアルをご確認いただきながらスケジュール通り業務を実施していただくことを想定しております。市場応札量や発電上限・発電計画を含む登録依頼メールのあり方については、今後の検討の参考にさせていただきます。
15	111	111ページ以降のヘッダーの記載が「電広域的運営推進機関」となっております。 「電力広域的運営推進機関」が正式名称かと存じますので、修正いただきますと幸いです。	頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアルへ反映いたします。
16	138	容量市場システムの各画面でCSVファイルでのデータの授受(ダウンロードやアップロード)、各種リクワイアメントの異議申立等の業務について、システム連携(API等)可能な仕様に変更いただきたいです。 また、システム連携機能の実装が難しい場合は、現状事業者側で多大な工数を要している、アセスメント仮確定結果の確認に関してシステムを改修頂きたいです。具体的には、アセスメント仮確定の結果確認においては、弊社で保持している各種リクワイアメント(容量停止計画、市場応札、供給指示)のリクワイアメント履行状況のデータとの照合が必要になります。ただし、現状の容量市場システムの仕様では、事業者単位で全電源のコマ毎のリクワイアメント履行状況のデータを一括でダウンロードできず、クリック数及びCSVダウンロード数がかなり多く、適切な確認・判断にかなりの工数を要している為、対象月のアセスメント仮算定データの電源等識別番号ごとに1か月分の全コマデータの一括ダウンロード機能を実装いただきたいです。 なお、容量市場システムへの上記一括ダウンロード機能の実装が難しい場合は、貴機関からのメールにアセスメント仮確定結果のデータをCSV等のデータを添付頂く等の運用にて代替することで、業務の省力化・より精度の高い業務推進を図れるよう検討いただきたいです。	頂いたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。

「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（変動電源（単独））編（対象実需給年度：2026年度）（案）」に関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

No.	頁	ご意見	回答
1	5	アセスメント結果の確定時期はN+4月中旬頃と見直されているが、詳細が記載された各項目の内容および業務手順全体図ではN+4月上旬頃の記載となっている。	アセスメント結果の確定時期はN+4月中旬頃が正しいです。頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアルへ反映いたします。
2	10	容量停止計画の対象について、『「その他要因（発電設備自体の作業停止以外の流通設備の計画的な作業実施や地元自治体との協定等）」による電源等の停止』も含まれると記載があり、その理由について以前確認した際に「容量確保契約約款10条に提出理由としている」と回答いただいております。変動電源は調整係数算定の際に系統抑制分も反映されている認識であり、当該件名を容量停止計画の対象とすると二重で停止を反映していることにならないか。	実需給期間においては供給力の維持に係るリクワイアメント（維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止及び出力低下しないこと）を満たしているかを確認する目的で、容量停止計画を提出いただいております。その対象は、容量確保契約約款第10条1項の記載の通りです。
3	42	更新後のマニュアル（案）で、「2.4.1.2 差替先の容量停止計画の修正登録」に通知日から第5営業日までに登録とあるが、通知日が明確に記載されていないため、「2.4.1.1 差替先の容量停止計画の整合性審査結果の受領」の項目にメールの送付時期を記載していただきたい。（例 対象実需給月＋〇月の〇頃）	容量停止計画につきましては、計画の変更が発生した場合に遅滞なく登録いただくこととしております。本機関にて審査を都度実施し、差替先の容量停止計画の整合性審査結果が不合格の場合はメールを送付いたしますので、速やかに修正ください。
4	92	業務手順全体図の『発電計画・発電上限の修正・提出期限』および『差替先にかかる発電計画・発電上限の修正・提出期限』がN+1月第18営業日となっている。	『発電計画・発電上限の修正・提出期限』および『差替先にかかる発電計画・発電上限の修正・提出期限』は、N+1月 最終営業日が正しいです。頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアルへ反映いたします。

「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編（対象実需給年度：2026年度）（案）」に関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

No.	頁	ご意見	回答
1	33	表2-7「発電量調整受電電力量（リソース毎）」Excel記載項目No.5「受電地点特定番号」において、「サンプルチェック対象」との記載がございます。 25年度実需給マニュアルにも同様の記載がありましたが、当社では25年度実需給においてサンプルチェックの依頼を受領した実績がなく、具体的なフローやスケジュールが不明です。 26年度実需給に向け、サンプル抽出や集計対応に必要なリードタイムを把握するため、以下の点についてご教示ください。 ・サンプルチェック対象のリソースは、広域的運営推進機関にてどのような基準で選定されるのでしょうか。 ・当該依頼は、どのようなスケジュールで事業者側に提示されるのでしょうか。	サンプルチェックの実効性確保のため、サンプルチェックの対象を選定する基準およびスケジュールについては、記載いたしません。発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録期限である、対象実需給月＋2月の第10営業日までに登録いただけるよう、対応日数を考慮のうえ、本機関より登録依頼のメールを通知いたします。
2	34	発電量調整受電電力量（リソース毎）のファイルサイズが4 MBを超える場合、もしくは内訳が10,000件を超える場合は、登録内容を分割し登録することになるのでしょうか。 また、分割した場合のファイル名等の指定があればあわせて記載していただきたい。	リソース数が10,000件を超える場合、又は、ファイルサイズが20MBを超える場合は、登録内容を分割し登録してください。頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアルへ反映いたします。

「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 リクワイアメント対応（発動指令電源）編（対象実需給年度：2026年度）（案）」に関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

No.	頁	ご意見	回答
1	5	経済DR実施日は、発動日から5営業日以内の提出となっていますが、提出までの期間が少々厳しいように感じます。日程が近く複数日の発動があった場合、提出する側も受け取る側も複数ファイルを並行して授受する必要があり、処理工数が増えるため、たとえば「翌月末日までに1か月分をまとめて提出する」など、提出方法の見直しをお願いできますでしょうか。	頂いたご意見を踏まえ、経済DR実施の申し出についてはアセスメント対象となる発動日の属する月の翌月末までに行って頂くこととし、業務マニュアルへ反映いたします。
2	23	同上	同上
3	45	仮に容量確保契約容量が2000kWの電源（電源等リストにてA地点（期待容量:700kW）とB地点（期待容量:1300kW）の2地点提出）が発動指令を受け、B地点が不可効力等の事由で対応ができず、当該電源の算定上の発動実績が700kWとなり、異議申立を実施する場合、B地点の異議申立で求める未達成量（1300kW相当）の根拠となる参考書類例についてご教示いただきたい。（該当需要家・電源との契約容量に関する合意書、実効性テスト時点におけるB地点の供出実績等）	発動指令電源は、一般送配電事業者からの発動指令に対してアセスメント対象容量に応じた供給力を電源等リスト単位で提供していただくことがリクワイアメントとなっています。一部の発電所（一部の発電リソース）が応動できなかった場合でも、発動指令に応じて提供した電源等リスト全体での供給力が、アセスメント対象容量に対して不足した場合は、ペナルティの対象となります。
4	52	表2-2 発動実績算定諸元一覧の記載項目（電源シート）⑤の「※ 1 地点複数応札の場合は当該安定電源のアセスメント対象容量とします。」が実需給FY25マニュアルから追記されたものと認識しております。 本追記に対応して2点ご確認いただけますと幸いです。 ①様式 1 発動実績算定諸元一覧の電源シートの記載を見直ししていただきたいです。（固定値だけの記載でなく、1 地点複数応札の場合は当該安定電源のアセスメント対象容量も補記いただきたい） ②実際の様式 1 発動実績算定諸元一覧ファイルの記載を①に合わせていただきたいです。	頂いたご意見を踏まえ、業務マニュアル及び様式1へ反映いたします。

「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編（対象実需給年度：2026年度）（案）」に関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

No.	頁	ご意見	回答

※ご意見はありませんでした

「容量市場 業務マニュアル 容量抛出价対応編（対象実需給年度：2026年度）（案）」に関する意見募集に寄せられたご意見および本機関回答

No.	頁	ご意見	回答

※ご意見はありませんでした